

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<電気配線工事について>

**警告**

- 接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって、確実にこなしてください。
- 本製品には専用のトランス電源ユニットと電源ケーブルが必要です。AC100Vと直接接続しないでください。
- トランス電源ユニットの設置方法および取扱い方法は、別途トランス電源ユニット取扱説明書(UZ261)を参照してください。
- 家屋から通電金具までの配線は、別の100Vおよび200Vの配線と平行に配線しないでください。
- 平行に配線する場合は、500mm以上離してください。また、埋込配線の部分は、100Vまたは200V電源とは別配管にしてください。

<施工の前に>

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 本製品は、地上階設置用です。2階以上には設置しないでください。
- 本製品は躯体取付け専用のため、躯体から独立して設置しないでください。
- 母屋の屋根から雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により、製品が破損するおそれがあります。
- 屋根材は、弊社指定品を使用してください。指定品以外を使用した場合、強風による屋根材の飛散や強度低下の原因になります。
- 屋根材へ接触する部品ヘシリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を現場で手配してください。
- スプレー式シリコン系潤滑剤およびアルコール系シーリング材は、現場で手配してください。
- 寒冷地では凍結破損を防ぐため、堅樋に排水路ヒーター等を取付けてください。
- 必要に応じて、「呼びφ40排水パイプ」、「コンクリートブロック(腰壁タイプの場合)」、「柱固定用カイモノ」は現場で手配してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング(株)	SE960

<施工の前につづき>

⚠ 注意

- 照明を取付ける場合は、必要に応じて、「防水コンセント」、「連結コネクタ」、「PF管」を現場で手配してください。
- 入隅の場合は、「φ4.5×65丸木ネジ」を現場で手配してください。

🔑ポイント

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工終了後は、パネルの開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

🔑ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全带、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<基礎工事についてのご注意>

⚠ 注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

🔑ポイント

- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

<電源ケーブル（12V）工事について>

⚠ 注意

- PF管は現場で別途手配してください。

INDEX

1	施工の前の重要確認事項	5
	1. 本製品の施工について	5
2	梱包明細表	14
3	基本寸法と各部名称	27
	1. 基本寸法	27
	2. 各部名称	50
	3. 断面納まり図	52
4	柱の位置出し	64
	1. 柱の位置出し	64
5	本体の施工	65
	1. 水盛遺方・水系張り	65
	2. 配線工事 オプション	66
	3. 垂木掛けの取付け	68
	4. 連棟の場合の垂木掛けの取付け	70
	5. 柱の建込み	71
	6. ベースの取付け	78
	7. 桁の組立て	86
	8. 桁の取付け	87
	9. 桁カバー枠の取付け	89
	10. 妻垂木・垂木の取付け	90
	11. 中骨の取付け	91
	12. 屋根材の取付け	92
	13. 垂木カバーの取付け	93
	14. 垂木化粧材の取付け	96
	15. 垂木フタの取付け	101
	16. 垂木掛けキャップの取付け	102
	17. 垂木掛けカバーの取付け	103
	18. 雨樋受け部品の取付け	104
	19. 丸樋の取付け	105
6	前面パネルの取付け	106
	1. パネル下枠1の取付け	106
	2. 中棧の取付け	107
	3. 前面パネルの取付け	108
	4. パネル上枠の取付け	110
	5. パネル下枠 2、ベース化粧材 内の取付け	111
	6. 中棧カバーの取付け	111
	7. 後付けビート材の取付け	112
	8. 前面上げ下げ窓の取付け1 オプション	113
	9. 柱フタの取付け	114
	10. オープンテラス用の柱フタの取付け	115
	11. 前面上げ下げ窓の取付け2 オプション	116
	12. 網戸の取付け	117
	13. 前面下段可動ルーバーの取付け オプション	118

7	妻梁上部フィックスパネル・側面換気窓の取付け	123
1.	取付け金具の取付け	123
2.	上部方立の取付け	123
3.	妻梁上部フィックス枠の取付け	125
4.	妻梁レールの取付け	126
5.	妻梁上部フィックスパネルの取付け	128
6.	側面換気窓の取付け オプション	130
8	下レールの取付け	135
1.	ベース材と束柱の取付け	135
2.	方立の取付け	136
3.	縦枠の取付け	137
4.	下レールの取付け	138
9	側面パネルの取付け	143
1.	側面パネルの取付け	143
2.	側面折戸パネルの吊込み	146
3.	パネル部品の取付け	152
4.	調整フィックスパネルの固定	154
5.	パネル寸法の確認	155
6.	下レールのシーリング	156
7.	パネルをご使用される前に	156

1 施工の前の重要確認事項

1. 本製品の施工について ※施工時には下記の事項を厳守してください。

1-1 柱、垂木掛けの取付け

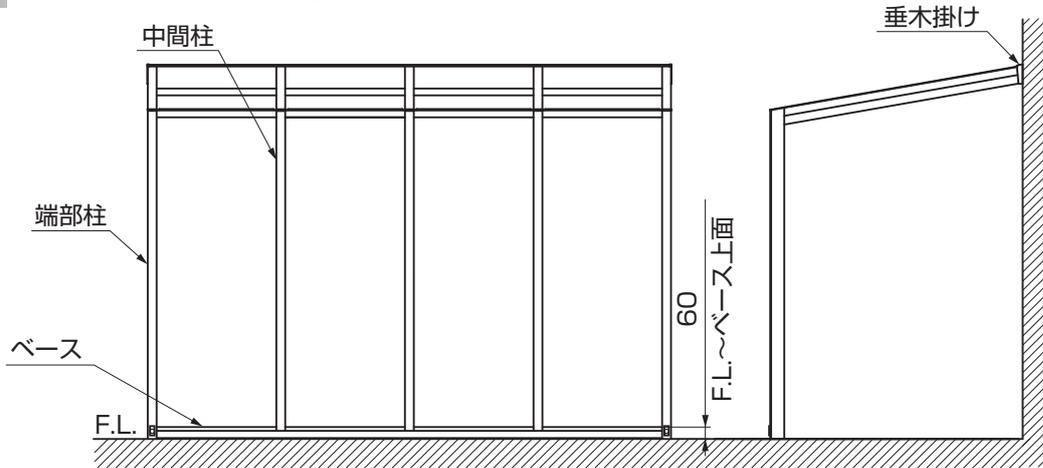


図1-1

ポイント

- 「3 基本寸法と各部名称 1.基本寸法」を参照して柱、垂木掛け等の位置出しを行なってください。

1-2 ベースの取付け

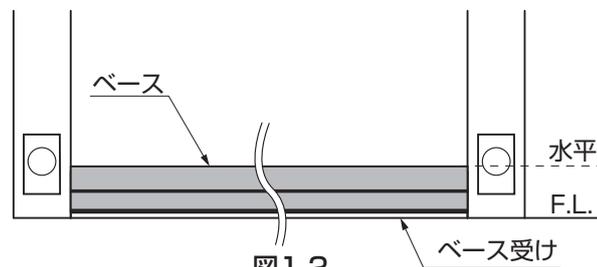


図1-2

ポイント

- ベースは水平になるように取付けてください。

1-3 シーリング処理

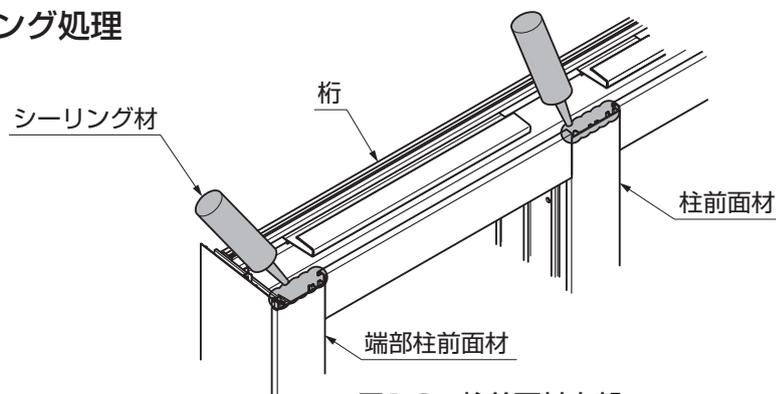


図1-3 柱前面材上部

ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

1. (つづき)

1 施工の前の
重要確認事項

1-3 つづき

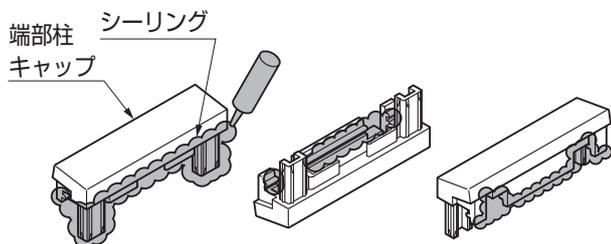
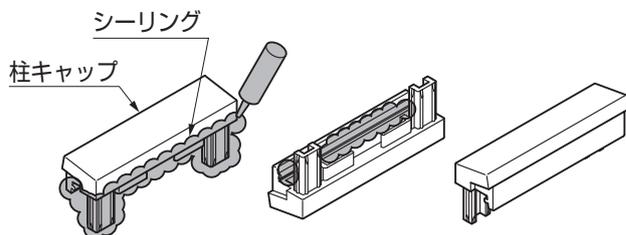


図1-4 端部柱キャップ



※裏面シーリング不要

図1-5 柱キャップ

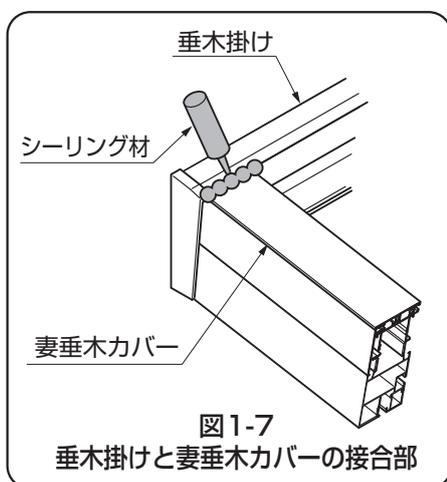


図1-7
垂木掛けと妻垂木カバーの接合部

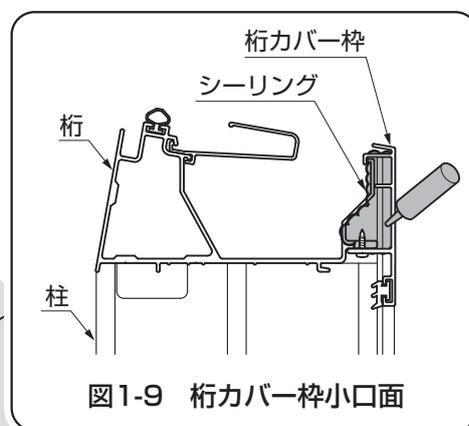


図1-9 桁カバー枠小口面

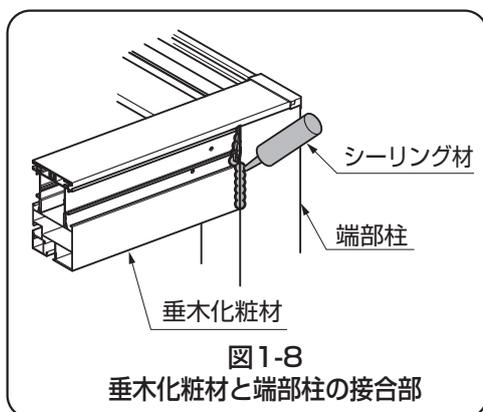


図1-8
垂木化粧材と端部柱の接合部

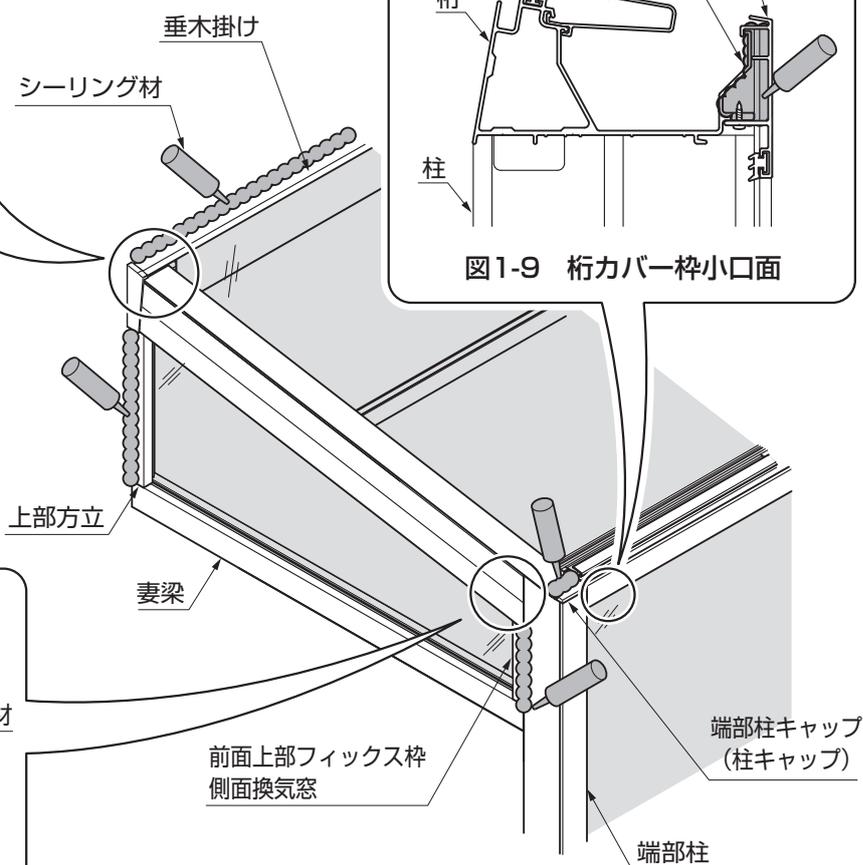


図1-6 シーリング箇所

ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

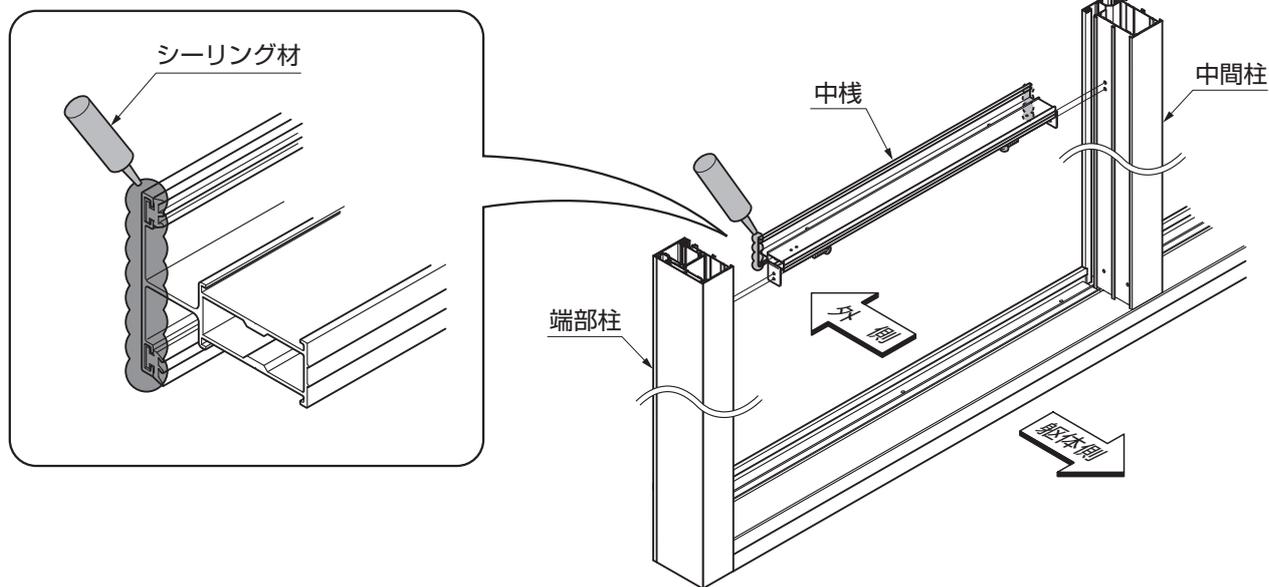


図1-10 中棧外側端部

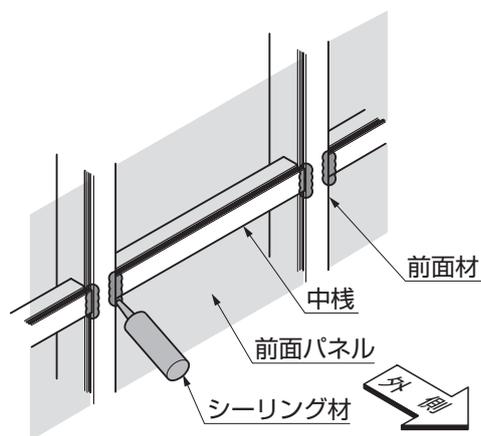


図1-11 中棧外側端部と柱の接合部

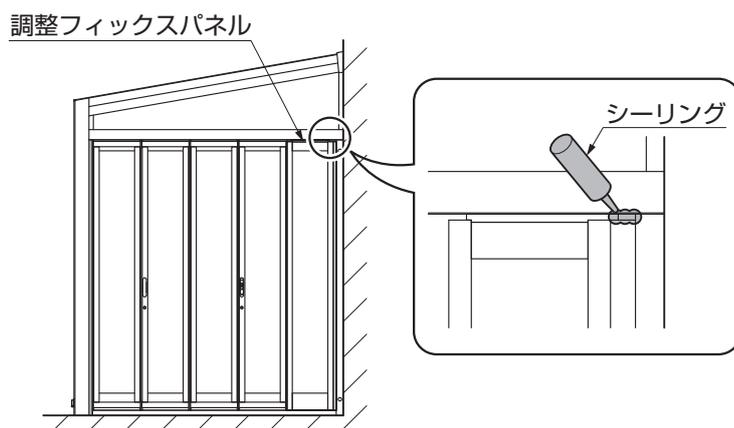


図1-12 調整フィックスパネル上部

表1-1 その他のシーリング箇所

ページ	タイトル	図番	シーリング箇所
P.80	6-3 ベース受けの取付け (1) F.L施工の場合	図6-7、図6-8	ベース受け端部
P.81	6-3 ベース受けの取付け (2) ベース材施工の場合	図6-10、図6-11	ベース受け端部
P.83	6-5 パネル枠フタの取付け	図6-17、図6-18	ベース端部
P.84	6-7 中間柱の建込み	図6-21	中間柱柱フタ内側・側面外側
P.85	6-8 コンクリートの打設	図6-24、図6-25	躯体側ベースとベース受け隙間+ベース受け下側
P.89	9. 桁カバー枠の取付け	図9-1、図9-2	桁カバー枠小口面
P.117	11-2 シーリングについて	図11-5	上げ下げ窓上部
		図11-6	上げ下げ窓下部
P.121	13-4 シーリングについて	図13-11	可動ルーバー上部
		図13-12	可動ルーバー下部

ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

1. (つづき)

1-4 垂木カバーの取付け

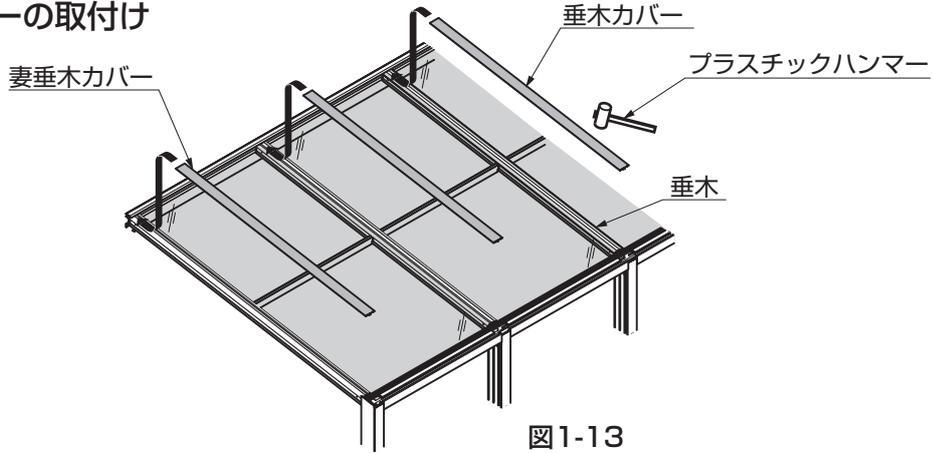


図1-13

ポイント

●垂木カバー、妻垂木カバーは部材が凹まないように注意しながら、プラスチックハンマー等で押込んでください。

1-5 パネル上枠の取付け

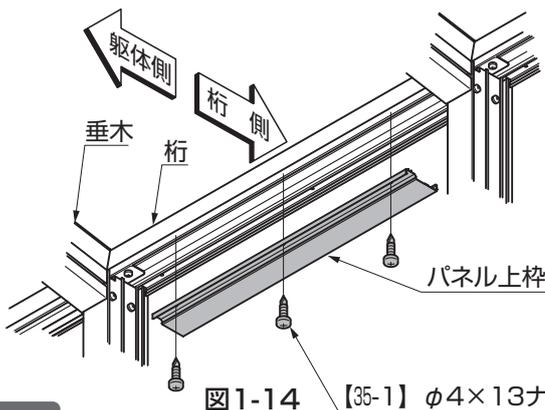


図1-14 【35-1】φ4×13ナベピアスネジ

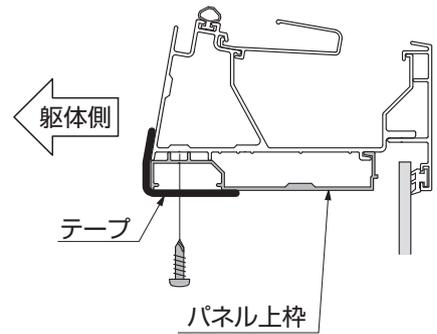


図1-15

ポイント

●パネル上枠を取付ける際は、テープ等で仮止めして取付けてください。(図1-15参照)

1-6 ガラスパネルの取扱い

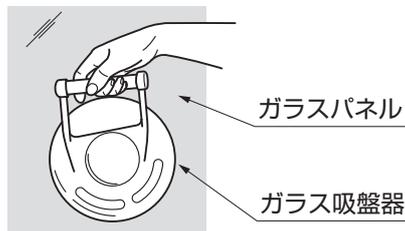
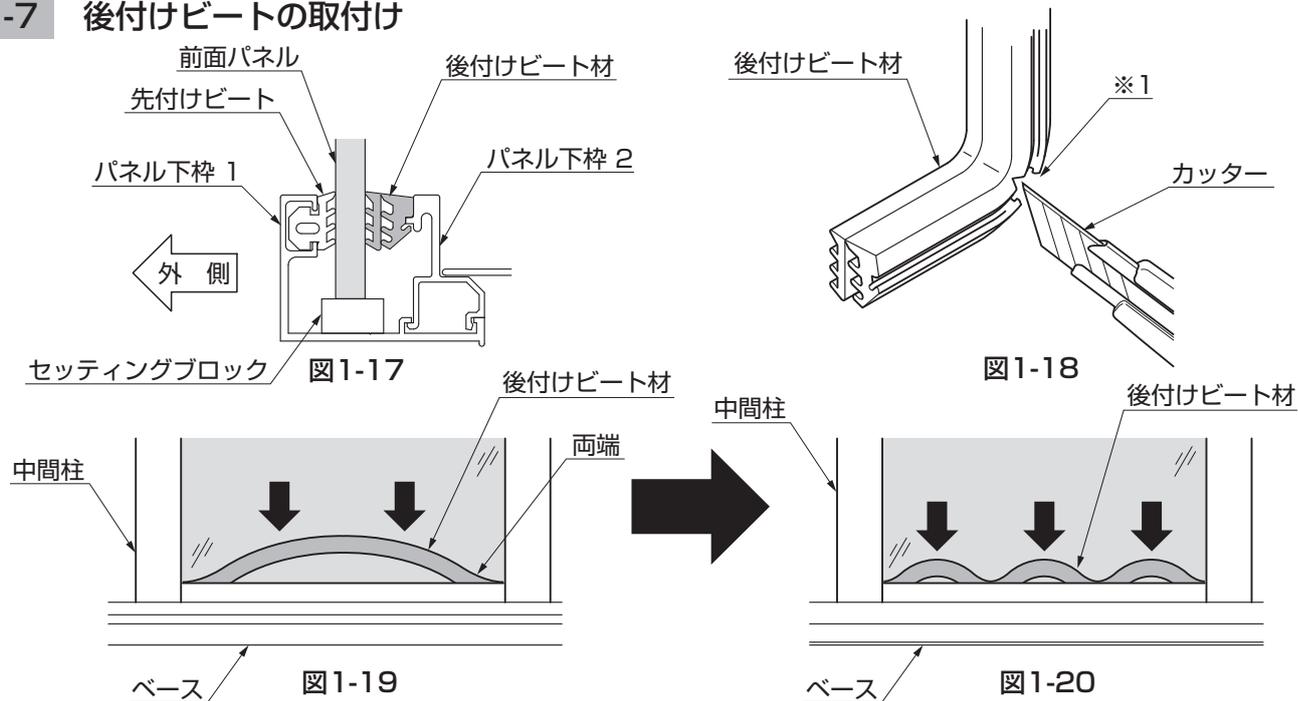


図1-16

ポイント

- 強化ガラス、現場入れガラスを取付けるときには、市販のガラス吸盤器を使用してください。また、ポリカーボネートの前面フィックスパネル、前面フィックス上段パネルについても養生シートは、はがさずにガラス吸盤器を使用すると取付けが容易になります。
- 強化ガラス、現場入れガラス取付けの際にガラスの端部とアルミ形材がこすれたり、引っ掛けたりしないように、養生テープでアルミ形材を保護してください。
- ガラスとアルミが直接触れないように、本説明書の指示の通り、同梱のセッティングブロック、セッティングシートは、必ず使用してください。
- 強化ガラス、現場入れガラス等、大判のガラス取付け作業の際は、二人作業を推奨します。
- 強化ガラス、現場入れガラス等は、入れ込み箇所のすぐそばで作業の直前に開梱してください。
- ガラスの角をぶつけると、割れ等の破損のおそれがありますので特に注意してください。

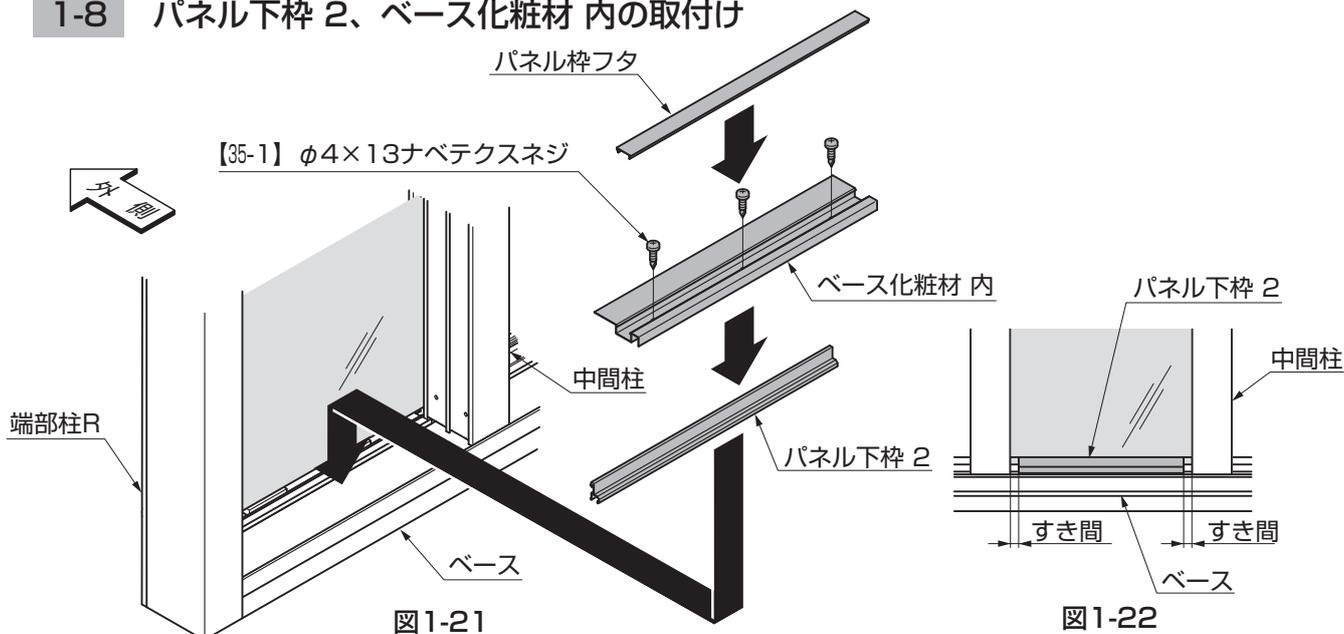
1-7 後付けビートの取付け



ポイント

- 後付けビート材には取付ける向きがあります。(図1-17参照)
- 後付けビート材を折曲げる箇所(※1)にカッター等で切欠きを入れてください。(図1-18参照)
- 後付けビート材を取付ける際は、図1-19のように取付ける面の中心部分をたるませた状態で、両端部分および中間の1~2箇所を先に押し込み、図1-20のようにたるみ部分の中心から広げるように押し込んでいきます。
- 後付けビート材は、薄めた中性洗剤で濡らすとはめ込みやすくなります。

1-8 パネル下枠 2、ベース化粧材 内の取付け



ポイント

- パネル下枠 2の長さは柱間の長さより数mm短くなっていますので、左右のすき間が均等になるように取付けてください。すき間がないと柱フタが取付けできなくなります。(図1-22参照)

1. (つづき)

1-9 網戸・スロープ取付けに伴う床面仕上げについて

(1) 外面仕上げについて

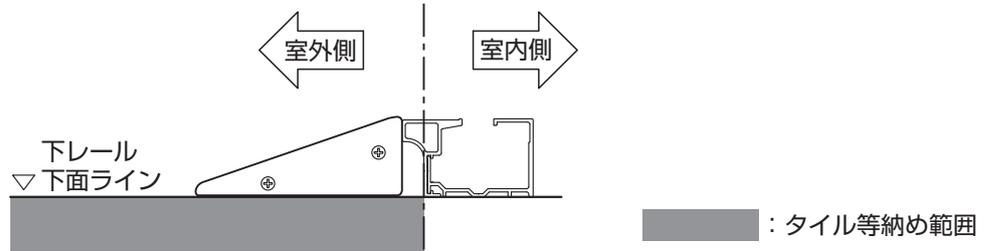


図1-23 タイル等納め範囲について

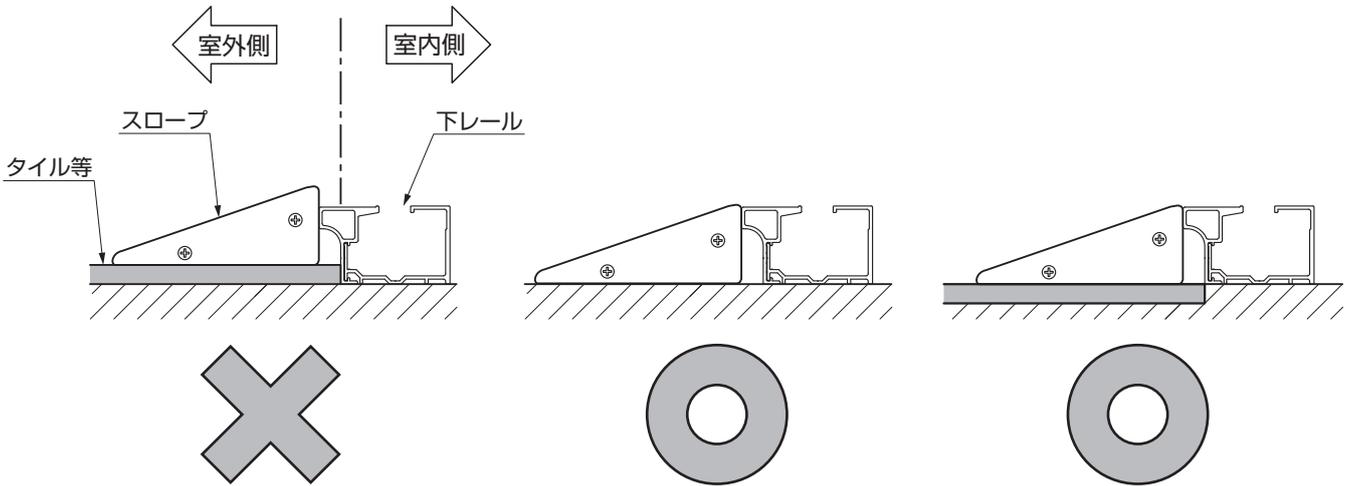


図1-24

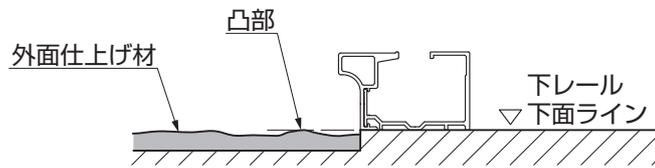


図1-25 凸凹の大きいタイル等の納まりについて

① 室外側の仕上げは、下レール下面と同じか低くなるように仕上げてください。

⚠ 注意

- タイル等は [] の範囲に必ず納めてください。
- 室外側の仕上げを下レール下面より高くしてしまうと、オプションのスロープを取付けた場合、スロープが折戸パネル下面にあたり、折戸パネルが破損するおそれがあります。また、下レールにたまった水やゴミをコーナー部から掃き出せなく場合があります。
- 凸凹の大きなタイルなどで室外側を仕上げた場合、凹部ではなく、凸部が下レール下面より高くないように仕上げてください。

1-10 下レールの取付け

(1) フラット施工の内面仕上げについて

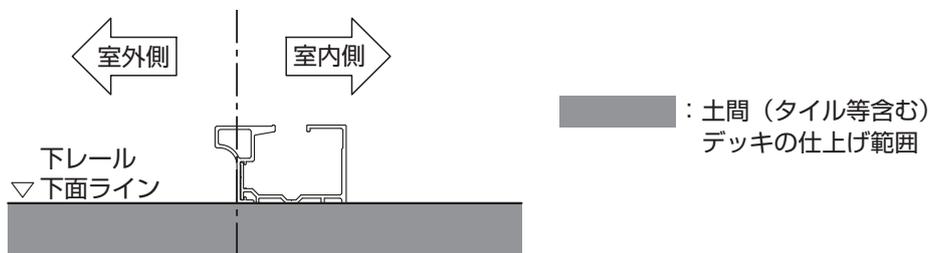


図1-26 仕上げ範囲について

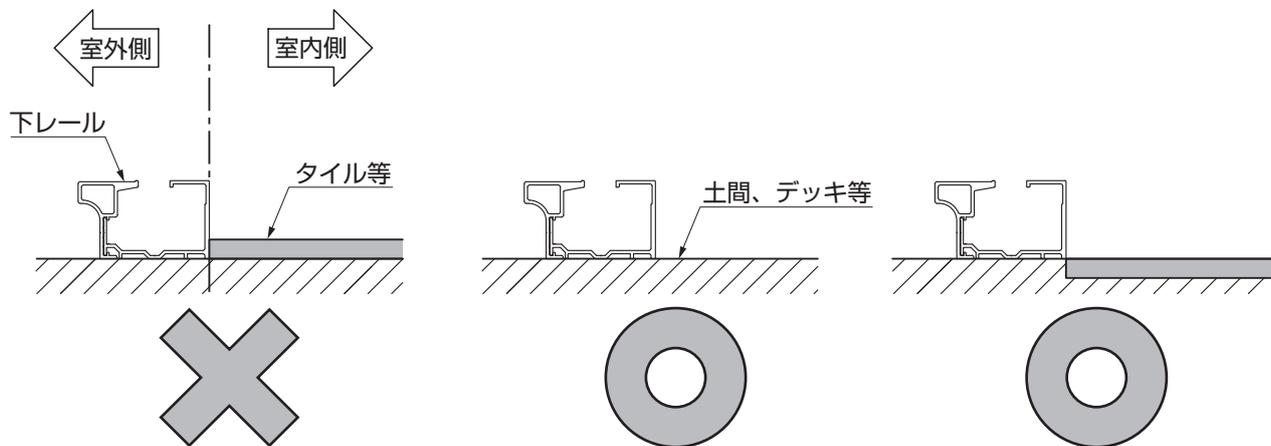


図1-27

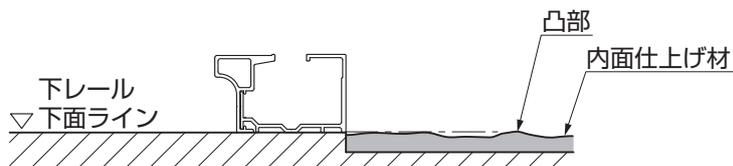


図1-28 凸凹の大きいタイル等の納まりについて

①室内側の仕上げは、下レール下面と同じか低くなるように仕上げてください。

⚠ 注意

- タイル等は ■ の範囲に必ず納めてください。
- 室内側の仕上げを下レール下面より高くしてしまうと、オプションの網戸レールを取付けた場合、網戸レールが折戸パネル下面にあたり、折戸パネルや網戸レールが破損するおそれがあります。また、オプションのスロープを取付けた場合、スロープが折戸パネル下面にあたり、折戸パネルが破損するおそれがあります。
- 凸凹の大きなタイルなどで室外側を仕上げた場合、凹部ではなく、凸部が下レール下面より高くないように仕上げてください。

1. (つづき)

(2) 内面立上げ施工の内面仕上げについて

1 施工の前の
重要確認事項

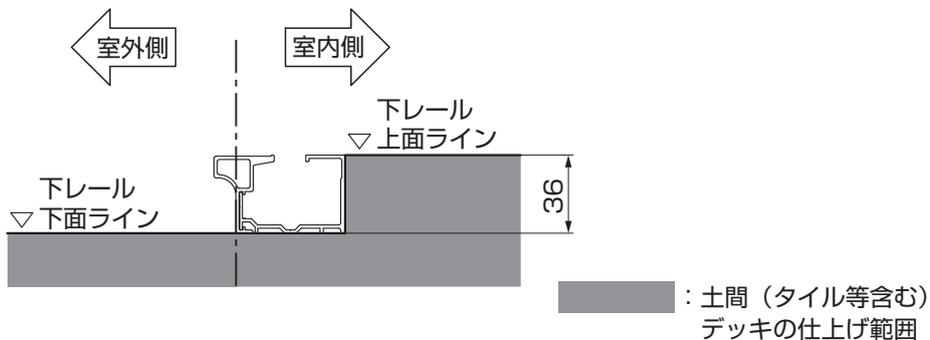


図1-29 仕上げ範囲について

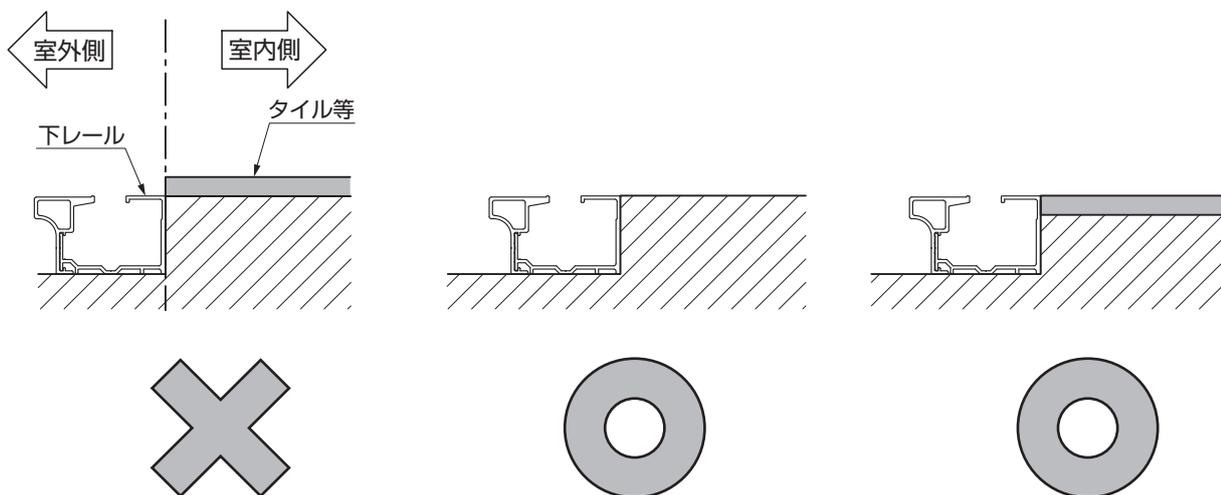


図1-30

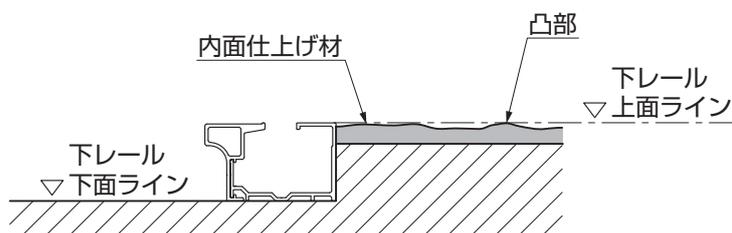


図1-31 凸凹の大きいタイル等の納まりについて

①室内側を下レール上面と同じか低くなるように仕上げてください。

注意

- タイル等は の範囲に必ず納めてください。
- 室内側の仕上げを下レール上面より高くしてしまうと、オプションの網戸レールを取付けた場合、網戸レールが折戸パネル下面にあたり、折戸パネルや網戸レールが破損するおそれがあります。
- 凸凹の大きなタイルなどで室内側を仕上げた場合、凹部ではなく、凸部が下レール上面より高くないように仕上げてください。

1-11 折戸パネルの吊込み

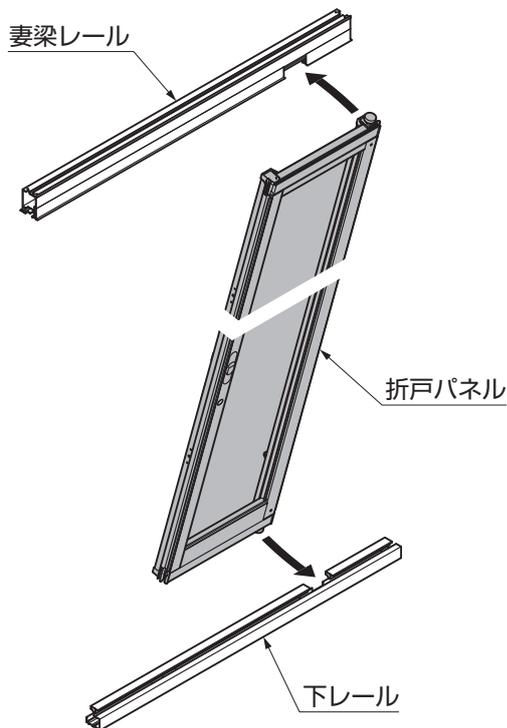


図1-32

注意

●外観右はパネル、パネル落とし棒付の順に、外観左はパネル落とし棒付、パネルの順に吊り込んでください。

1-12 LEDユニットの取付け **オプション**

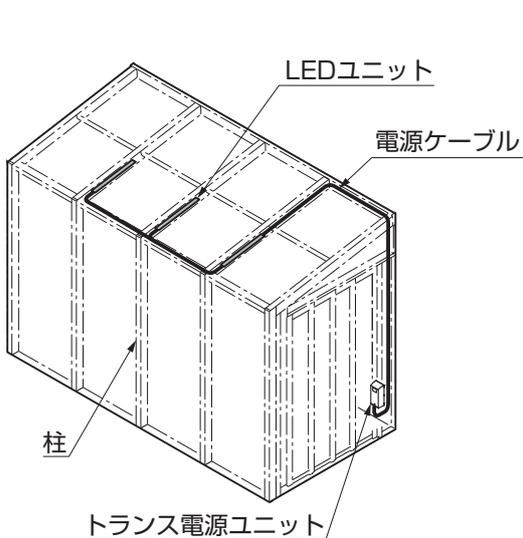


図1-33

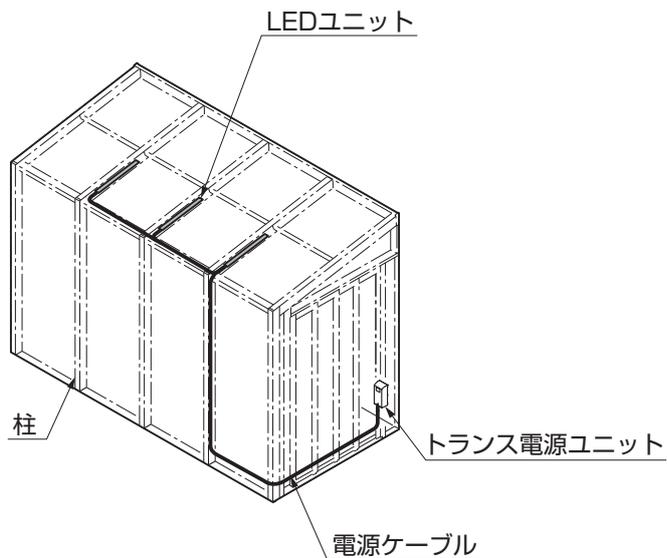


図1-34

ポイント

●LEDユニットの配線は、躯体側から上部へ周す場合の図1-33と柱側から下部へ周す場合の図1-34の方法があります。

2 梱包明細表

【1】 部品箱

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
端部柱キャップ		2	2	2	2	2
柱キャップ		1	2	3	4	5
桁キャップL		1	1	1	1	1
桁キャップR		1	1	1	1	1
垂木掛けキャップL		1	1	1	1	1
垂木掛けキャップR		1	1	1	1	1
雨樋受けエッジカバー		2	2	2	2	2
雨樋受け部品B		2	2	2	2	2
雨樋受け部品C		2	2	2	2	2
丸樋		1	1	1	1	1
92° エルボ		2	2	2	2	2
端部柱-桁組付金具L		1	1	1	1	1
端部柱-桁組付金具R		1	1	1	1	1
中間柱-桁組付金具L		1	2	3	4	5
中間柱-桁組付金具R		1	2	3	4	5
でんでん		2	2	2	2	2
でんでん用スペーサー		2	2	2	2	2

【1】 部品箱 (つづき)

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
端部柱-ベース受け取付金具		2	2	2	2	2
垂木金具		6	8	10	12	14
中間柱スリーブ		1	2	3	4	5
シリコーンスプレー		1	1	1	1	1
ブチルコーキング		1	1	1	1	1
接着剤		1	1	1	1	1
アンカー棒		2	2	2	2	2
【1-1】 φ4×75 ナベタッピンネジ1種 D=7		2	4	6	8	10
【1-2】 φ4.1×45丸木ネジ		7	9	11	14	16
【1-3】 S6フィッシャープラグ		7	9	11	14	16
【1-4】 φ4×10 トラスタッピンネジ3種 D=8		2	2	2	2	2
【1-5】 φ4×12 トラスタッピンネジ3種 D=8		46	60	77	91	105
【1-6】 φ4×13 ナベドリルネジ D=8.2		57	78	99	122	143
【1-7】 φ4×12トラスタッピン ネジ2種 (PW+ゴムパッキン付き)		48	64	92	108	124
【1-8】 φ6×70 六角コーチスクリュー		6	8	10	12	14
【1-9】 M6平座金		6	8	10	12	14
【1-10】 φ4×30 ナベタッピンネジ		5	7	9	12	14
【1-11】 φ4×45ナベ タッピンネジ2種 G=15		2	2	2	2	2
取扱説明書-ガーデンルームタイプ、 サイドスルータイプ編- (E231)	—	1	1	1	1	1
取扱説明書-ココマ- (UE061)	—	1	1	1	1	1
取付電気工事説明書 (R011)	—	1	1	1	1	1
取付説明書-ロマンシェード- (E303)	—	1	1	1	1	1
取扱説明書-内部日除け- (UE076)	—	1	1	1	1	1
取付説明書-内部日除け- (E269)	—	1	1	1	1	1
取付説明書-ロールスクリーン- (E302)	—	1	1	1	1	1
取扱説明書-ロマンシェード- (UE081)	—	1	1	1	1	1
取付説明書-デッキ編 (ウェスタン・レッドシダー、 イペセレクト)- (E220)	—	1	1	1	1	1
取付説明書-デッキ編 (樹の木Ⅲ)- (E221)	—	1	1	1	1	1

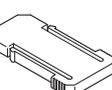
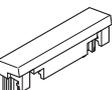
【2】 前面フィックス下段パネルセット

名 称	略 図	員数
前面フィックスパネル		1

【4】 端部柱セット

名 称	略 図	員数
端部柱 右		1
端部柱 左		1

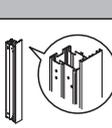
【5】 連棟柱セット

名 称	略 図	員数
連棟柱		1
雨樋受けエッジカバー		1
雨樋受け部品B		1
雨樋受け部品C		1
端部柱-桁組付金具L		1
端部柱-桁組付金具R		1
端部柱キャップ		1
連棟用桁キャップ		1
アンカー棒		1
連棟垂木掛け部品		1
【5-1】 φ4×12 トラスタッピンネジ3種 D=8		8

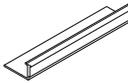
【3】 前面フィックス下段パネルセット 強化ガラス板

名 称	略 図	員数
前面フィックスパネル 下段用強化ガラス		1

【6】 中間柱セット

名 称	略 図	員数	
		1本入	3本入
中間柱		1	3

【7】 妻垂木化粧材溝カバー

名 称	略 図	員数
妻垂木化粧材溝カバー		1
【7-1】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		4

【8】 端部柱固定ベースセット

名 称	略 図	員数
端部柱固定ベース		1
【8-1】 φ4.5×63丸木ネジ		6
【8-2】 φ5×35セルフタップアンカー		6
【8-3】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		2

【9】 端部柱外固定ベースセット

名 称	略 図	員数
端部柱外固定ベース		1
【9-1】 φ4.5×63丸木ネジ		6
【9-2】 φ5×35セルフタップアンカー		6
【9-3】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		2

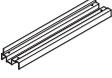
【10】 中間柱外固定ベースセット

名 称	略 図	員数
中間柱外固定ベース		1
【10-1】 φ4.5×63丸木ネジ		6
【10-2】 φ5×35セルフタップアンカー		6
【10-3】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		2

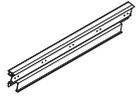
【11】 中間柱固定ベースセット

名 称	略 図	員数
中間柱固定ベース		1
【11-1】 φ4.5×63丸木ネジ		6
【11-2】 φ5×35セルフタップアンカー		6
【11-3】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		4

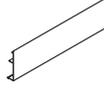
【12】 ベース材セット

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
パネル枠フタ		2	2	2	2	2
ベース		1	1	1	1	1
ベース受け		1	1	1	1	1

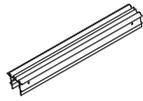
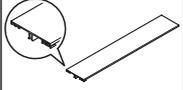
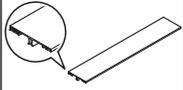
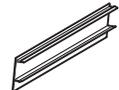
【13】 桁・垂木掛けセット

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
桁		1	1	1	1	1
垂木掛け		1	1	1	1	1
垂木掛け後付けビート		2	3	4	5	6

【14】 垂木掛けカバーセット

名 称	略 図	員 数	
		2本入	3本入
垂木掛けカバー		2	3

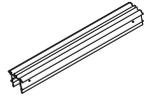
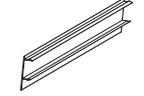
【16】 妻垂木セット

名 称	略 図	員数		
		4尺	6尺	8尺
妻垂木		2	2	2
妻垂木カバー L		1	1	1
妻垂木カバー R		1	1	1
中骨		1	1	2
垂木フタ		4	4	6
雪下ろし指示シール (600タイプ)		1	1	1

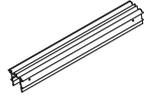
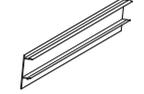
【15】 前面パネル可動ルーバー下段用セット **オプション**

名 称	略 図	員数
前面パネル可動ルーバー		1
前面パネル可動ルーバー網戸		1
受け枠 左右		2
受け枠 上下		2
上下枠フタ		2
【15-1】 φ4×10 ナベドリルネジ D=8.2		7

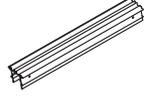
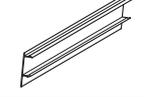
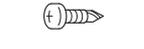
【17】垂木セット 1本入

名 称	略 図	員数		
		4尺	6尺	8尺
垂木		1	1	1
垂木カバー		1	1	1
中骨		1	1	2
垂木フタ		4	4	6

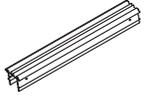
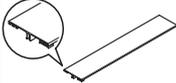
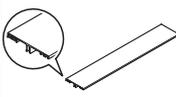
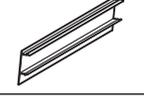
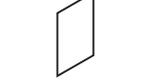
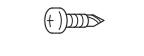
【18】垂木セット 3本入

名 称	略 図	員数		
		4尺	6尺	8尺
垂木		3	3	3
垂木カバー		3	3	3
中骨		3	3	6
垂木フタ		12	12	18

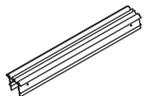
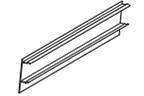
【19】積雪用垂木セット 1本入

名 称	略 図	員数		
		4尺	6尺	8尺
垂木		1	1	1
垂木カバー		1	1	1
中骨		2	2	4
垂木フタ		6	6	10
【19-1】φ4×13 ナベドリルネジ D=8.2		5	7	9

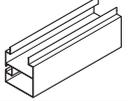
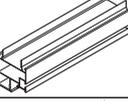
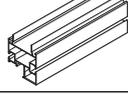
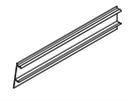
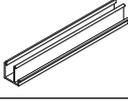
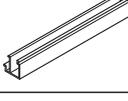
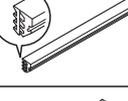
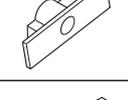
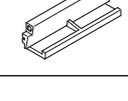
【20】積雪用妻垂木セット 2本入

名 称	略 図	員数		
		4尺	6尺	8尺
妻垂木		2	2	2
妻垂木カバー L		1	1	1
妻垂木カバー R		1	1	1
中骨		2	2	4
垂木フタ		6	6	10
雪下ろし指示シール (1500タイプ)		1	1	1
【20-1】φ4×13 ナベドリルネジ D=8.2		5	7	9

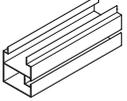
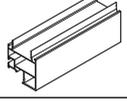
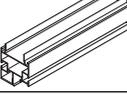
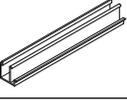
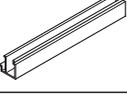
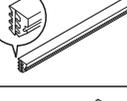
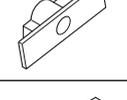
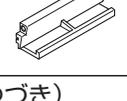
【21】積雪用垂木セット 3本入

名 称	略 図	員数		
		4尺	6尺	8尺
垂木		3	3	3
垂木カバー		3	3	3
中骨		6	6	12
垂木フタ		18	18	30
【21-1】φ4×13 ナベドリルネジ		15	21	27

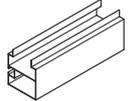
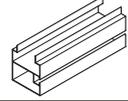
【22】左入妻垂木化粧材セット 3本入

名 称	略 図	員数		
		4尺	6尺	8尺
サイドスルータイプ 妻垂木化粧材 右		1	1	1
ガーデンルームタイプ 妻垂木化粧材 左		1	1	1
ガーデンルームプラスタイプ 妻垂木化粧材 右		1	1	1
妻垂木フタ 右		1	1	1
妻垂木フタ 左		1	1	1
妻垂木押え縁 右		1	1	1
妻垂木押え縁 左		1	1	1
後付ビート材		2	2	2
内部日除けレール エンドピース		4	4	4
連棟垂木掛け部品		2	2	2

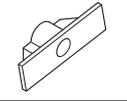
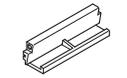
【23】右入妻垂木化粧材セット 3本入

名 称	略 図	員数		
		4尺	6尺	8尺
サイドスルータイプ 妻垂木化粧材 左		1	1	1
ガーデンルームタイプ 妻垂木化粧材 右		1	1	1
ガーデンルームプラスタイプ 妻垂木化粧材 左		1	1	1
妻垂木フタ 右		1	1	1
妻垂木フタ 左		1	1	1
妻垂木押え縁 右		1	1	1
妻垂木押え縁 左		1	1	1
後付ビート材		2	2	2
内部日除けレール エンドピース		4	4	4
連棟垂木掛け部品		2	2	2

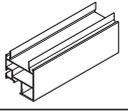
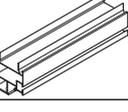
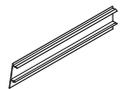
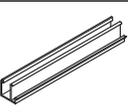
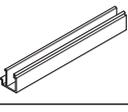
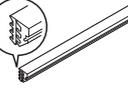
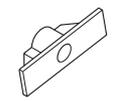
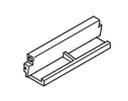
【24】妻垂木化粧材セット

名 称	略 図	員数		
		4尺	6尺	8尺
サイドスルータイプ 妻垂木化粧材 右		1	1	1
サイドスルータイプ 妻垂木化粧材 左		1	1	1
妻垂木フタ 右		1	1	1

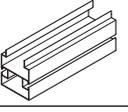
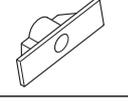
【24】妻垂木化粧材セット(つづき)

名 称	略 図	員数		
		4尺	6尺	8尺
妻垂木フタ 左		1	1	1
内部日除けレール エンドピース		2	2	2
連棟用垂木掛け部品		2	2	2

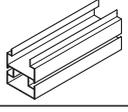
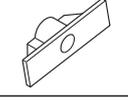
【25】妻垂木化粧材セット(ガーデンルーム用) 2本入

名 称	略 図	員数		
		4尺	6尺	8尺
ガーデンルームタイプ 妻垂木化粧材 右		1	1	1
ガーデンルームタイプ 妻垂木化粧材 左		1	1	1
妻垂木フタ 右		1	1	1
妻垂木フタ 左		1	1	1
妻垂木押え縁 右		1	1	1
妻垂木押え縁 左		1	1	1
後付ビート材		2	2	2
内部日除けレール エンドピース		2	2	2
連棟用垂木掛け部品		2	2	2

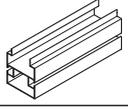
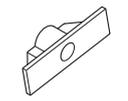
【26】垂木化粧材セット 1本入

名 称	略 図	員数	
		2枚入	3枚入
垂木化粧材		1	
内部日除けレールエンドピース		2	

【27】垂木化粧材セット 3本入

名 称	略 図	員数
垂木化粧材		3
内部日除けレールエンドピース		6

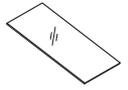
【28】垂木化粧材セット(照明付)

名 称	略 図	員数
垂木化粧材照明付		1
渡り配線ケーブル		1
内部日除けレールエンドピース		2

【29】ベース材セット

名 称	略 図	員数
パネル枠フタ		2
ベース		1
ベース受け		1

【30】屋根材セット

名 称	略 図	員 数	
		2枚入	3枚入
屋根材		2	3

【31】折戸パネル部品

名 称	略 図	員数	
		1セット用	2セット用
パネル開き止めA		1	2
パネル開き止めB		1	2
取っ手 (内側)		1	2
取っ手外部側カバー		1	2
錠部カバー		1	2
ヒンジ		2	4
パネル開き止めアーム		1	2
【31-1】φ4×10 サラタツピンネジ3種		9	15
【31-2】φ4×8 サラタツピンネジ3種 D=6		9	18
【31-3】φ4×14 サラタツピンネジ3種		2	3

【32】前面上げ下げ窓セット **オプション**

名 称	略 図	員数
前面上げ下げ窓		1
前面上げ下げ窓網戸		1
受け枠		2
受け枠 上下		2
上下枠フタ		2
【32-1】φ4×25サラドリルネジ D=8		9
【32-2】φ4×10ナベドリルネジ D=8.2		7

【33】前面フィックス上段パネルセット ポリカーボネート板

名 称	略 図	員数
前面フィックスパネル 上段パネル		1

【34】前面フィックス上段パネルセット 強化ガラス板

名 称	略 図	員数
前面フィックスパネル 上段用強化ガラス		1

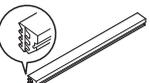
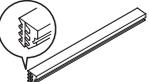
【35】前面フィックスパネル横枠セット

名 称	略 図	員数
パネル下枠1		1
桁カバー枠		1
パネル下枠2		1
パネル上枠2		1
パネル枠フタ (下枠用)		1
パネル枠フタ (上枠用)		1
ベース化粧材 内		1
セッティングブロック (下面用)		2
セッティングブロック (側面用)		2
端部柱セッティングシート		3
【35-1】φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		13

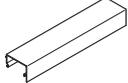
【36】 前面フィックスパネル縦枠セット

名 称	略 図	員数
柱フタ		2
後付けビート材		1

【37】 前面フィックスパネル縦枠セット (中棧用)

名 称	略 図	員数
分割柱フタ 家側		2
分割柱フタ 前側下段		2
分割柱フタ 前側上段		2
後付けビート材 下段用		1
後付けビート材		1

【38】 前面フィックスパネル中棧セット

名 称	略 図	員数
中棧		1
中棧カバー		2
セッティングブロック (下面用)		2
セッティングブロック (側面用)		2
端部柱セッティングシート		1
中棧組付金具		2
【38-1】 φ4×12 トラスタッピンネジ3種 D=8		8

【39】 調整フィックスパネル

名 称	略 図	員数
調整フィックスパネル		1

【40】 妻梁上部フィックスパネルセット 右

名 称	略 図	員数
妻梁上部フィックスパネル		1

【41】 妻梁上部フィックスパネルセット 左

名 称	略 図	員数
妻梁上部フィックスパネル		1

【42】 フィックスパネルセット (1)

名 称	略 図	員数
フィックスパネル (1)		1

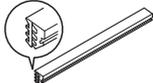
【43】 フィックスパネルセット (2)

名 称	略 図	員数
フィックスパネル (2)		1

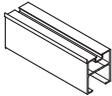
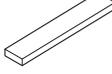
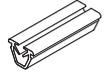
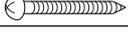
【44】 フィックスパネルセット (3)

名 称	略 図	員数
フィックスパネル (3)		1

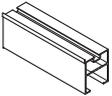
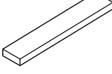
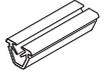
【45】 前面フィックスパネル縦枠 (腰壁用)

名 称	略 図	員数
柱フタ		2
後付けビート材		1

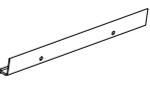
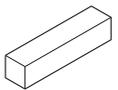
【46】 妻梁セット (オープンテラス用) 右

名 称	略 図	員数
オープンテラス妻梁		1
オープンテラス妻梁フタ		1
上部方立		1
上部方立押え縁		1
前面上部フィックス枠 R		1
前面上部フィックス枠 押え縁 R		1
パッキン		1
後付けビート材 (妻梁上部FIX用)		1
妻梁取付金具		2
妻梁用グレチャン		1
垂木掛け-上部方立取付金具		1
【46-1】 φ4×12 トラスタッピンネジ3種 D=8		4
【46-2】 φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		4
【46-3】 φ4.5×63丸木ネジ		6

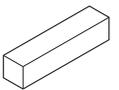
【47】 妻梁セット (オープンテラス用) 左

名 称	略 図	員数
オープンテラス妻梁		1
オープンテラス妻梁フタ		1
上部方立		1
上部方立押え縁		1
前面上部フィックス枠 L		1
前面上部フィックス枠 押え縁 L		1
パッキン		1
後付けビート材 (妻梁上部FIX用)		1
妻梁取付金具		2
妻梁用グレチャン		1
垂木掛け-上部方立取付金具		1
【47-1】 φ4×12 トラスタッピンネジ3種 D=8		4
【47-2】 φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		4
【47-3】 φ4.5×63丸木ネジ		6

【48】側面換気窓セット右 **オプション**

名 称	略 図	員 数		
		4尺	6尺	8尺
側面換気窓 右		1	1	1
側面換気窓網戸		1	1	1
取付枠 家側		1	1	1
取付枠 上右		1	1	1
取付枠 前側		1	1	1
取付枠 家側右		1	1	1
受枠縦 前側右		1	1	1
受枠上 右		1	1	1
ストライク		1	1	1
縦枠受クッション材		1	1	1
【48-1】φ4×13 ナベドリルネジ D=8.2		22	26	28
【48-2】φ4×19 ナベドリルネジ D=8.2		3	5	6

【49】側面換気窓セット左 **オプション**

名 称	略 図	員 数		
		4尺	6尺	8尺
側面換気窓 左		1	1	1
側面換気窓網戸 左		1	1	1
取付枠 家側 左		1	1	1
取付枠 上左		1	1	1
取付枠 前側 左		1	1	1
受枠縦 家側左		1	1	1
受枠縦 前側左		1	1	1
受枠上 左		1	1	1
ストライク		1	1	1
縦枠受クッション材		1	1	1
【49-1】φ4×13 ナベドリルネジ D=8.2		22	26	28
【49-2】φ4×19 ナベドリルネジ D=8.2		3	5	6

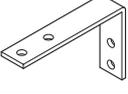
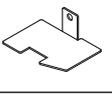
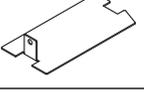
【50】 妻梁レールセット基本用 右

名 称	略 図	員数		
		4尺	6尺	8尺
妻梁レール		1	1	1
下レール		1	1	1
上部方立		1	1	1
上部方立押え縁		1	1	1
前面上部フィックス枠 R		1	1	1
前面上部フィックス枠 押え縁R		1	1	1
後付けビート材		1	1	1
妻梁レール取付金具		2	2	2
垂木掛け-上部方立取付金具		1	1	1
下ストレートピース		1	1	1
下レール固定裏板		4	4	4
妻梁用グレチャン		1	1	1
【50-1】 φ4×12 トラスタッピンネジ3種 D=8		4	4	4
【50-2】 φ4×16 ナベドリルネジ D=8.2		4	4	4
【50-3】 φ4.5×63丸木ネジ		6	6	6
【50-4】 S6フィッシャープラグ		3	4	5
【50-5】 φ4.5×63 サラ木ネジ D=9		3	4	5
【50-6】 φ4.1×32サラ木ネジ		3	4	5
【50-7】 φ4×16 特サラドリルネジ D=6		2	2	2
【50-8】 φ4×10 サラタッピンネジ3種 D=6		4	4	4

【51】 妻梁レールセット基本用 左

名 称	略 図	員数		
		4尺	6尺	8尺
妻梁レール		1	1	1
下レール		1	1	1
上部方立		1	1	1
上部方立押え縁		1	1	1
前面上部フィックス枠 L		1	1	1
前面上部フィックス枠 押え縁L		1	1	1
後付けビート材		1	1	1
妻梁レール取付金具		2	2	2
垂木掛け-上部方立取付金具		1	1	1
下ストレートピース		1	1	1
下レール固定裏板		4	4	4
妻梁用グレチャン		1	1	1
【51-1】 φ4×12 トラスタッピンネジ3種 D=8		4	4	4
【51-2】 φ4×16 ナベドリルネジ D=8.2		4	4	4
【51-3】 φ4.5×63丸木ネジ		6	6	6
【51-4】 S6フィッシャープラグ		3	4	5
【51-5】 φ4.5×63 サラ木ネジ D=9		3	4	5
【51-6】 φ4.1×32サラ木ネジ		3	4	5
【51-7】 φ4×16 特サラドリルネジ D=6		2	2	2
【51-8】 φ4×10 サラタッピンネジ3種 D=6		4	4	4

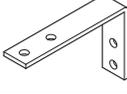
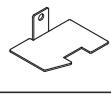
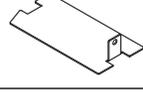
【52】 縦枠セット 右用

名 称	略 図	員数		
		H20	H22	H24
縦枠		1	1	1
縦枠フタ		1	1	1
方立 右		1	1	1
調整フィックス用戸当り枠		1	1	1
調整フィックス用 調整縦枠GR用		1	1	1
方立取付金具		2	2	2
調整フィックスキャップ 右		1	1	1
調整縦枠用キャップGR用 右		1	1	1
入隅用 コーナー柱スペーサーB		1	1	1
【52-1】 φ4×13 特サラドリルネジ D=6		3	3	4
【52-2】 φ4×16 ナベドリルネジ		3	3	4
【52-3】 φ4×12 トラスタッピンネジ3種 D=8		9	9	9
【52-4】 φ4×25 ナベドリルネジ D=8.3		5	5	6
【52-5】 φ4×12 サラタッピンネジ3種 D=6		2	2	2
【52-6】 φ4×13 ナベドリルネジ		3	3	3

【54】 パネルセット (1) セット

名 称	略 図	員数
パネル (1)		1

【53】 縦枠セット 左用

名 称	略 図	員数		
		H20	H22	H24
縦枠		1	1	1
縦枠フタ		1	1	1
方立 左		1	1	1
調整フィックス用戸当り枠		1	1	1
調整フィックス用 調整縦枠GR用		1	1	1
方立取付金具		2	2	2
調整フィックスキャップ 左		1	1	1
調整縦枠用キャップGR用 左		1	1	1
入隅用 コーナー柱スペーサーA		1	1	1
【53-1】 φ4×13 特サラドリルネジ D=6		3	3	4
【53-2】 φ4×16 ナベドリルネジ		3	3	4
【53-3】 φ4×12 トラスタッピンネジ3種 D=8		9	9	9
【53-4】 φ4×25 ナベドリルネジ D=8.3		5	5	6
【53-5】 φ4×12 サラタッピンネジ3種 D=6		2	2	2
【53-6】 φ4×13 ナベドリルネジ		3	3	3

【55】 パネルセット (1) 落とし棒付きセット

名 称	略 図	員数
パネル (1) 落とし棒付き		1

【56】 パネルセット (2) セット

名 称	略 図	員数
パネル (2)		1

【57】 パネルセット (2) 落とし棒付きセット

名 称	略 図	員数
パネル (2) 落とし棒付き		1

【58】 パネルセット (3) セット

名 称	略 図	員数
パネル (3)		1

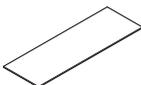
【59】 パネルセット (3) 落とし棒付きセット

名 称	略 図	員数
パネル (3) 落とし棒付き		1

【63】 土間見切り材 **オプション**

名 称	略 図	員 数							
		4尺	6尺	8尺	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
土間見切り材		1	1	1	1	1	1	1	1
【63-1】 φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		4	6	7	6	8	10	12	14

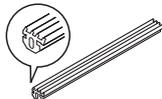
【64】 調整用ライナーセット **オプション**

名 称	略 図	員数
下レール調整用ライナー		20

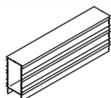
【65】 ベース材束柱セット **オプション**

名 称	略 図	員 数	
		1本入	3本入
ベース材束柱		1	3
束柱固定金具		2	6
【65-1】 φ5×35 ナベセルフタップアンカー		3	8
【65-2】 φ4×16ナベドリルネジ		6	18

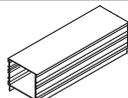
【60】 オープンテラス用ビートセット

名 称	略 図	員数
オープンテラス用ビート材		1

【61】 側面ベース材 **オプション**

名 称	略 図	員数
側面ベース材		1
【61-1】 φ4×16サラドリルネジ		6

【62】 前面ベース材 **オプション**

名 称	略 図	員数
前面ベース材		1
ベース材固定金具		2
【62-1】 φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		3

【66】 前面フィックスパネルセット

名 称	略 図	員数
前面フィックスパネル		1

【67】 錠セット

名 称	略 図	員数
錠		1
キー		3
取っ手 外側用		1
【67-1】 φ4×10 サラタツピンネジ3種 D=6		3

3 基本寸法と各部名称

1. 基本寸法

1-1 基本仕様

(1) サイドスルータイプ

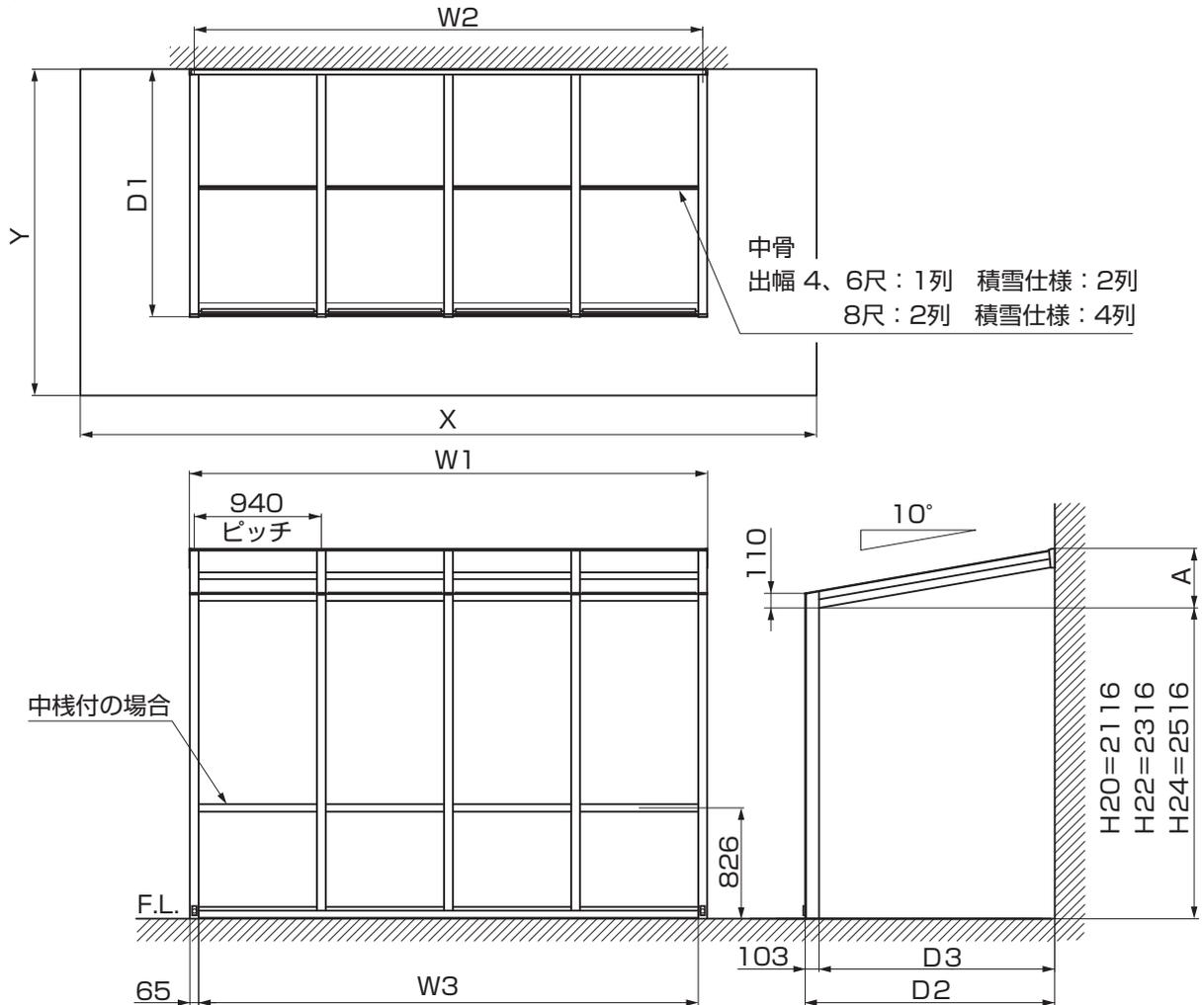


図1-1

表1-1 間口寸法

間口	W			正面部 パネル数	屋根材 枚数	X 対応デッキ間口		
	垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸			ウエストン・レッドシダー	イペセレクト	樹の木Ⅲ
1.0間	1952	1880	1815	2		3733	3711	3620
1.5間	2892	2820	2755	3		4579	4557	4520
2.0間	3832	3760	3695	4		5425	5403	5420
2.5間	4772	4700	4635	5		6412	6390	6320
3.0間	5712	5640	5575	6		7258	7236	7220

表1-2 出幅寸法

出幅	D				A	Y 対応デッキ出幅		
	D1 躯体～前枠外寸	D2 躯体～柱外寸	D3 躯体～柱内寸			ウエストン・レッドシダー	イペセレクト	樹の木Ⅲ
4尺		1246	1143	337		1836	1825	1812.5
6尺		1846	1743	444		2436	2425	2412.5
8尺		2446	2343	548		2936	2925	2912.5

※樹の木Ⅲ対応デッキ寸法は、幕板Bを使用してください。幕板A使用時は、上記値の間口+40mm/出幅+20mmです。

1-2 連棟仕様

(1) サイドスルータイプ

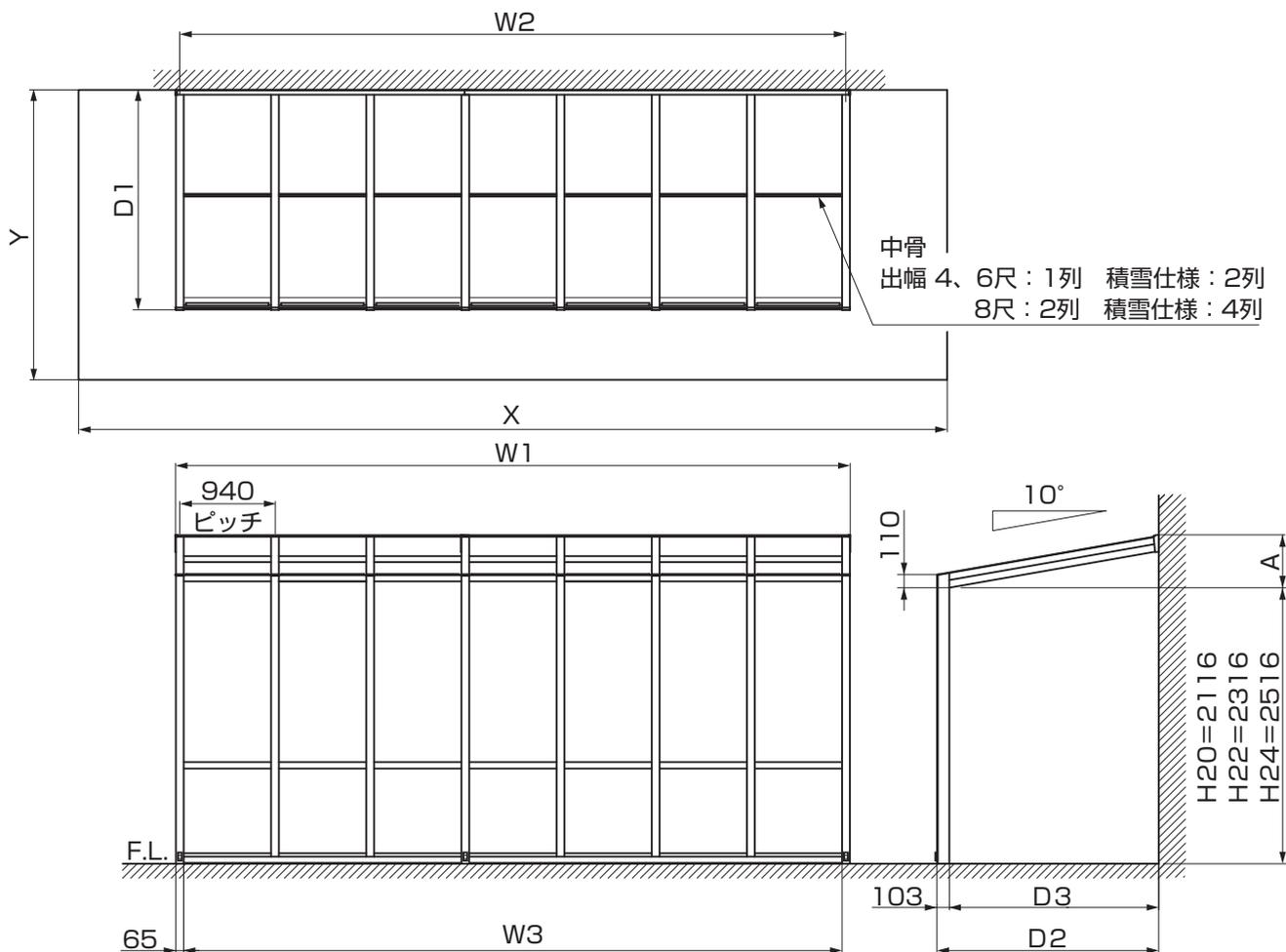


図1-3

表1-5 間口寸法

間口	W1	W2	W3	正面部 パネル数	屋根材 枚数	X 対応デッキ間口		
	垂木掛け外寸	端部柱芯々	端部柱内寸			ウェスタン・レッドシダー	イペセレクト	樹の木Ⅲ
2.0間+1.5間=3.5間	6652	6580	6515	7		8246	8224	8120
2.5間+1.5間=4.0間	7592	7520	7455	8		9092	9070	9200
3.0間+1.5間=4.5間	8532	8460	8395	9		10079	10057	10100
2.5間+2.5間=5.0間	9472	9400	9335	10		11066	11044	11000
3.0間+2.5間=5.5間	10412	10340	10275	11		11912	11890	11900
3.0間+3.0間=6.0間	11352	11280	11215	12		12899	12877	12980

表1-6 出幅寸法

出幅	D1	D2	D3	A	Y 対応デッキ出幅		
	躯体～前枠外寸	躯体～柱外寸	躯体～柱内寸		ウェスタン・レッドシダー	イペセレクト	樹の木Ⅲ
4尺	1246		1143	337	1836	1825	1812.5
6尺	1846		1743	444	2436	2425	2412.5
8尺	2446		2343	548	2936	2925	2912.5

※樹の木Ⅲ対応デッキ寸法は、幕板Bを使用してください。幕板A使用時は、上記値の間口+40mm/出幅+20mmです。

1. (つづき)

1-2 つづき

(2) ガーデンルームタイプ ※ () 内寸法は樹の木皿の場合を示します。

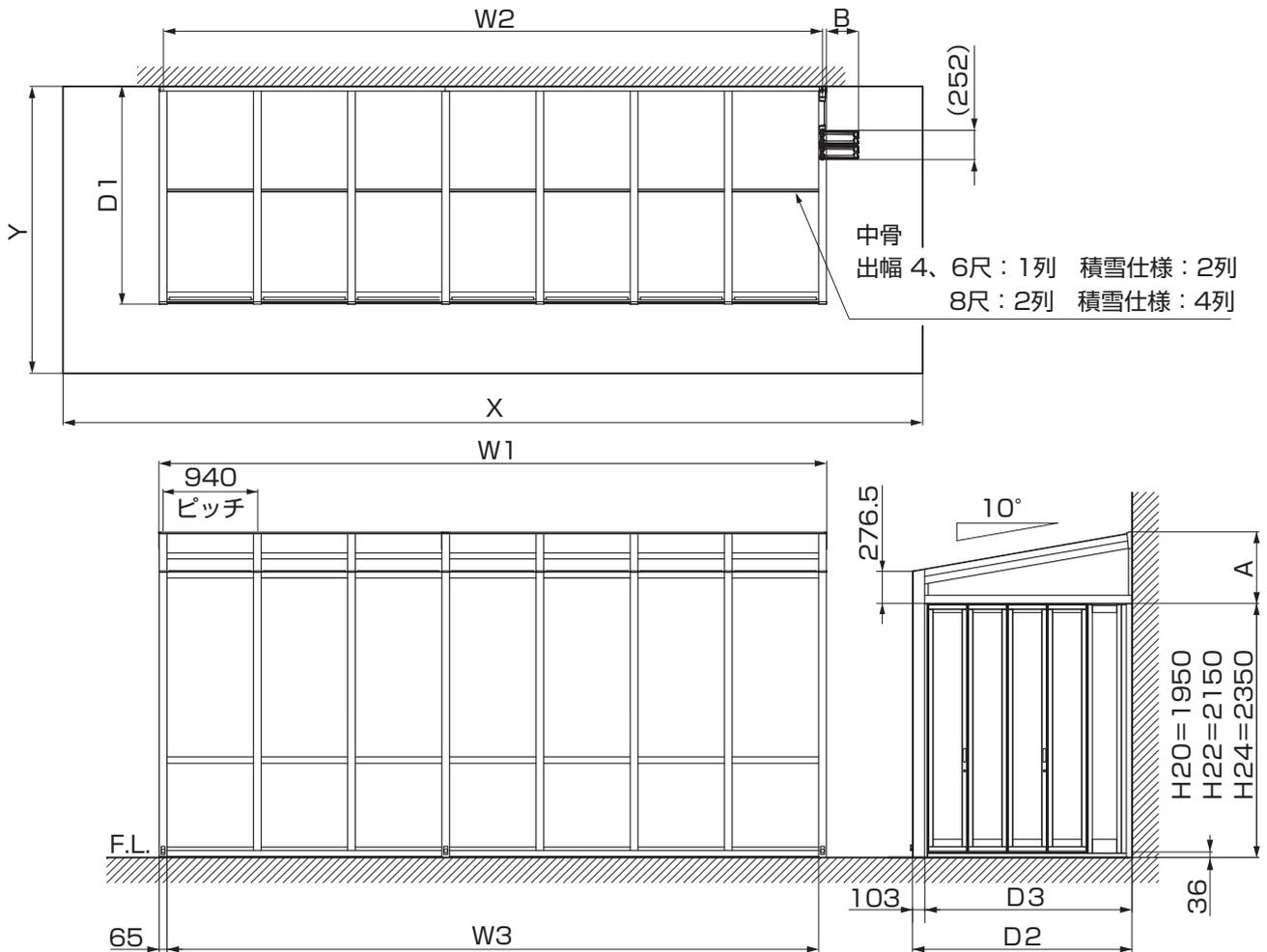


図1-4

表1-7 間口寸法

間口	W1	W2	W3	正面部 パネル数	屋根材 枚数	X 対応デッキ間口		
	垂木掛け外寸	端部柱芯々	端部柱内寸			ウエスタン・レッドグー	イベセレクト	樹の木皿
2.0間+1.5間=3.5間	6652	6580	6515	7		8104	8082	7940
2.5間+1.5間=4.0間	7592	7520	7455	8		8950	8928	8840
3.0間+1.5間=4.5間	8532	8460	8395	9		9937	9915	9740
2.5間+2.5間=5.0間	9472	9400	9335	10		10783	10761	10820
3.0間+2.5間=5.5間	10412	10340	10275	11		11770	11748	11720
3.0間+3.0間=6.0間	11352	11280	11215	12		12757	12735	12620

表1-8 出幅寸法

出幅	D1	D2	D3	側面部 有効開口	側面部 パネル数(片側)	A	B	Y 対応デッキ出幅		
	躯体~前枠外寸	躯体~柱外寸	躯体~柱内寸				折り戸パネル出幅	ウエスタン・レッドグー	イベセレクト	樹の木皿
4尺	1246	1143	666	2	505	342	1836	1825	1812.5	
6尺	1846	1743	1088	4	610	281	2436	2425	2412.5	
8尺	2446	2343	1568	4	716	401	2936	2925	2912.5	

※樹の木皿対応デッキ寸法は、幕板Bを使用してください。幕板A使用時は、上記値の間口+40mm/出幅+20mmです。

1-3 下レールの取付け方法 ※ガーデンルームタイプの場合の作業です。

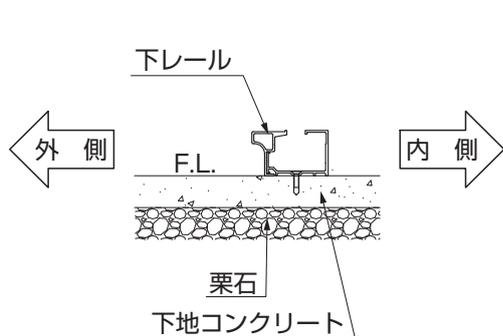


図1-5

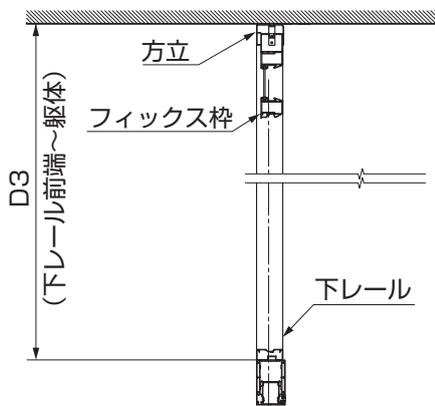


図1-6

表1-9

出幅	D3
4尺	1143
6尺	1743
8尺	2343

ポイント

- デッキ仕様の場合は、「ココマ - デッキ編 (ウェスタン・レッドシダー、イペセレクト) - 取付説明書 (E220)」、「ココマ - デッキ編 (樹の木Ⅲ) - 取付説明書 (E221)」にしたがってデッキを仕上げてください。
- F.L.の高さをパネルサイズに合わせて正確に位置出しして施工してください。F.L.の高さが正確でないと、パネルの開閉に支障がでる場合があります。
- 調整モルタルの厚みは、タイル仕上げ、洗い出し仕上げ等仕上げ方法によって調整してください。
- 仕上げ後、レール等に付着したモルタルを完全に拭き取ってください。硬化後に拭き取ると表面を傷めますので注意してください。

1-4 土間仕上り寸法 ガーデンルームタイプ

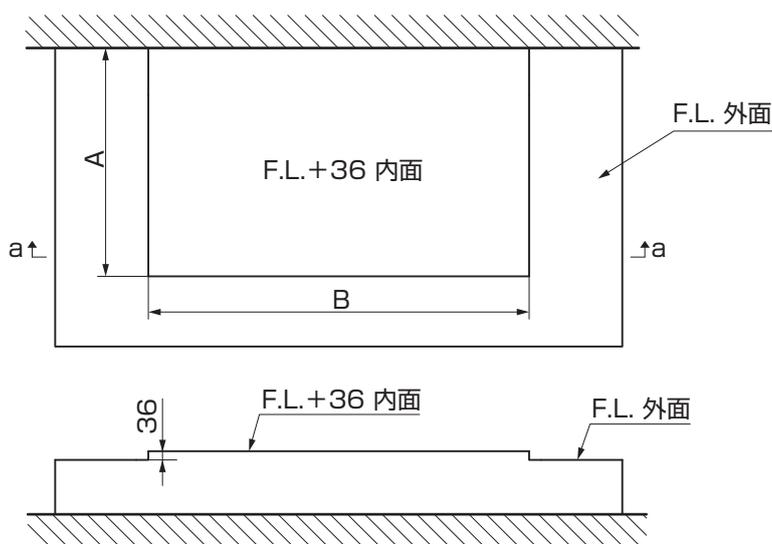


図1-7 a-a矢視図

表1-10

	A
4尺	1143
6尺	1743
8尺	2343

表1-11

	B	B	B	B	B
1.0間	1825	2.5間	4645	4.0間	7465
1.5間	2765	3.0間	5585	4.5間	8405
2.0間	3705	3.5間	6525	5.0間	9345
		5.5間	10285	6.0間	11225

1. (つづき)

1-5 代表的な施工例について デッキ施工・土間施工 外面床なし仕様 (インナーデッキ仕様など)

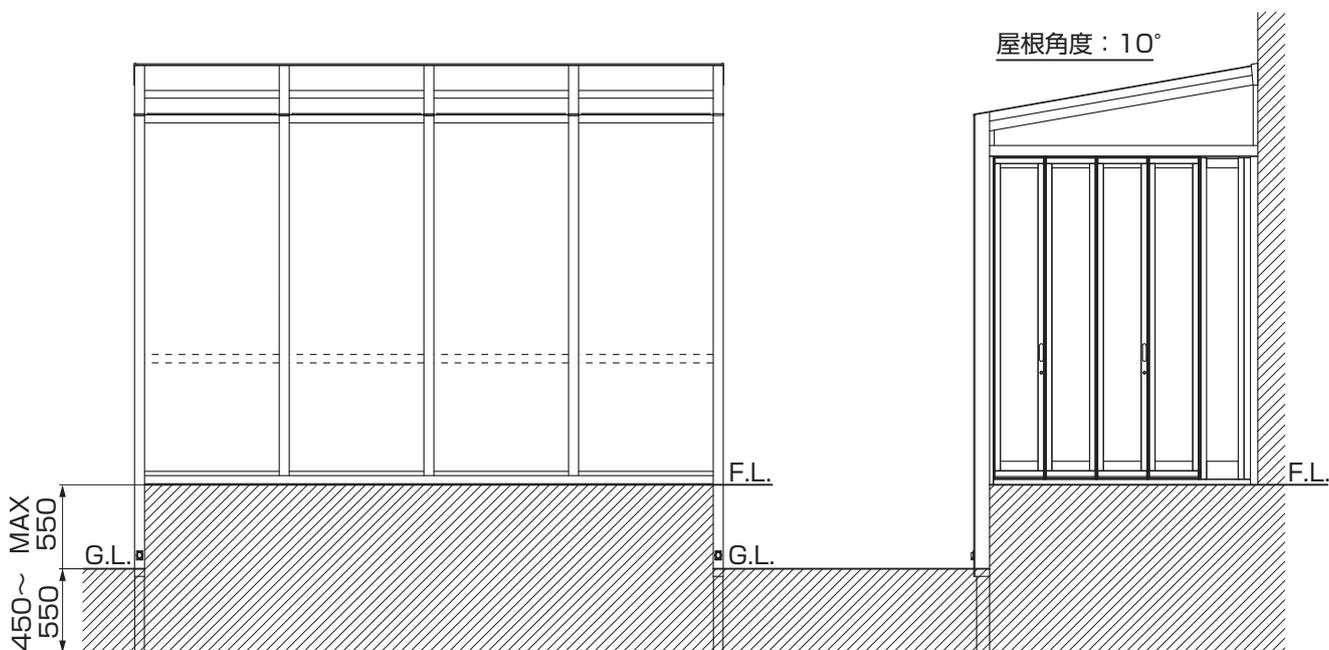


図1-8

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

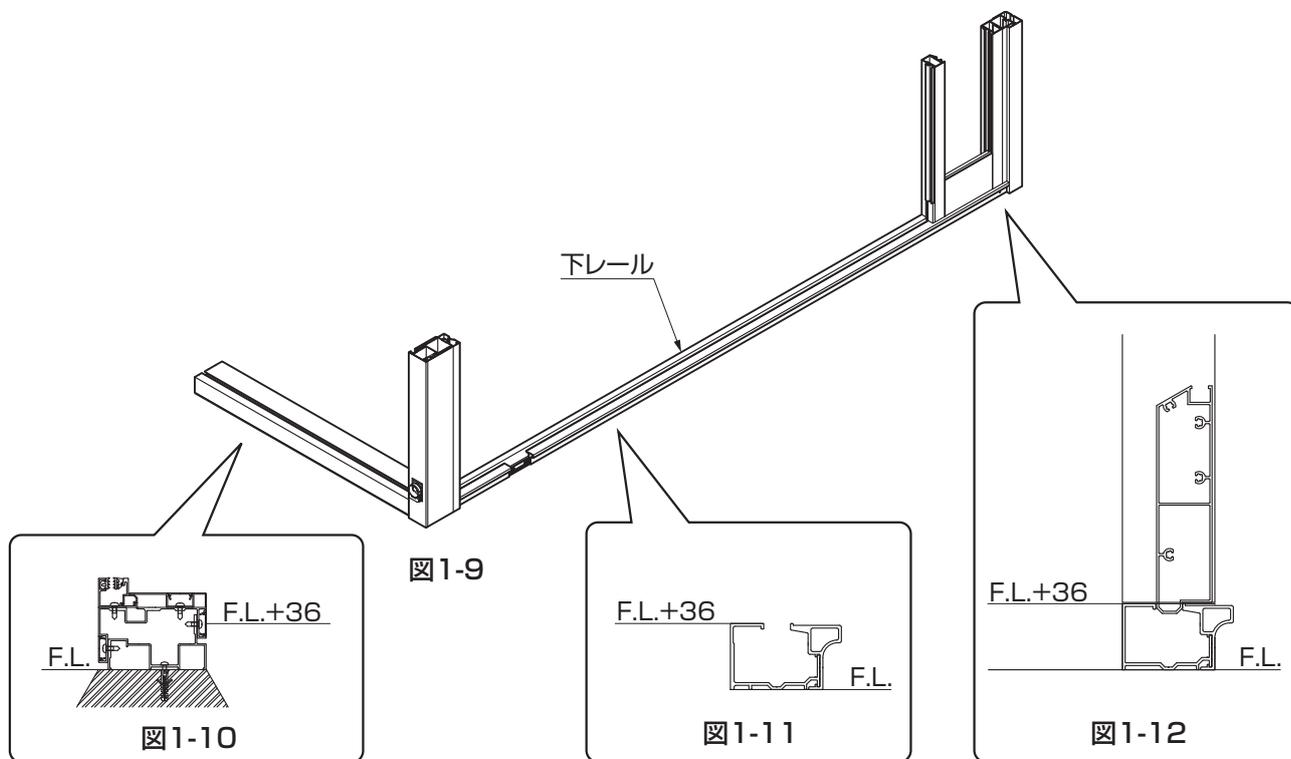
.....

.....

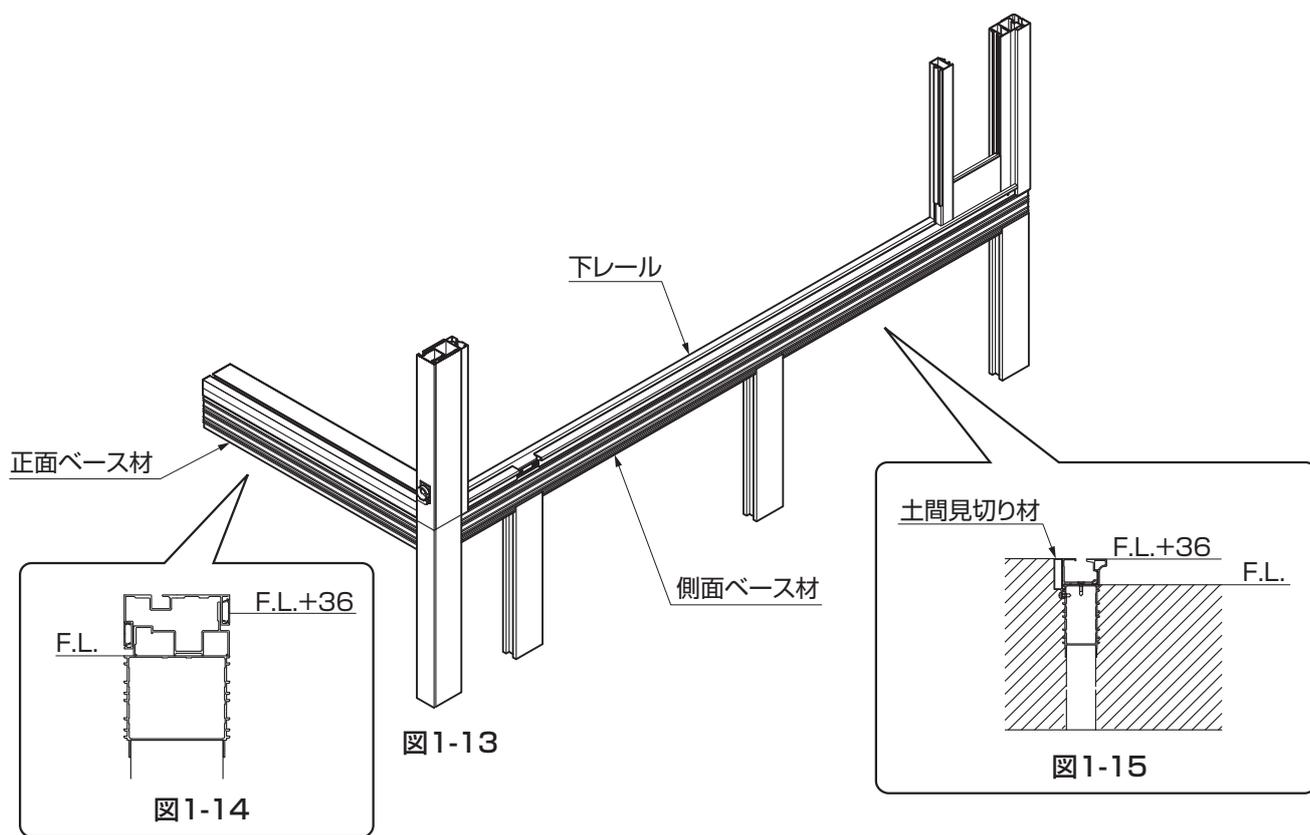
.....

.....

1-6 基本納まりの場合 ※ベース材を使用しない場合



1-7 ベース仕様の場合 ※ベース材を使用する場合



1. (つづき)

1-8 樹の木皿基礎伏図 (内面立上げ仕様の場合)

(1) 基本仕様 1.0間、1.5間

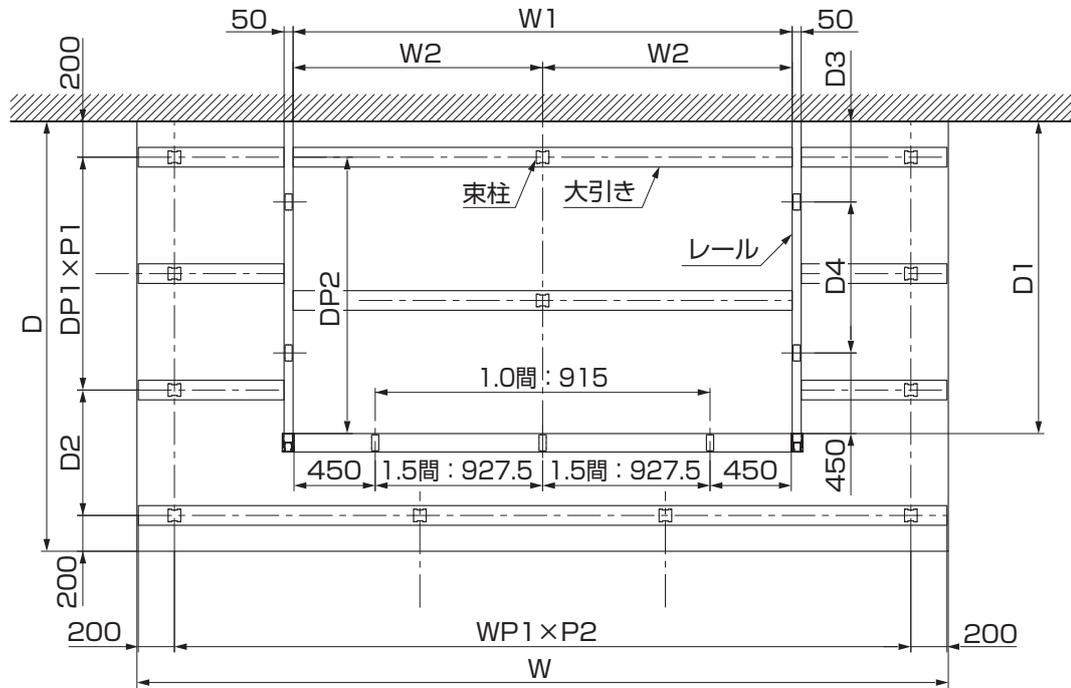


図1-16

表1-12 出幅寸法

	D	D1	D2	D3	D4	DP1(ピッチ)	P1	DP2(ピッチ)
4尺	1800	1143	700	200	493	1	700	2 : 躯体側から493、450
6尺	2400	1743	700	450	843	2	650	2 : 躯体側から800、743
8尺	2900	2343	550	450	※1	3	650	3 : 躯体側から750、750、643

※1) 8尺のみピッチ数 2 : 躯体側から700、743

表1-13 間口寸法

	W	W1	W2	WP1(ピッチ)	P2
1.0間	3595	1825	912.5	2	1590
1.5間	4495	2765	1382.5	3	1360

(2) 基本仕様 2.0間～3.0間

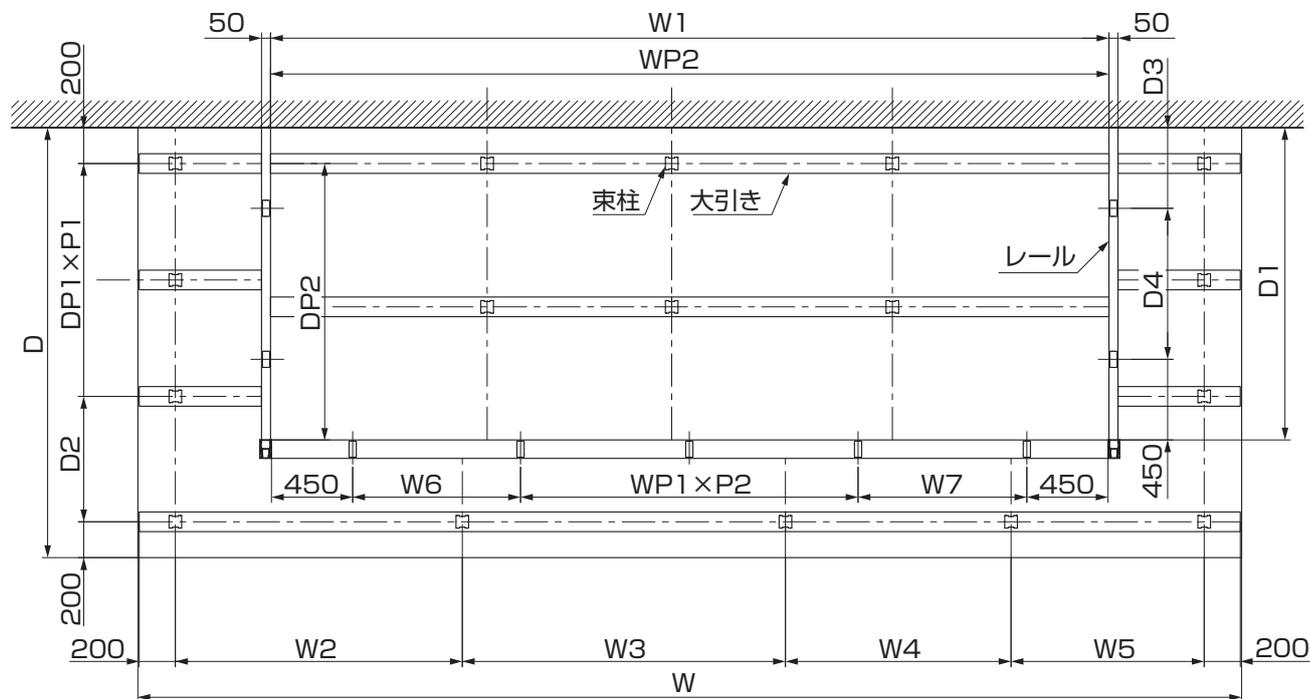


図1-17

表1-14 出幅寸法

	D	D1	D2	D3	D4	DP1(ピッチ)	P1	DP2(ピッチ)
4尺	1800	1143	700	200	493	1	700	2: 躯体側から493、450
6尺	2400	1743	700	450	843	2	650	2: 躯体側から800、743
8尺	2900	2343	550	450	※1	3	650	3: 躯体側から750、750、643

※1) 8尺のみピッチ数 2: 躯体側から700、743

表1-15 間口寸法

	W	W1	W2	W3	W4	W5	W6	W7	WP1(ピッチ)	P2	WP2(ピッチ)
2.0間	5395	3705	1140	1340	1250	1250	935	930	1	930	3: 正面左側から1200、1305、1200
2.5間	6115	4645	1590	1790	1250	1070	930	935	2	935	4: 正面左側から1200、1022.5、1222.5、1200
3.0間	7015	5585	1590	1790	1700	1520	935	935	3	935	4: 正面左側から1200、1222.5、1562.5、1600

1. (つづき)

1-8 つづき

(3) 入隅仕様 1.0間、1.5間 ※図は右入隅の場合を示します。

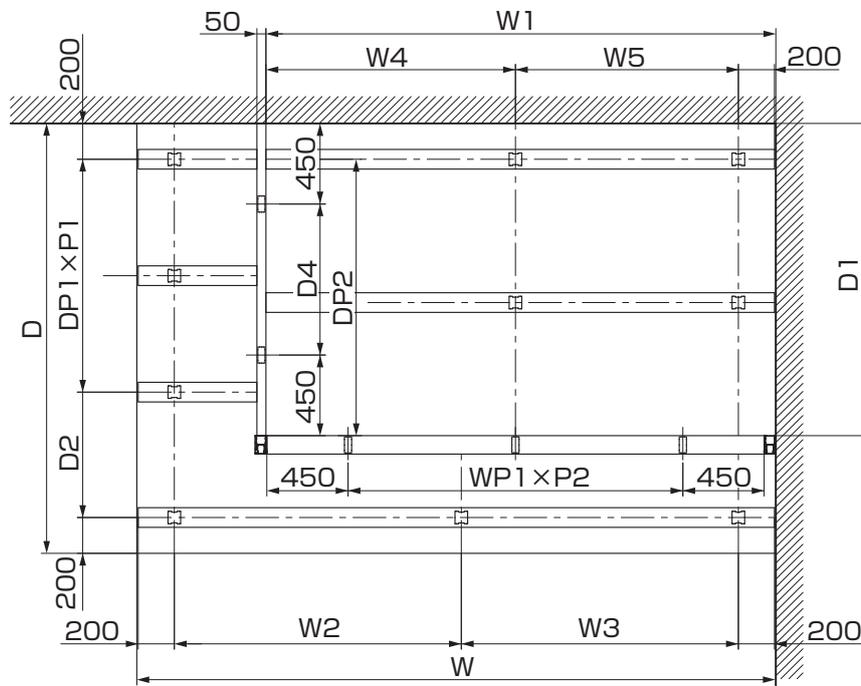


図1-18

表1-16 出幅寸法

	D	D1	D2	D3	D4	DP1(ピッチ)	P1	DP2(ピッチ)
4尺	1800	1143	700	200	493	1	700	2: 躯体側から493、450
6尺	2400	1743	700	450	843	2	650	2: 躯体側から800、743
8尺	2900	2343	550	450	※1	3	650	3: 躯体側から750、750、643

※1) 8尺のみピッチ数 2: 躯体側から700、743

表1-17 間口寸法

	W	W1	W2	W3	W4	W5	WP1(ピッチ)	P2
1.0間	2605	1885	1140	1050	827.5	850	1	915
1.5間	3540	2825	1590	1535	1382.5	1235	2	927.5

(4) 入隅仕様 2.0間～3.0間 ※図は右入隅の場合を示します。

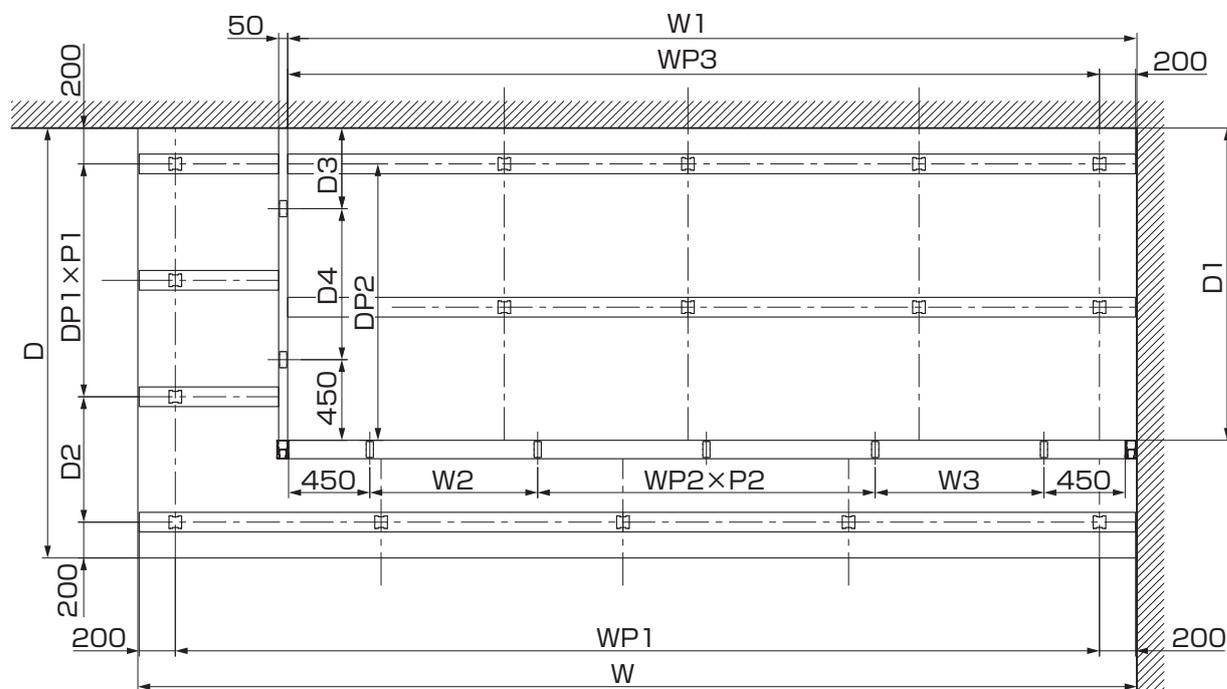


図1-19

表1-18 出幅寸法

	D	D1	D2	D3	D4	DP1(ピッチ)	P1	DP2(ピッチ)
4尺	1800	1143	700	200	493	1	700	2: 躯体側から493、450
6尺	2400	1743	700	450	843	2	650	2: 躯体側から800、743
8尺	2900	2343	550	450	※1	3	650	3: 躯体側から750、750、643

※1) 8尺のみピッチ数 2: 躯体側から700、743

表1-19 間口寸法

	W	W1	W2	W3	WP1(ピッチ)	WP2(ピッチ)	P2	WP3(ピッチ)
2.0間	4430	3765	935	930	3: 正面左側から1360、1360、1295	1	930	3: 正面左側から1100、1357.5、1100
2.5間	5535	4705	930	935	4: 正面左側から1140、1340、1250、1390	2	935	4: 正面左側から1200、1017.5、1280、1000
3.0間	6425	5645	935	935	4: 正面左側から1590、1790、1250、1380	3	935	4: 正面左側から1200、1247.5、1490、1500

1. (つづき)

1-9 樹の木皿基礎伏図(フラットデッキ仕様の場合)：サイドスルーの場合

(1) 基本仕様 1.0間、1.5間

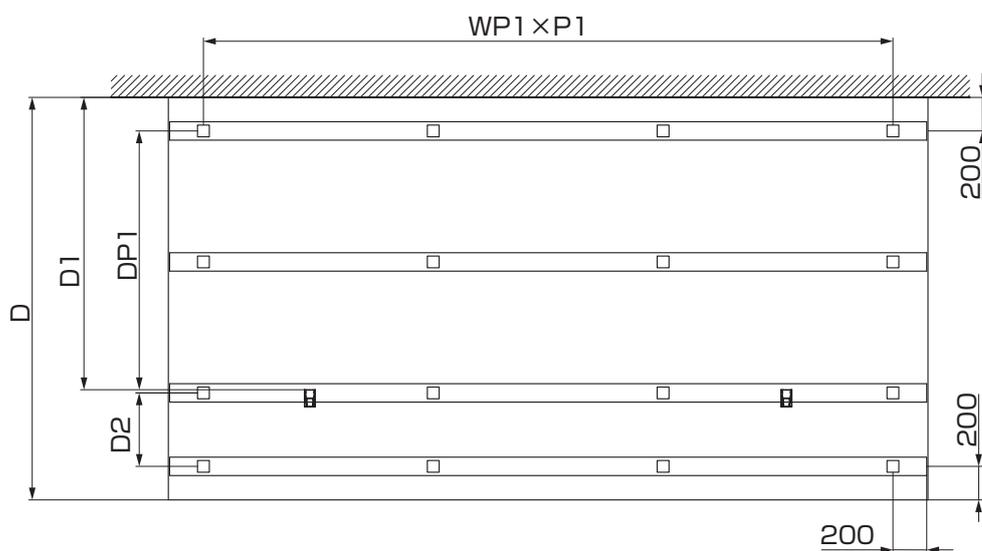


図1-20

表1-20 出幅寸法

	D	D1	D2	DP1(ピッチ)
4尺	1800	1143	438	2：躯体側から481、481
6尺	2400	1743	438	2：躯体側から781、781
8尺	2900	2343	339	3：躯体側から720、720、721

表1-21 間口寸法

	WP1(ピッチ)	P1
1.0間	2	1590
1.5間	3	1360

ポイント

- ベース材の下に大引がくるようにしてください。

(2) 基本仕様 2.0間~3.0間

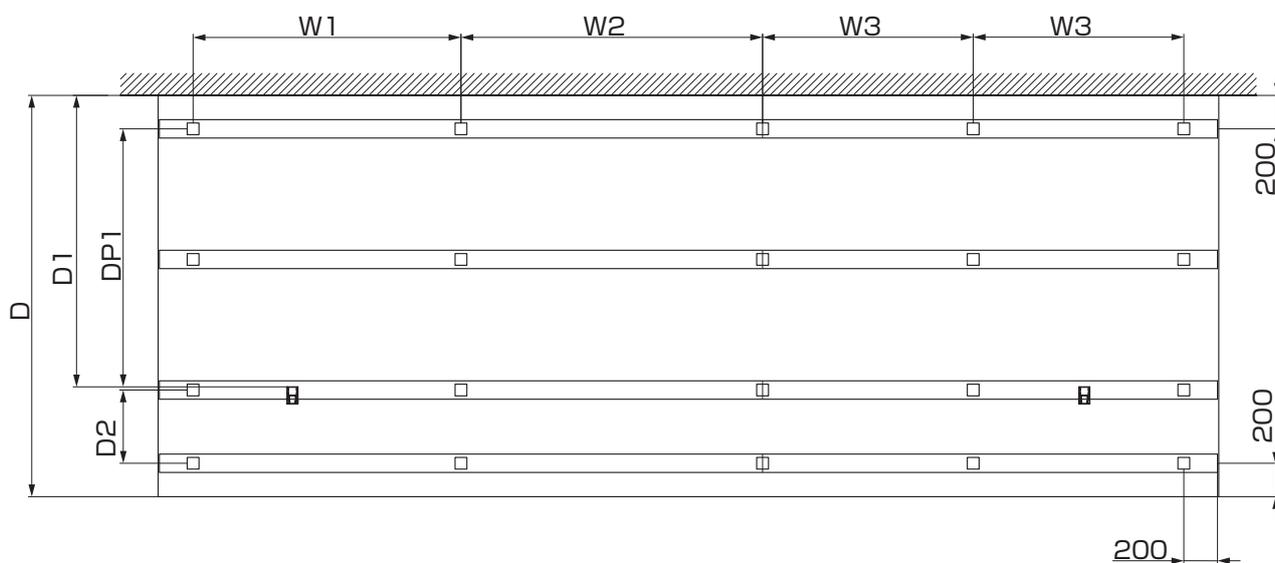


図1-21

表1-22 出幅寸法

	D	D1	D2	DP1(ピッチ)
4尺	1800	1143	438	2: 躯体側から481、481
6尺	2400	1743	438	2: 躯体側から781、781
8尺	2900	2343	339	3: 躯体側から720、720、721

表1-23 間口寸法

	W1	W2	W3
2.0間	1140	1340	1250
2.5間	1590	1790	1250
3.0間	1590	1790	1700

ポイント

- ベース材の下に大引がくるようにしてください。

1. (つづき)

1-9 つづき

(3) 入隅仕様 1.0間、1.5間 ※図は右入隅の場合を示します。

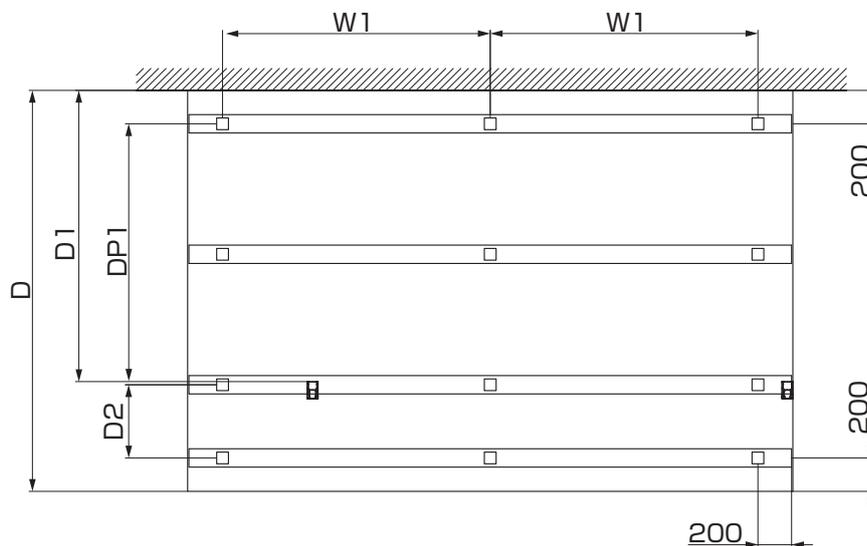


図1-22

表1-24 出幅寸法

	D	D1	D2	DP1 (ピッチ)
4尺	1800	1143	438	2 : 躯体側から481、481
6尺	2400	1743	438	2 : 躯体側から781、781
8尺	2900	2343	339	3 : 躯体側から720、720、721

表1-25 間口寸法

	W1
1.0間	1140
1.5間	1590

ポイント

- ベース材の下に大引がくるようにしてください。

(4) 入隅仕様 2.0間～3.0間 ※図は右入隅の場合を示します。

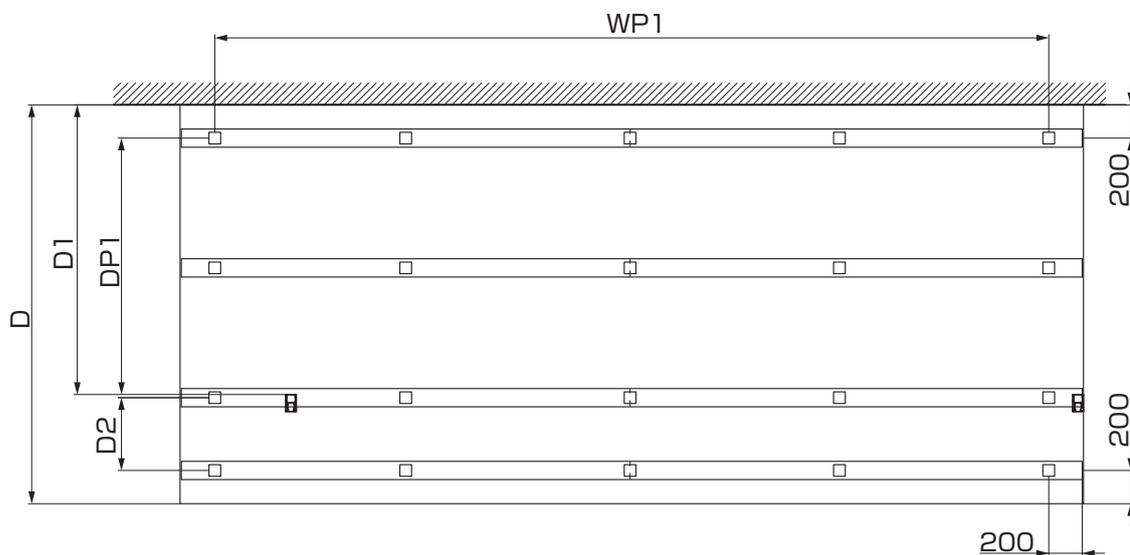


図1-23

表1-26 出幅寸法

	D	D1	D2	DP1(ピッチ)
4尺	1800	1143	438	2: 躯体側から481、481
6尺	2400	1743	438	2: 躯体側から781、781
8尺	2900	2343	339	3: 躯体側から720、720、721

表1-27 間口寸法

	WP1(ピッチ)
2.0間	3: 正面左側から 1360、1360、1360
2.5間	4: 正面左側から 1140、1340、1250、1250
3.0間	4: 正面左側から 1590、1790、1250、1250

ポイント

- ベース材の下に大引がくるようにしてください。

1. (つづき)

1-10 ウェスタン・レッドシダー、イペセレクト基礎伏図 (内面立上げ仕様の場合)

(1) 基本仕様 1.0間、1.5間

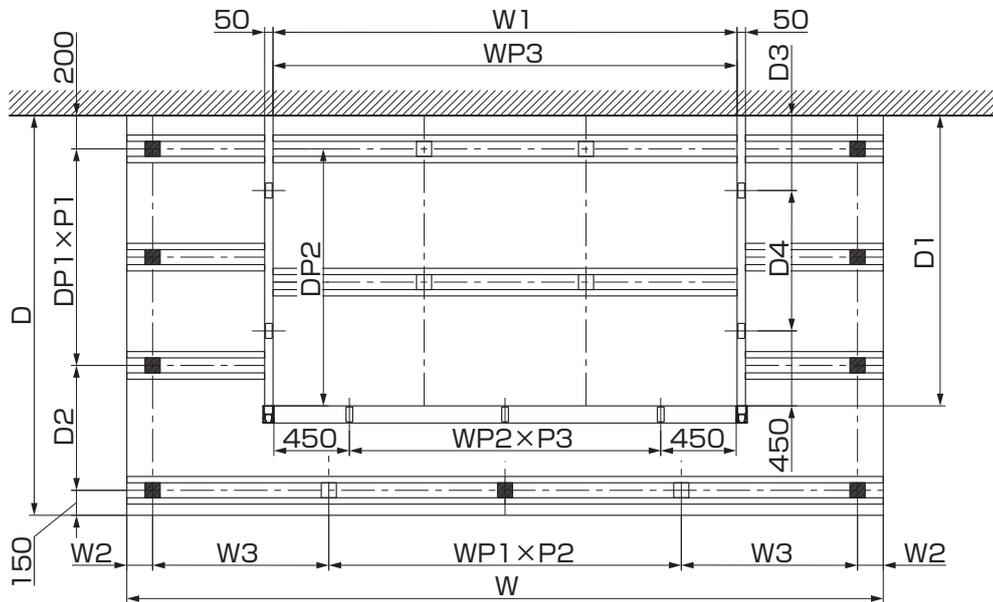


図1-24

表1-30 出幅寸法

	D	D1	D2	DP1(ピッチ)	P1	D3	D4	DP2(ピッチ)
4尺	1800	1143	750	1	700	200	493	2: 射体側から 493、450
6尺	2400	1743	750	2	650	450	843	2: 射体側から 800、743
8尺	2900	2343	600	3	650	450	※1	3: 射体側から 750、750、643

※1) 8尺のみピッチ数2: 射体側から700、743

表1-31 間口寸法

	W	W1	W2	W3	WP1(ピッチ)	P2	WP2(ピッチ)	P3	WP3(ピッチ)
1.0間	3520	1825	130.5	1029.5	1	1200	1	915	2: 正面左側から 912.5、912.5
1.5間	4507	2765	153.5	1050	2	1050	2	927.5	3: 正面左側から 900、965、900

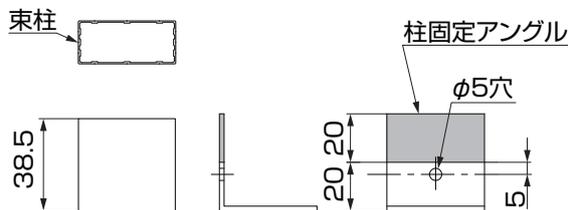


図1-25 <イペセレクトの場合>

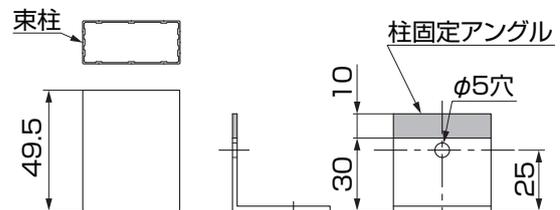


図1-26 <ウェスタン・レッドシダーの場合>

ポイント

- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。
- 大引き仕様の場合は、上図を参照して束柱、柱固定アングルを加工してください。

(2) 基本仕様 2.0間～3.0間

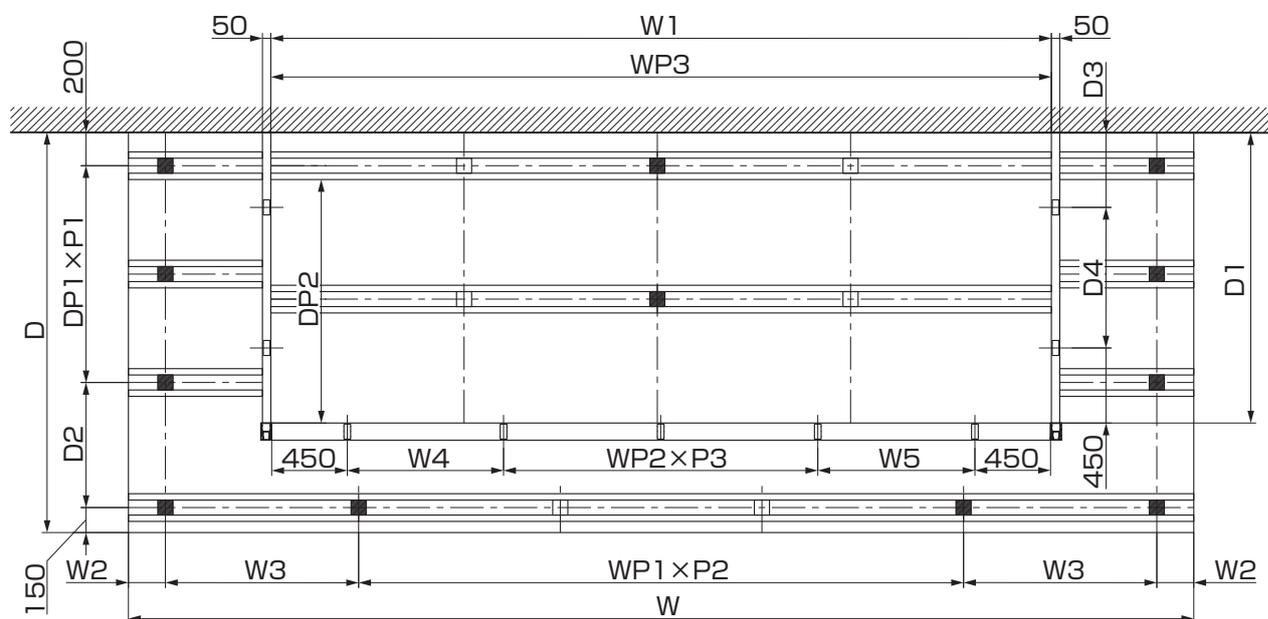


図1-27

表1-32 出幅寸法

	D	D1	D2	DP1(ピッチ)	P1	D3	D4	DP2(ピッチ)
4尺	1800	1143	750	1	700	200	493	2: 射体側から 493、450
6尺	2400	1743	750	2	650	450	843	2: 射体側から 800、743
8尺	2900	2343	600	3	650	450	※1	3: 射体側から 750、750、643

※1) 8尺のみピッチ数2: 射体側から700、743

表1-33 間口寸法

	W	W1	W2	W3	WP1(ピッチ)	P2	W4	W5	WP2(ピッチ)	P3	WP3(ピッチ)
2.0間	5353	3705	276.5	1200	2	1200	935	930	1	930	4: 正面左側から 900、900、900、1005
2.5間	6340	4645	220	1150	3	1200	930	935	2	935	4: 正面左側から 1150、1150、1150、1195
3.0間	7045	5585	193	929.5	4	1200	935	935	3	935	6: 正面左側から 900、900、900、950、950、985

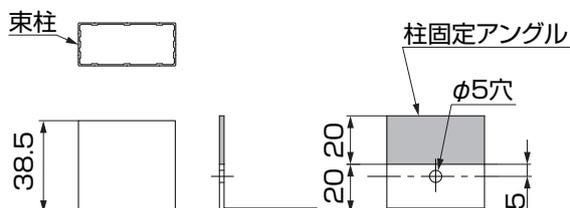


図1-28 <イペレクトの場合>

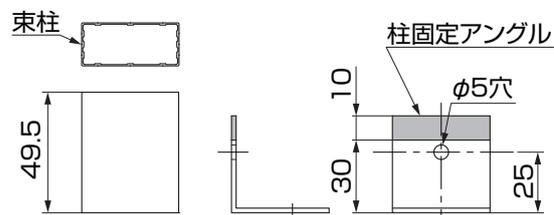


図1-29 <ウェスタン・レッドシダーの場合>

ポイント

- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。
- 大引き仕様の場合は、上図を参照して束柱、柱固定アングルを加工してください。

1. (つづき)

1-10 つづき

(3) 入隅仕様 1.0間、1.5間 ※図は右入隅の場合を示します。

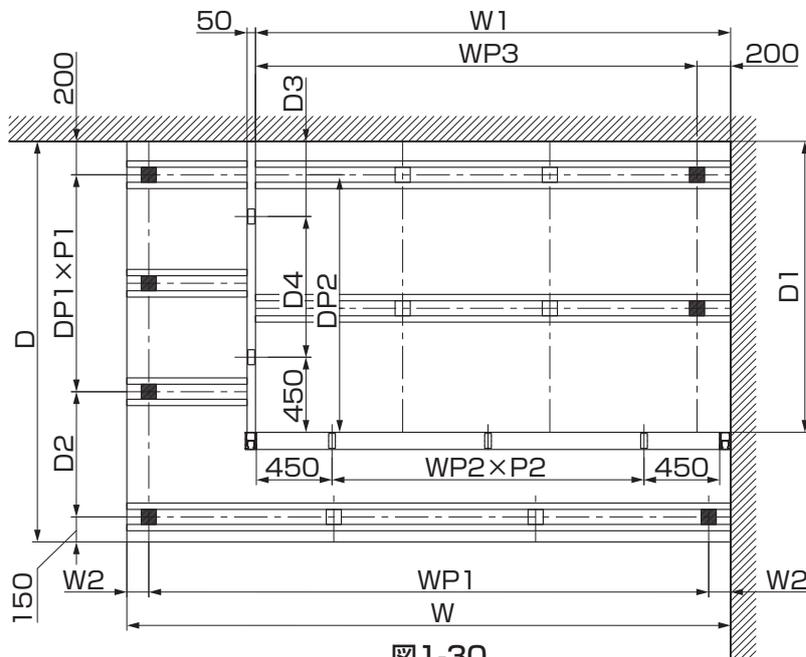


図1-30

表1-34 出幅寸法

	D	D1	D2	DP1(ピッチ)	P1	D3	D4	DP2(ピッチ)
4尺	1800	1143	750	1	700	200	493	2: 射体側から 493、450
6尺	2400	1743	750	2	650	450	843	2: 射体側から 800、743
8尺	2900	2343	600	3	650	450	※1	3: 射体側から 750、750、643

※1) 8尺のみピッチ数2: 射体側から700、743

表1-35 間口寸法

	W	W1	W2	WP1(ピッチ)	WP2(ピッチ)	P2	WP3(ピッチ)
1.0間	2650	1885	137	2: 正面左側から 1200、1176	1	915	2: 正面左側から 835、850
1.5間	3590	2825	130.5	3: 正面左側から 1100、1200、1029	2	927.5	3: 正面左側から 875、875、875

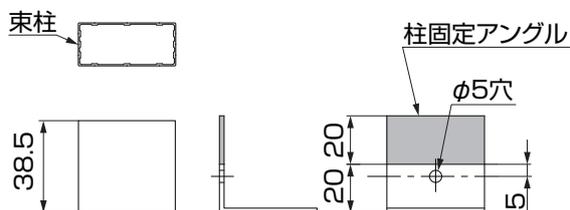


図1-31 <イペセレクトの場合>

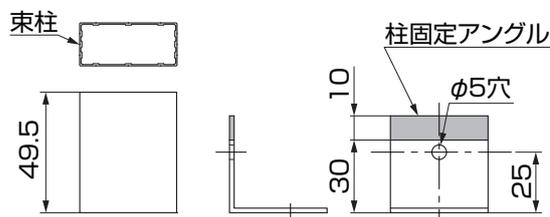


図1-32 <ウェスタン・レッドシダーの場合>

ポイント

- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。
- 大引き仕様の場合は、上図を参照して束柱、柱固定アングルを加工してください。

(4) 入隅仕様 2.0間～3.0間 ※図は右入隅の場合を示します。

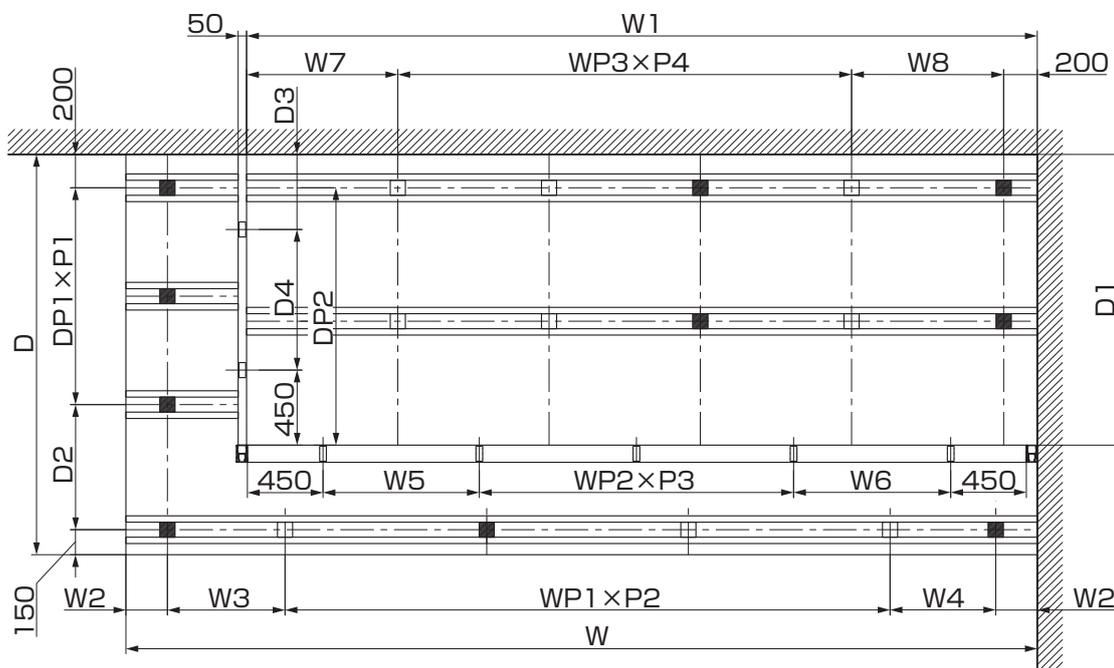


図1-33

表1-36 出幅寸法

	D	D1	D2	DP1(ピッチ)	P1	D3	D4	DP2(ピッチ)
4尺	1800	1143	750	1	700	200	493	2: 射体側から 493、450
6尺	2400	1743	750	2	650	450	843	2: 射体側から 800、743
8尺	2900	2343	600	3	650	450	※1	3: 射体側から 750、750、643

※1) 8尺のみピッチ数2: 射体側から700、743

表1-37 間口寸法

	W	W1	W2	W3	W4	WP1(ピッチ)	P2	W5	W6	WP2(ピッチ)	P3	W7	W8	WP3(ピッチ)	P4
2.0間	4459	3765	203.5	850	802	2	1200	935	930	1	930	900	865	2	900
2.5間	5423	4705	247	700	629	3	1200	930	935	2	935	900	905	3	900
3.0間	6410	5645	220	1185	1185	3	1200	935	935	3	935	1045	1100	3	1100

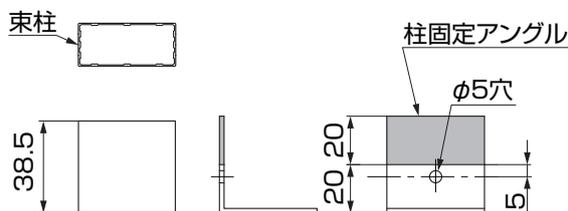


図1-34 <イペレクトの場合>

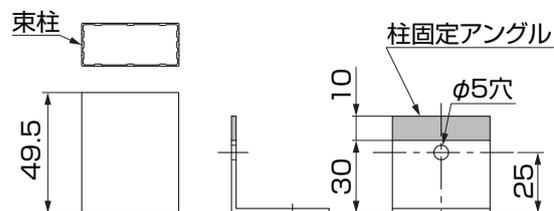


図1-35 <ウェスタン・レッドシダーの場合>

ポイント

- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。
- 大引き仕様の場合は、上図を参照して束柱、柱固定アングルを加工してください。

1. (つづき)

1-11 ウェスタン・レッドシダー、イペセレクト基礎伏図 (フラットデッキ仕様の場合) : サイドスルーの場合 (1) 基本仕様 1.0間、1.5間

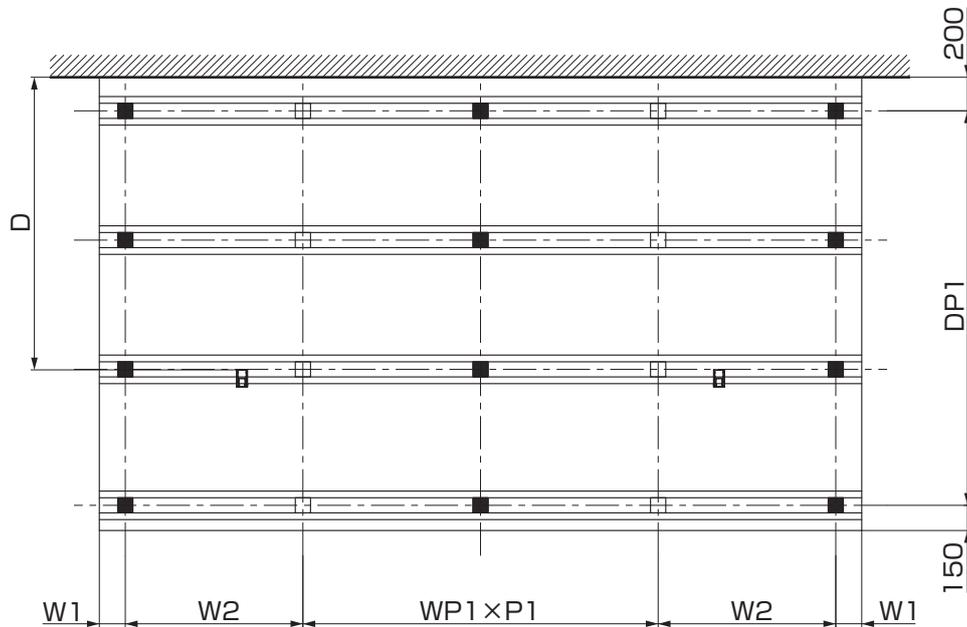


図1-36

表1-38 出幅寸法

	D	DP1 (ピッチ)
4尺	1143	2 : 射体側から 940、510
6尺	1743	3 : 射体側から 770、770、810
8尺	2343	4 : 射体側から 720、720、700、410

表1-39 間口寸法

	W1	W2	WP1 (ピッチ)	P1
1.0間	130.5	1100	1	1200
1.5間	153.5	1050	2	1050

ポイント

- ベース材の下に大引がくるようにしてください。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。

(2) 基本仕様 2.0間～3.0間

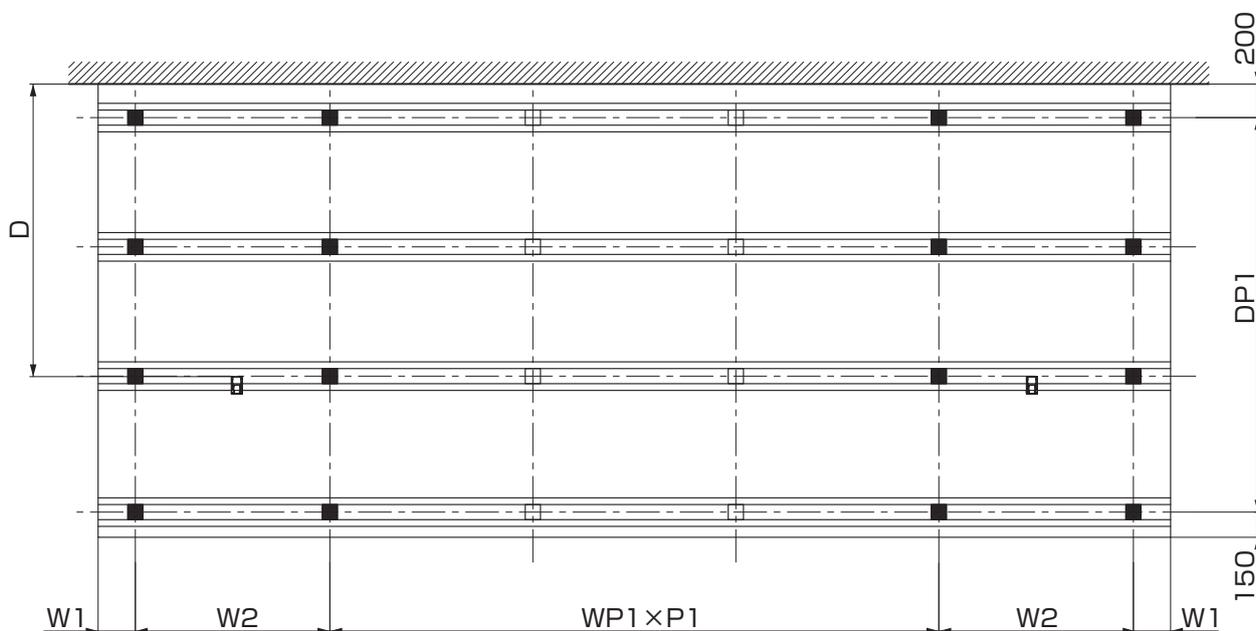


図1-37

表1-40 出幅寸法

	D	DP1 (ピッチ)
4尺	1143	2 : 射体側から 940、510
6尺	1743	3 : 射体側から 770、770、810
8尺	2343	4 : 射体側から 720、720、700、410

表1-41 間口寸法

	W1	W2	WP1 (ピッチ)	P1
2.0間	276.5	1200	2	1200
2.5間	220	1150	3	1200
3.0間	193	1000	4	1200

ポイント

- ベース材の下に大引がくるようにしてください。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。

1. (つづき)

1-11 つづき

(3) 入隅仕様 1.0間、1.5間 ※図は右入隅の場合を示します。

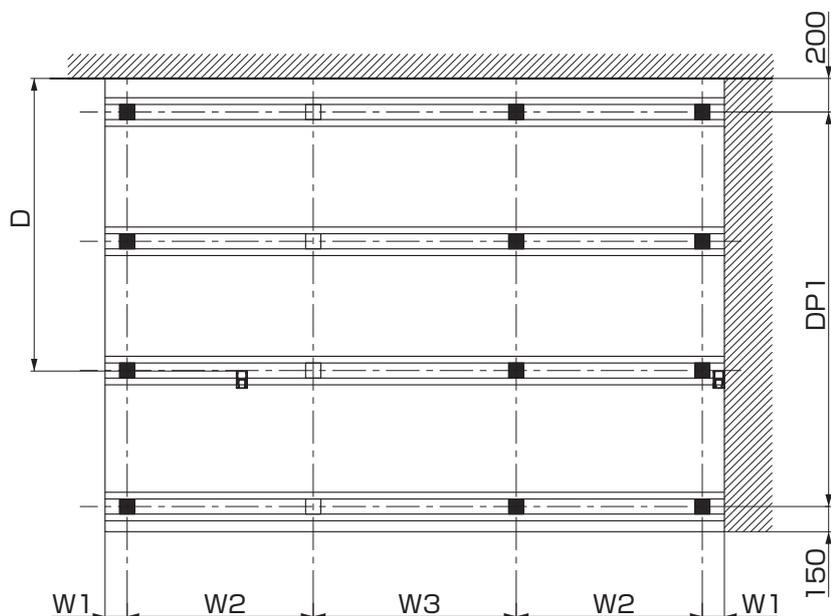


図1-38

表1-42 出幅寸法

	D	DP1 (ピッチ)
4尺	1143	2: 射体側から 940、510
6尺	1743	3: 射体側から 770、770、810
8尺	2343	4: 射体側から 720、720、700、410

表1-43 間口寸法

	W1	W2	W3
1.0間	137	1200	0
1.5間	130.5	1100	1200

ポイント

- ベース材の下に大引がくるようにしてください。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。

(4) 入隅仕様 2.0間～3.0間 ※図は右入隅の場合を示します。

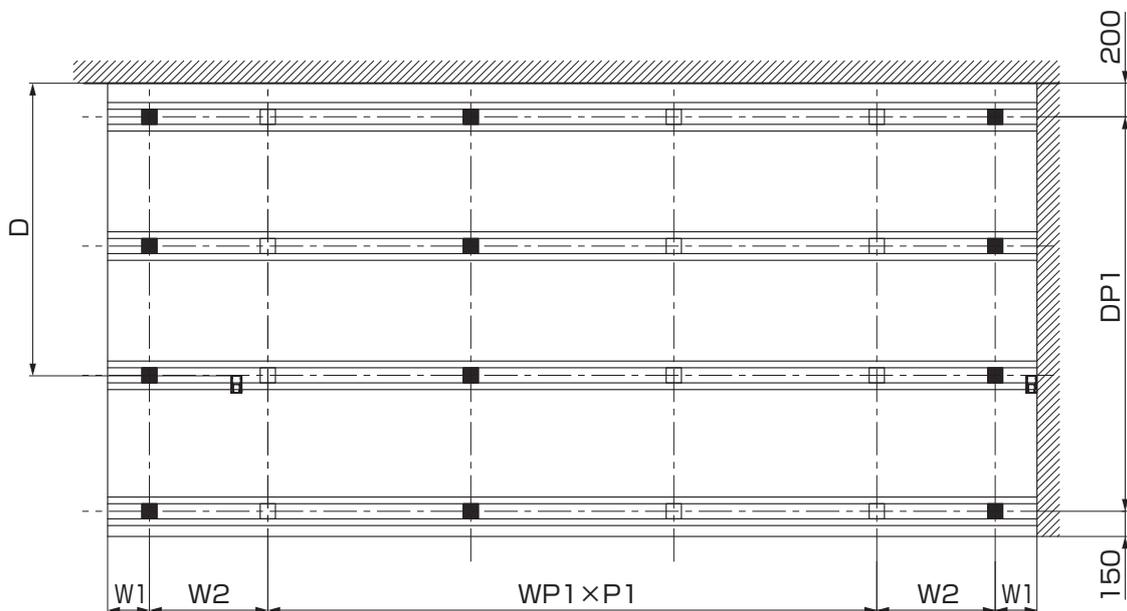


図1-39

表1-44 出幅寸法

	D	DP1 (ピッチ)
4尺	1143	2 : 射体側から 940、510
6尺	1743	3 : 射体側から 770、770、810
8尺	2343	4 : 射体側から 720、720、700、410

表1-45 間口寸法

	W1	W2	WP1 (ピッチ)	P1
2.0間	203.5	850	2	1200
2.5間	247	700	3	1200
3.0間	220	1150	3	1200

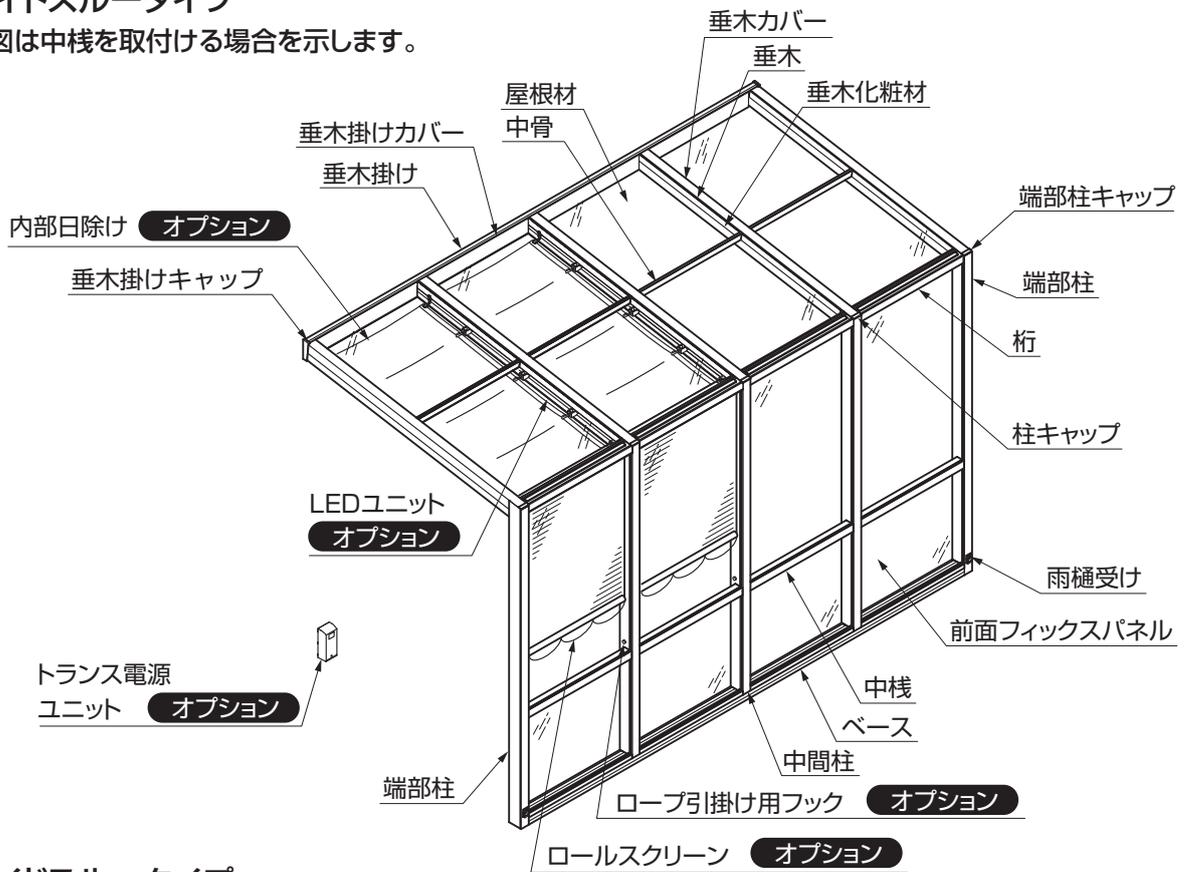
ポイント

- ベース材の下に大引がくるようにしてください。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。

2. 各部名称 ※積雪仕様の場合は1スパンあたりの中骨の本数が倍になります。

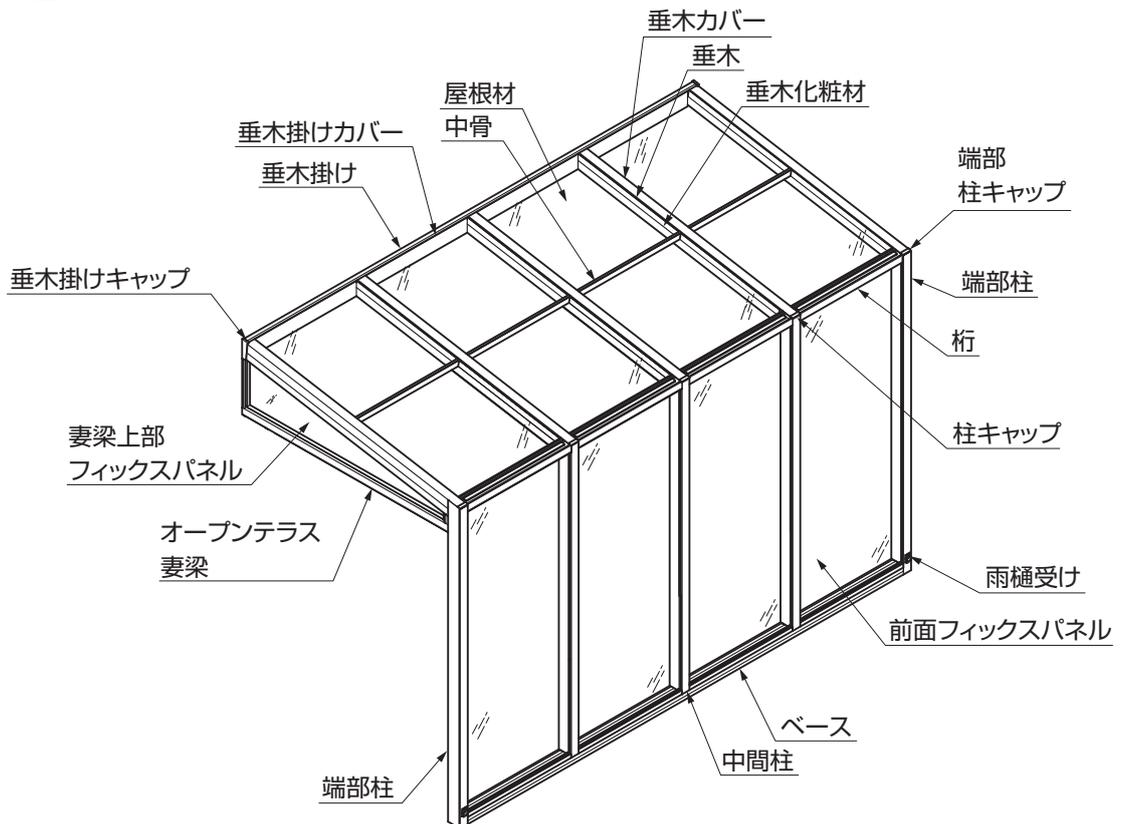
2-1 サイドスルータイプ

※図は中棧を取付ける場合を示します。



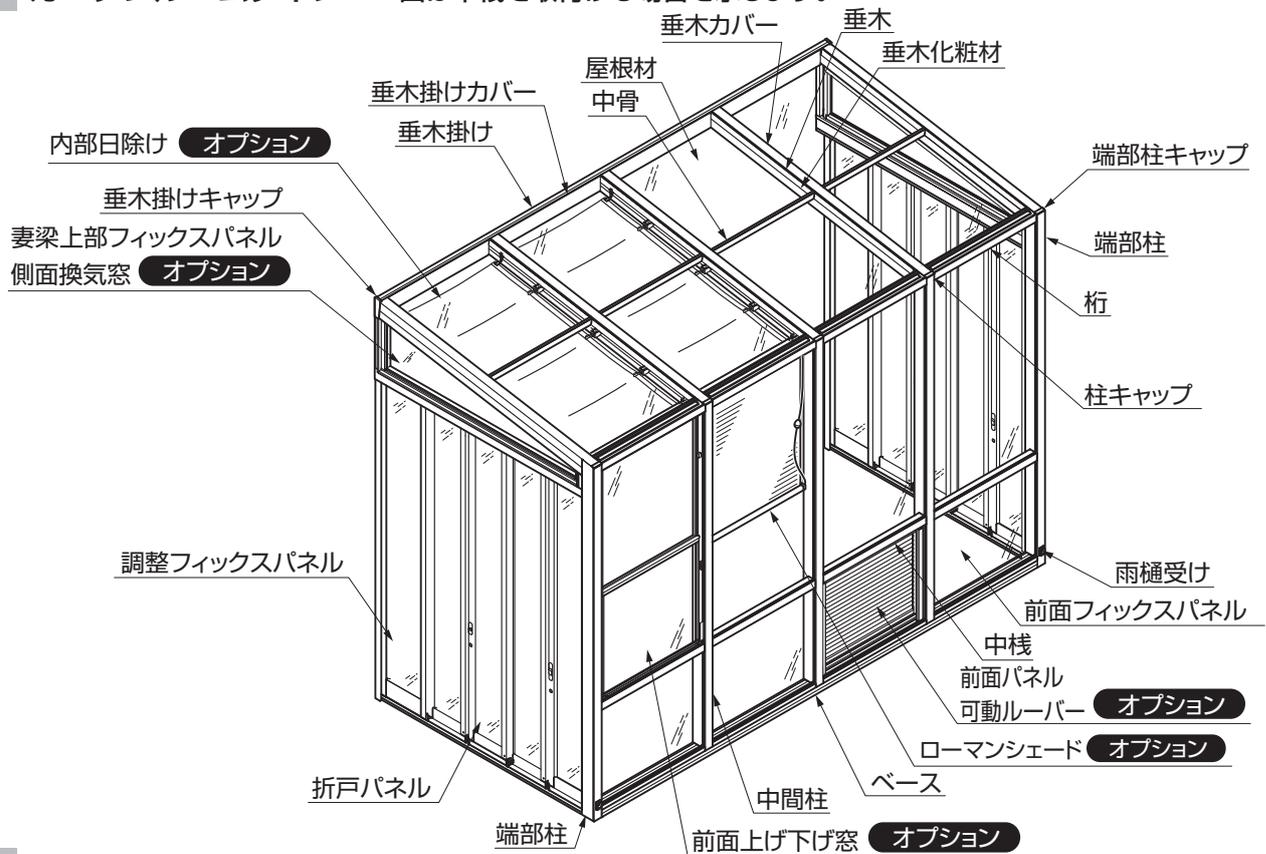
2-2 サイドスルータイプ

※図は妻梁上部フィックスパネルを取付けた場合を示します。

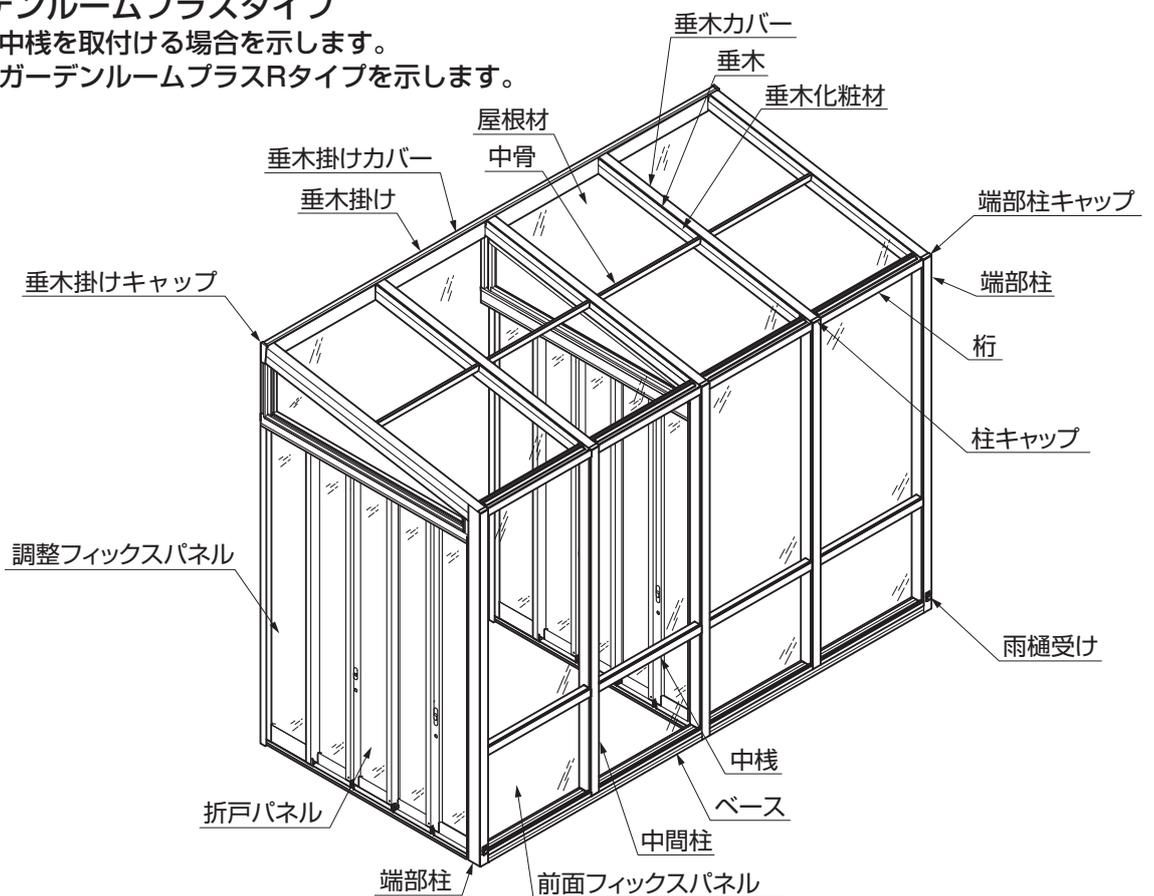


3 基本寸法と各部名称

2-3 ガーデンルームタイプ ※図は中棧を取付ける場合を示します。

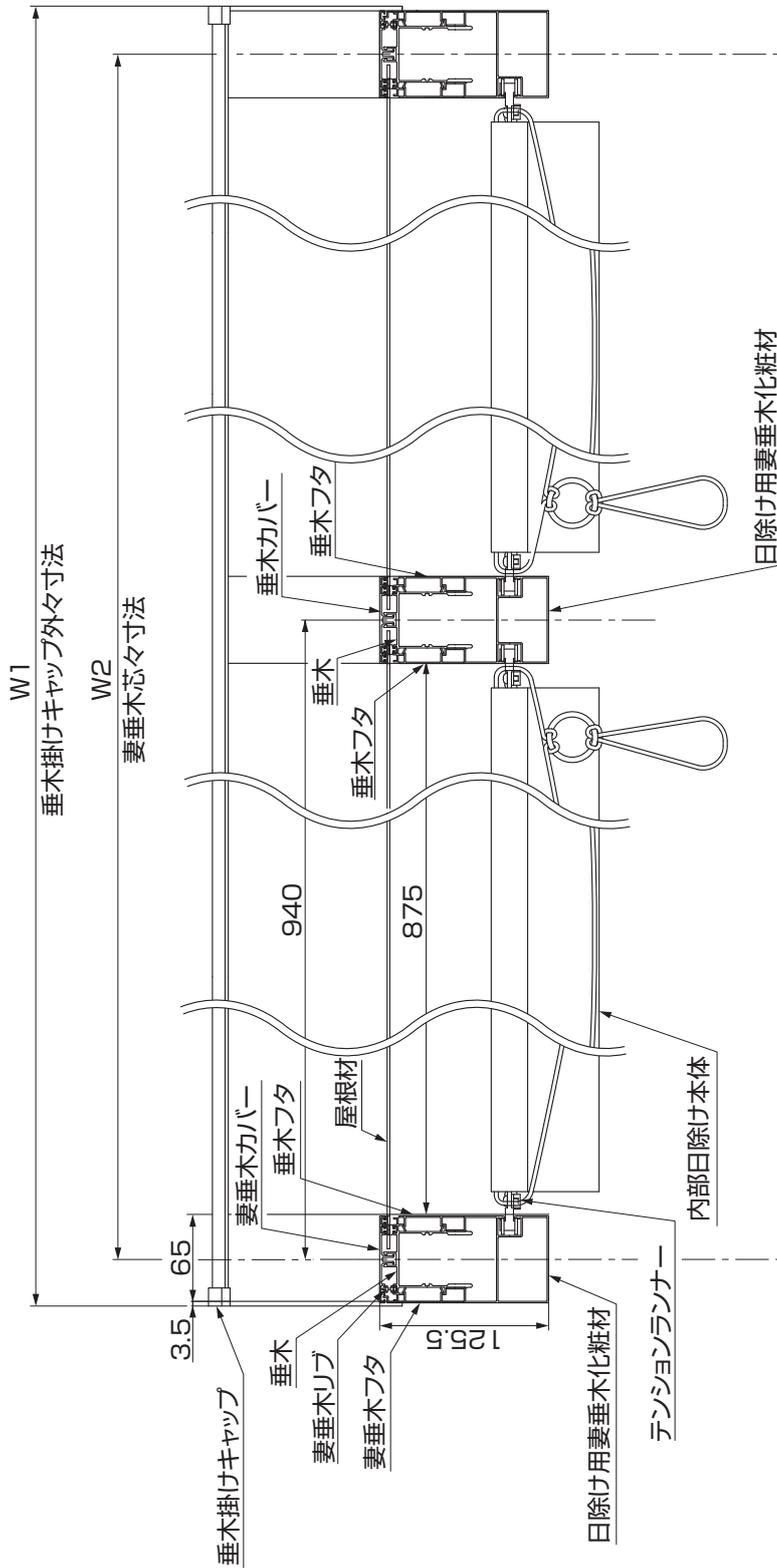


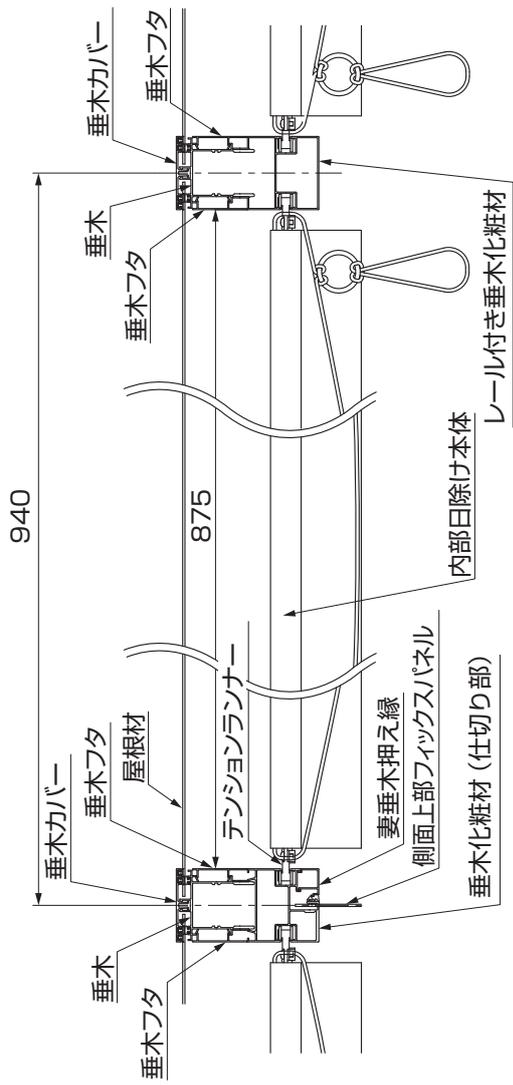
2-4 ガーデンルームプラスタイプ
 ※図は中棧を取付ける場合を示します。
 ※図はガーデンルームプラスRタイプを示します。



3. 断面納まり図

3-1 サイドスルータイプ間口断面納まり図





ガーデングルームブラスの場合

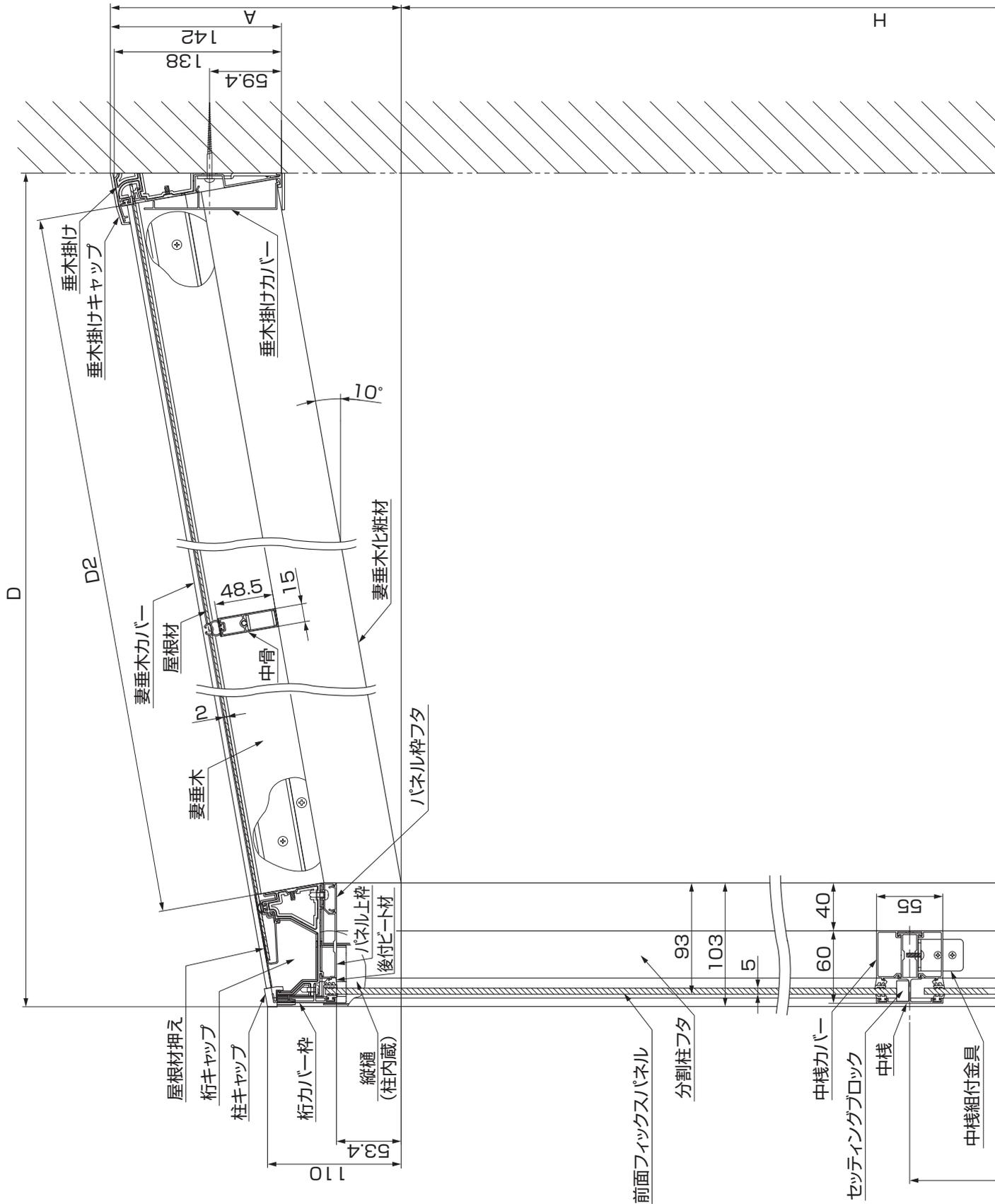
F.L.

表3-1

間口	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
間口寸法					
W1	1952	2892	3832	4772	5712
W2	1880	2820	3760	4700	5640

3. (つづき)

3-2 サイドスルータイプ出幅断面納まり図



3 基本寸法と
各部分名称

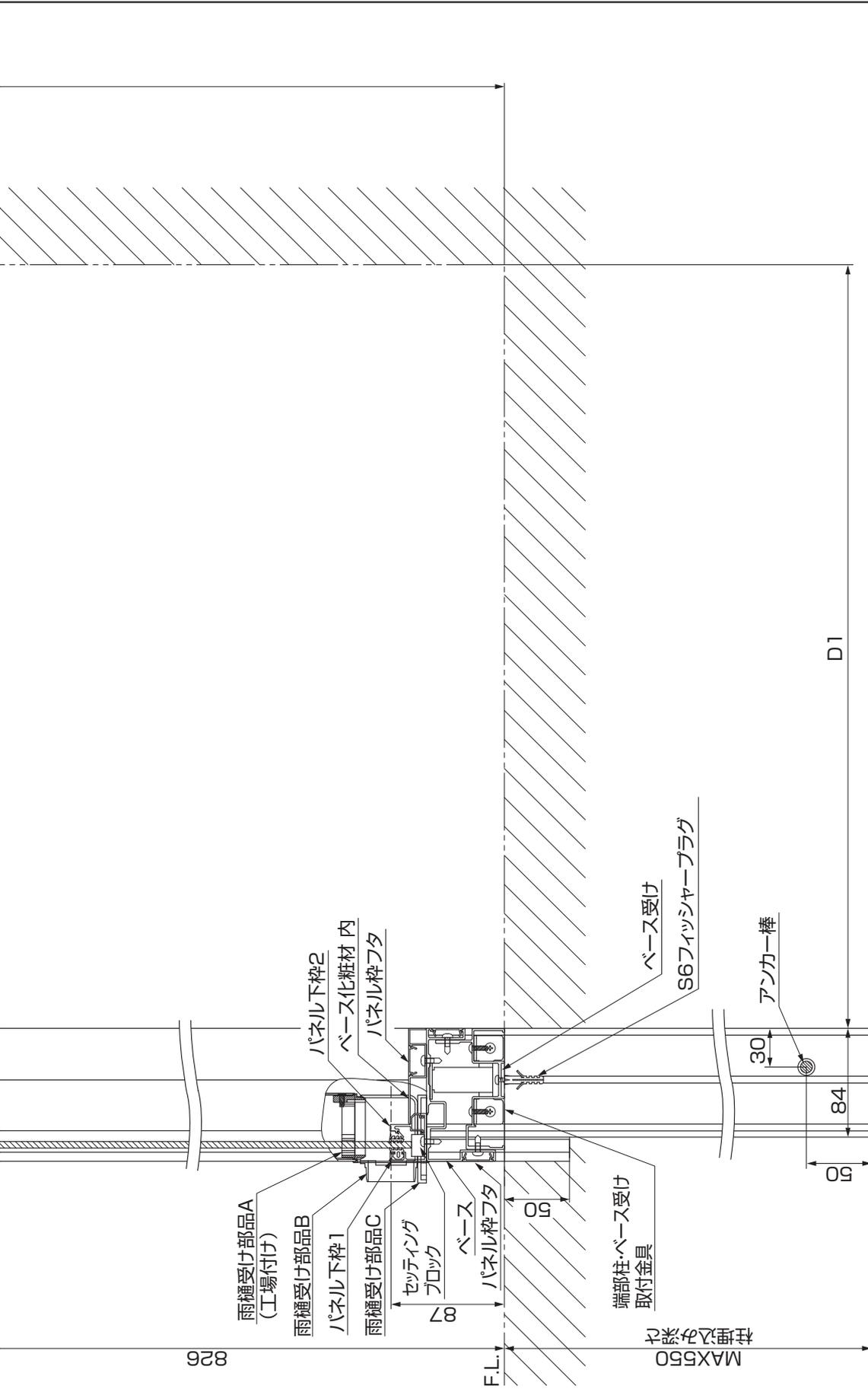


表3-2

高さ呼称	H
H20	2116
H22	2316
H24	2516

表3-3

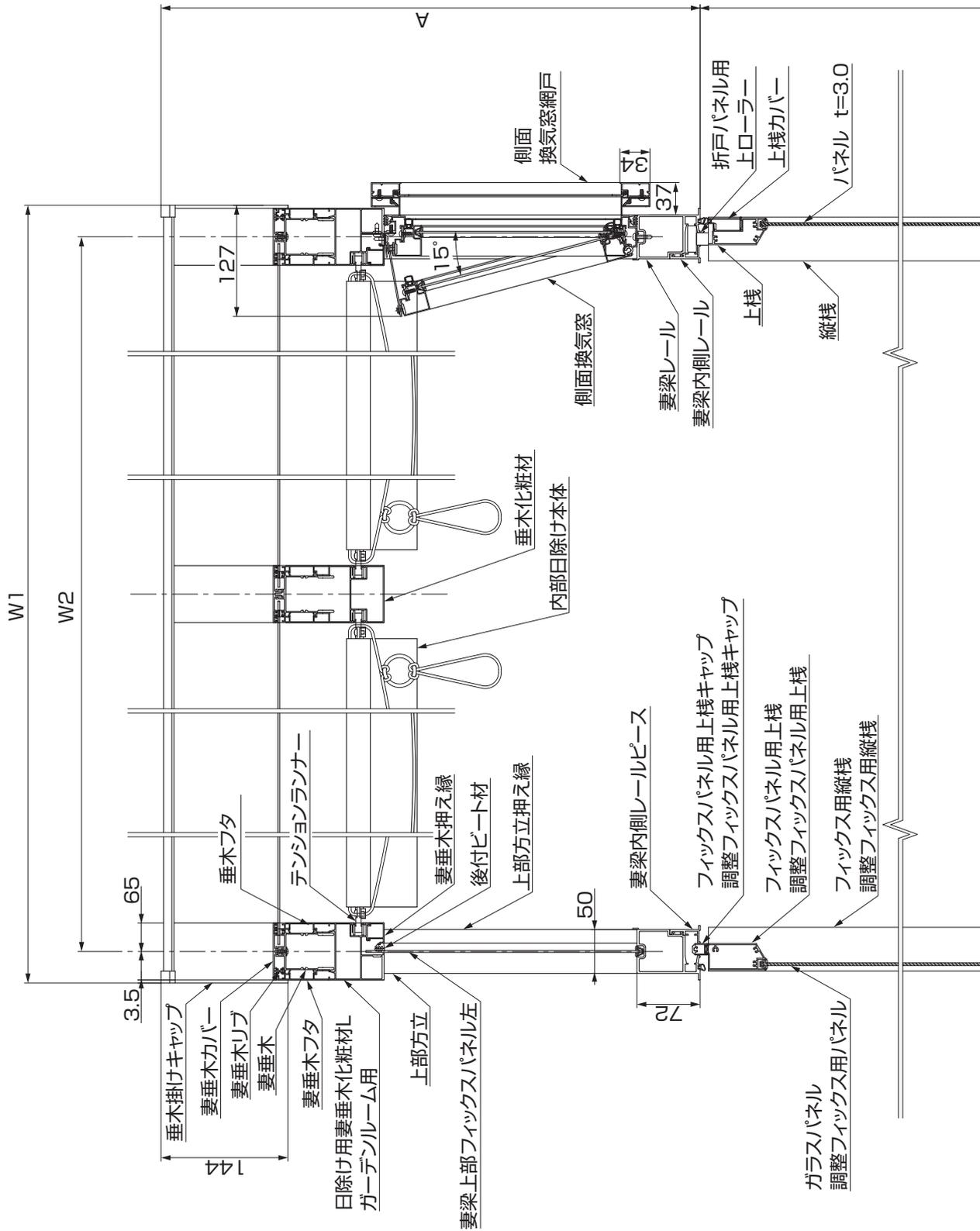
出幅	出幅		
	4尺	6尺	8尺
D	1246	1846	2446
D1	1143	1743	2343
D2	1145	1754	2363

表3-4

高さ寸法	出幅		
	4尺	6尺	8尺
A	337	444	548

3.(つづき)

3-3 ガーデンルームタイプ間口断面納まり図 ※デッキ仕様の場合



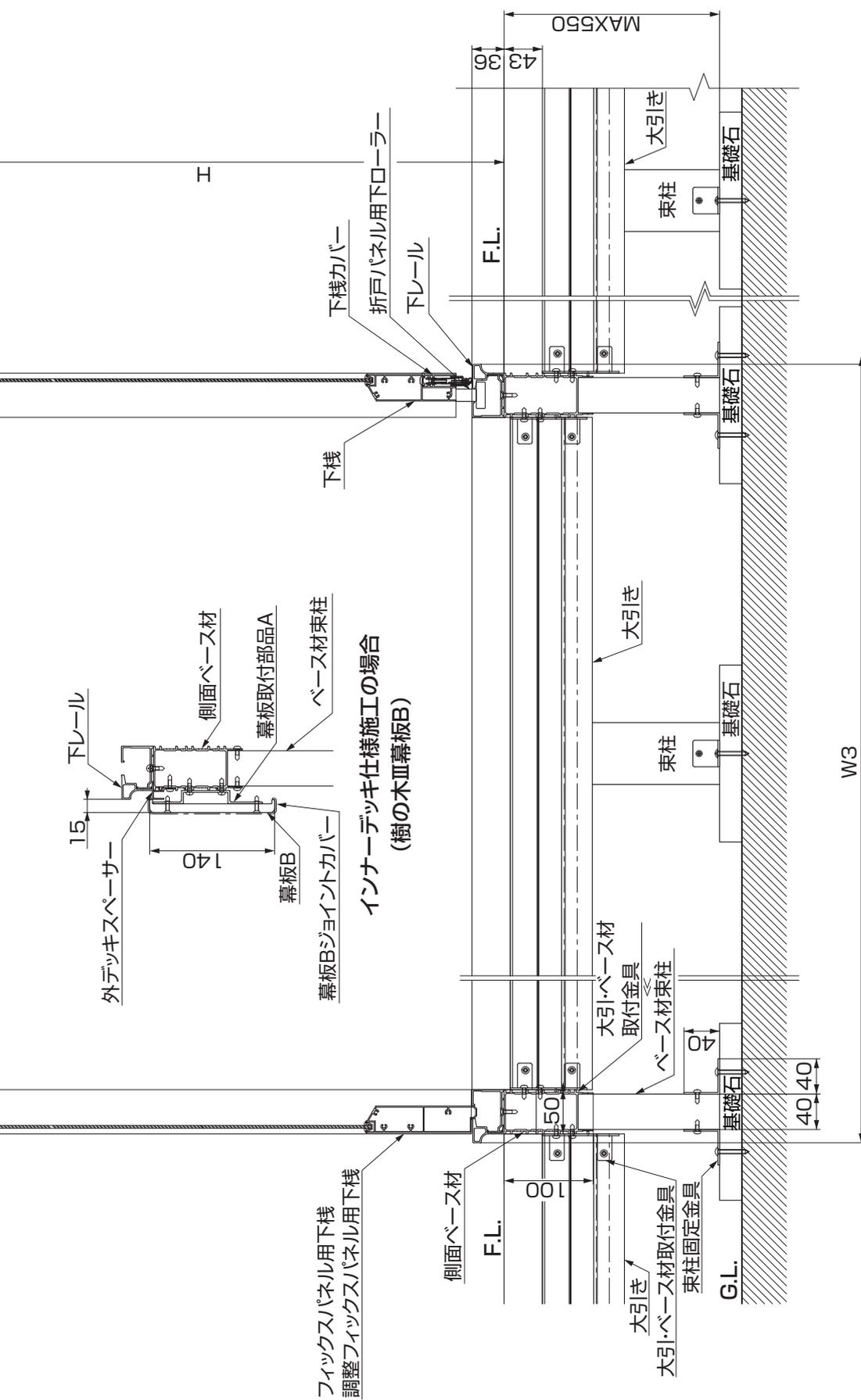


表3-5

高さ呼称	H
H20	1950
H22	2150
H24	2350

表3-6

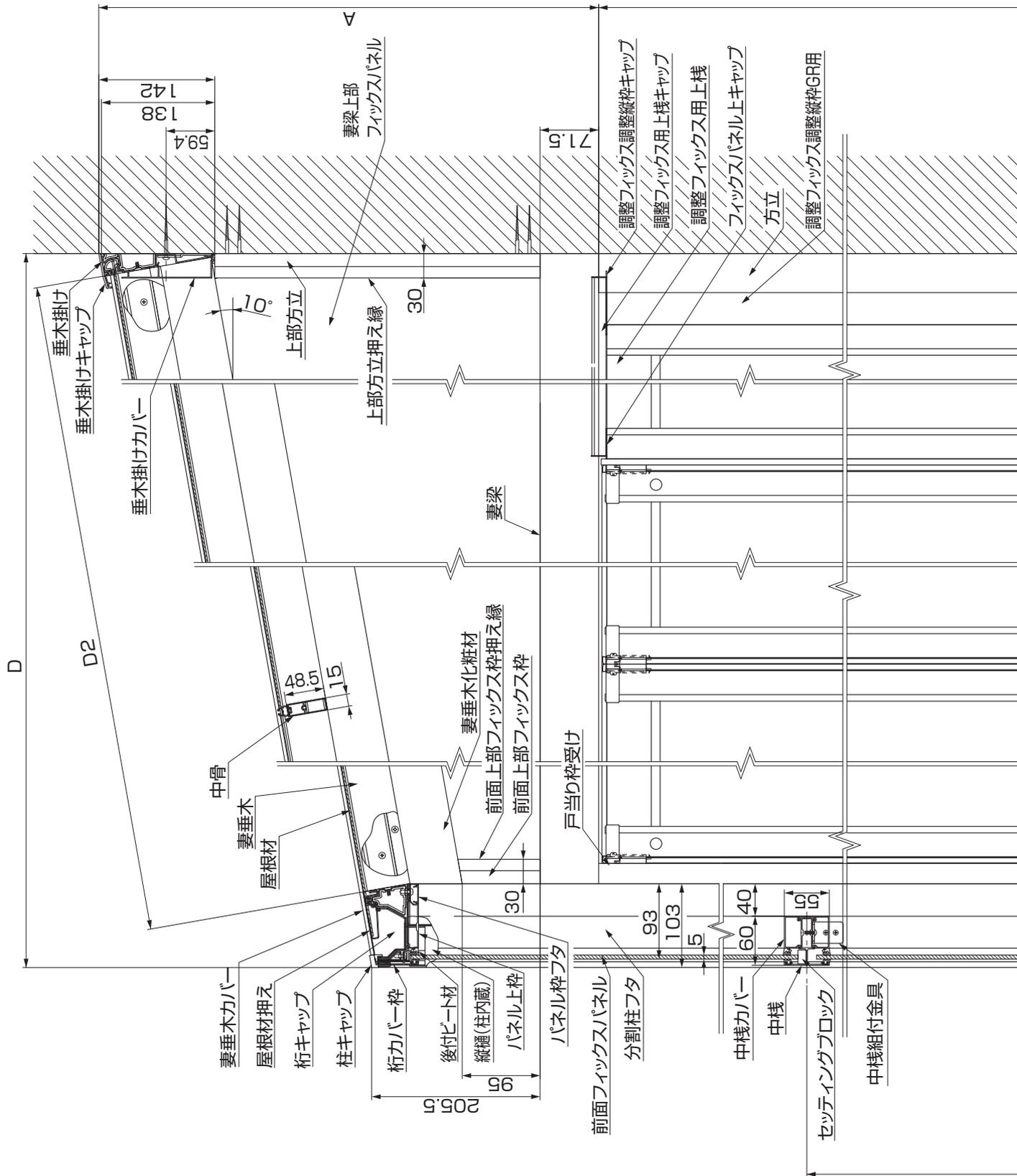
間口寸法	間口				
	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
W1	1952	2892	3832	4772	5712
W2	1880	2820	3760	4700	5640
W3	1945	2885	3825	4765	5705

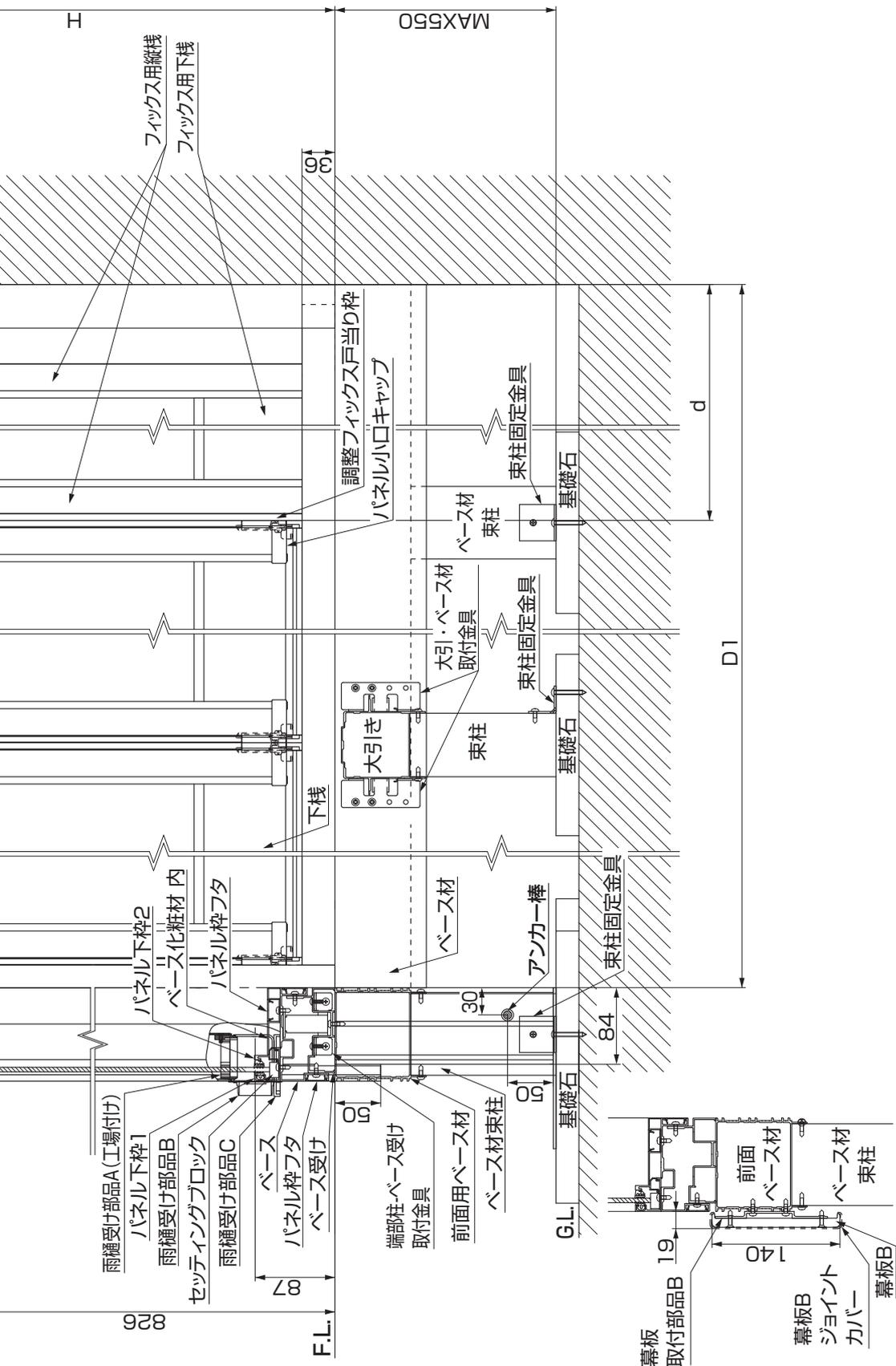
表3-7

高さ寸法	出幅			
	4R	6R	8R	8尺
A	505	610	716	716

3. (つづき)

3-4 ガーデンルームタイプ出幅断面納まり図 ※デッキ仕様の場合





インナーデッキ仕様施工の場合
(樹の木皿幕板B)

表3-8

高さ呼称	H
H20	1950
H22	2150
H24	2350

表3-9

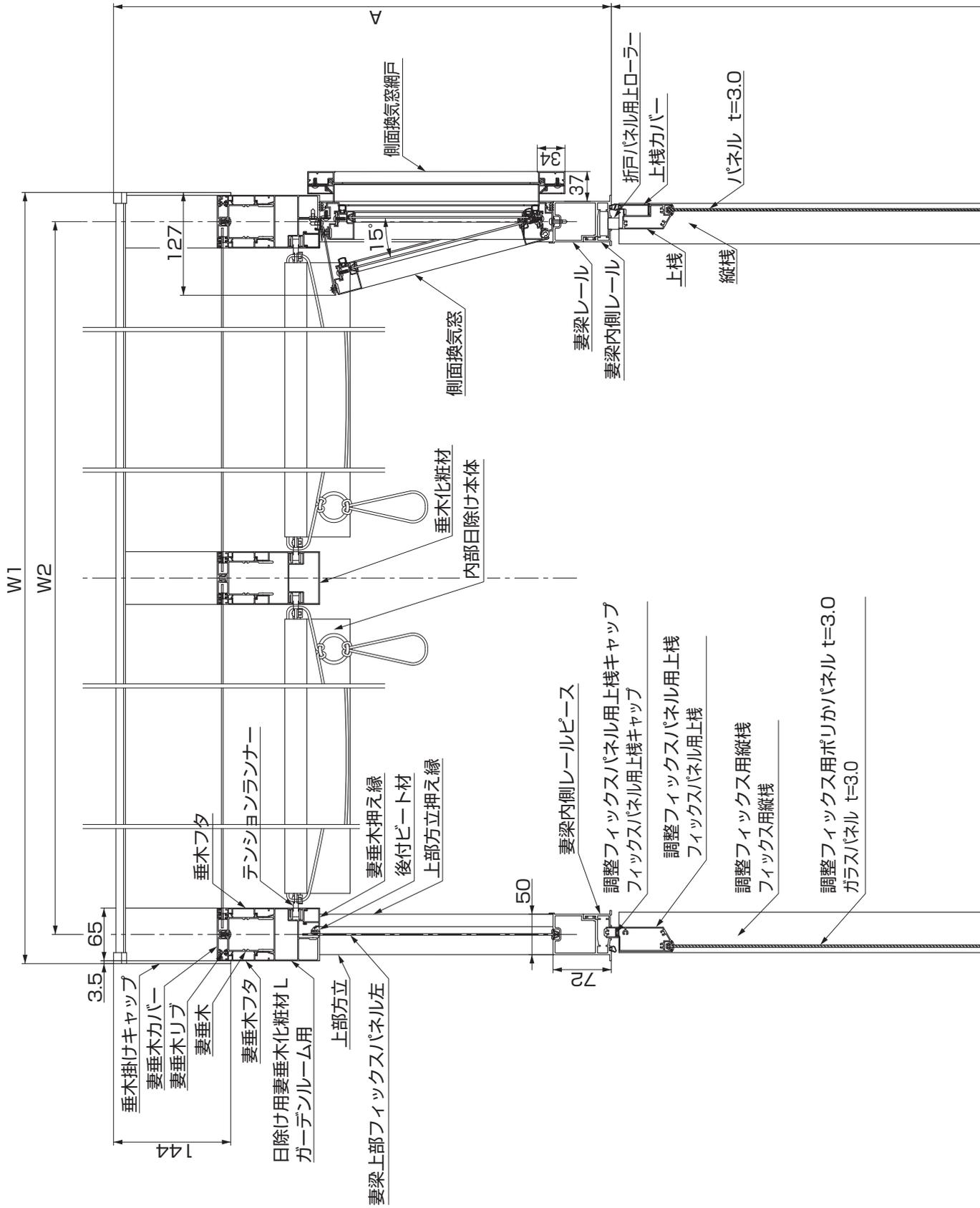
出幅寸法	出幅			
	4R	6R	8R	8R
D	1246	1846	2446	2446
D1	1143	1743	2343	2343
D2	1145	1754	2363	2363
d	326	378	498	498

表3-10

高さ寸法	出幅			
	4R	6R	8R	8R
A	505	610	716	716

3.(つづき)

3-5 ガーデンルームタイプ間口断面納まり図 ※土間仕様の場合



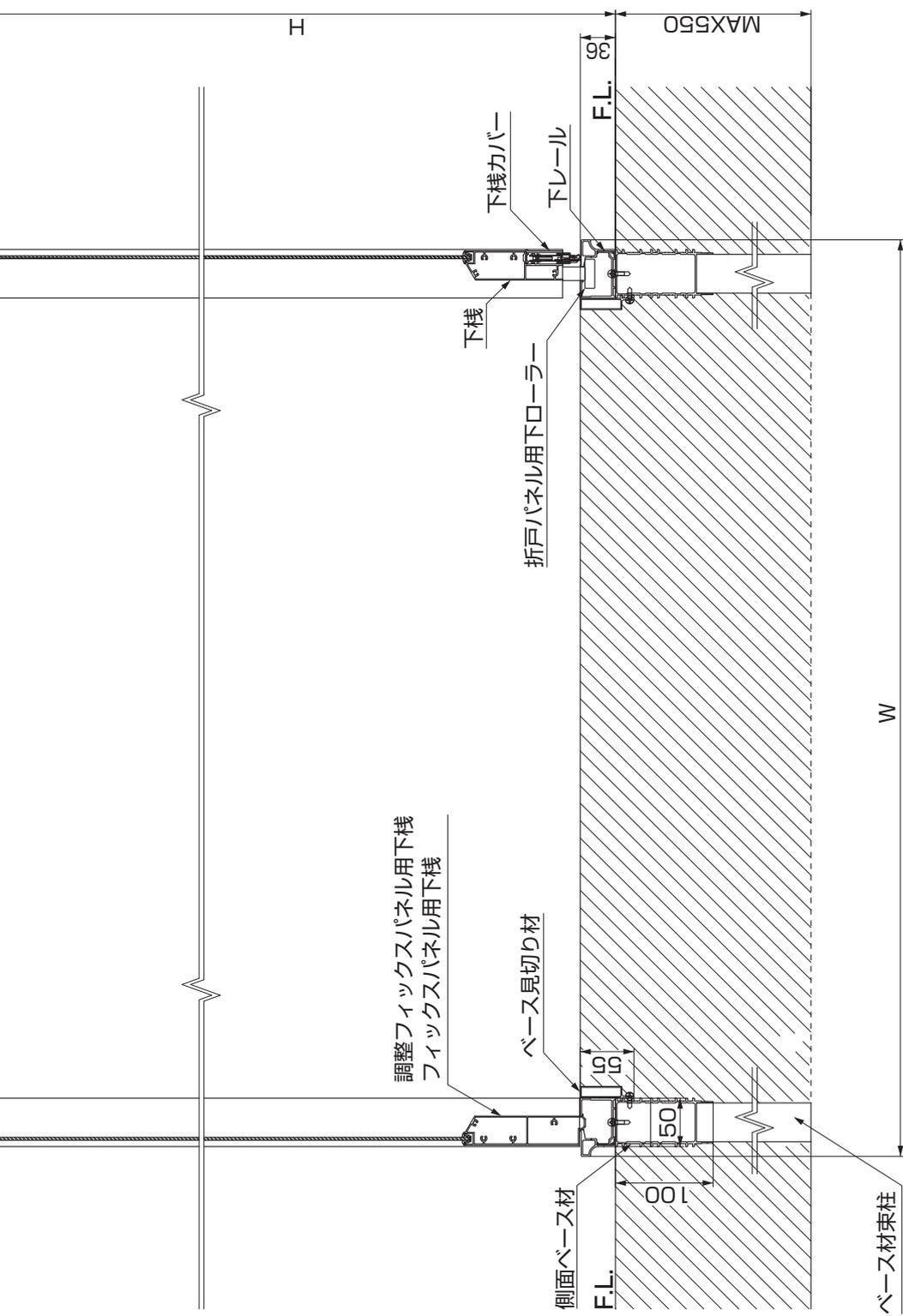


表3-11

高さ呼称	H
H20	1950
H22	2150
H24	2350

表3-12

間口寸法	間口					
	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	
W1	1952	2892	3832	4772	5712	
W2	1880	2820	3760	4700	5640	
W3	1945	2885	3825	4765	5705	

表3-13

高さ寸法	出幅			
	4尺	6尺	8尺	
A	505	610	716	

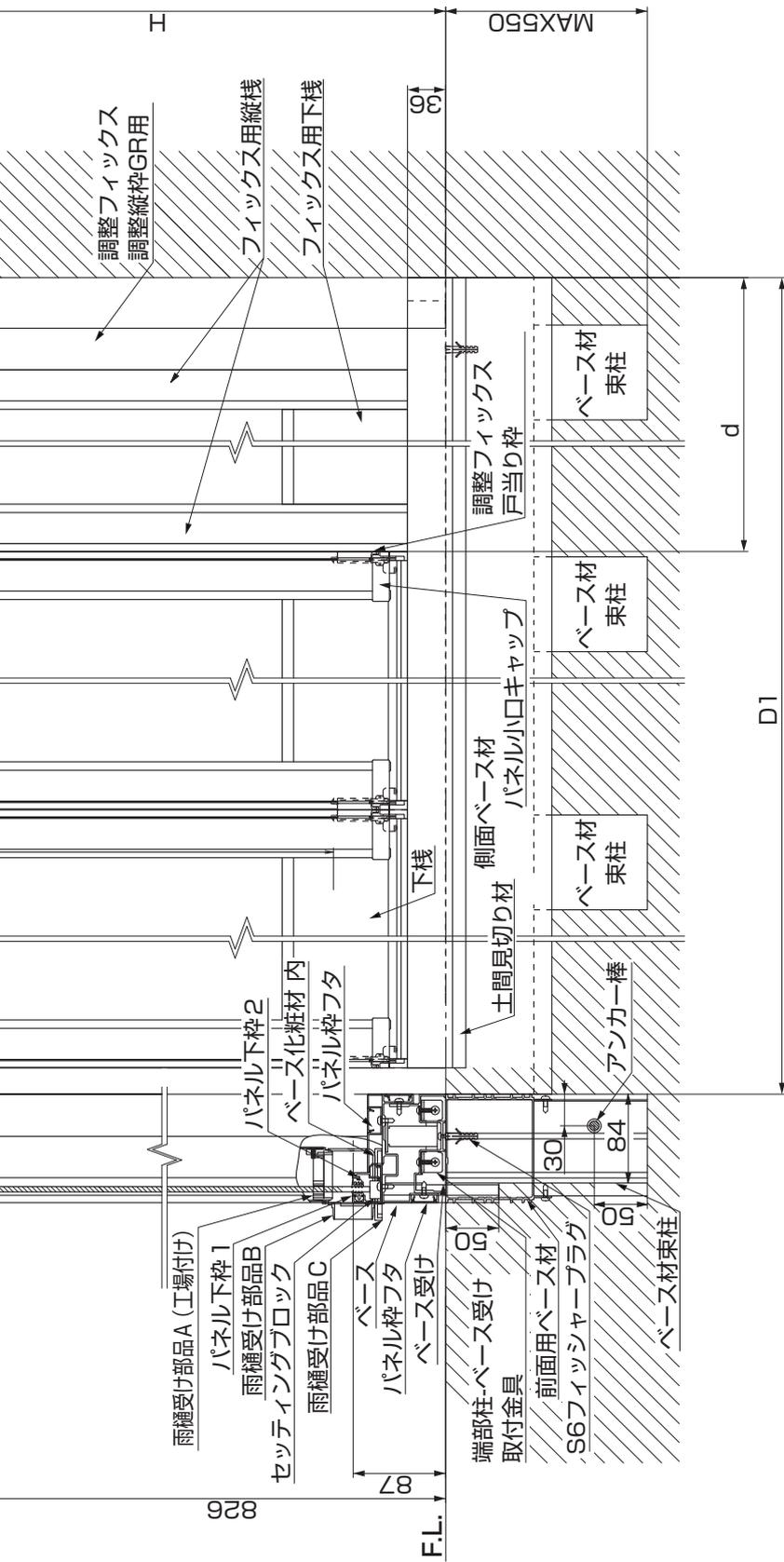


表3-14

高さ呼称	H
H20	1950
H22	2150
H24	2350

表3-15

出幅寸法	出幅			
	4R	6R	8R	8R
D	1246	1846	2446	2446
D1	1143	1743	2343	2343
D2	1145	1754	2363	2363
d	326	378	498	498

表3-16

高さ寸法	出幅			
	4R	6R	8R	8R
A	505	610	716	716

4 柱の位置出し

1. 柱の位置出し ※図はガーデンルームタイプを示します。サイドスルータイプの場合は柱のみです。

1-1 基本仕様

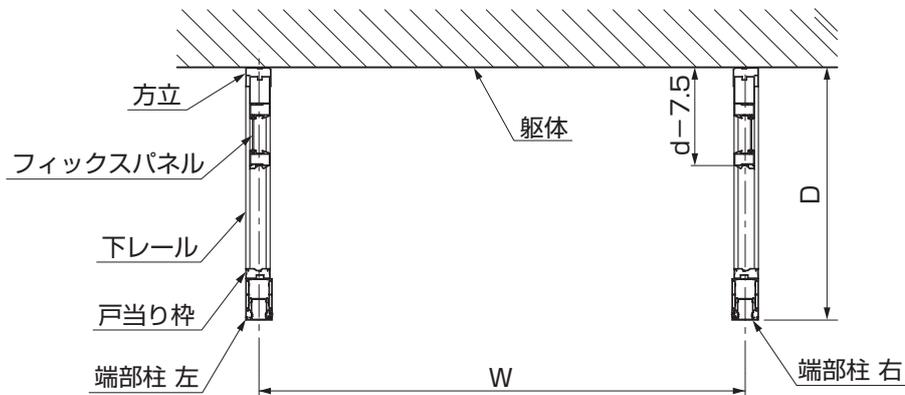


図1-1

表1-1 出幅寸法

出幅	4尺	6尺	8尺
D	1246	1846	2446

表1-3 側面フィックス部寸法

出幅	4尺	6尺	8尺
d-7.5	318.5	370.5	490.5

※端部柱背面からは下レールの長さと同じです。

※7.5=調整フィックス用戸当り枠の寸法です。

表1-2 間口寸法

間口	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
W	1880	2820	3760	4700	5640

1-2 連棟仕様

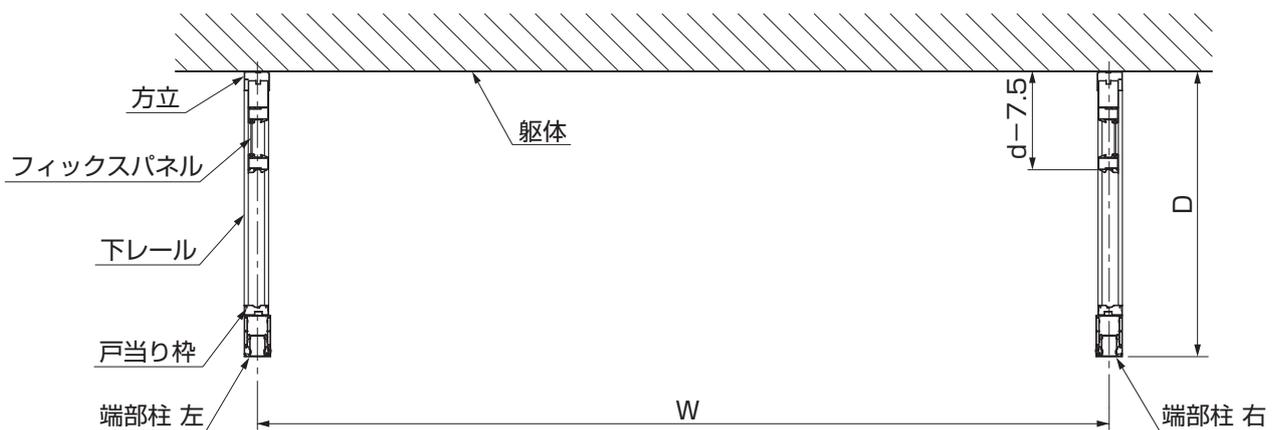


図1-2

表1-4 出幅寸法

出幅	4尺	6尺	8尺
D	1246	1846	2446

表1-6 側面フィックス部寸法

出幅	4尺	6尺	8尺
d-7.5	318.5	370.5	490.5

※端部柱背面からは下レールの長さと同じです。

※7.5=調整フィックス用戸当り枠の寸法です。

表1-5 間口寸法

間口	3.5間	4.0間	4.5間
W	6580	7520	8460
間口	5.0間	5.5間	6.0間
W	9400	10340	11280

5 本体の施工

1. 水盛遣方・水糸張り

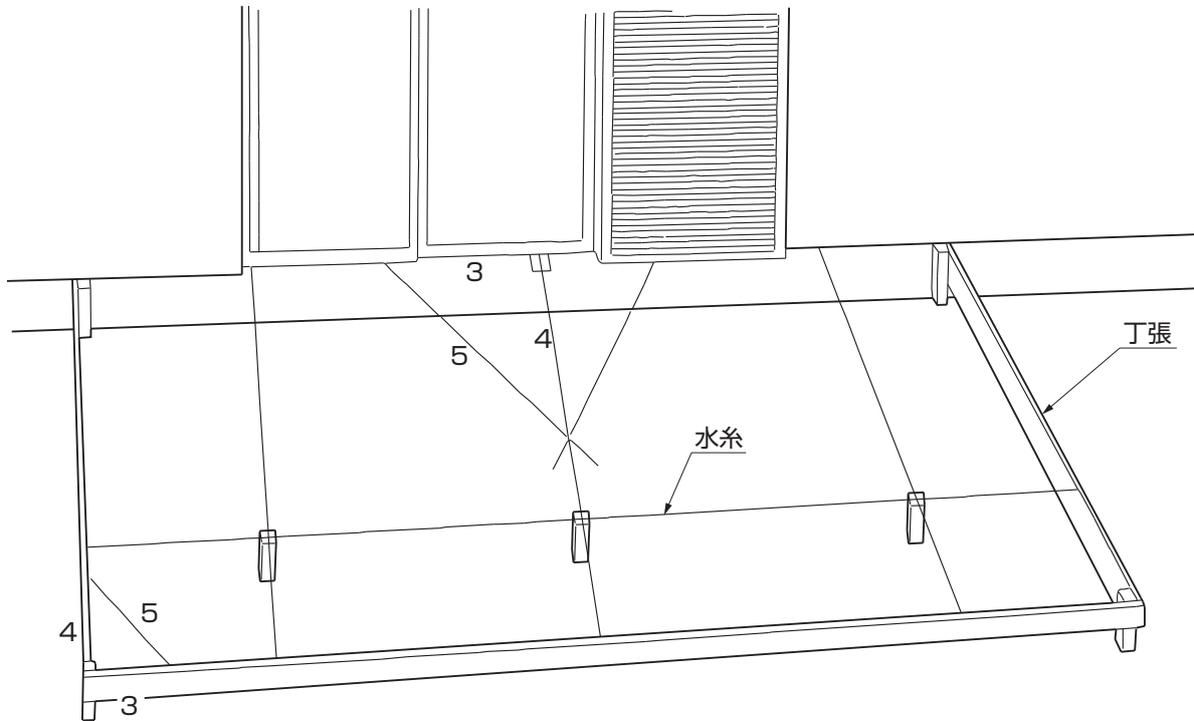


図1-1

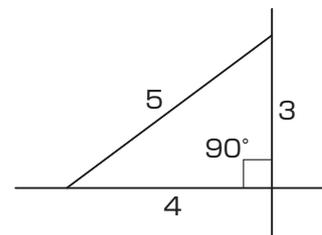


図1-2 直角出し寸法

- ①「3 基本寸法と各部名称」を参照して本体の取付位置およびフロアの高さを決めてください。
- ②前面・両側面に丁張を組んでください。
- ③躯体に柱寸法の印をつけ、図1-2の方法で直角をだし、束柱の位置を出してください。
- ④束柱の位置から、両側の柱位置を決めてください。

ポイント

- ガーデングルーフタイプの場合は、下レール取付けレベルの高さを正確に位置出しし、水平に土間を仕上げてください。下レール取付けレベルの高さが正確でないとパネルの開閉に支障が出る場合があります。
- 丁張の位置は本体外寸より前面・両側面ともにやや大きめに決めてください。
- 丁張は水準器等で水平を取ってください。
- 各コーナーの直角を定規、図1-2の方法等で割り出してください。

2. 配線工事 **オプション** ※LED照明を取付ける場合の作業です。

2-1 LEDユニット配線のとりまわし

(1) 上部から配線する場合

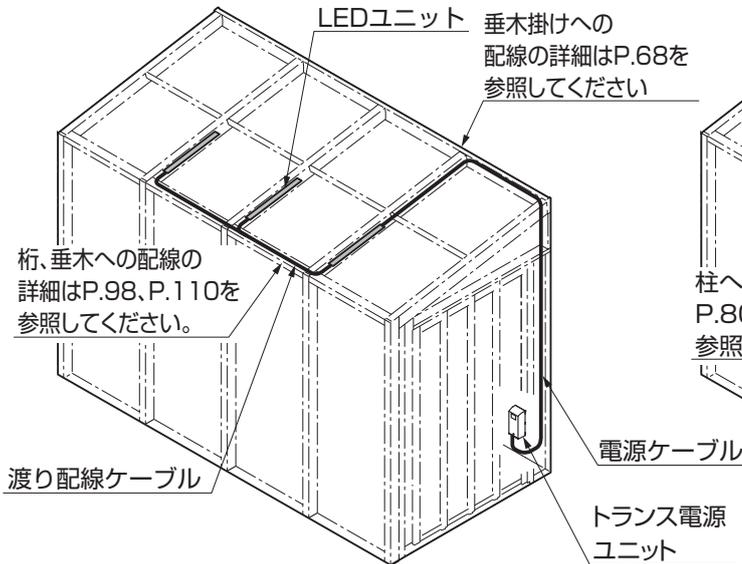


図2-1

(2) 下部から配線する場合

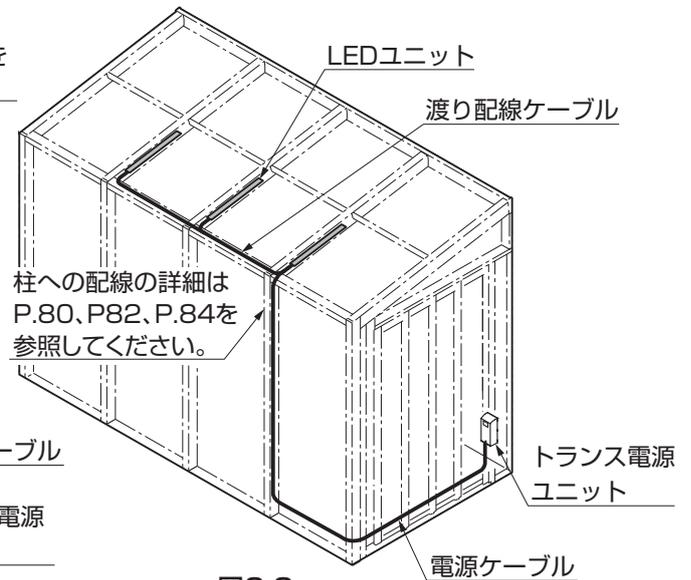


図2-2

①図2-1、図2-2のようにLEDユニットの配線をとりまわしてください。

2-2 配線工事

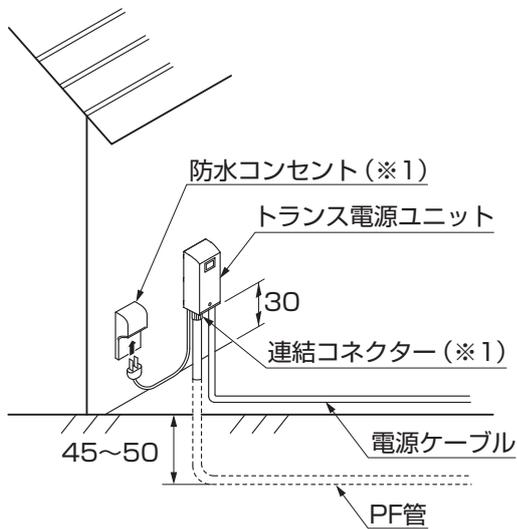


図2-3

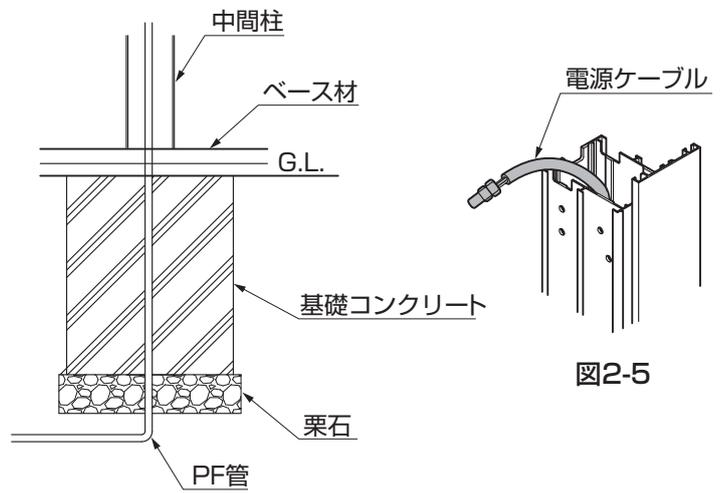


図2-4

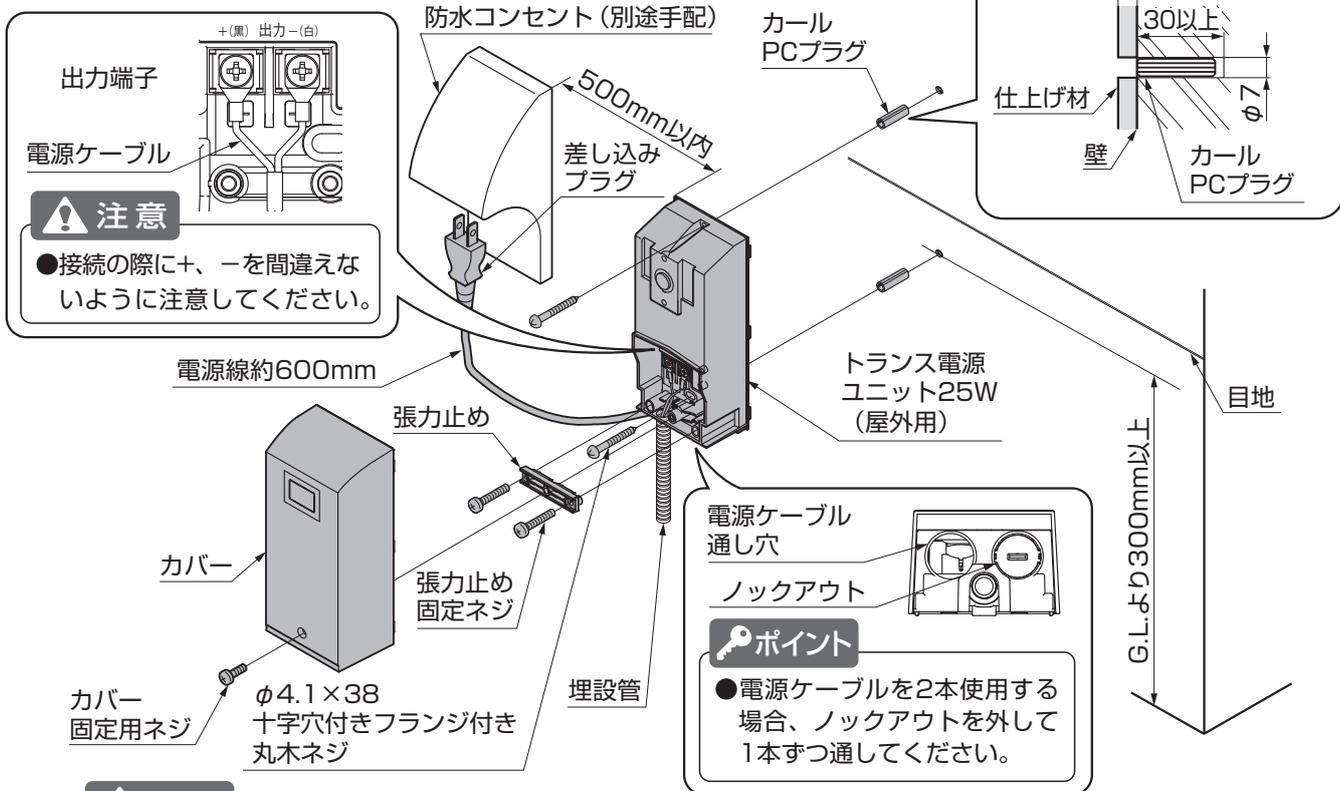
図2-5

①トランス電源ユニットを取付けてください。

ポイント

- トランス電源ユニットの取付けは、「トランス電源ユニット取扱説明書 (UZ261)」を参照してください。
- 防水コンセント、連結コネクターは別途手配してください。(※1)
- 躯体側から配線配管をする場合は、躯体側に配線を出してください。
- 地下埋設する場合のPF管は、現場で手配してください。
- 電源ケーブルは柱上部まで引出してください。(図2-5参照)
- 電源ケーブルの長さを調整する場合は、トランス電源ユニット側を切りつめてください。

2-3 トランス電源ユニット25W（屋外用）の取付け



注意

- 取付けの際は、安全のため電源を切ってください。通電状態で行なうと感電の原因になります。

ポイント

- ネジ止めする際は、手回しドライバーをご使用ください。

- ①トランス電源ユニット25W（屋外用）を取付ける位置に合わせて取付穴位置をけがき、けがいた位置に穴径φ7、有効深さ30mm以上の穴をあけてください。

警告

- トランス電源ユニット25W（屋外用）は壁面取付け専用です。天井面、据置き、本体より小さい取付面、傾斜面、湿気が多い場所には設置しないでください。火災・感電・落下の原因になります。
- トランス電源ユニット25W（屋外用）は地面より300mm以上離れた位置に取付けてください。冠水の時に火災・感電の原因になります。

注意

- ブロックの目地には固定しないでください。固定強度が弱く、本体が落下してケガをするおそれがあります。

ポイント

- 壁に有効深さ30mmの穴をあける場合は、仕上げ材ではなく壁からの深さとしてください。また、付属のプラグやネジの使用は仕上げ材の厚みが10mm以下（※）の場合としてください。10mmより厚い場合は、現場でプラグやネジ等をご用意ください。
- トランス電源ユニット25W（屋外用）と防水コンセントの間は500mm以内にしてください。
- 切り粉は必ず除去してください。

- ②「カールPCプラグ」を下穴に埋め込み、「φ4.1×38十字穴付きフランジ付き丸木ネジ」でトランス電源ユニット25W（屋外用）を固定してください。

- ③張力止めを外して、電源ケーブルのY端子を端子台に接続し、張力止めで固定してください。

3. 垂木掛けの取付け

※連棟の場合は「5 本体の施工 4. 連棟の場合の垂木掛けの取付け」と同時に行なう作業です。

3-1 垂木掛けの取付け

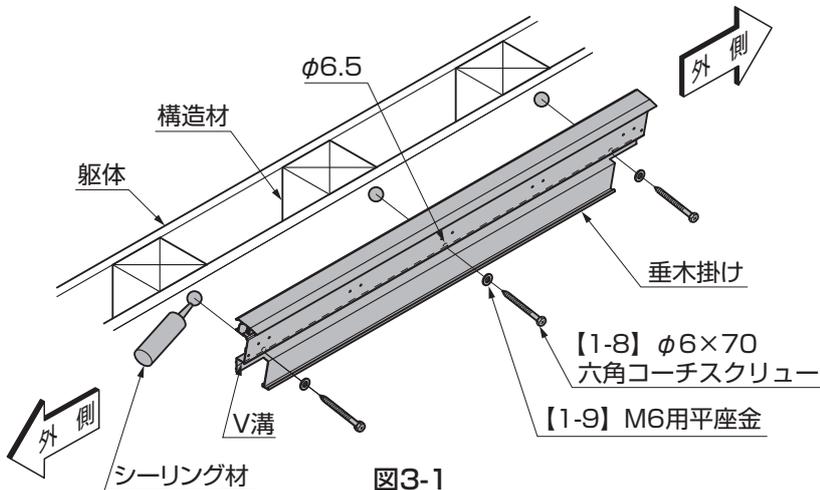


図3-1

- ① 垂木掛けのV溝部に、φ6.5の穴をあけてください。
- ② 垂木掛けを躯体に【1-9】、【1-8】で取付けてください。

⚠ 注意

- 垂木掛けは強度確保のため、必ず躯体の柱、間柱等の構造材に取付けてください。

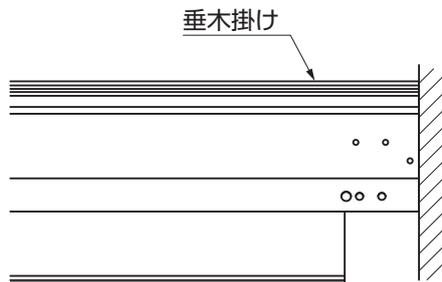


図3-2 入隅時の垂木掛けの位置

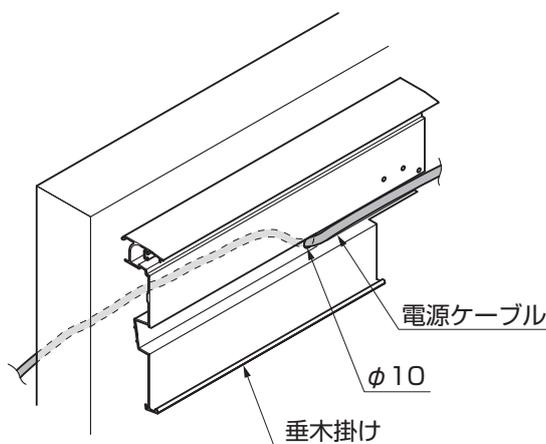


図3-3 LED照明 **オプション** を取付ける場合

🔑 ポイント

- 垂木掛けの水平・垂直に注意してください。
- 入隅の場合は図3-2のように垂木掛けを取付けてください。
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。
- LED照明 **オプション** を取付ける場合は、「5 本体の施工 2.配線工事 **オプション** (1) 上部から配線する場合」を参照して電源ケーブルを通す位置の垂木掛けにφ10の穴をあけ、躯体内に配線してください。(図3-3参照)

3-2 垂木組付金具の取付け

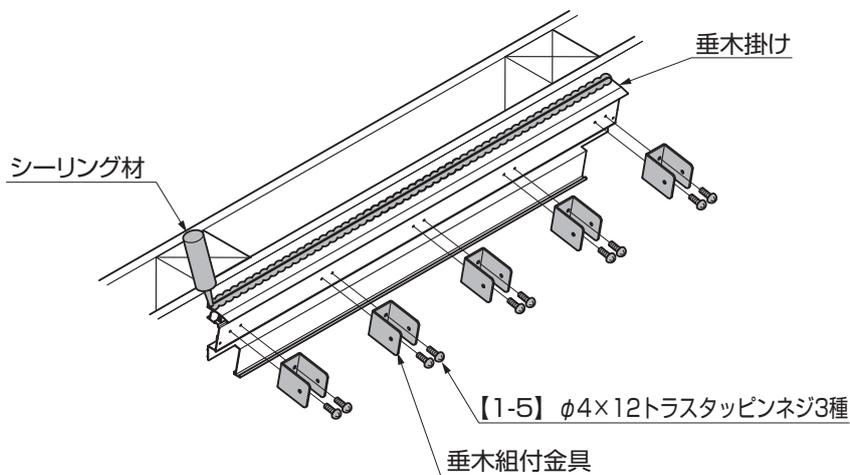


図3-4 垂木組付金具の取付け

① 垂木組付金具を垂木掛けに、【1-5】で取付けてください。

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

3-3 垂木掛け-上部方立取付金具の取付け

※ ガーデンルームタイプの場合の作業です。

※ サイドスルータイプで妻梁上部フィックスパネルを取付ける場合の作業です。

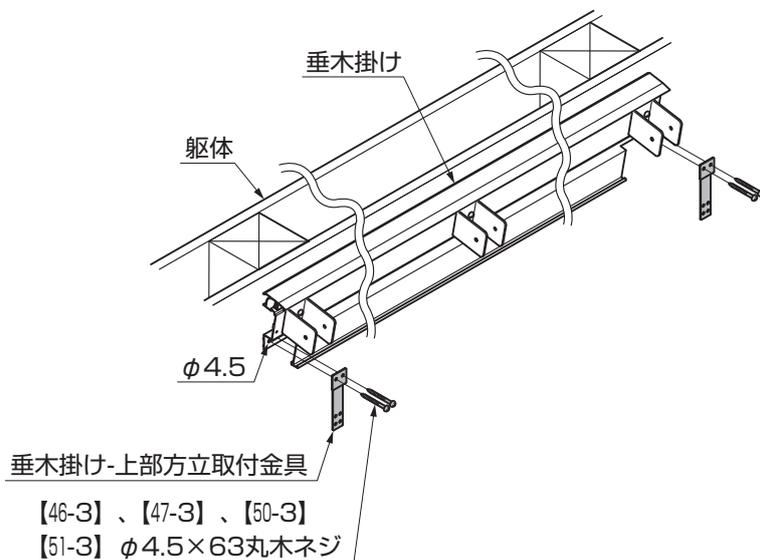


図3-5 垂木掛け-上部方立取付金具の取付け

① 垂木掛け-上部方立取付金具を垂木掛けに、【46-3】または【47-3】、【50-3】、【51-3】で取付けてください。
(図3-5参照)

ポイント

- ガーデンルームプラスタイプの場合の垂木に上部方立を取付ける場合は、垂木掛けに切欠きが必要です。(図3-6参照)

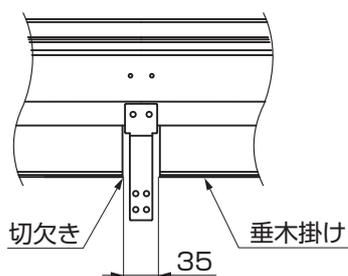


図3-6 ガーデンルームプラスタイプの場合

4. 連棟の場合の垂木掛けの取付け

※連棟の場合の作業です。

※「5 本体の施工 3. 垂木掛けの取付け」と同時に行なう作業です。

4-1 垂木掛けの加工

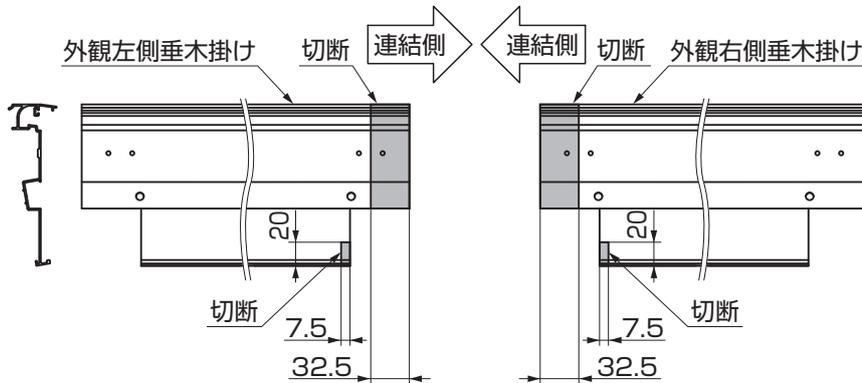


図4-1 垂木掛けの加工

① 連結する側の垂木掛け端部を、図4-1を参照して加工してください。

ポイント

● 記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。

4-2 垂木掛けの取付け

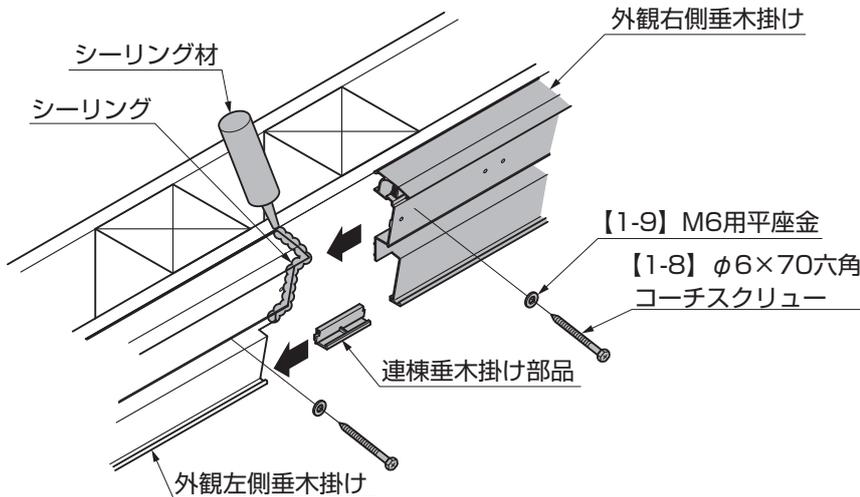


図4-2 垂木掛けの取付け

① 垂木掛け連結部分にシーリングをして躯体に、【1-8】、【1-9】で取付けてください。

ポイント

● 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

② 連棟垂木掛け部品を垂木掛けと垂木掛けで、はさみ込むようにして取付けてください。

4-3 垂木組付金具の取付け

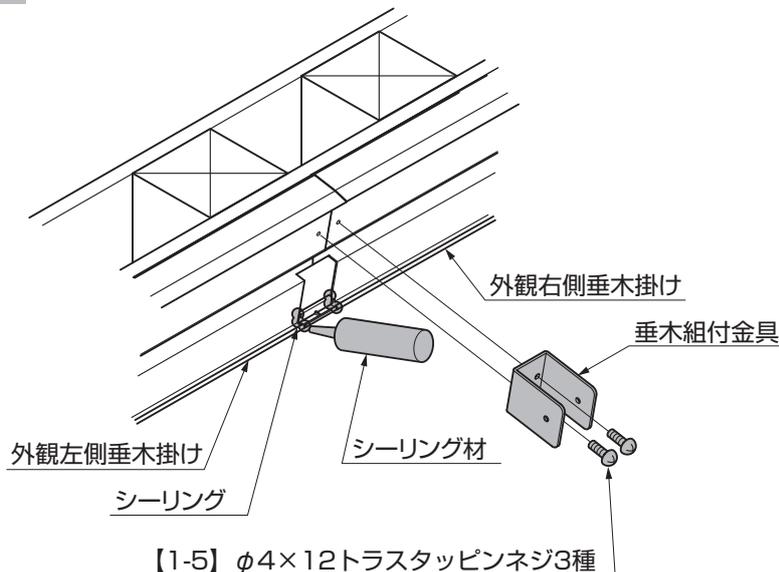
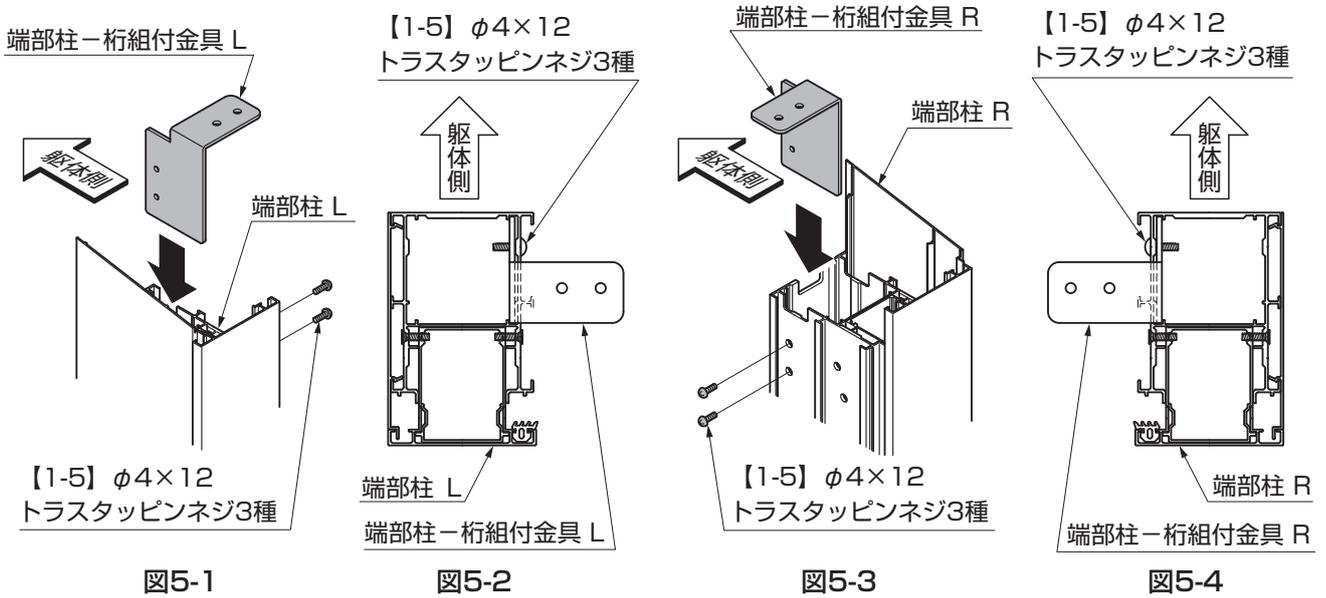


図4-3 垂木組付金具の取付け

① 垂木組付金具を連結した垂木掛けに、【1-5】で取付けてください。

5. 柱の建込み

5-1 柱一桁組付金具の取付け

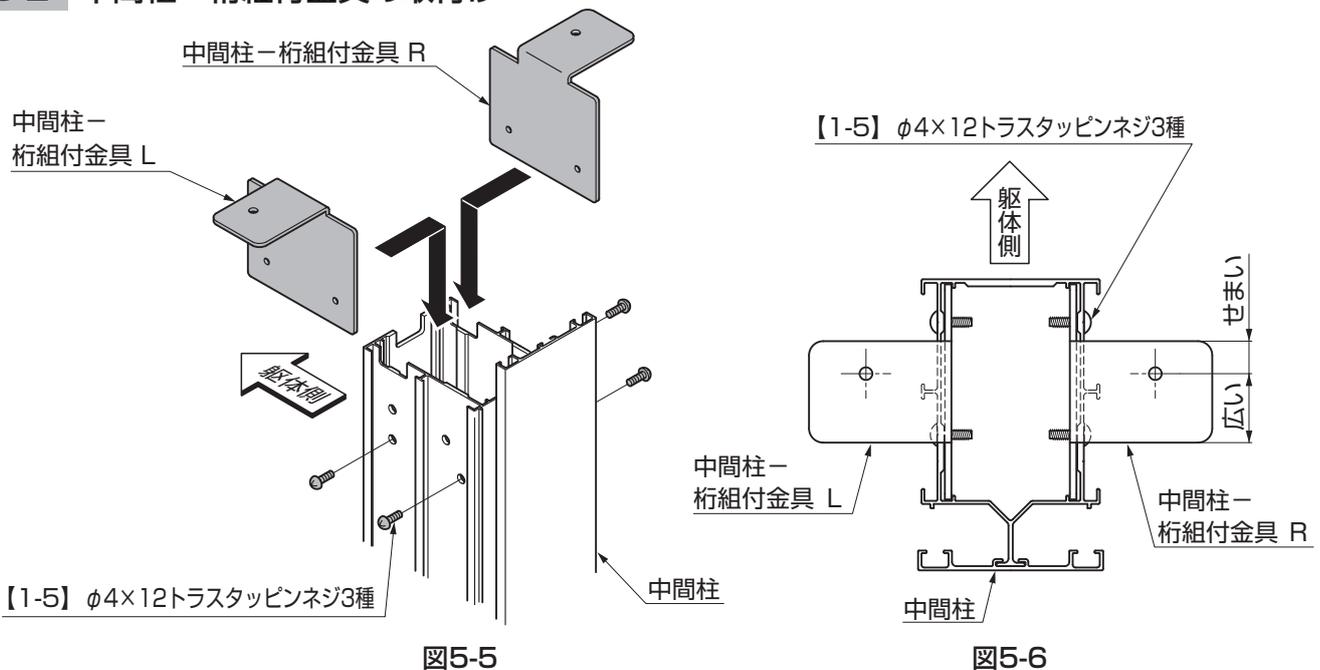


①端部柱一桁組付金具を端部柱に、【1-5】で取付けてください。

ポイント

●端部柱一桁組付金具は、左右取付方向があります。

5-2 中間柱一桁組付金具の取付け



①中間柱に中間柱一桁組付金具を、【1-5】で取付けてください。

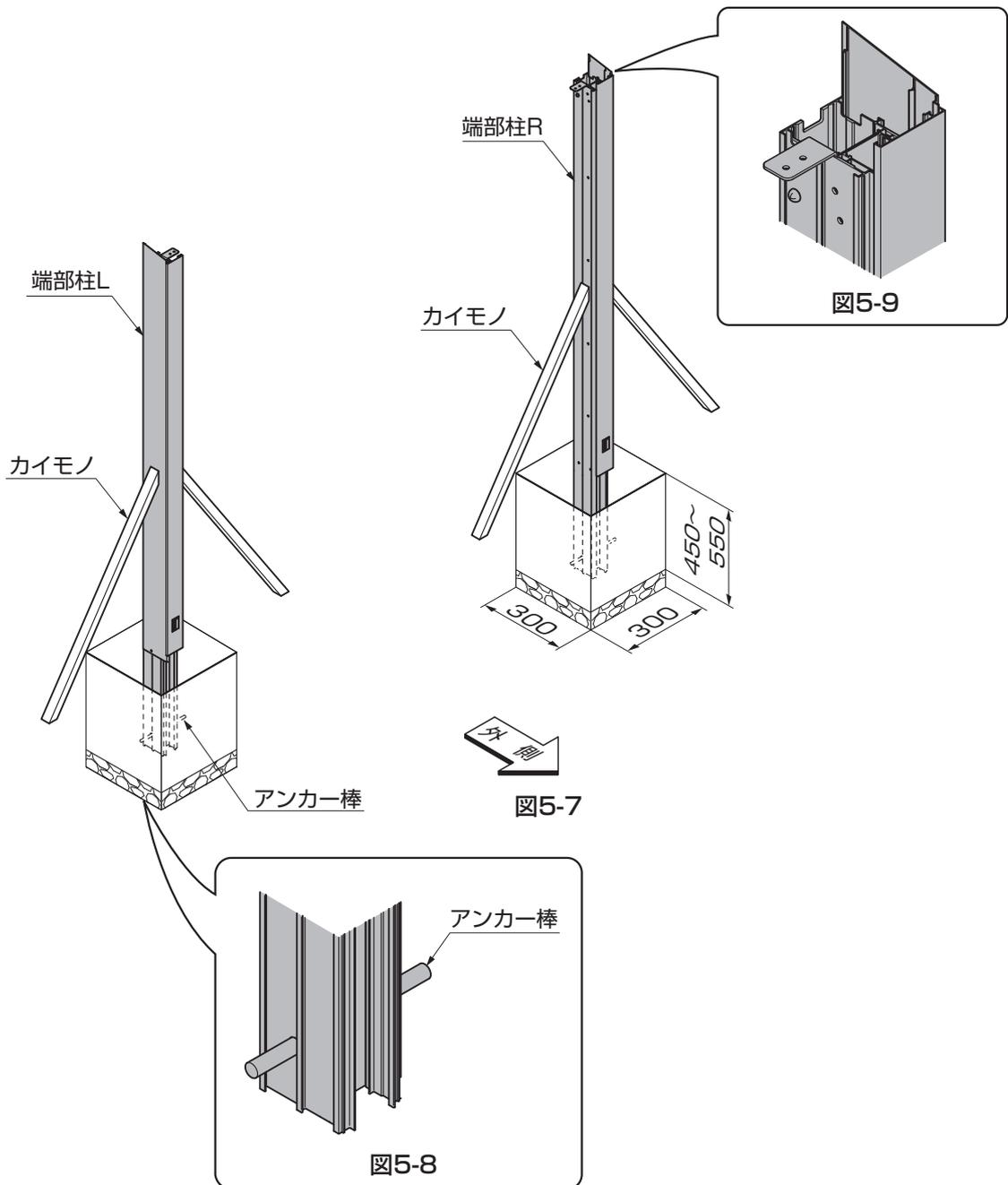
ポイント

●中間柱一桁組付金具には、左右取付方向があります。

5. (つづき)

5-3 柱の建込み

(1) 柱を埋込む場合 ※端部柱を仮固定するカイモノ等は、現場調達してください。



- ①端部柱にアンカー棒を差込み、「4 柱の位置出し」を参照して建込んでください。
- ②端部柱が倒れないように、カイモノ等で仮固定してください。

ポイント

- 埋込み550ミリ用で柱が来ています。それ以下の寸法で埋込まれる場合は、切断およびアンカー棒通し穴をあけ直してください。

5-3 つづき

(2) 柱を埋込まない場合 (柱固定ベースを使用)

※前面折戸パネルを取付ける場合は、「ココマ -前面折戸パネル- 取付説明書 (E235)」を参照してください。

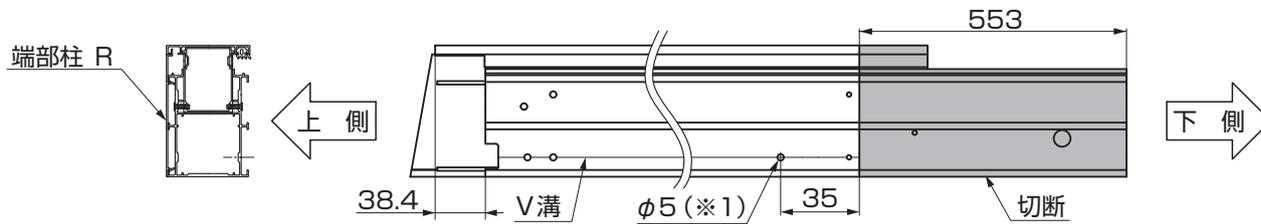


図5-10

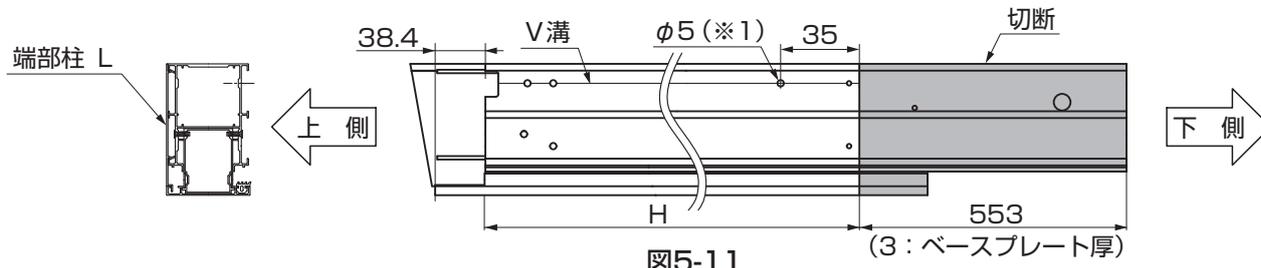


図5-11

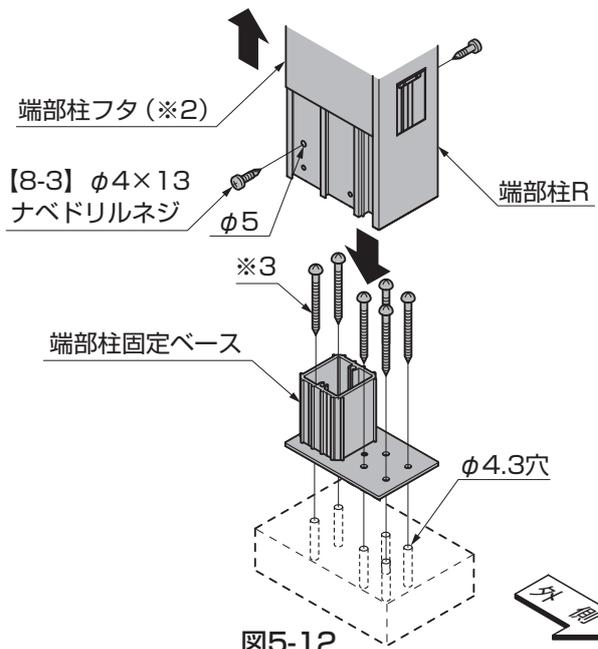


図5-12

(参考) F.L.~上部分柱寸法H

サイズ	H
H20	2180
H22	2380
H24	2580

※柱前面材~柱上部38.4mmは除く

表5-1 端部柱固定ベース取付ネジ一覧

	取付けネジ	φ4.3 穴加工有無
デッキ	【8-1】 φ4.5×63 丸木ネジ	有
土間 or 束石	【8-2】 φ5×35 セルフタップアンカー	無

- ①端部柱を加工してください。
- ②端部柱固定ベースを取付ける箇所にφ4.3の穴をあけてください。
- ③端部柱固定ベースを取付けてください。(図5-12参照)
- ④端部柱を端部柱固定ベースに、【8-3】で取付けてください。(図5-12参照)

ポイント

- 記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。
- 端部柱固定ベースを取付けるネジ(※3)は、表5-1を参照してください。
- 端部柱にφ5の貫通穴をあける場合は、端部柱に取付いている柱フタを一度ずらし、柱フタに穴をあけないようにしてください。(※1)
- 端部柱を端部柱固定ベースに【8-3】で取付ける際に、端部柱に取付いている柱フタを一度上にずらし、【8-3】で取付けた後、元の位置に戻してください。(※2)

5. (つづき)

(3) 柱を埋込まない場合 (柱外固定ベースを使用)

※前面折戸パネルを取付ける場合は、「ココマ - 前面折戸パネル - 取付説明書 (E235)」を参照してください。

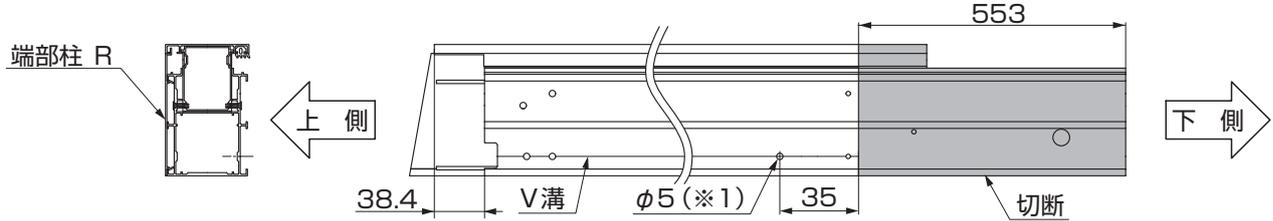


図5-13

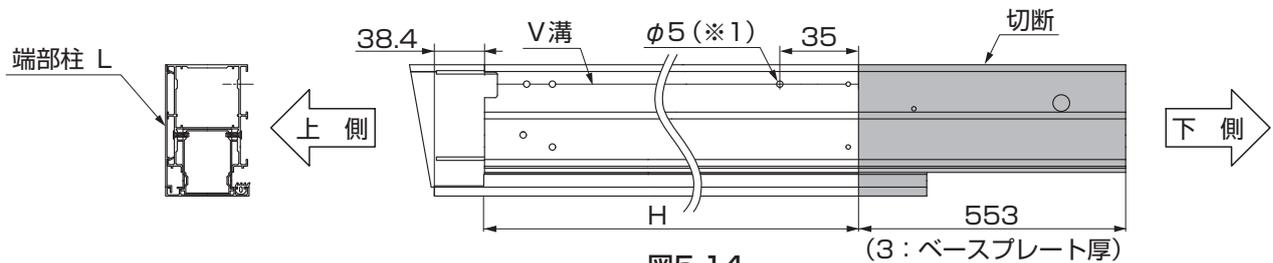


図5-14

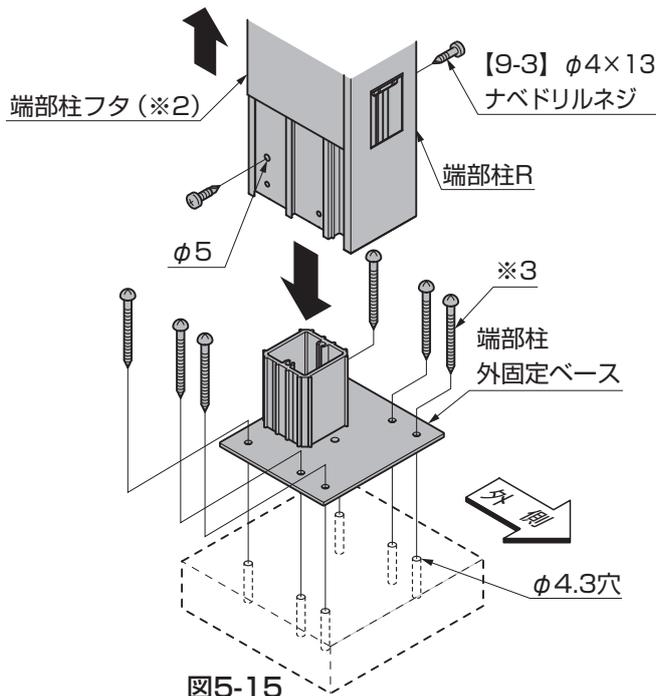


図5-15

(参考) F.L.~上部分柱寸法H

サイズ	H
H20	2180
H22	2380
H24	2580

※柱前面材~柱上部38.4mmは除く

表5-2 端部柱固定ベース取付ネジ一覧

	取付けネジ	φ4.3 穴加工有無
デッキ	[9-1] φ4.5×63 丸木ネジ	有
土間 or 東石	[9-2] φ5×35 セルフタップアンカー	無

- ① 端部柱を加工してください。
- ② 端部柱外固定ベースを取付ける箇所にφ4.3の穴をあけてください。
- ③ 端部柱を端部柱外固定ベースに、【9-3】で取付けてください。(図5-15 参照)
- ④ 端部柱外固定ベースを取付けてください。(図5-15参照)

ポイント

- 記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。
- 端部柱固定ベースを取付けるネジ(※3)は、表5-2を参照してください。
- 端部柱にφ5の貫通穴をあける場合は、端部柱に取付いている柱フタを一度ずらし、柱フタに穴をあけないようにしてください。(※1)
- 端部柱を端部柱外固定ベースに【9-3】で取付ける際に、端部柱に取付いている柱フタを一度上にずらし、【9-3】で取付けた後、元の位置に戻してください。(※2)

(4) 柱を埋込まない場合 (柱外固定ベースを使用)

※デッキ施工でオープンテラス用ロング柱を使用する場合 (インナーデッキ仕様)

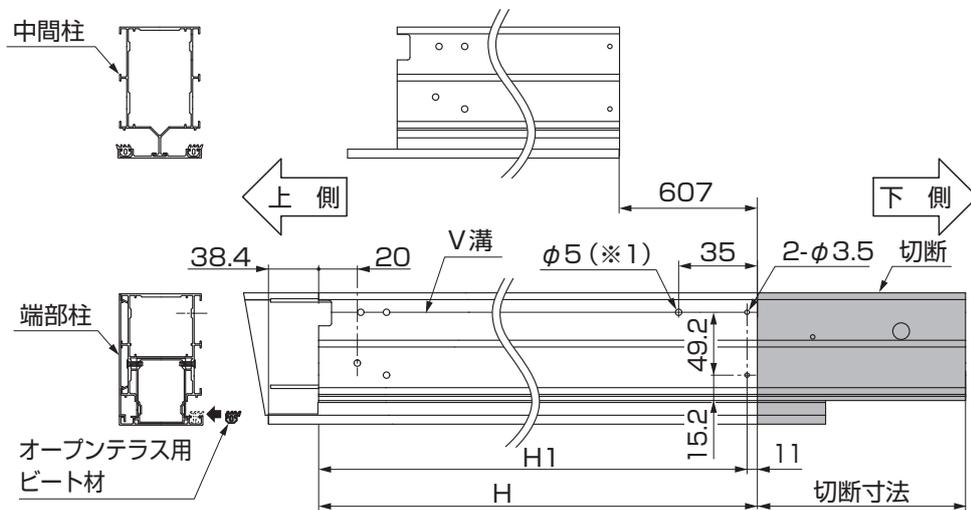


図5-16 端部柱の切断 (F.L.~G.Lを550で施工する場合)

オープンテラス用ビート材
切断寸法(※)

	切断寸法
H20	1180
H22	980
H24	780

H1寸法

H20	2169
H22	2369
H24	2569

(参考) F.L.~上部分柱寸法H

	H
H20	2180
H22	2380
H24	2580

※柱前面材~柱上部38.4mmは除く

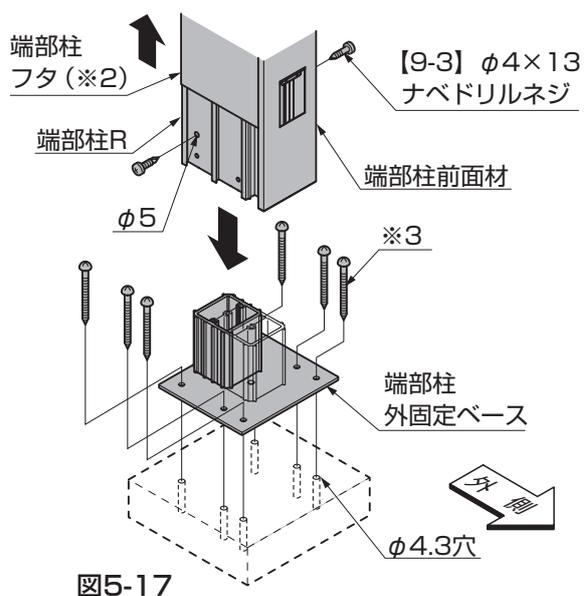


図5-17

ロング柱を埋込まない場合の切断寸法

	H20	H22	H24
①基本切断寸法	1100	900	700
②F.L.~G.L.寸法=A	550-A	550-A	550-A
③ベースプレート厚	3	3	3
切断寸法	①+②+③		

ポイント

- 前面ベース材~外固定ベースまでの端部柱内側の柱フタは、実寸法を測定した上で、前面フィックスパネル縦枠セット (腰壁用) 梱包内の柱フタを切断して使用してください。
- 端部柱、前面材のみ上から切断してください。
- 現場状況に (施工状況) に合わせて切断寸法を計算してください。
- ここで説明している中間柱とは、フタや前面材を除いた部材です。

- ①端部柱を加工してください。
- ②オープンテラス用ビート材を切断(※)して、端部柱上面から20mm下げた位置でオープンテラス用ロング柱に取付けてください。
- ③ビート材上部を市販の瞬間接着剤で接着してください。
- ④端部柱外固定ベースを取付ける箇所にφ4.3の穴をあけてください。
- ⑤端部柱外固定ベースを取付けてください。(図5-17参照)
- ⑥端部柱を端部柱外固定ベースに、[9-3]で取付けてください。(図5-17参照)

ポイント

- 図の端部柱は左側を示します。右側は左右対称です。
- 端部柱外固定ベースを取付けるネジ(※3)は、表5-3を参照してください。
- 端部柱にφ5の貫通穴をあける場合は、端部柱に取付いている柱フタを一度ずらし、柱フタに穴をあけないようにしてください。(※1)
- 端部柱を端部柱外固定ベースに[9-3]で取付ける際に、端部柱に取付いている柱フタを一度上にずらし、[9-3]で取付けた後、元の位置に戻してください。(※2)

表5-3 端部柱外固定ベース取付ネジ一覧

	取付けネジ	φ4.3 穴加工有無
デッキ	[9-1] φ4.5×63 丸木ネジ	有
土間 or 束石	[9-2] φ5×35 セルフタップアンカー	無

5. (つづき)

(5) 柱を埋込む場合

※土間施工等でオープンテラス用ロング柱を使用する場合。

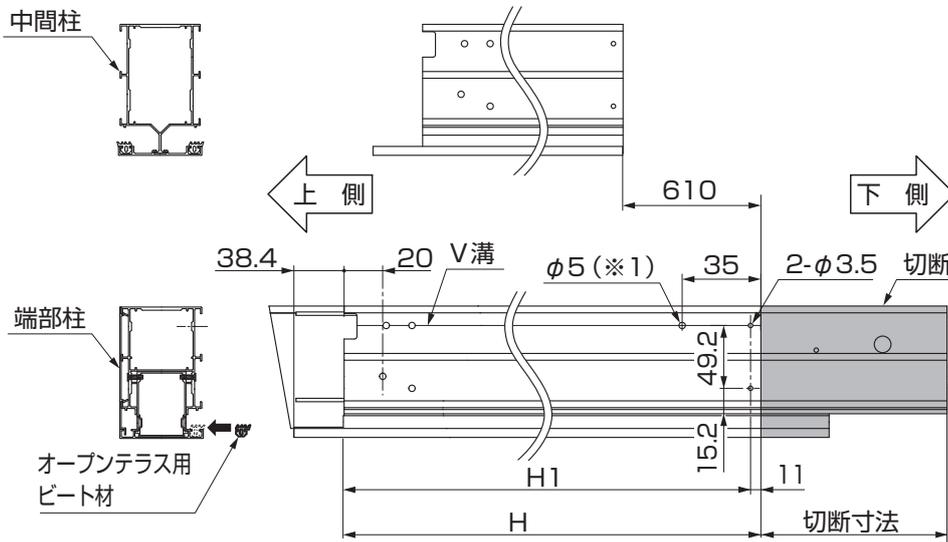


図5-18 端部柱の切断 (F.L.~G.Lを550で施工する場合)

オープンテラス用
ビート材切断寸法(※)

	切断寸法
H20	1180
H22	980
H24	780

H1寸法

H20	2169
H22	2369
H24	2569

(参考) F.L.~上部分柱寸法H

	H
H20	2180
H22	2380
H24	2580

※柱前面材~柱上部38.4mmは除く

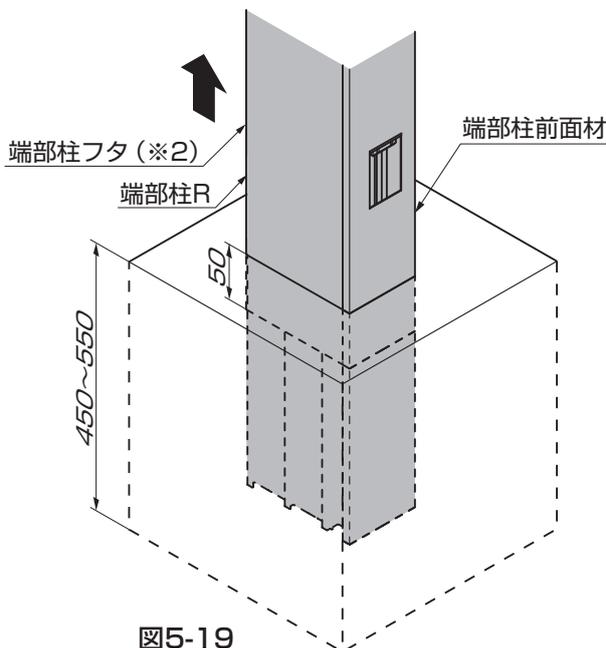


図5-19

	H20	H22	H24
①基本切断寸法	550	350	150
②F.L.~G.L.寸法=A	550-A	550-A	550-A
切断寸法	①+②		

※端部柱前面材や端部柱フタは、切断寸法ラインより、50mm上げて切断してください。

※加工後、50mm下げて埋め込んでください。

ポイント

- 端部柱、前面材のみ上から切断してください。
- 現場状況に(施工状況)に合わせて切断寸法を計算してください。
- ここで説明している中間柱とは、フタや前面材を除いた部材です。

- ①端部柱を加工してください。
- ②オープンテラス用ビート材を切断(※)して、端部柱上面から20mm下げた位置でオープンテラス用ロング柱に取り付けてください。
- ③ビート材上部を市販の瞬間接着剤で接着してください。

ポイント

- 図の端部柱は左側を示します。右側は左右対称です。
- 端部柱にφ5の貫通穴をあける場合は、端部柱に取り付けている柱フタを一度ずらし、柱フタに穴をあけないようにしてください。(※1)

5-4 入隅の場合 ※図は右入隅の場合を示します。左入隅の場合は対称です。

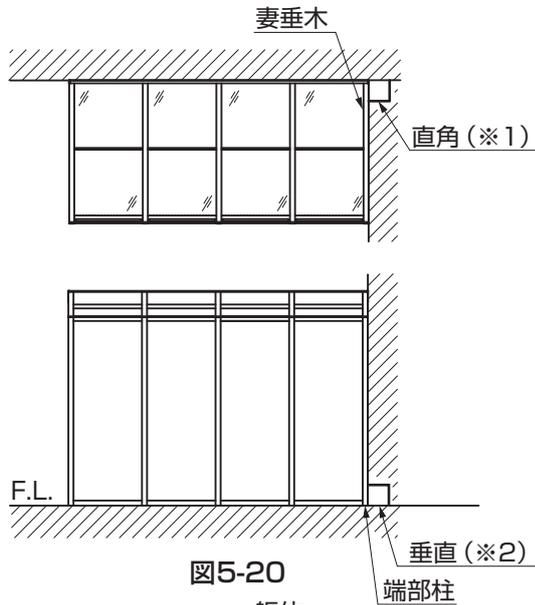


図5-20

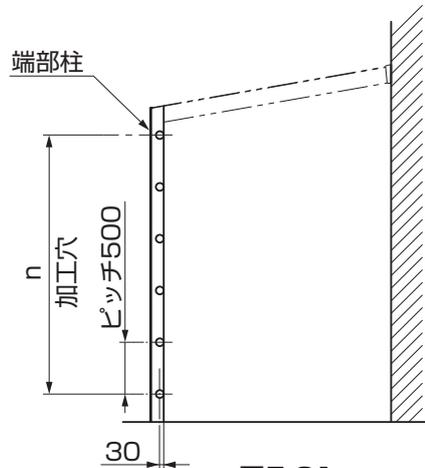


図5-21

表5-4

	加工穴n
H20	5
H22	5
H24	6

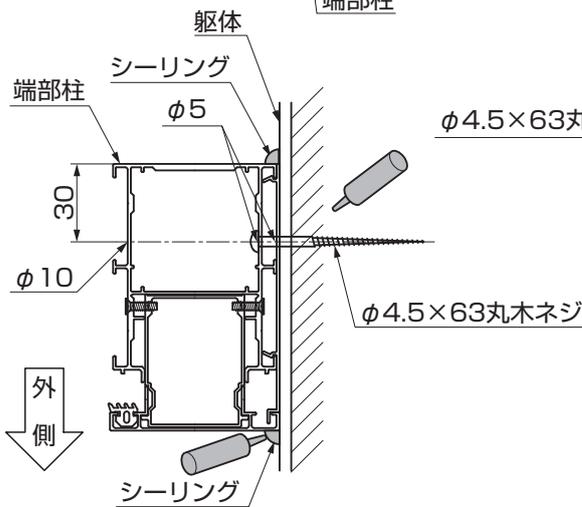


図5-22

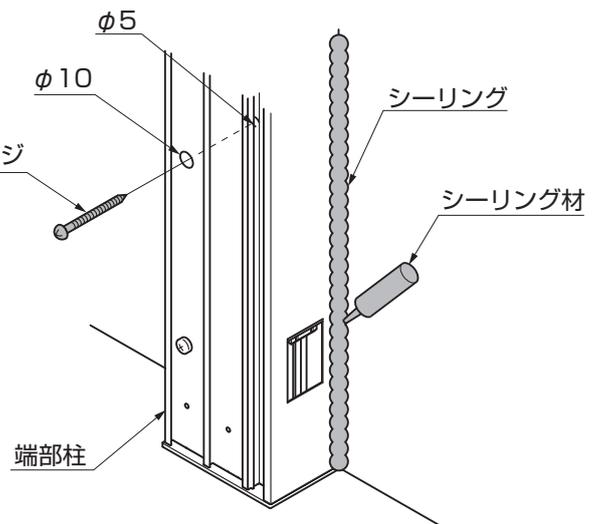


図5-23

ポイント

●躯体外壁の直角度(※1)、垂直度(※2)に狂いが生じている場合は、取付けることができませんので、修正してください。修正時の部材については、現場で手配してください。(図5-20参照)

- ①入隅側の端部柱に、φ10、φ5の穴をあけてください。(図5-21、図5-22、表5-4参照)
- ②端部柱と躯体を、「φ4.5×63丸木ネジ」で取付けてください。(図5-22、図5-23参照)

ポイント

●「φ4.5×63丸木ネジ」は、現場で手配してください。

- ③端部柱と躯体の取合せ部にシーリングをしてください。(図5-23参照)

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。
- 入隅側のシーリング材は、現場で手配してください。

6. ベースの取付け

6-1 端部柱-ベース受け取付け金具の取付け

(1) F.L.施工の場合

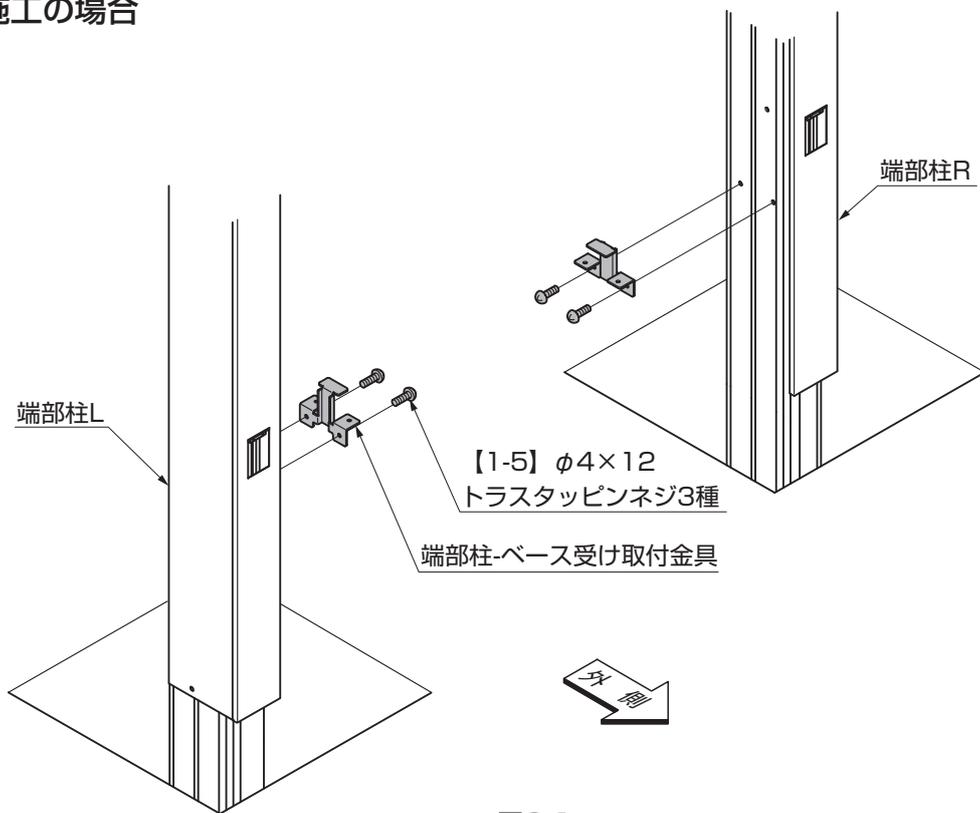


図6-1

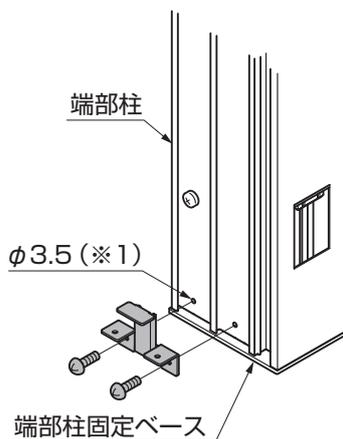


図6-2 柱を埋込まない場合

①端部柱に端部柱-ベース受け取付け金具を、【1-5】で取付けてください。

ポイント

- 基礎コンクリートの打設は、ベース受け取付け前に行わないでください。ベース受けが取付けできなくなります。
- 柱を埋込まない仕様の場合には、(※1)の穴をガイドにφ3.5の穴を端部柱固定ベースにあけてください。(図6-2参照)

6-1 つづき

(2) ベース材施工の場合

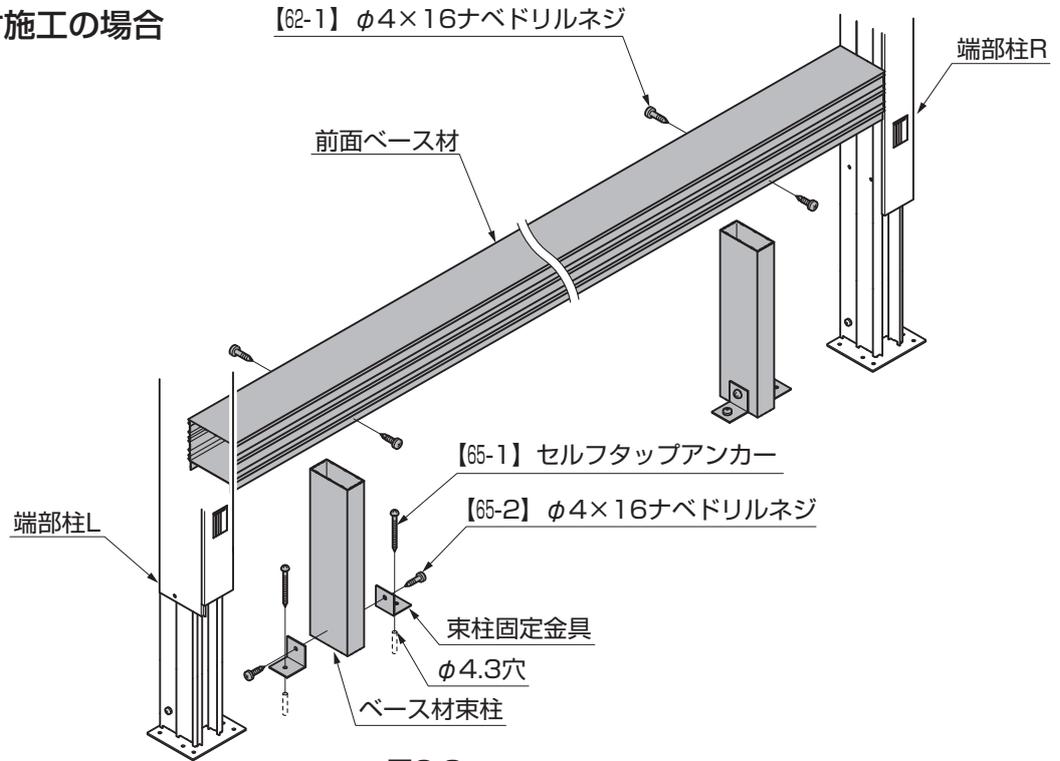


図6-3

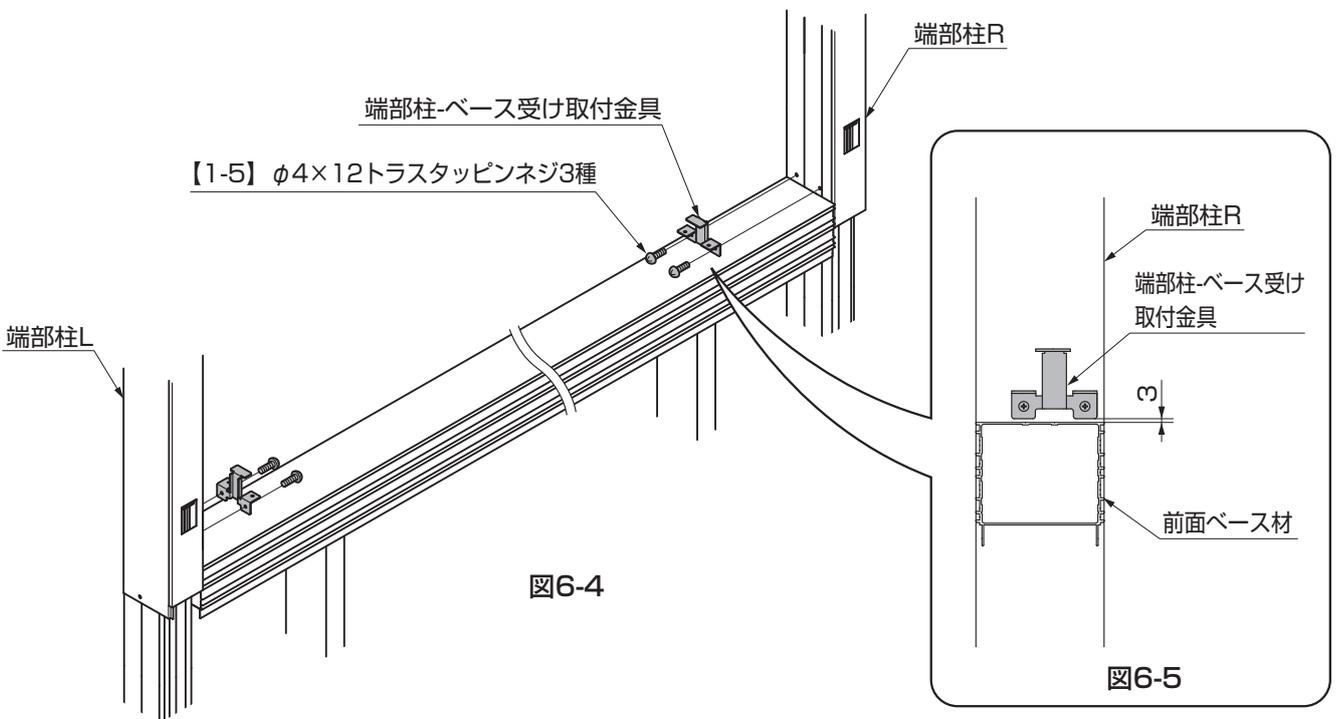


図6-4

図6-5

- ①前面ベース材を束柱に【62-1】で取付けてください。(図6-3参照)
- ②束柱固定金具を取付ける箇所にφ4.3の下穴をあけてください。
- ③ベース材束柱を土間に束柱固定金具、【65-1】、【65-2】で取付けてください。(図6-3参照)
- ④端部柱に端部柱-ベース受け取付金具を、【1-5】で取付けてください。(図6-4参照)

6. (つづき)

6-2 ベース受けの加工 ※LED照明を取付ける場合の作業です。

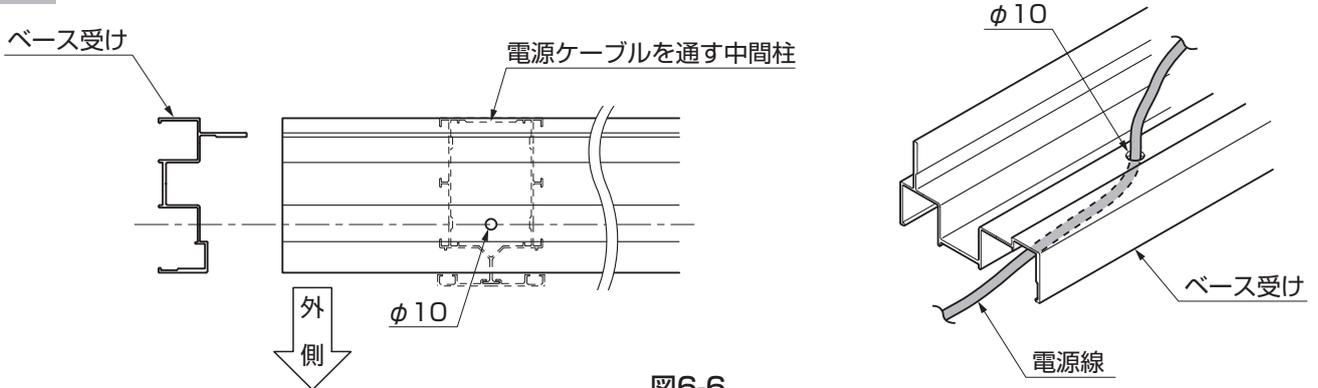


図6-6

ポイント

- LED照明 **オプション** を取付ける場合は、「**5 本体の施工** 2. 配線工事 **オプション**」を参照して、電源ケーブルを通す中間柱取付け位置のベース受けに、φ10の穴をあけ、電源ケーブルをとりまわしてください。(図6-6参照)

6-3 ベース受けの取付け

(1) F.L.施工の場合

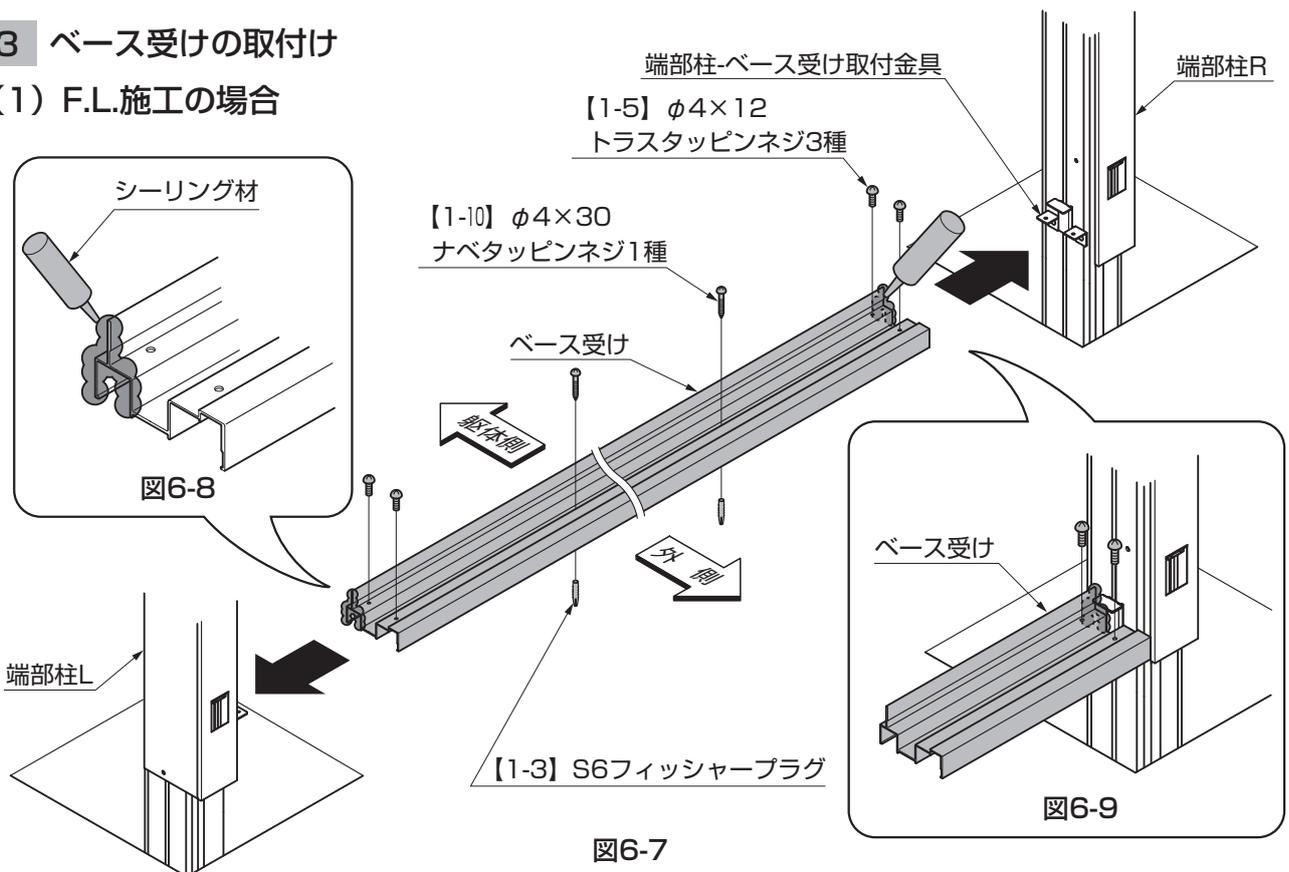


図6-7

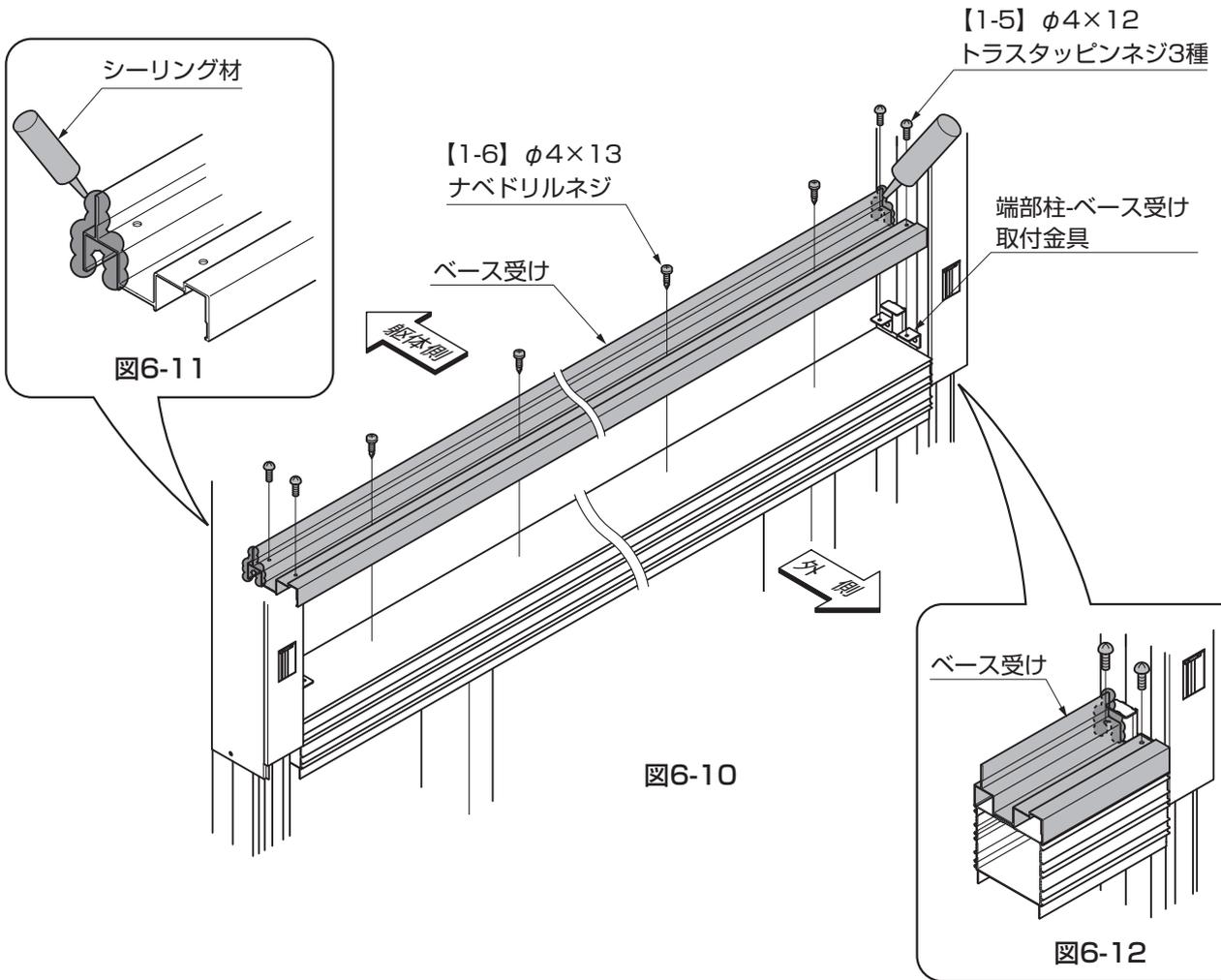
- ① ベース受けにシーリングをしてください。
- ② 端部柱-ベース受け取付金具にベース受けを、【1-5】で取付けてください。
- ③ ベース受けを土間に【1-3】、【1-10】で取付けてください。

ポイント

- 【1-3】を固定する際は、土間の強度を確認してください。
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

6-3 つづき

(2) ベース材施工の場合



- ④ベース受けにシーリングをしてください。(図6-10参照)
- ⑤端部柱-ベース受け取付金具にベース受けを、【1-5】で取付けてください。(図6-10参照)
- ⑥ベース受けを前面ベース材に【1-6】で取付けてください。

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

6. (つづき)

6-4 ベースの取付け

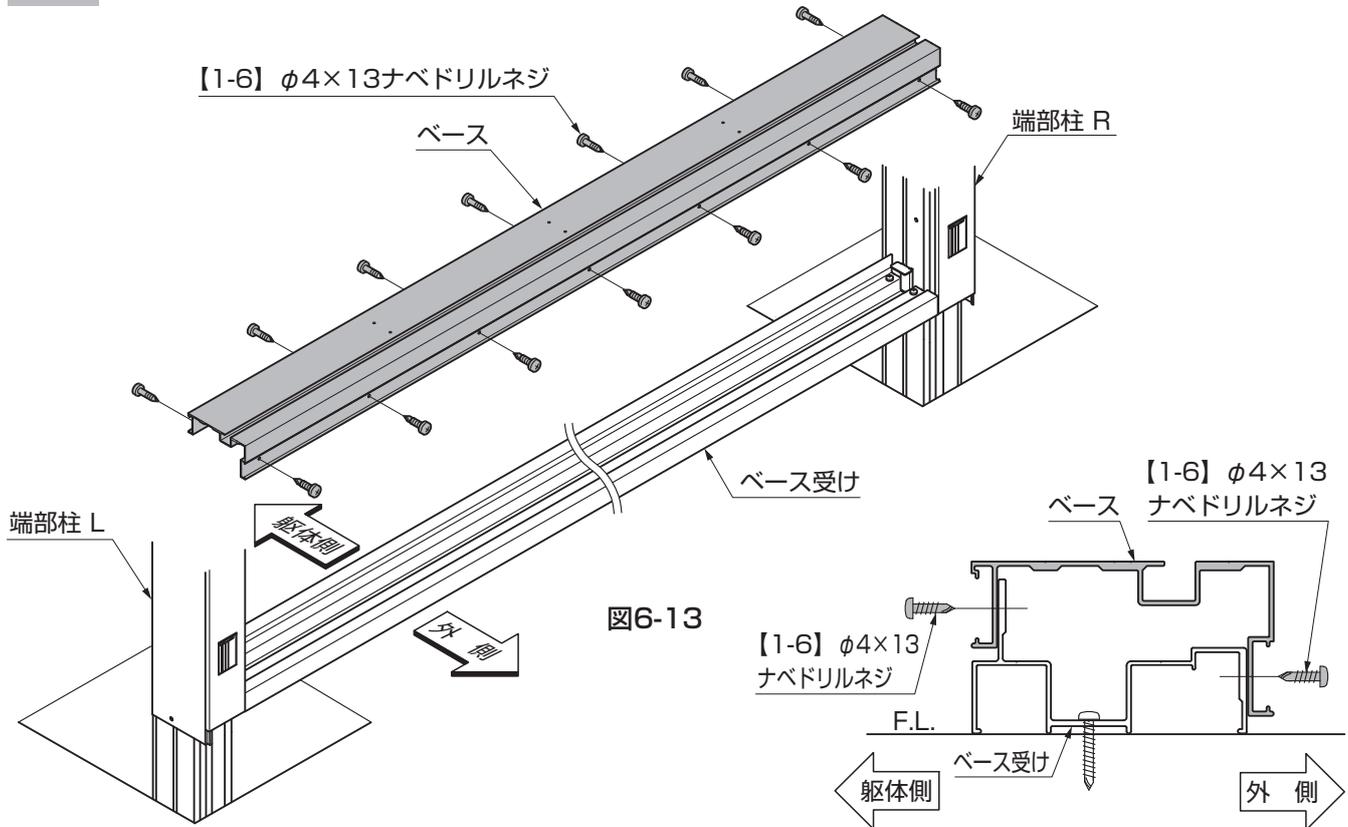


図6-13

図6-14

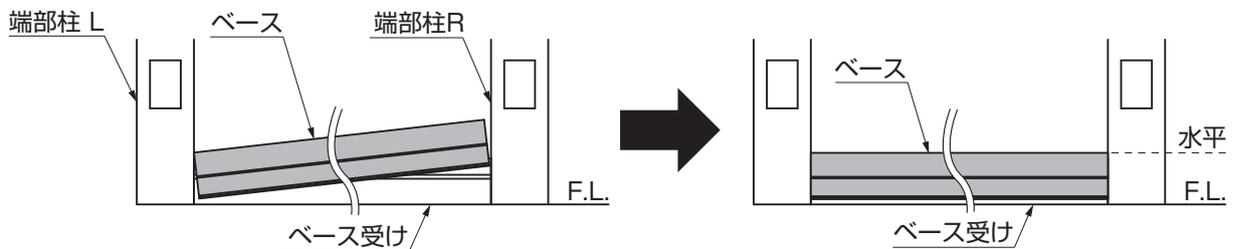


図6-15

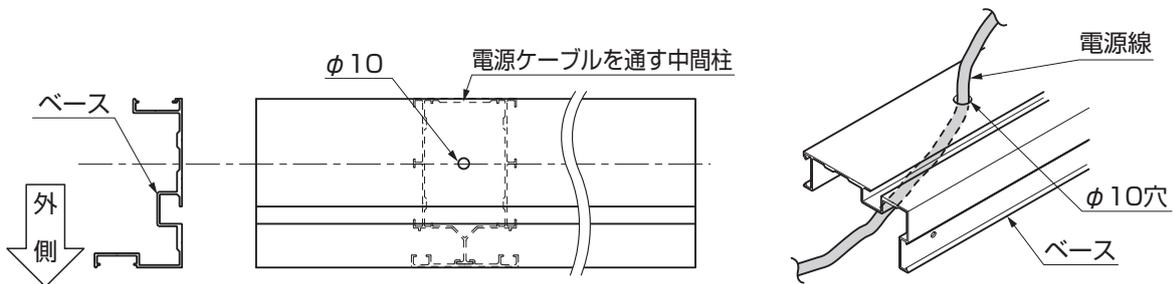


図6-16

①ベースをベース受けに、【1-6】で取付けてください。

ポイント

- ベースは水平になるように取付けてください。(図6-15参照)
- LED照明 **オプション** を取付ける場合は、「5 本体の施工 2. 配線工事 **オプション**」を参照して、電源ケーブルを通す中間柱取付け位置のベースにφ10の穴をあけ、電源ケーブルをとりまわしてください。(図6-16参照)

6-5 パネル枠フタの取付け

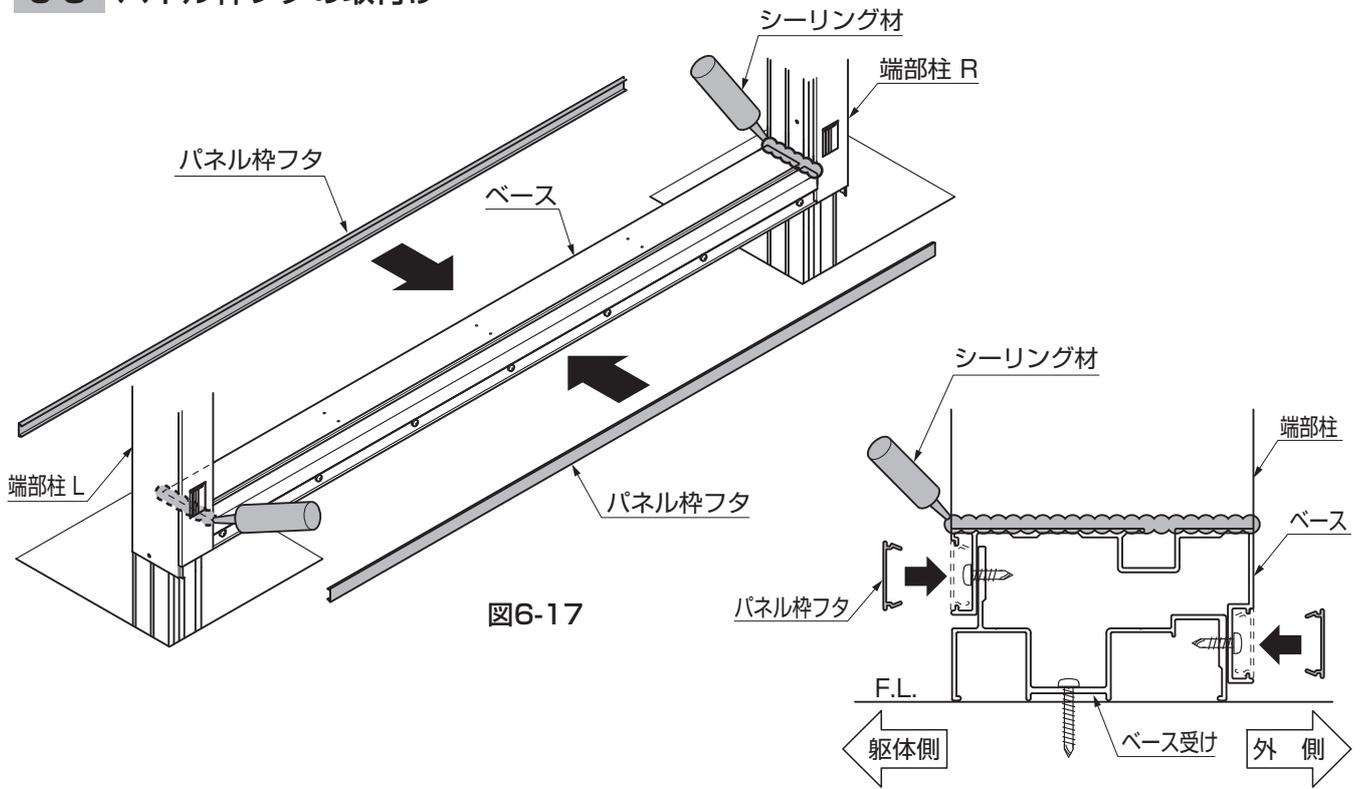


図6-17

図6-18

- ①パネル枠フタを、ベースにはめ込んでください。
- ②端部柱とベースが接する箇所に、シーリングをしてください。

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

6-6 中間柱スリーブの取付け

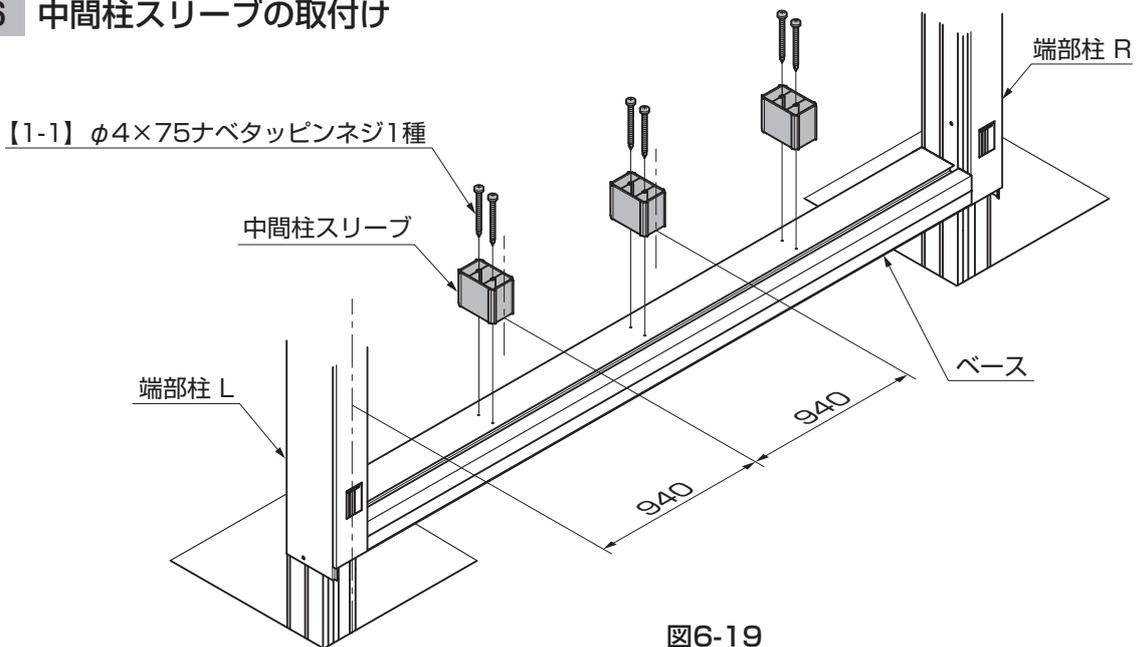


図6-19

- ①中間柱スリーブをベースに、【1-1】で取付けてください。

6. (つづき)

6-7 中間柱の建込み

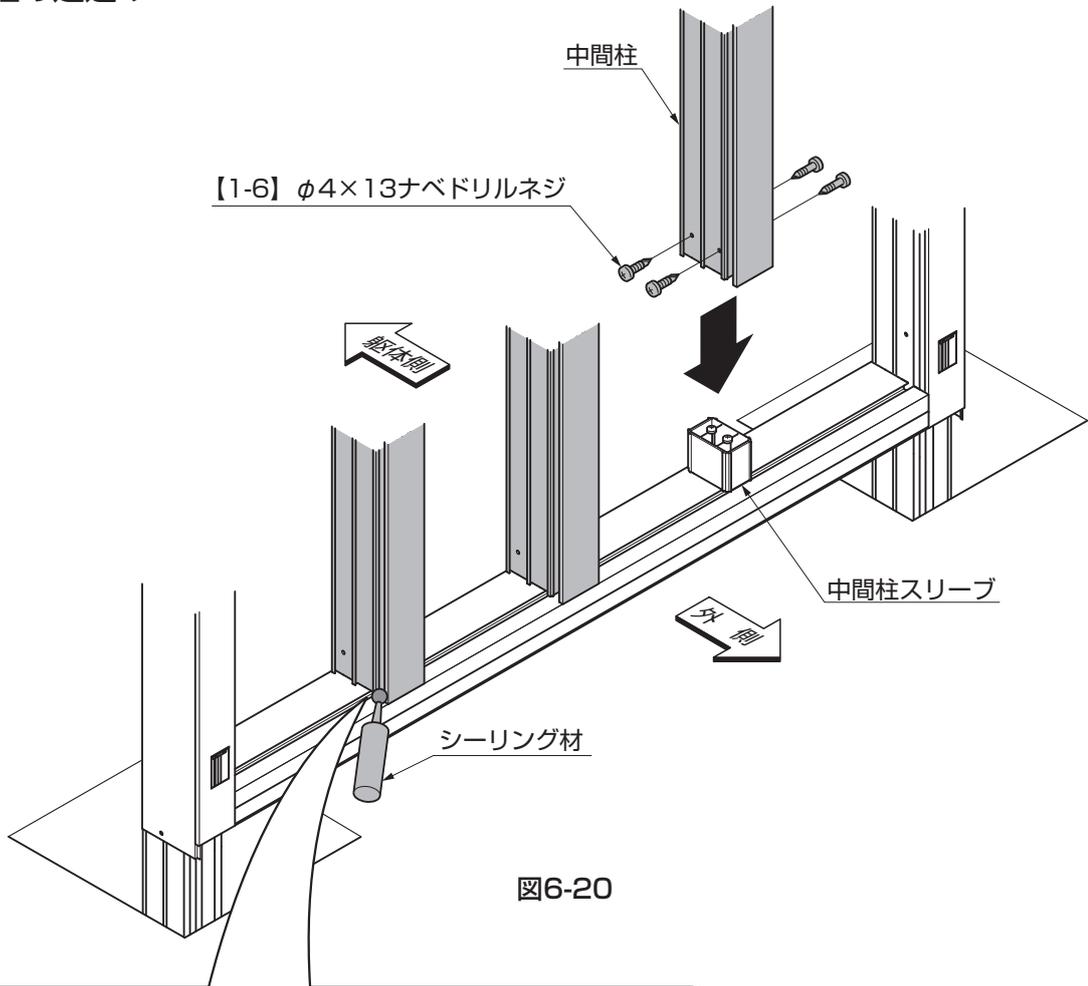


図6-20

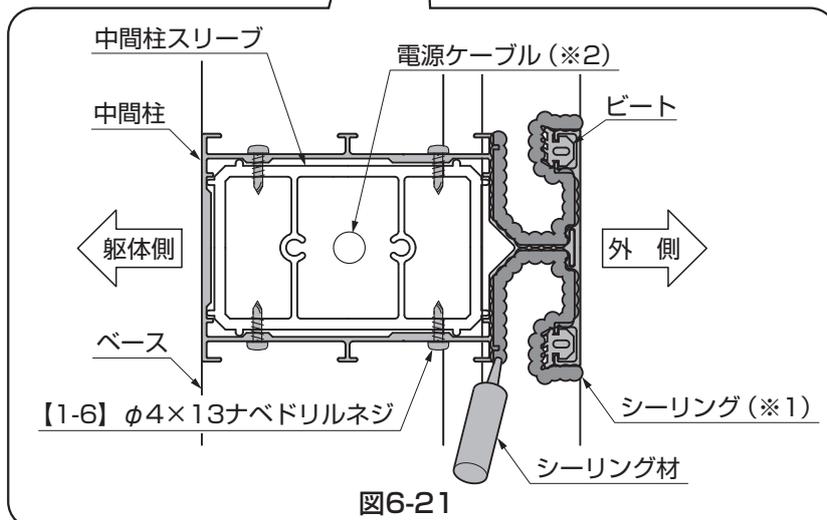


図6-21

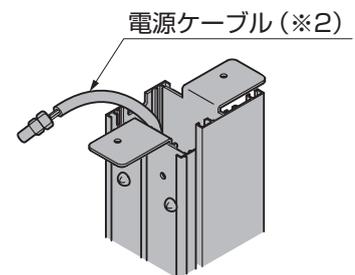


図6-22

- ① 中間柱を中間柱スリーブに、【1-6】で取付けてください。(図6-20参照)
- ② 中間柱を取付けた後、ベースと接する※1の箇所にシーリングをしてください。

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。
- LED照明 **オプション** を取付ける場合は、「5 本体の施工 2. 配線工事 **オプション**」を参照して柱に電源ケーブルを通し、建込んでください。(※2)

6-8 コンクリートの打設

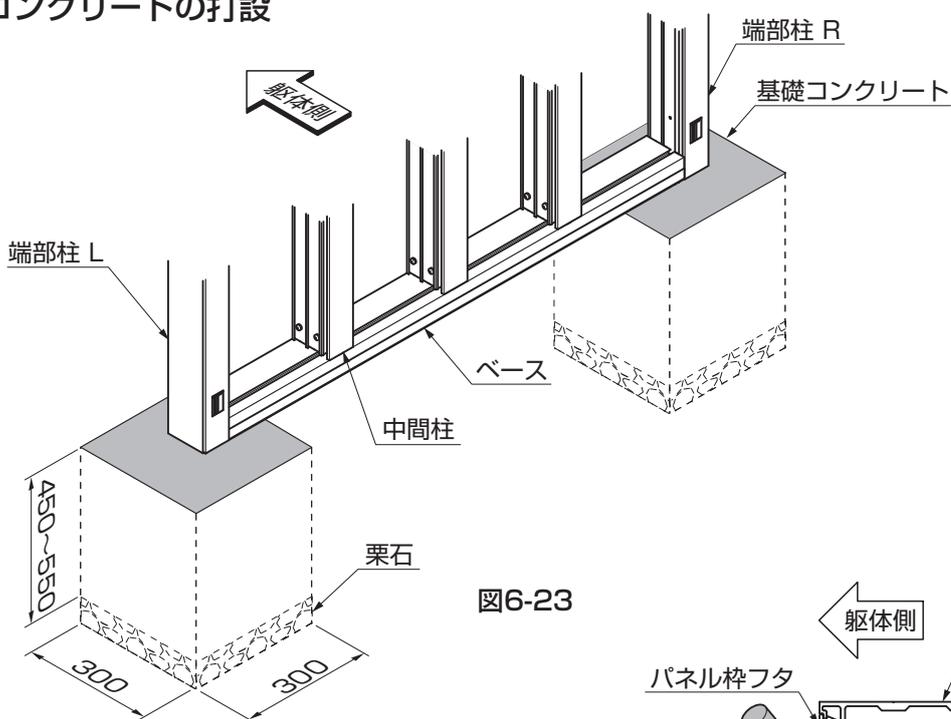


図6-23

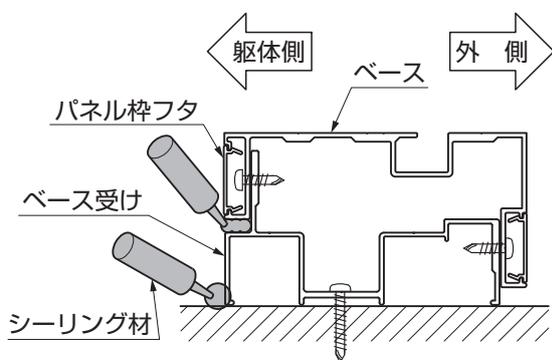


図6-24

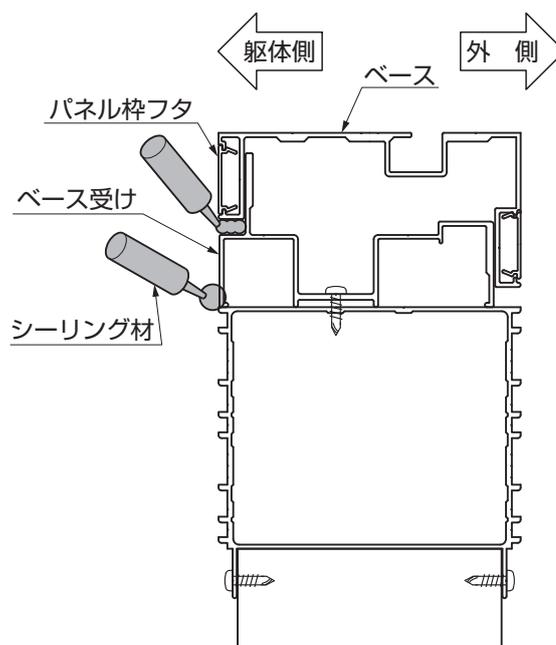


図6-25 ベース材仕様の場合

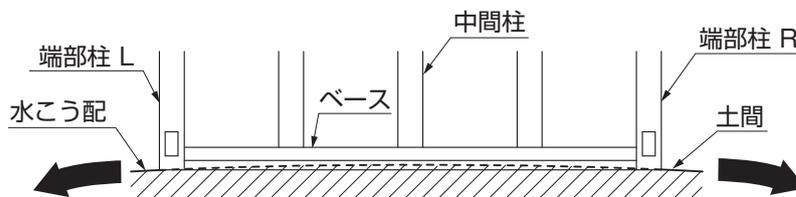


図6-26

- ①基礎コンクリートを打設してください。
- ②基礎土間工事完了後、ベース受けの外周に、シーリングをしてください。(図6-24、図6-25参照)

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。
- ベース材の中心から端部柱の方向へ、土間の水こう配をとってください。(図6-26参照)

7. 桁の組立て

7-1 垂木組付金具の取付け

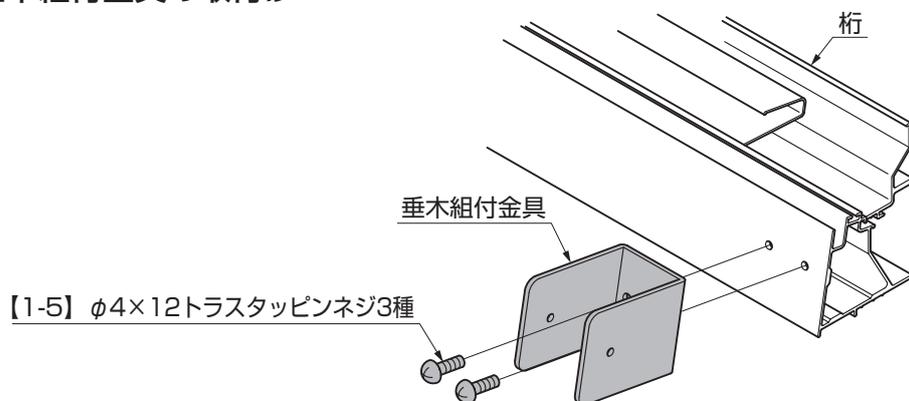


図7-1

①垂木組付金具を桁に、【1-5】で取付けてください。

7-2 桁キャップの取付け

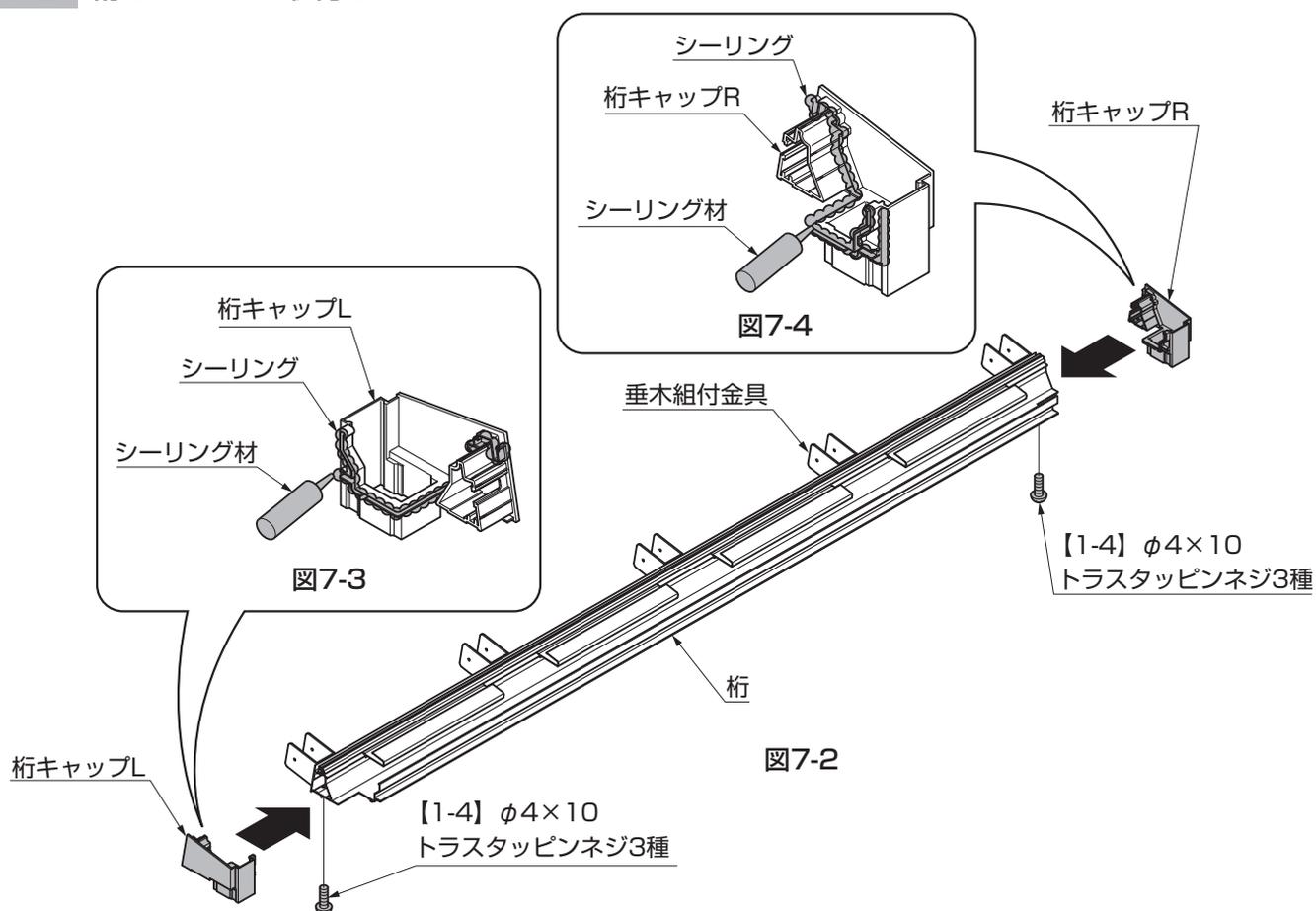


図7-2

①桁キャップをシーリングしてください。(図7-3、図7-4参照)

ポイント

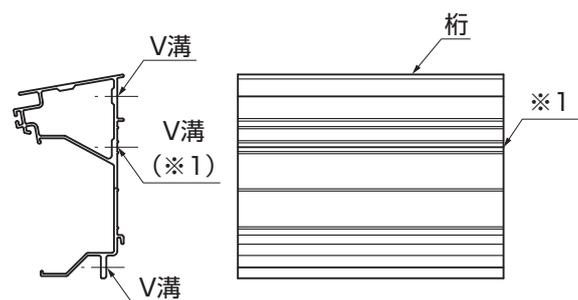
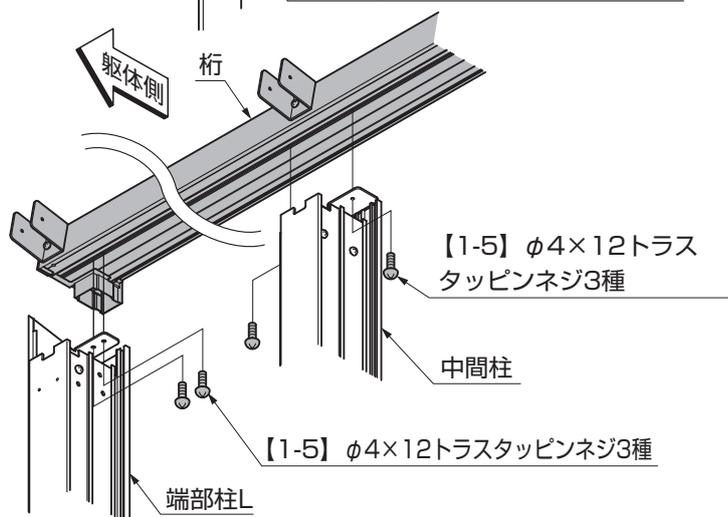
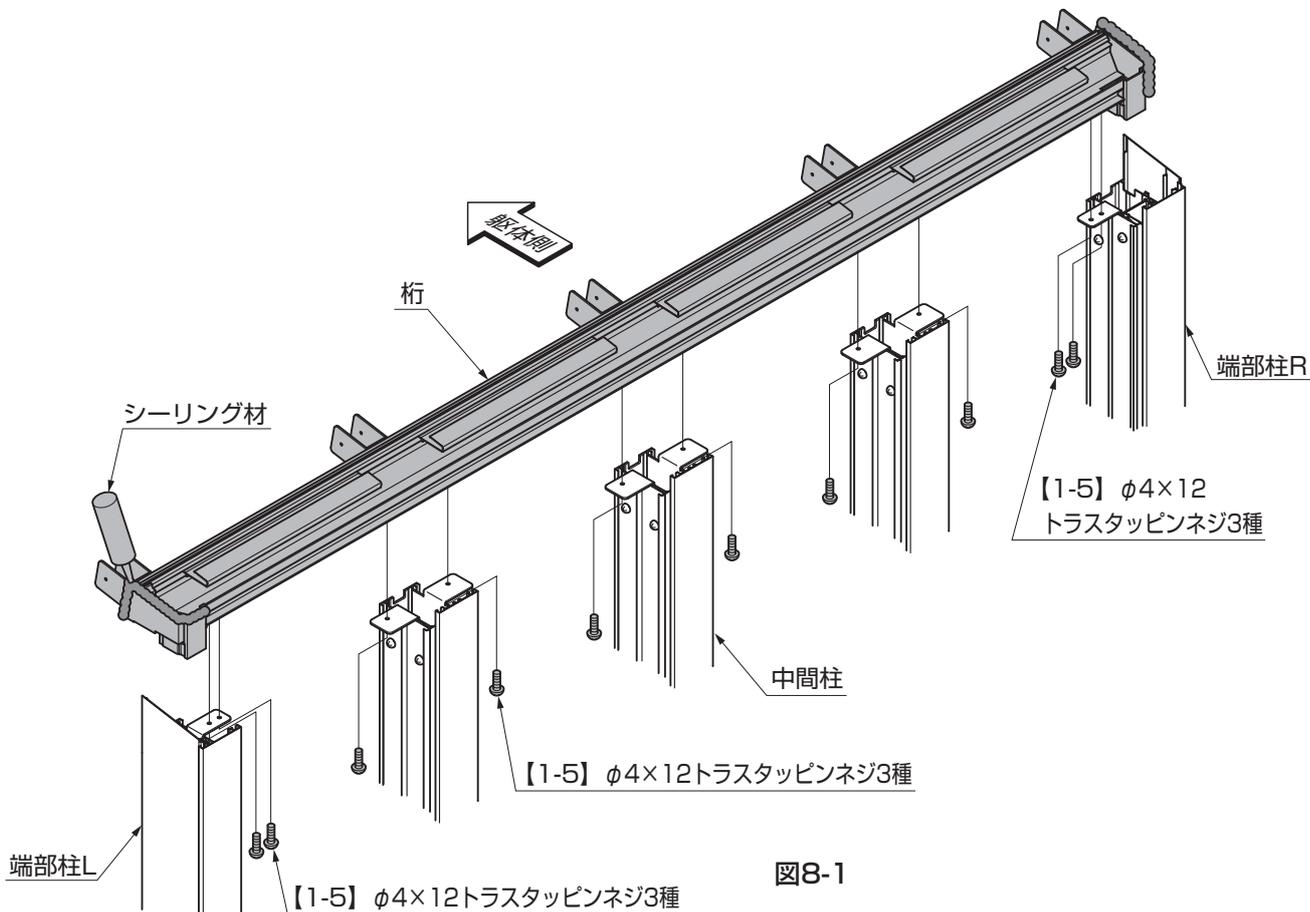
●指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

②桁キャップを桁に、【1-4】で取付けてください。

8. 桁の取付け

※連棟の場合は「8-2 連棟時の桁の加工、8-3 連棟用の桁の取付け、8-4 連棟時の垂木組付金具の取付け」と同時に行う作業です。

8-1 桁の取付け



- ① 桁を端部柱、中間柱に、【1-5】で取付けてください。
- ② 桁の端部をシーリングしてください。(図8-1参照)

ポイント

- 端部柱、中間柱を、桁の3本あるV溝の真中(*1)に取付けてください。(図8-3参照)
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

8. (つづき)

- 8-2 連棟時の桁の加工** ※連棟の場合の作業です。
 ※「8-1 桁の取付け」と同時に行う作業です。

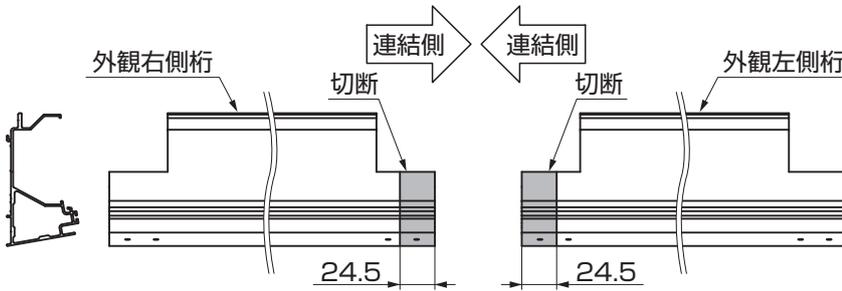


図8-4 桁の加工

- ①外観右側の桁を、24.5mm切断してください。
- ②外観左側の桁を、24.5mm切断してください。

ポイント

- 記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。

- 8-3 連棟用の桁の取付け** ※連棟の場合の作業です。
 ※「8-1 桁の取付け」と同時に行う作業です。

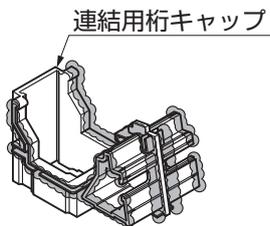


図8-5 シーリング箇所

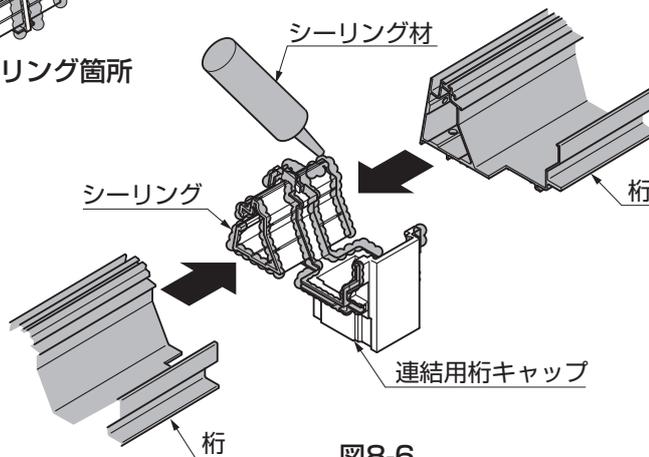


図8-6

- ①連結用桁キャップに、シーリングをしてください。(図8-5、図8-6参照)

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

- ②桁を連結用桁キャップに取付けてください。

- 8-4 連棟時の垂木組付金具の取付け** ※連棟の場合の作業です。
 ※「8-1 桁の取付け」と同時に行う作業です。

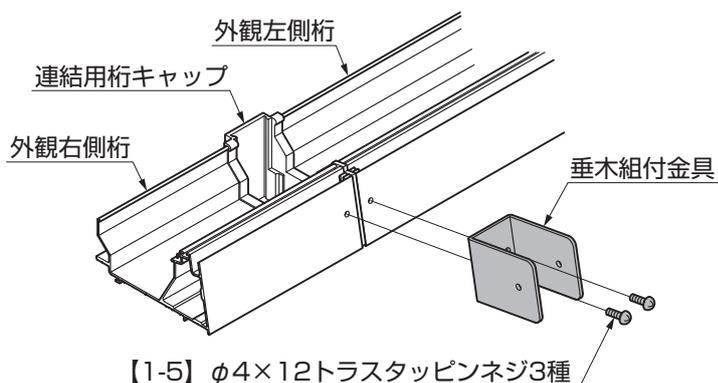


図8-7

- ①垂木組付金具を連結した桁に、【1-5】で取付けてください。

9. 桁カバー枠の取付け

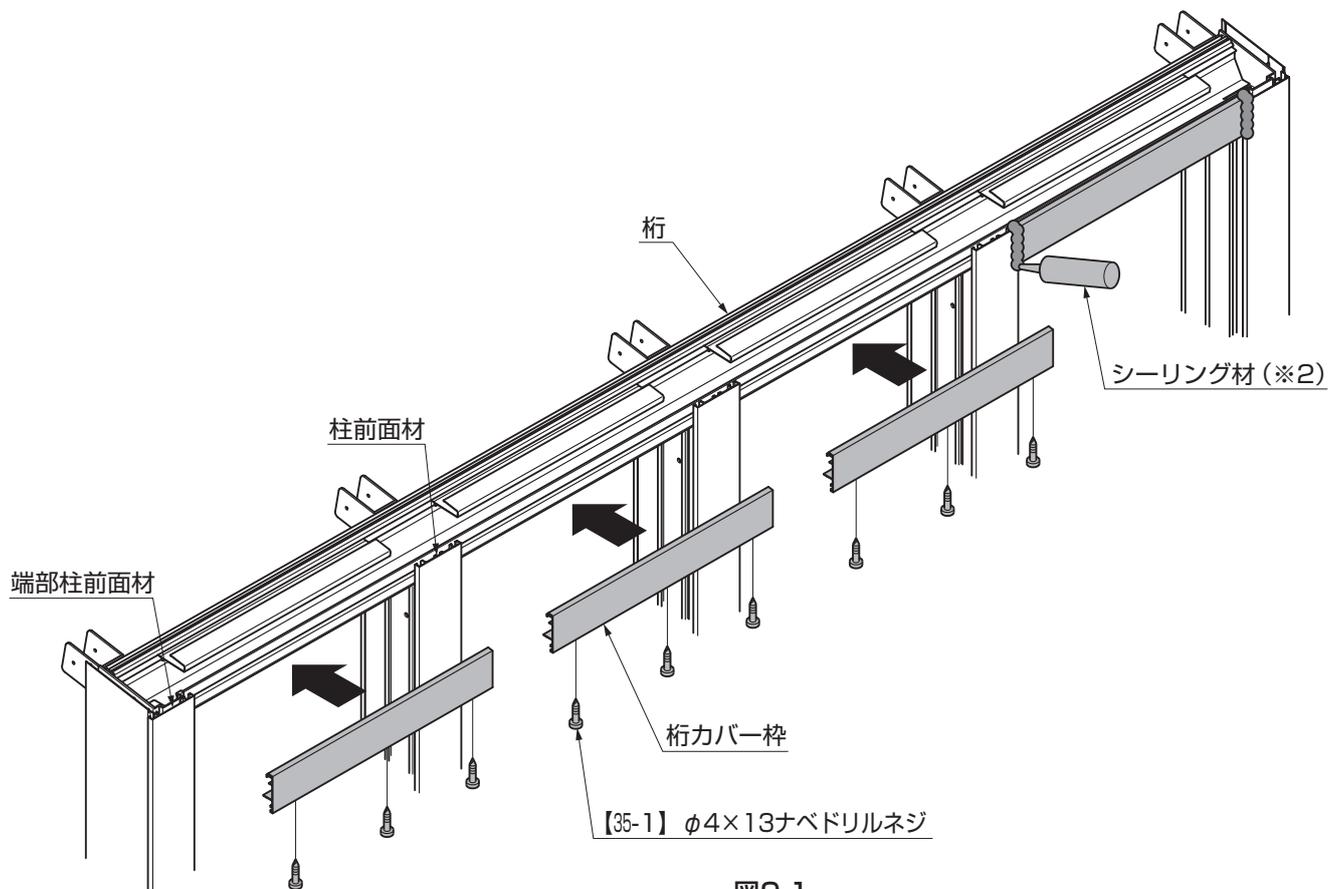


図9-1

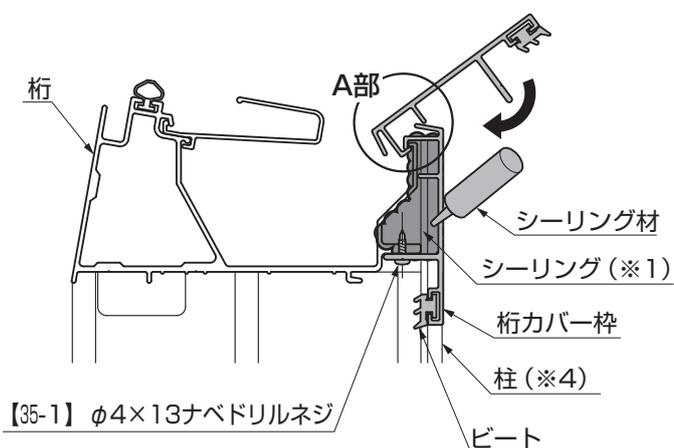


図9-2

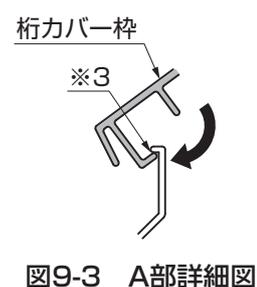


図9-3 A部詳細図

- ①桁カバー枠と桁の間(※1)に、シーリングをしてください。(図9-2参照)
- ②桁カバー枠を桁にはめ込み、【35-1】で取付けてください。
- ③桁カバー枠の両端に、シーリングをしてください。(※2)

ポイント

- 桁カバー枠の上部(※3)を桁に引っ掛けてはめ込んでください。(図9-3参照)
- 柱と桁カバー枠が平行になるように取付けてください。(※4)
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

10. 妻垂木・垂木の取付け

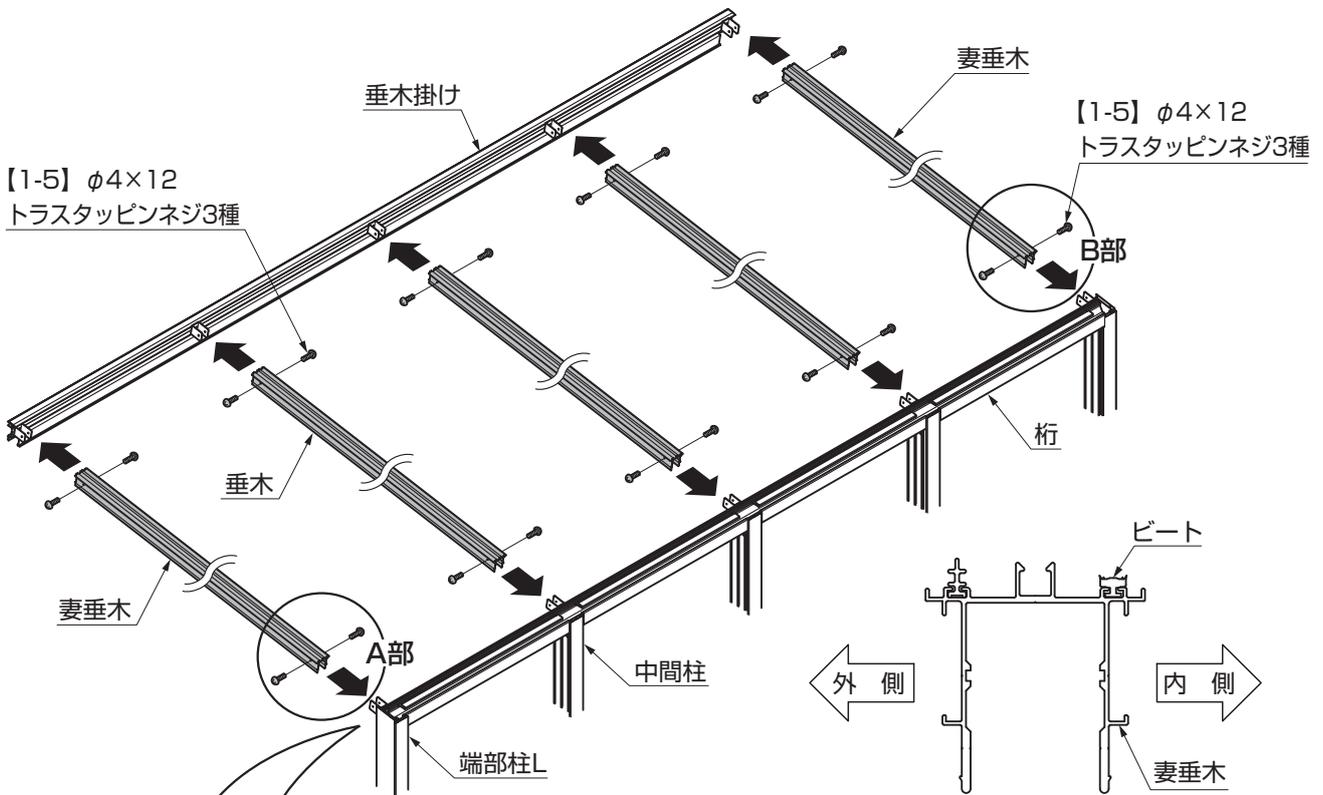


図10-1

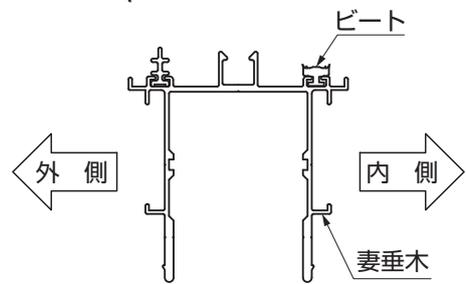


図10-3 A部詳細図

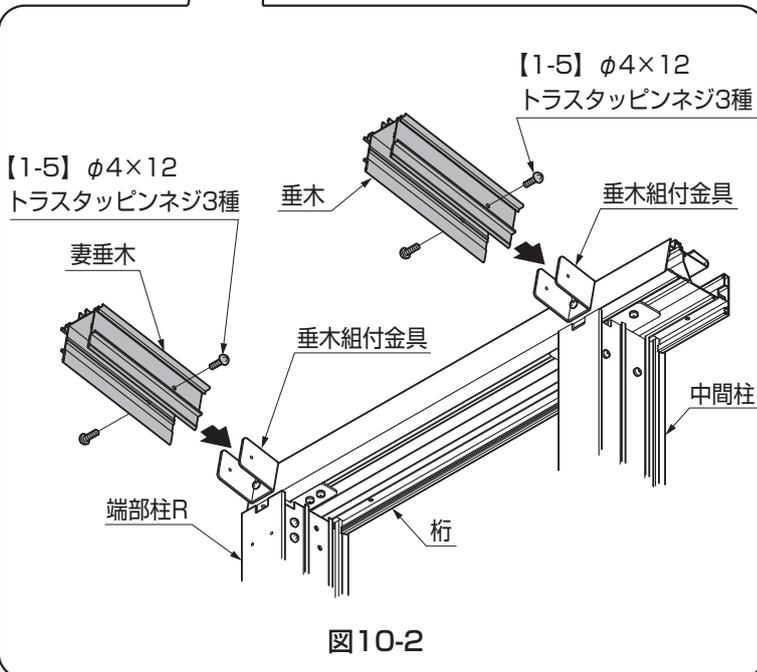


図10-2

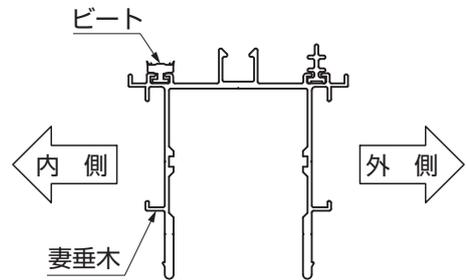


図10-4 B部詳細図

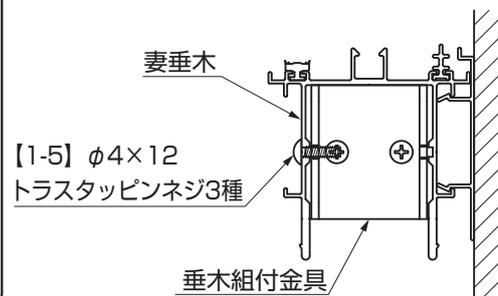


図10-5 入隅時の取付け

- ①妻垂木を垂木組付金具に、【1-5】で取付けてください。
- ②垂木を垂木組付金具に、【1-5】で取付けてください。

ポイント

- 妻垂木には取付ける向きがあります。図10-3、図10-4を参照して取付けてください。
- 入隅の場合の妻垂木の取付けは、【1-5】を片側だけ垂木組付金具に取付けてください。(図10-5参照)

11. 中骨の取付け

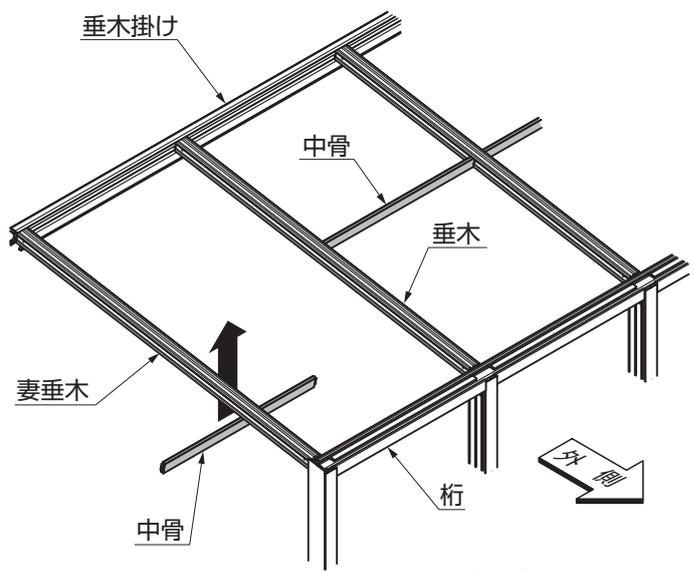


図11-1

表11-1 1スパン当りの中骨本数

	4尺	6尺	8尺
一般地域用	1	1	2
積雪地域用	2	2	4

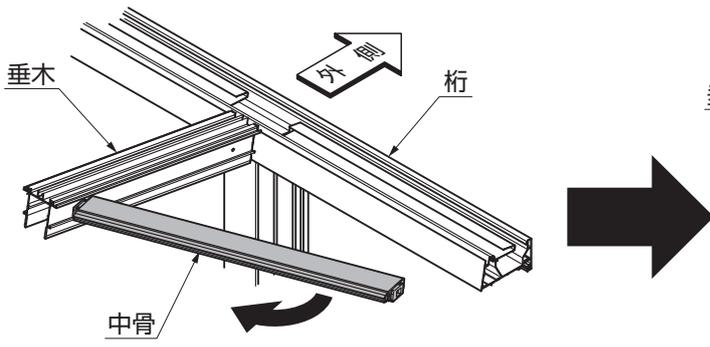
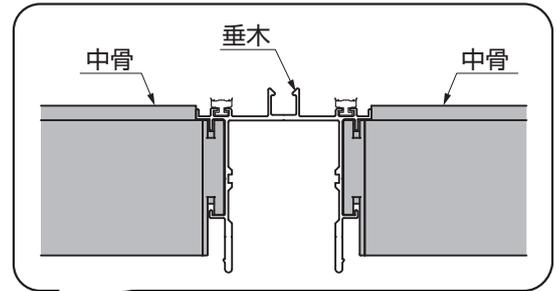


図11-2

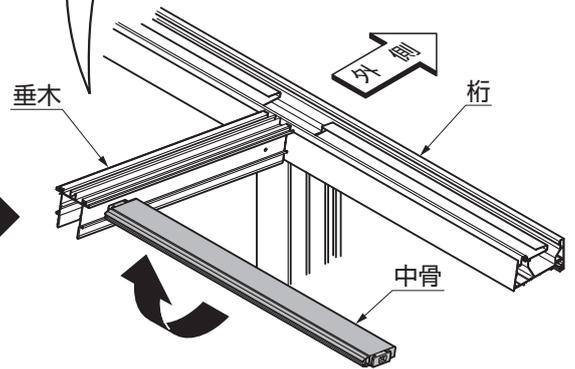


図11-3

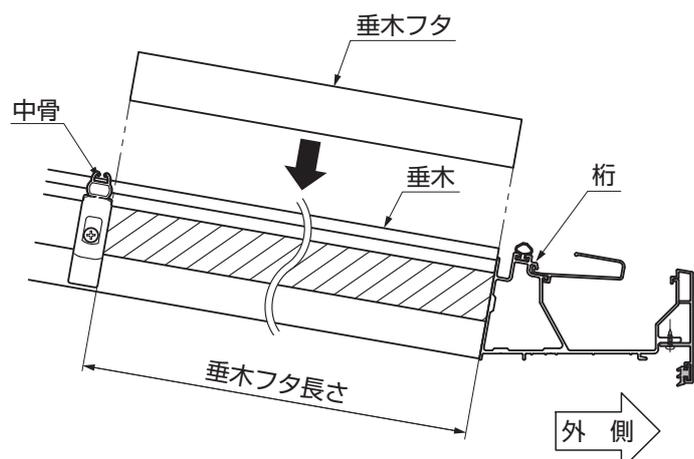


図11-4

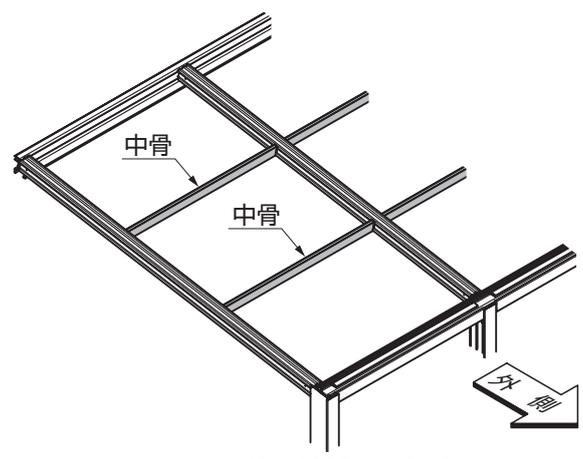


図11-5 積雪地域用の場合

①中骨を垂木間に回転しながら、はめ込んでください。(図11-2、図11-3参照)

ポイント

- 垂木フタの長さを目安に中骨のおおよその位置を決めてください。中骨は後で動かすことができます。(図11-4参照)
- 積雪地域用の場合は、中骨の本数が異なります。(表11-1、図11-5参照)

12. 屋根材の取付け

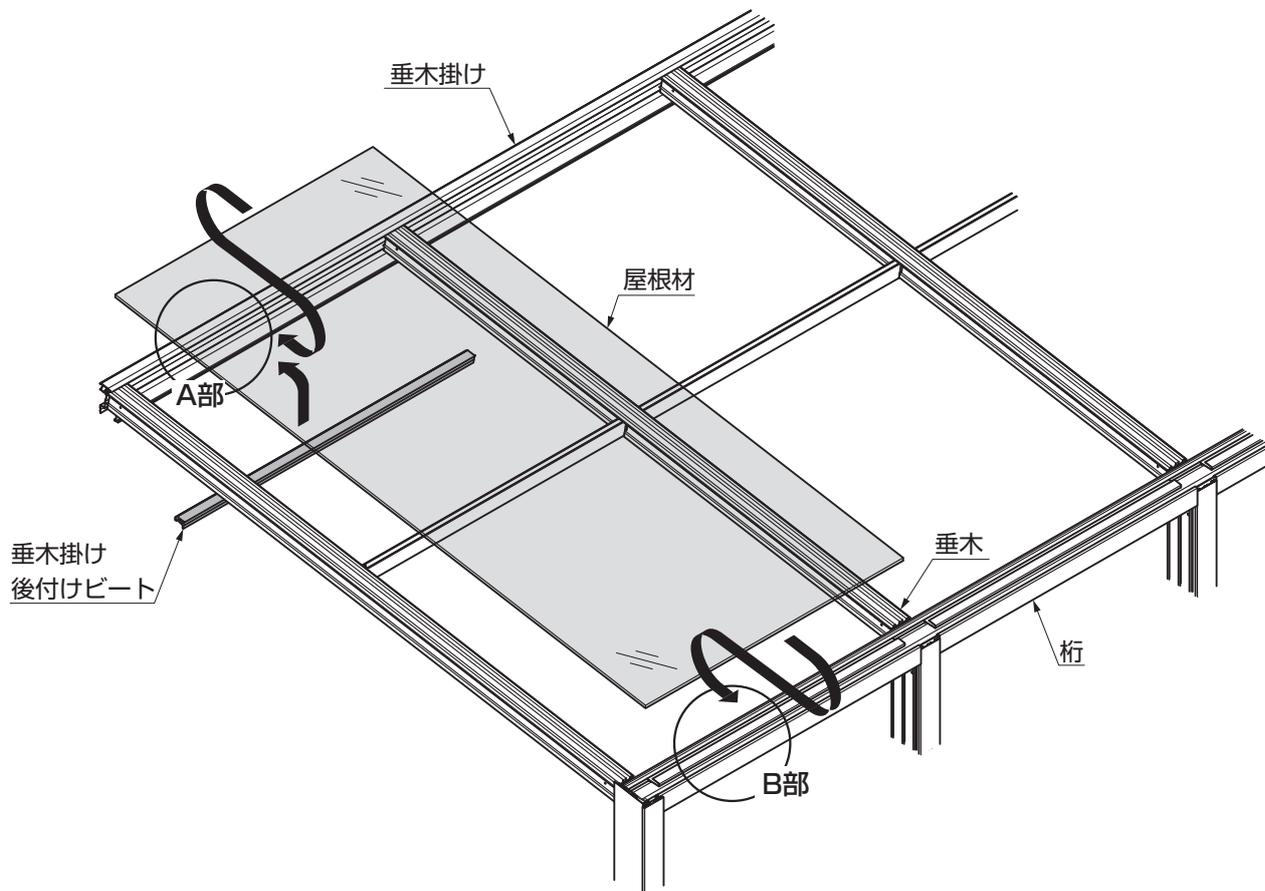


図12-1

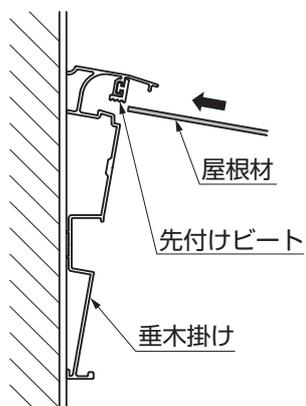


図12-2 A部詳細図

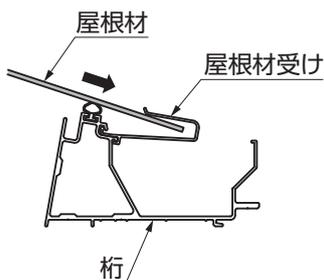


図12-3 B部詳細図

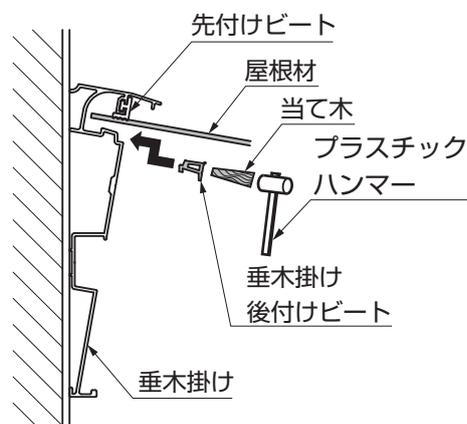


図12-4

ポイント

●左右どちらかの妻垂木より、1スパンごとに屋根材を取付けてください。

- ①屋根材受けを、垂木と垂木の間位置合わせしてください。
- ②屋根材を垂木掛けに、差込んでください。(図12-2参照)
- ③屋根材を屋根材受けに、差込んでください。(図12-3参照)
- ④垂木掛け後付けビートを、垂木掛けに差込んでください。(図12-4参照)

ポイント

●垂木掛け後付けビートはプラスチックハンマーでたたいてはめ込んでください。

13. 垂木カバーの取付け

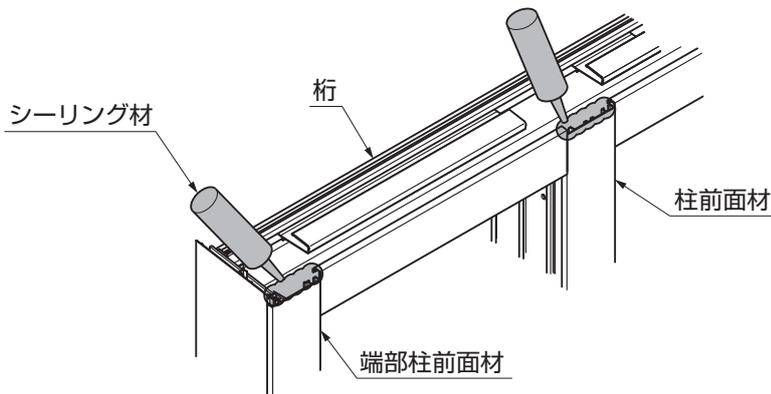


図13-1

- ①柱前面材と桁の間のすき間をふさぐように、シーリングをしてください。
(図13-1参照)

ポイント

- 図13-1の位置に確実にシーリングを行わないと雨漏りの原因になります。

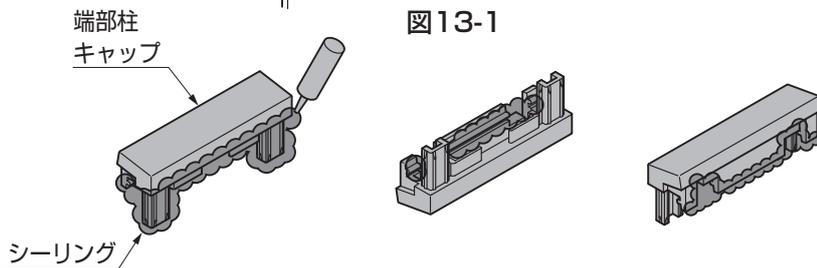


図13-2 端部柱キャップ

- ②端部柱キャップ、柱キャップにシーリングをしてください。
(図13-2、図13-3参照)

ポイント

- 柱キャップの裏面にシーリングは不要です。

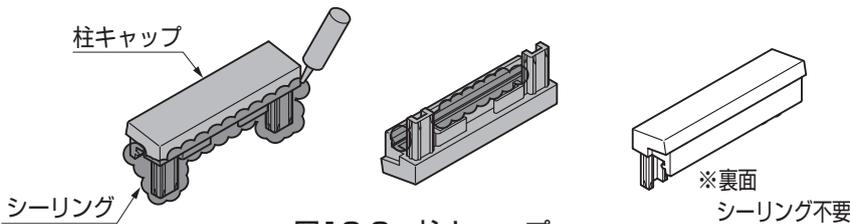


図13-3 柱キャップ

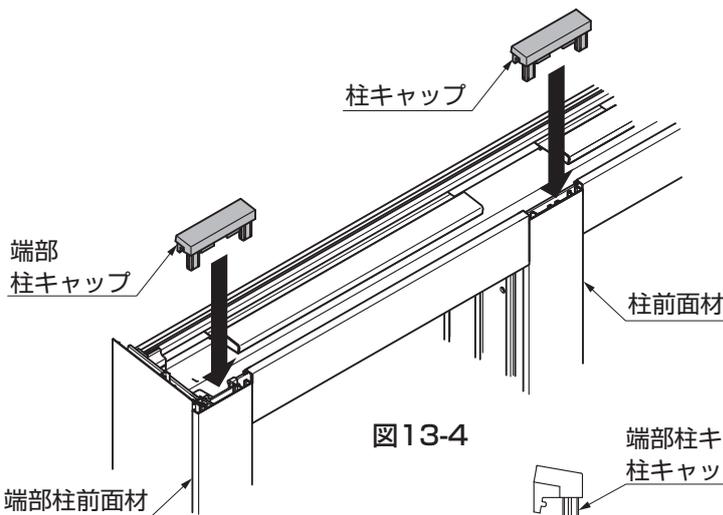


図13-4

- ③端部柱キャップを端部柱前面材、柱キャップを前面材にはめ込んでください。

ポイント

- 端部柱キャップ、柱キャップは、桁のリブ(※1)に引っ掛けるように上からはめ込んでください。
(図13-5参照)

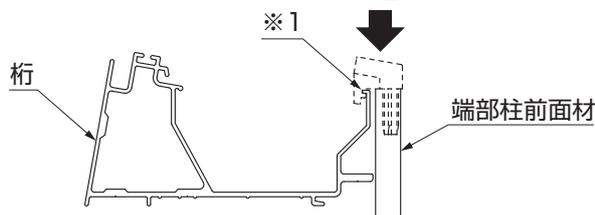


図13-5

13. (つづき)

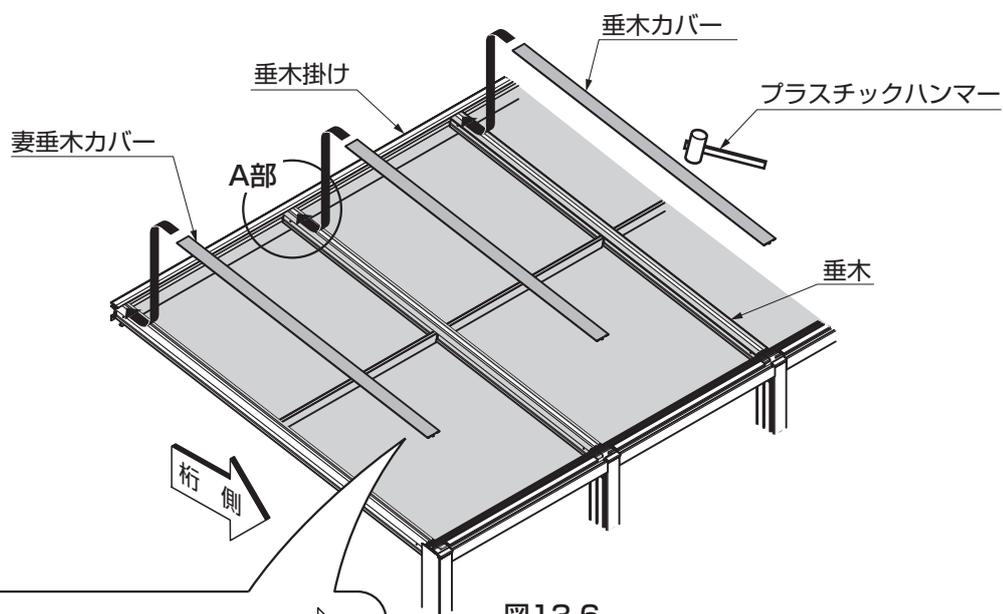


図13-6

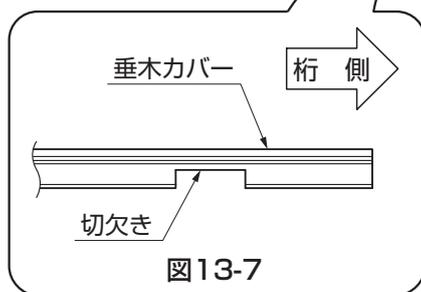


図13-7

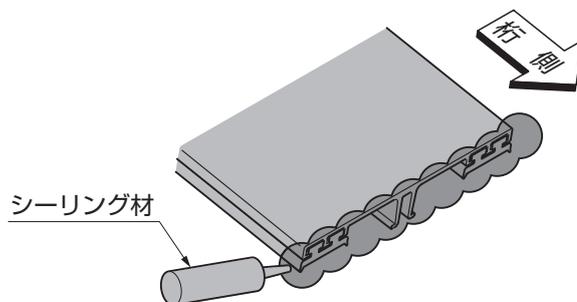


図13-8 垂木・妻垂木カバー

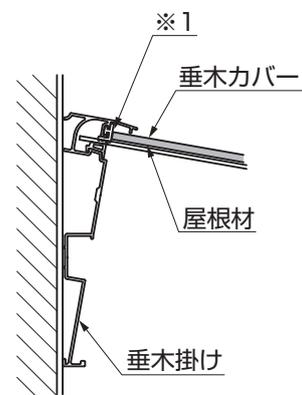
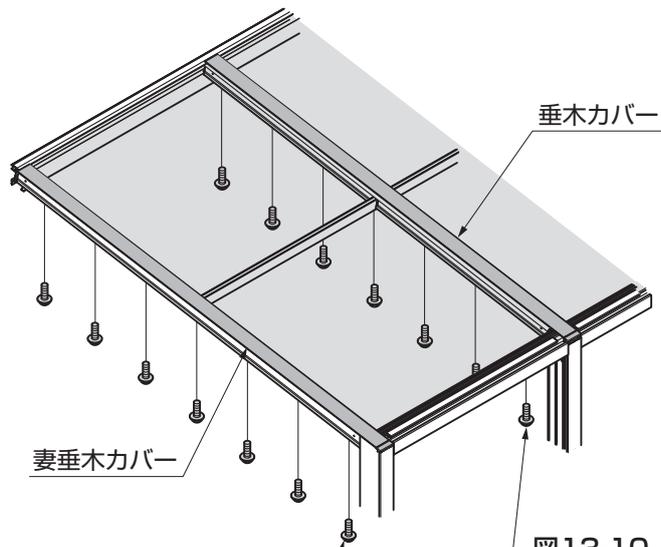


図13-9 A部詳細図

- ④垂木カバー、妻垂木カバーにシーリングをしてください。(図13-8参照)
- ⑤垂木カバー、妻垂木カバーを垂木掛けに差込んでください。妻垂木カバーは両端の垂木に、垂木カバーは中間の垂木に取付けてください。(図13-5参照)
- ⑥垂木カバー、妻垂木カバーを柱キャップ(桁側)へ押し当ててください。

ポイント

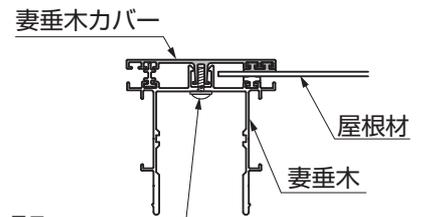
- 垂木カバー、妻垂木カバーは切欠きがある方を桁側にしてください。(図13-7参照)
- 垂木カバー、妻垂木カバーは、垂木掛けに突当てて、(※1)取付けてください。(図13-9参照)
- 垂木カバー、妻垂木カバーは、部材が凹まないように注意しながら、プラスチックハンマー等で押し込んでください。
- 屋根材の固定後、養生シートを確実に外してください。
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。



【1-7】φ4×12トラス
タッピンネジ2種 (PW+ゴムパッキン)

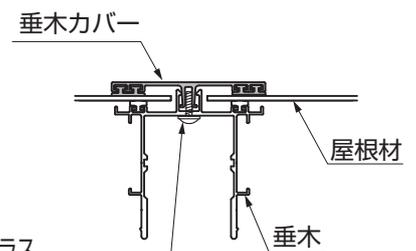
【1-7】φ4×12トラス
タッピンネジ2種 (PW+ゴムパッキン)

図13-10



【1-7】φ4×12トラス
タッピンネジ2種 (PW+ゴムパッキン)

図13-11 妻垂木部



【1-7】φ4×12トラス
タッピンネジ2種 (PW+ゴムパッキン)

図13-12 中間垂木部

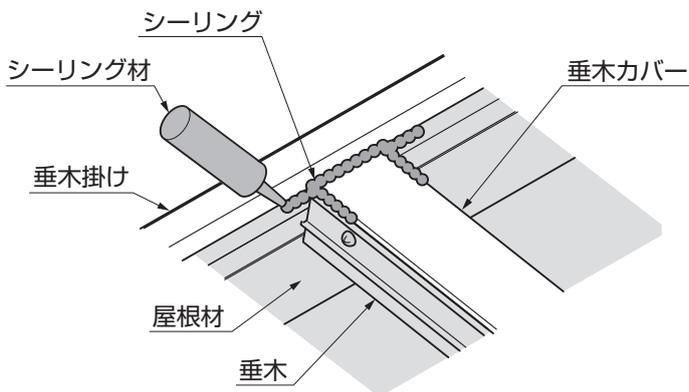


図13-13

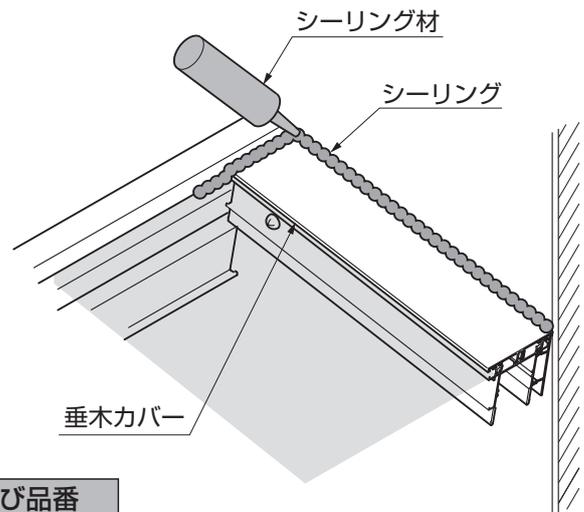


図13-14 入隅の場合

表13-1

シーリングメーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング(株)	SE960

⑥妻垂木カバーを妻垂木に、【1-7】で固定してください。(図13-10、図13-11参照)

⑦垂木カバーを垂木に、【1-7】で固定してください。(図13-10、図13-12参照)

ポイント

●屋根材の取付けは、のみ込みが左右均等になるようにしてください。(図13-11、図13-12参照)

⑧垂木カバーに、シーリングをしてください。(図13-13、図13-14参照)

ポイント

●指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

●ポリカーボネート板へシーリングする場合は、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。(表13-1参照) それ以外のシーリング材では、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがあります。

14. 垂木化粧材の取付け ※図はサイドスルータイプを示します。

14-1 垂木化粧材の取付け

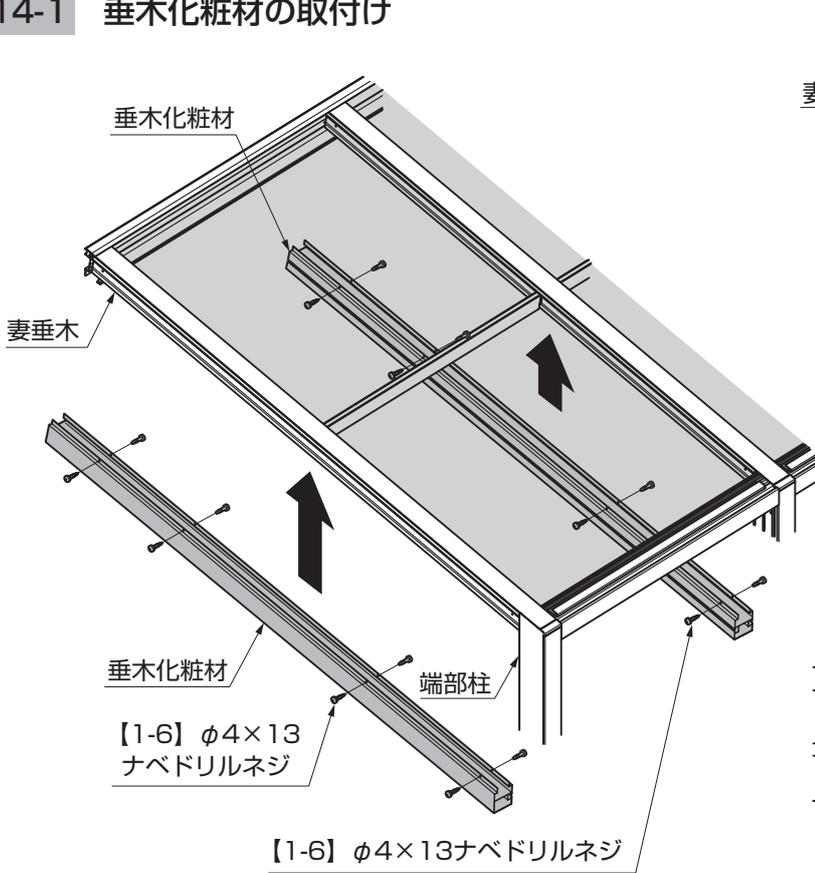


図14-1

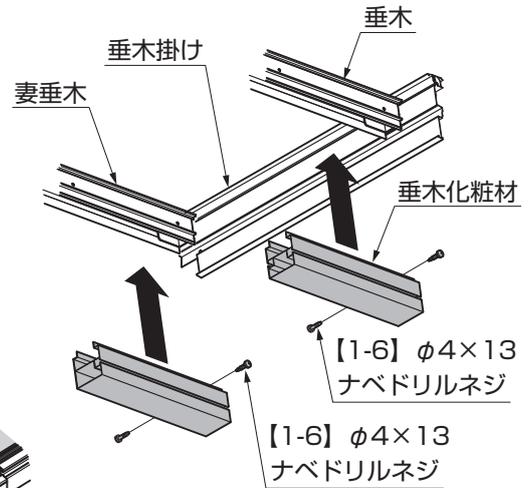


図14-2

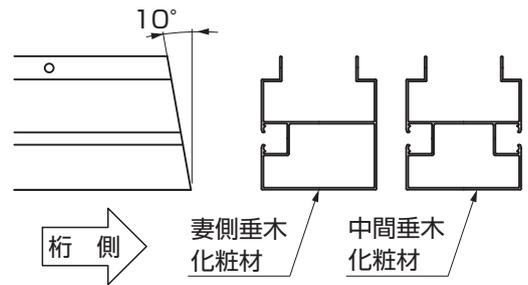


図14-3

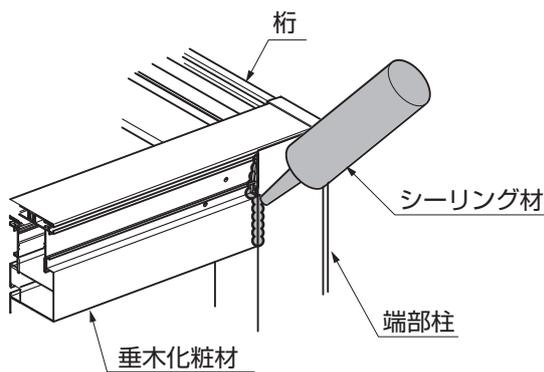


図14-4

表14-1 垂木化粧材一覧表

	サイドスルータイプ	ガーデンルームタイプ	ガーデンルームプラスタイプ	
妻側垂木				
中間垂木				

- ①垂木化粧材を垂木、妻垂木に、【1-6】で取付けてください。
- ②妻垂木、垂木化粧材と端部柱の接合部を、シーリングしてください。(図14-4参照)

ポイント

- 垂木化粧材の端が10°切欠いている側を桁側にしてください。(図14-3参照)
- 積雪仕様の場合は垂木化粧材を取付けるための既存穴と既存穴の間にφ3.5の穴をあけ、【19-1】、【20-1】、【21-1】で取付けてください。
- 各タイプの垂木化粧材はそれぞれ異なります。(表14-1参照)
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。(図14-4参照)

14-2 ガーデンルームプラスタイプの場合

表14-2 ガーデンルームプラスLタイプの場合

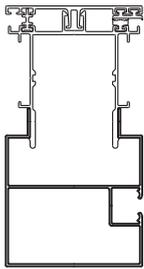
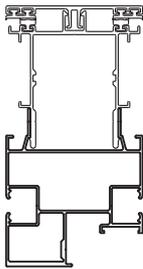
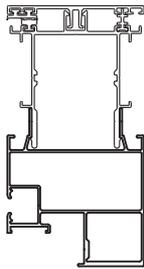
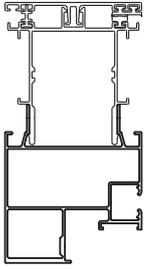
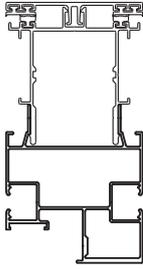
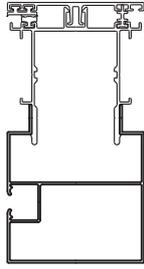
使用箇所	妻垂木 左	折戸パネルを取付ける垂木	妻垂木 右
タイプ	サイドスルータイプ	ガーデンルームタイプ	
使用する垂木化粧材	垂木化粧材 L (※1)	仕切り部垂木化粧材 L_ ガーデンルーム用 (※1)	垂木化粧材 R_ ガーデンルーム用 (※1)
納まり図			

表14-3 ガーデンルームプラスRタイプの場合

使用箇所	妻垂木 左	折戸パネルを取付ける垂木	妻垂木 右
タイプ	ガーデンルームタイプ		サイドスルータイプ
使用する垂木化粧材	垂木化粧材 L_ ガーデンルーム用 (※1)	仕切り部垂木化粧材 R_ ガーデンルーム用 (※1)	垂木化粧材 R (※1)
納まり図			

①表14-2、表14-3を参照して、垂木化粧材を取付けてください。

ポイント

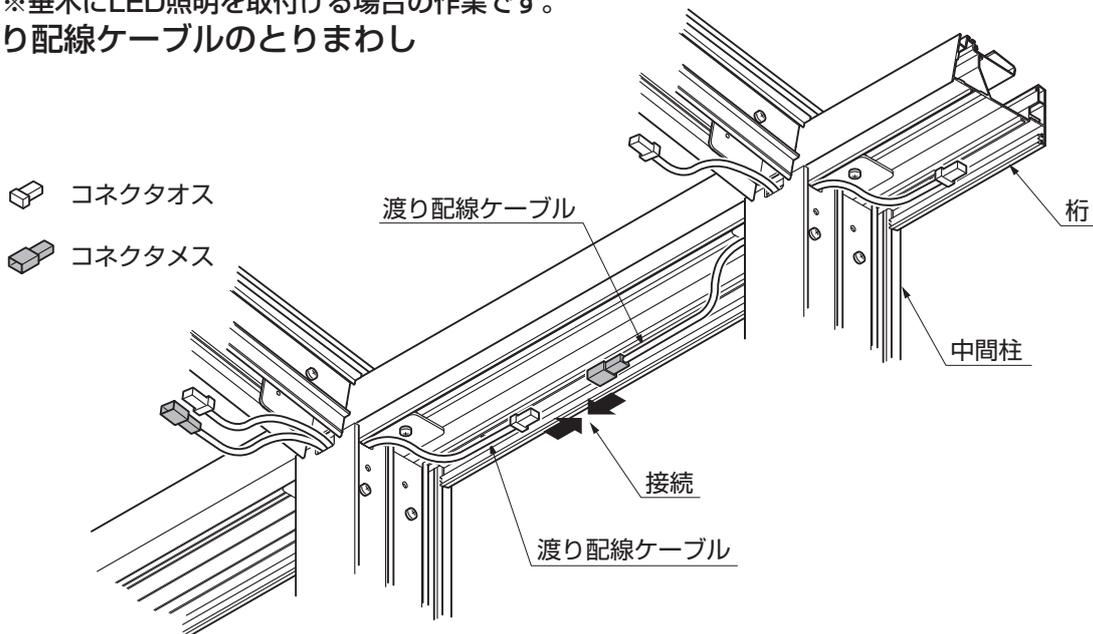
- 各タイプの垂木化粧材 (※1) は、「【22】左入妻垂木化粧材セット、【23】右入妻垂木化粧材セット」に梱包しています。

14. (つづき)

14-3 垂木化粧材 照明付の取付け **オプション**

※垂木にLED照明を取付ける場合の作業です。

(1) 渡り配線ケーブルのとりまわし



① 渡り配線ケーブルを中間柱に、とりまわしてください。

ポイント

●LEDユニットは、渡り配線ケーブルを介して、6本まで連続接続が可能です。

(2) 垂木化粧材 照明付の取付け

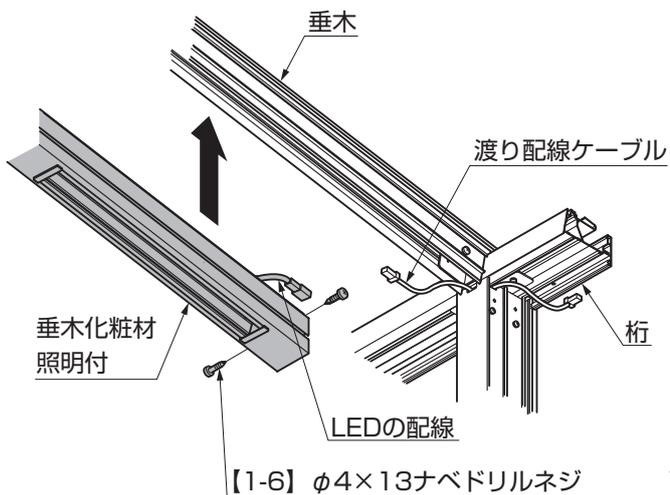


図14-5 下部から配線する場合

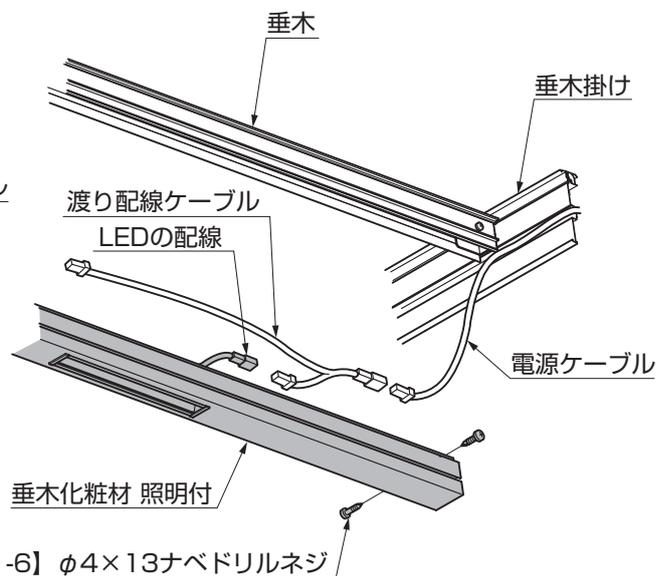


図14-6 上部から配線する場合

- ① 垂木化粧材 照明付に付いているLEDの配線を、電源ケーブルまたは渡り配線ケーブルに接続してください。
- ② 垂木化粧材 照明付を垂木に、【1-6】で取付けてください。

ポイント

- 垂木化粧材 照明付の端が10° 切欠いている側を桁側にしてください。
- LED照明 **オプション** を取付ける場合は、「5 本体の施工 2. 配線工事 **オプション**」を参照してください。

14-4 入隅の場合

(1) 妻垂木の加工

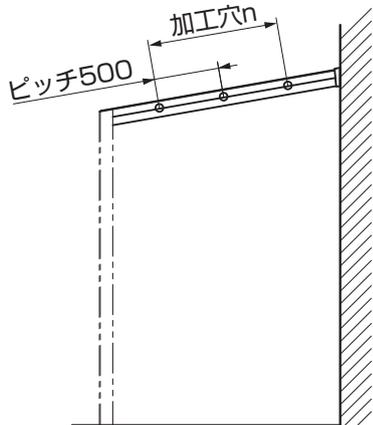


表14-4

	加工穴n
4尺	2
6尺	3
8尺	4

図14-7

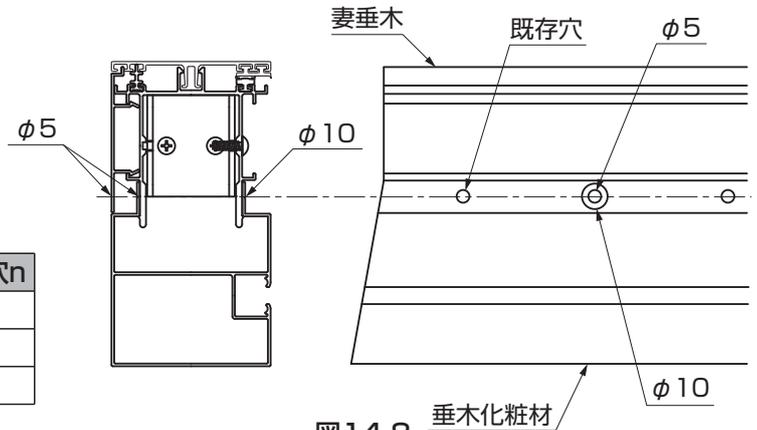


図14-8

- ①垂木化粧材を妻垂木に仮置きして、垂木化粧材と妻垂木にφ10、φ5の穴をあけてください。
(図14-7、図14-8、表14-4参照)

ポイント

- 穴加工は、既存穴の間にあけてください。

(2) サイドスルータイプの場合の垂木化粧材の取付け

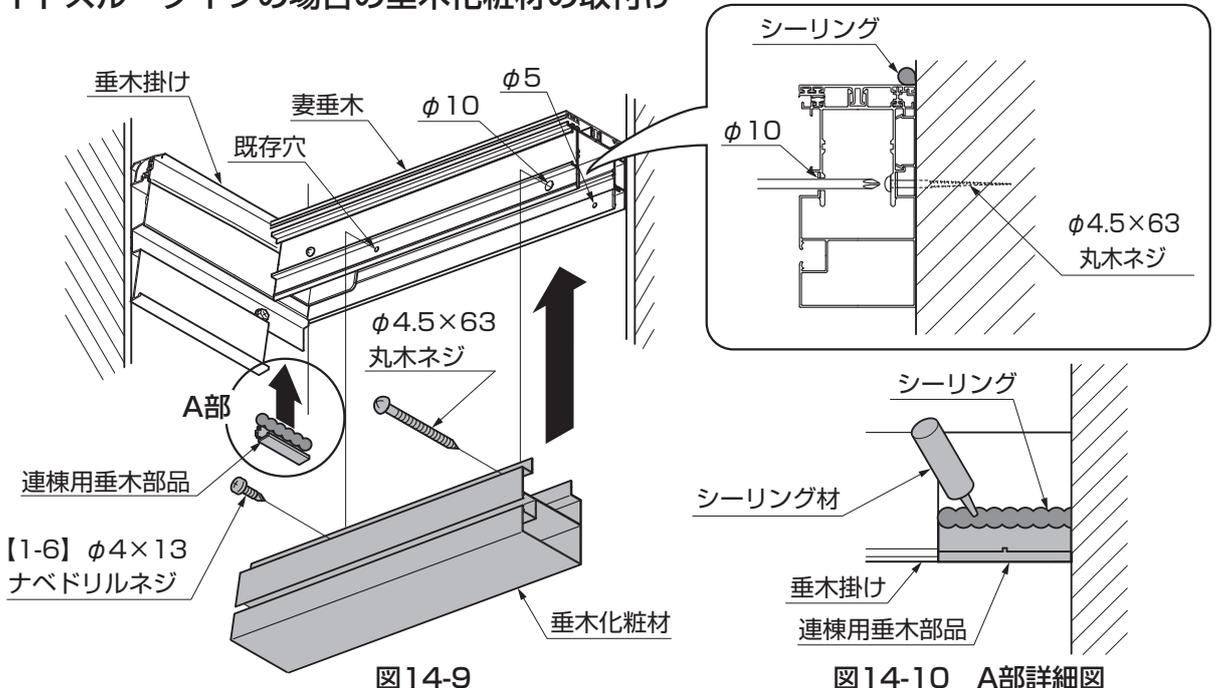


図14-9

図14-10 A部詳細図

- ①垂木化粧材を妻垂木に組付け、φ10の穴から「φ4.5×63丸木ネジ」を差込み、φ5の穴から躯体に取付けてください。

ポイント

- 「φ4.5×63丸木ネジ」は現場で手配してください。
 - 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。
- ②垂木化粧材を妻垂木の既存穴に、【1-6】で取付けてください。
- ③連棟用垂木掛部品にシーリングし、垂木掛けに取付けてください。(図14-10参照)

14. (つづき)

14-4 つづき

(3) ガーデンルームタイプの場合の垂木化粧材の取付け

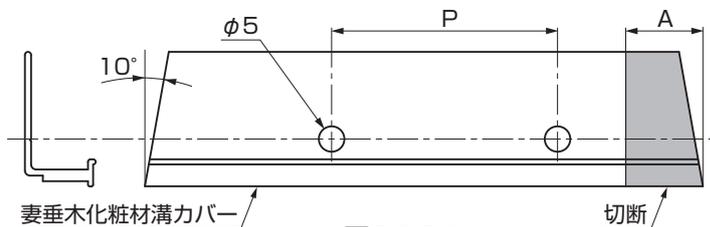


図14-11

表14-5

	加工穴n	P	切断寸法A
4尺	2	1000	1218
6尺	3	800	609
8尺	4	700	0

- ① 4尺・6尺の場合、妻垂木化粧材溝カバーを切断してください。(図14-11、表14-5参照)
- ② 妻垂木化粧材溝カバーに、φ5の穴をあけてください。(図14-11、表14-5参照)

ポイント

- 記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。

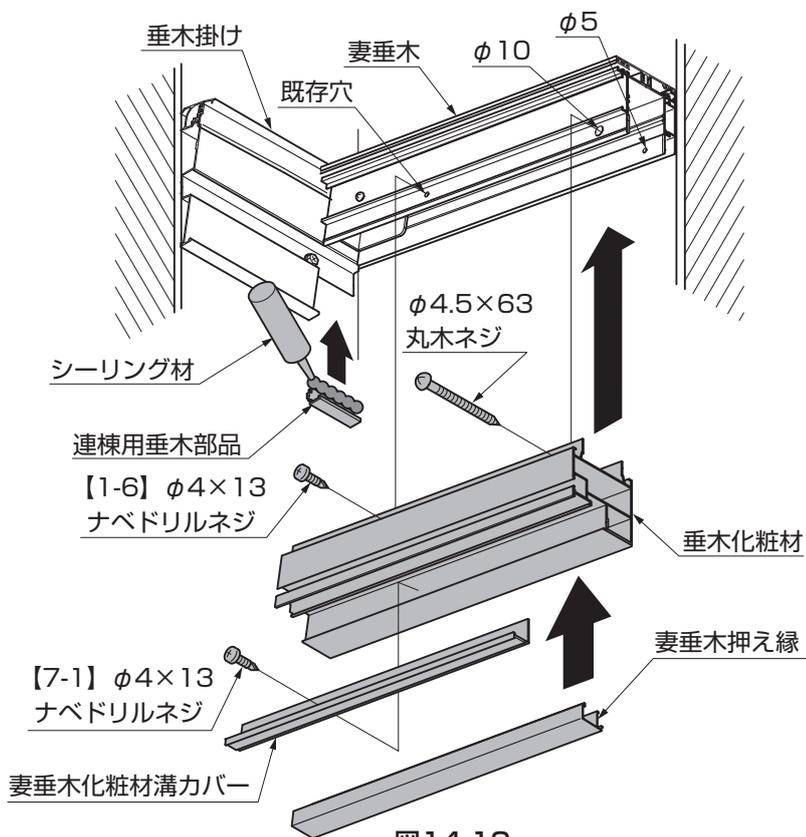


図14-12

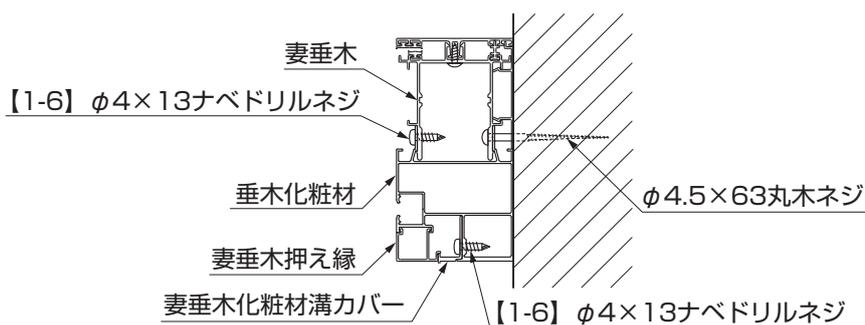


図14-13

- ③ 垂木化粧材を妻垂木に組付け、φ10の穴から「φ4.5×63丸木ネジ」を差込み、φ5の穴から躯体に取付けてください。

ポイント

- 「φ4.5×63丸木ネジ」は現場で手配してください。
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

- ④ 連棟用垂木掛部品にシーリングし、垂木掛けに取付けてください。
- ⑤ 垂木化粧材を妻垂木の既存穴に、【1-6】で取付けてください。
- ⑥ 妻垂木化粧材溝カバーを垂木化粧材に【7-1】で取付けてください。
- ⑦ 妻垂木押え縁を垂木化粧材に取付けてください。

15. 垂木フタの取付け ※図はサイドスルータイプを示します。

15-1 垂木フタの取付け

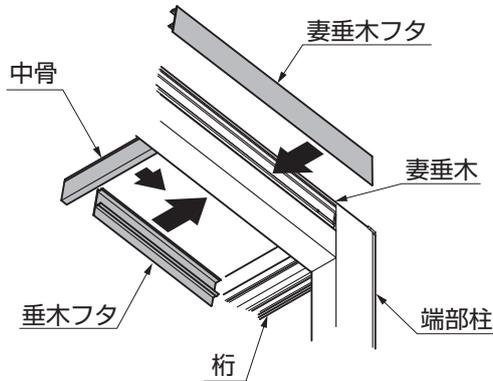


図15-1 妻垂木部

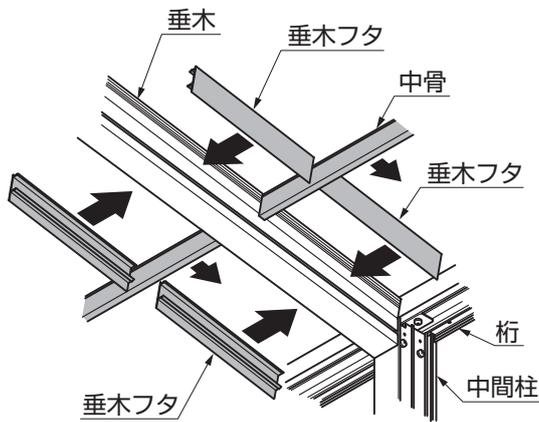


図15-2 中間垂木部

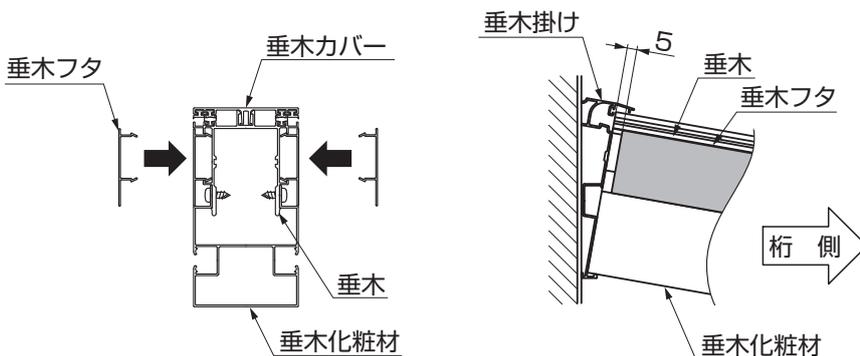


図15-3

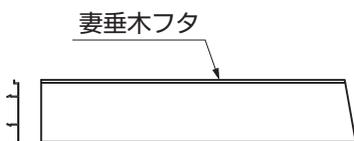


図15-4 端部用

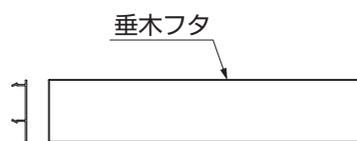


図15-5 中間用

- ①妻垂木フタを、妻垂木にはめ込んでください。
- ②桁側の垂木フタを、桁に突きあてて垂木にはめ込んでください。
- ③中骨を、取付けた垂木フタ側に寄せてください。
- ④垂木掛け側の垂木フタを、中骨に突きあてて、垂木にはめ込んでください。

ポイント

- 垂木フタは桁側に寄せて取付けて、垂木掛けと垂木フタを5mm程度のすき間をあけてください。(図15-3参照)
- 垂木フタは端部用と中間用があります。端部には妻垂木フタを取付けてください。(図15-4、図15-5参照)

16. 垂木掛けキャップの取付け

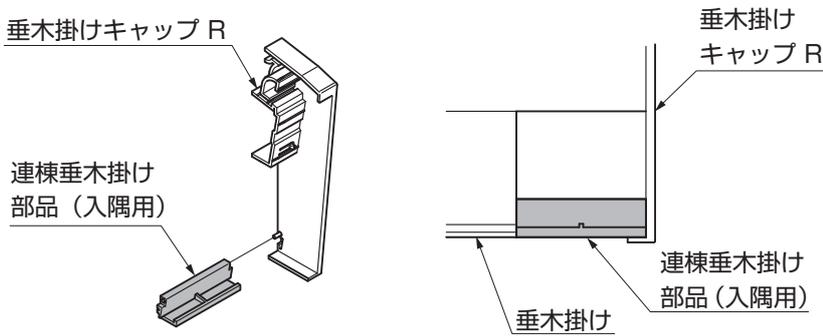


図16-1 サイドスルータイプの場合

①サイドスルータイプの場合、連棟垂木掛け部品を垂木掛けキャップに取付けてください。(図16-1参照)

ポイント

●ガーデンルームタイプの場合には、垂木掛けキャップに連棟垂木掛け部品を取付けません。

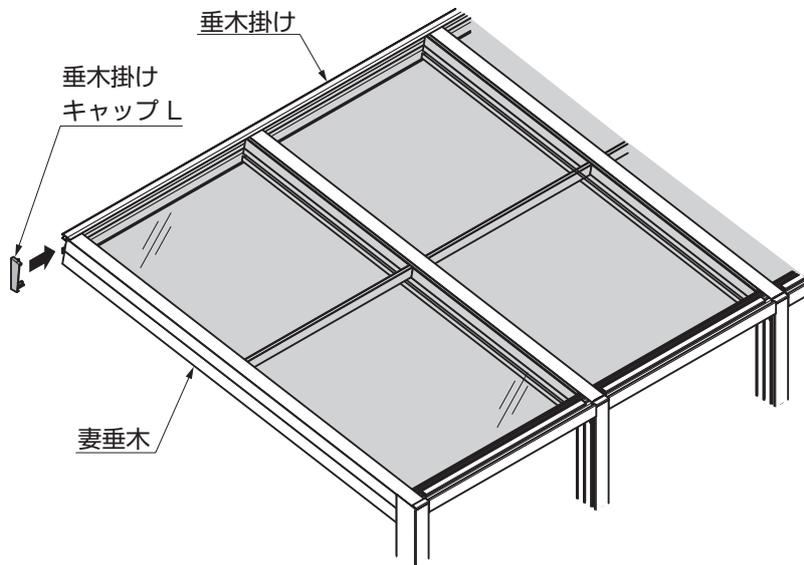


図16-2

②垂木掛けキャップを、垂木掛けに取付けてください。(図16-2参照)

ポイント

●入隅の場合は、入隅側の垂木掛けキャップは取付けません。

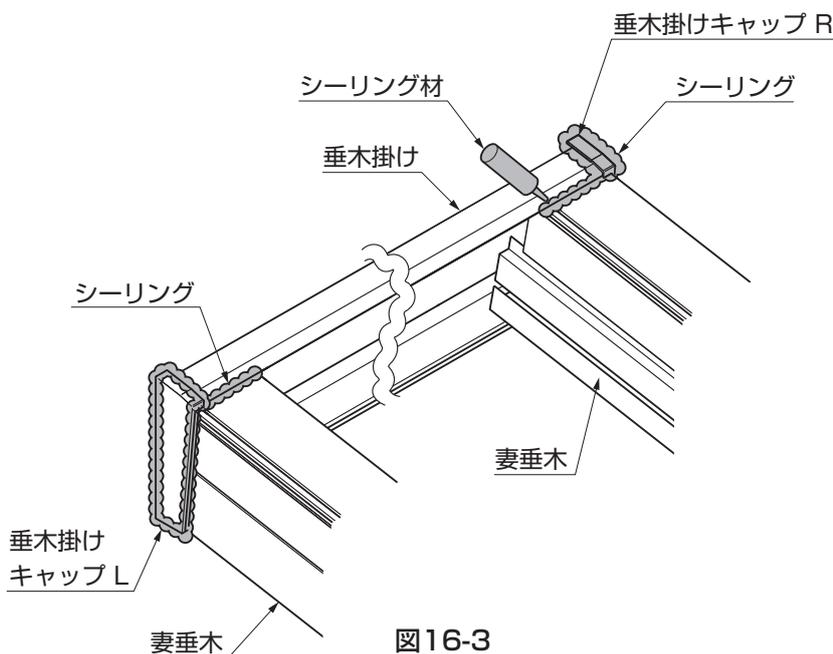


図16-3

③垂木掛けキャップのまわりに、シーリングをしてください。(図16-3参照)

ポイント

●指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

17. 垂木掛けカバーの取付け

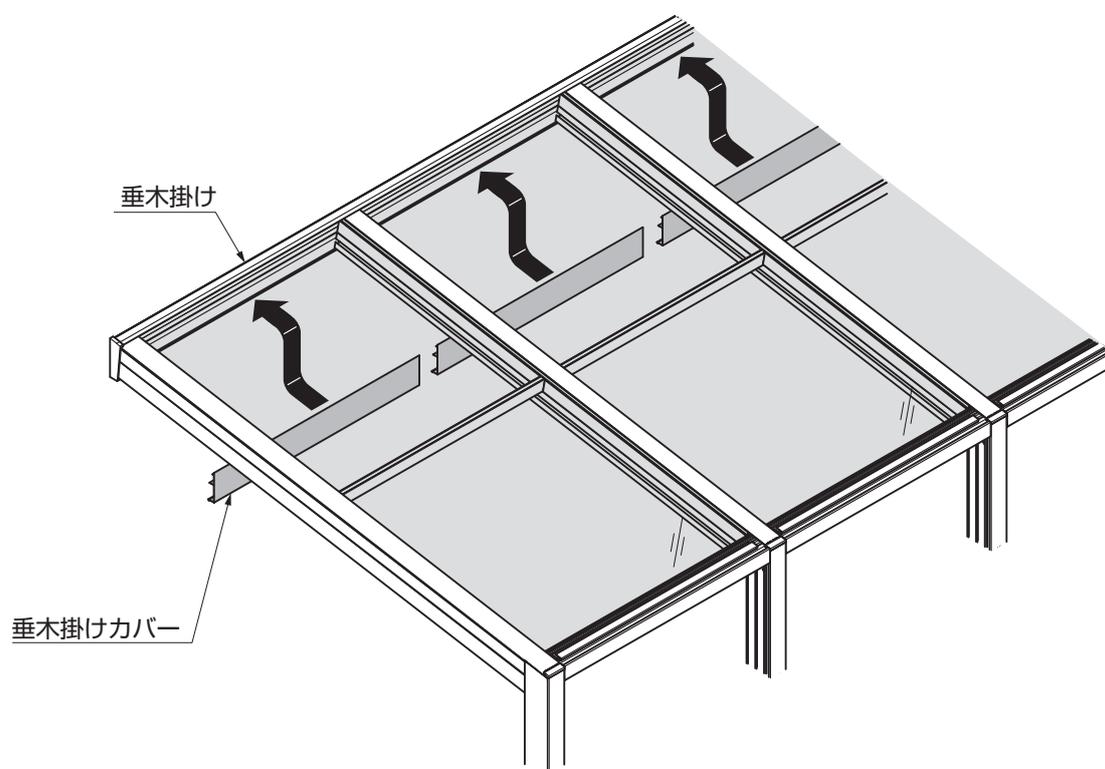


図17-1

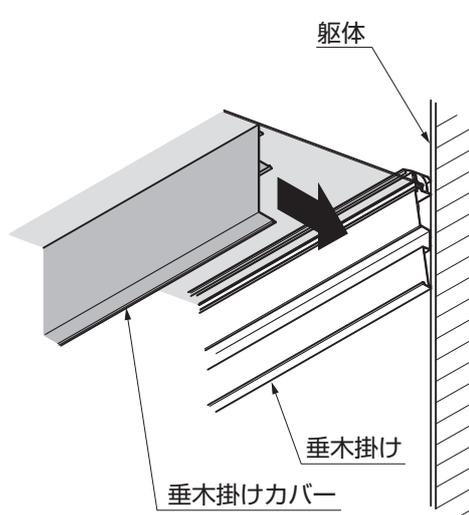


図17-2

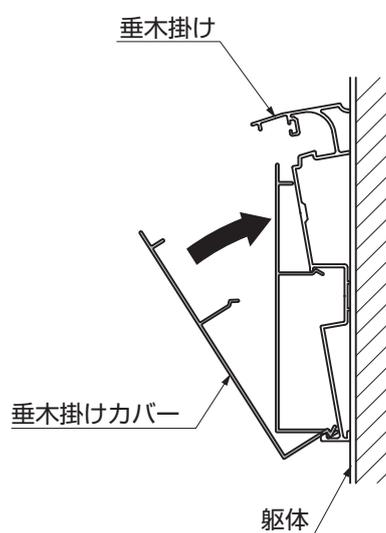


図17-3

🔑ポイント

●内部日除けを取付ける場合は、先に取付けてください。

①垂木掛けカバーを、垂木掛けにはめ込んでください。

🔑ポイント

●垂木掛けカバーを取付ける際に、端部で化粧部をキズつけないようにしてください。

18. 雨樋受け部品の取付け

18-1 雨樋受け部品の取付け

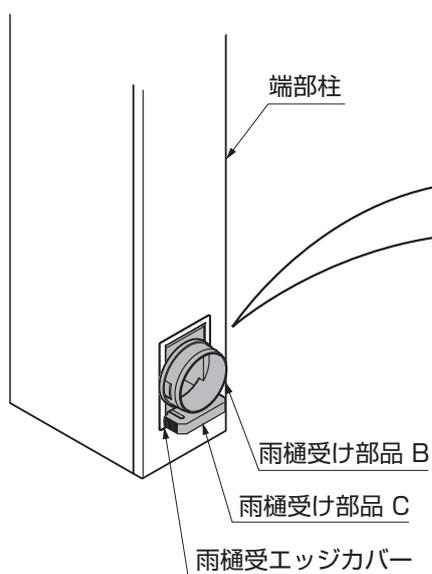


図18-1

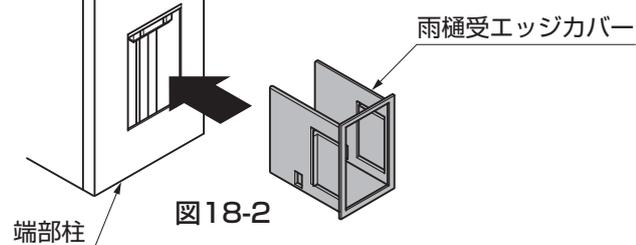


図18-2

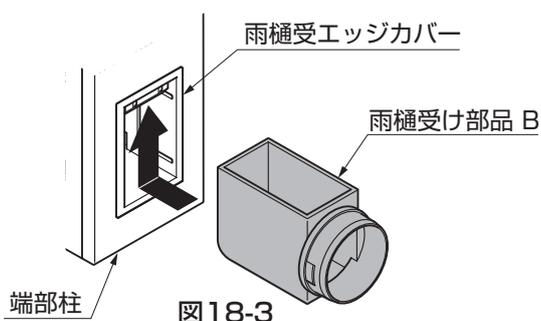


図18-3

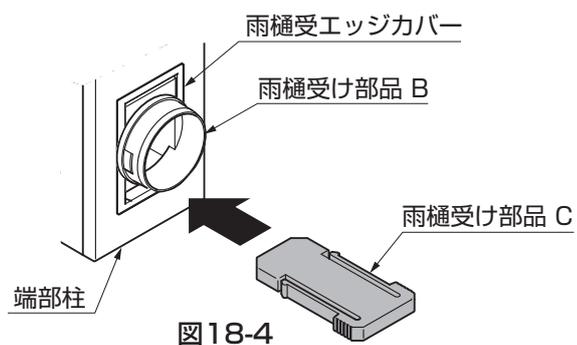


図18-4

- ①端部柱に、雨樋受けエッジカバーをはめ込んでください。(図18-2参照)
- ②雨樋受け部品 Bを端部柱にはめ込み、上に少し持ち上げてください。(図18-3参照)
- ③雨樋受け部品 Cを端部柱にはめ込んでください。(図18-4参照)

ポイント

- 雨樋受け部品 B、雨樋受け部品 Cは接着しないでください。

18-2 雨樋受け部品の取外し

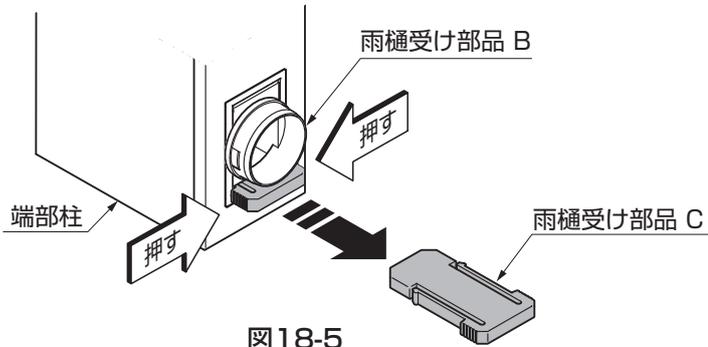


図18-5

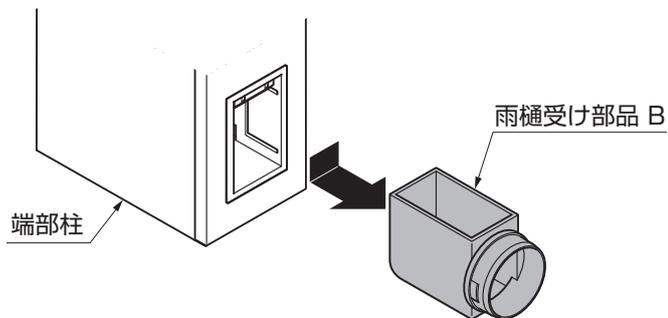


図18-6

補足

●雨樋受けは、ゴミがたまったとき等に取外することができます。

①雨樋受け部品 Cを取外してください。
(図18-5参照)

②雨樋受け部品 Bを取外してください。
(図18-6参照)

19. 丸樋の取付け

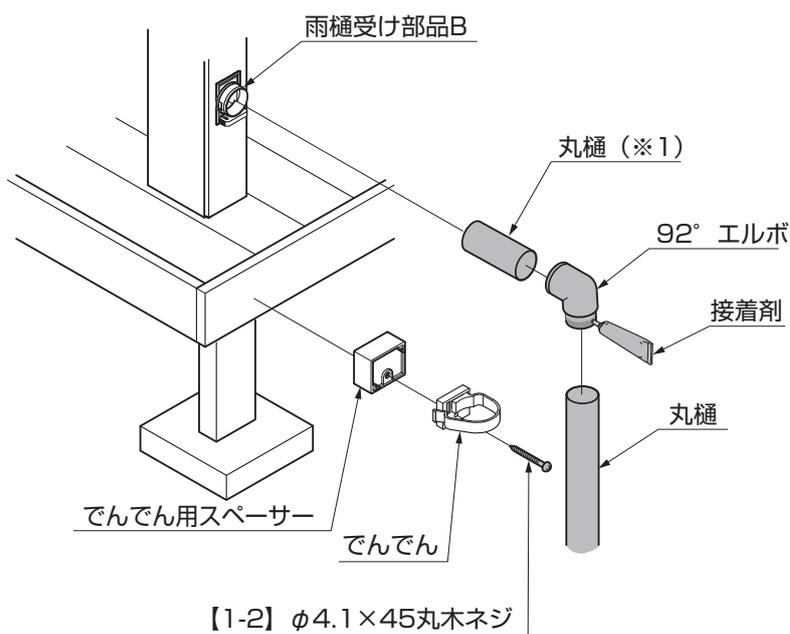


図19-1

①丸樋を92° エルボに取付け、でんでん、でんでん用スペーサーと【1-2】で幕板等に取付けてください。

②92° エルボを、雨樋受け部品Bに接着剤で取付けてください。

ポイント

●清掃時には、取外す必要があるので丸樋(※1)は接着しないでください。

6 前面パネルの取付け

※図はサイドスルータイプを示します。

1. パネル下枠1の取付け

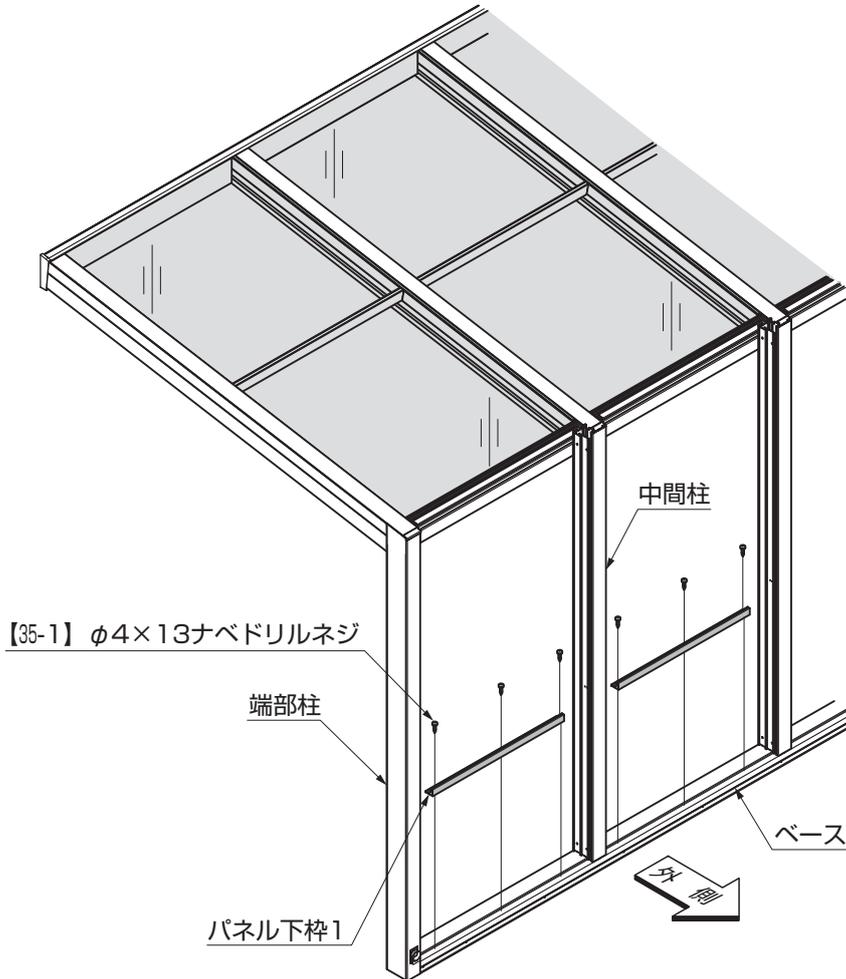


図1-1

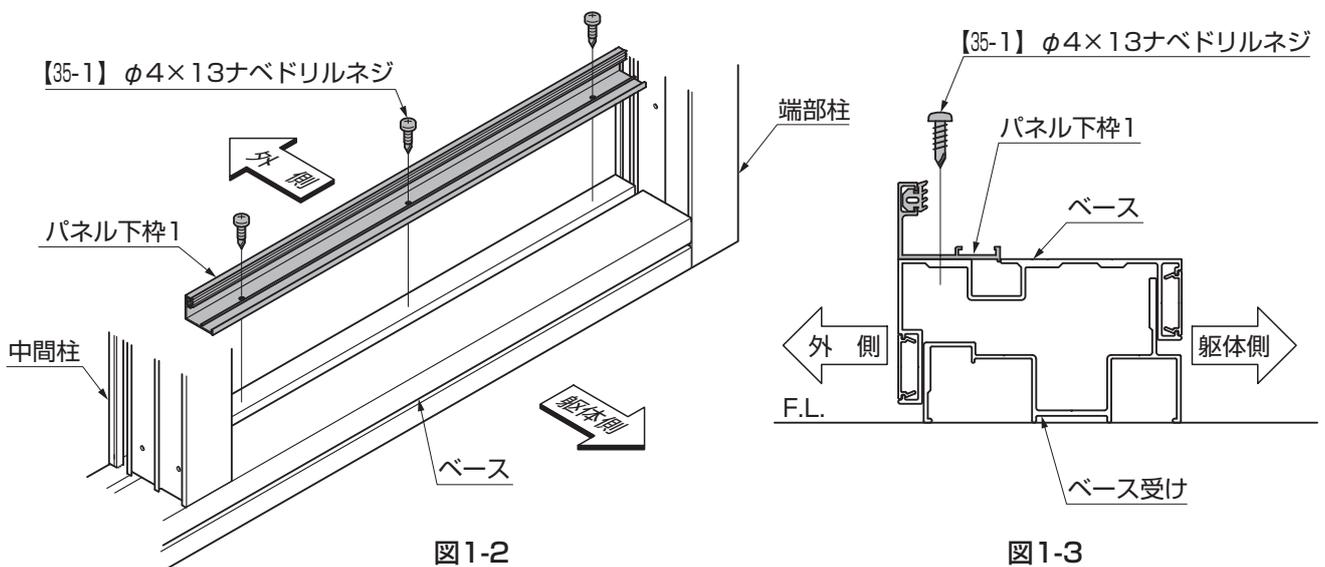


図1-2

図1-3

①パネル下枠1をベースに、【35-1】で取付けてください。

2. 中棧の取付け ※中棧を取付ける場合の作業です。

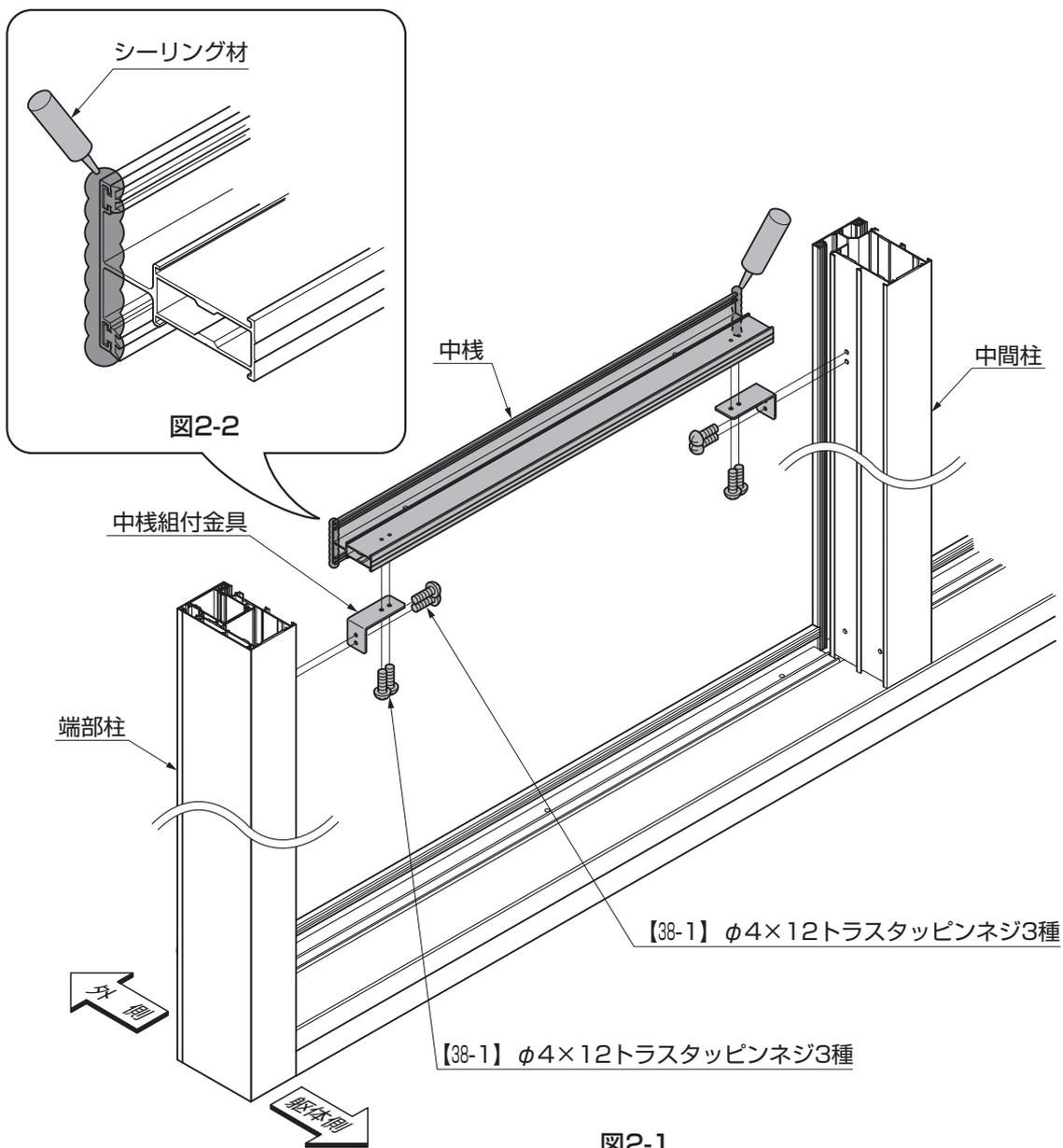


図2-1

- ①中棧の端部をシーリングしてください。
- ②中棧組付金具を端部柱、中間柱に【38-1】で取付けてください。
- ③中棧を中棧組付金具に、【38-1】で取付けてください。

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

3. 前面パネルの取付け

3-1 中棧なしの場合の取付け

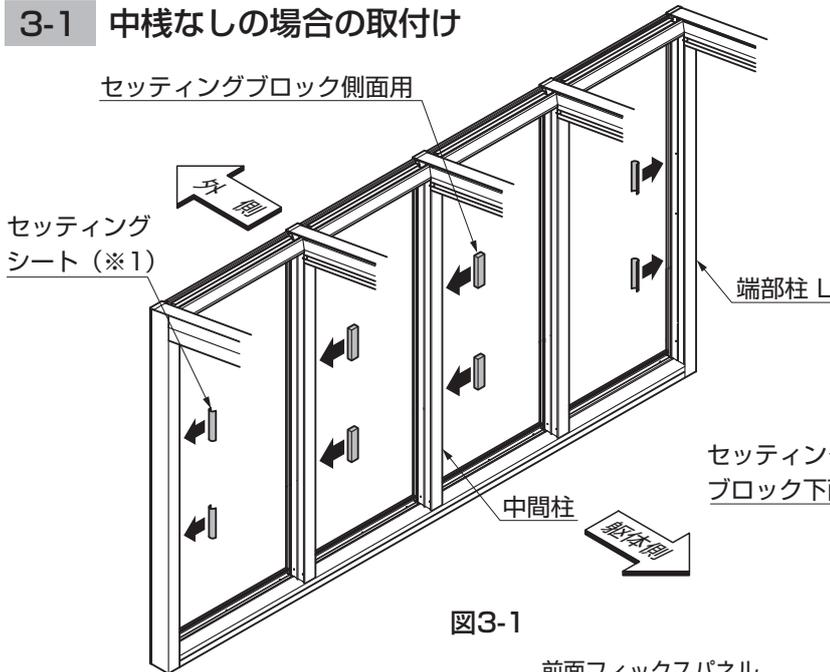


図3-1

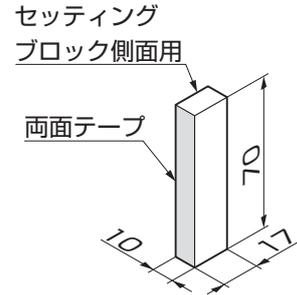


図3-2 側面用

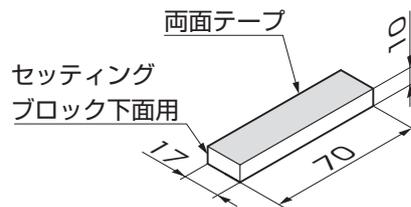


図3-3 下面用

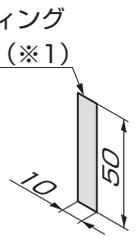


図3-4

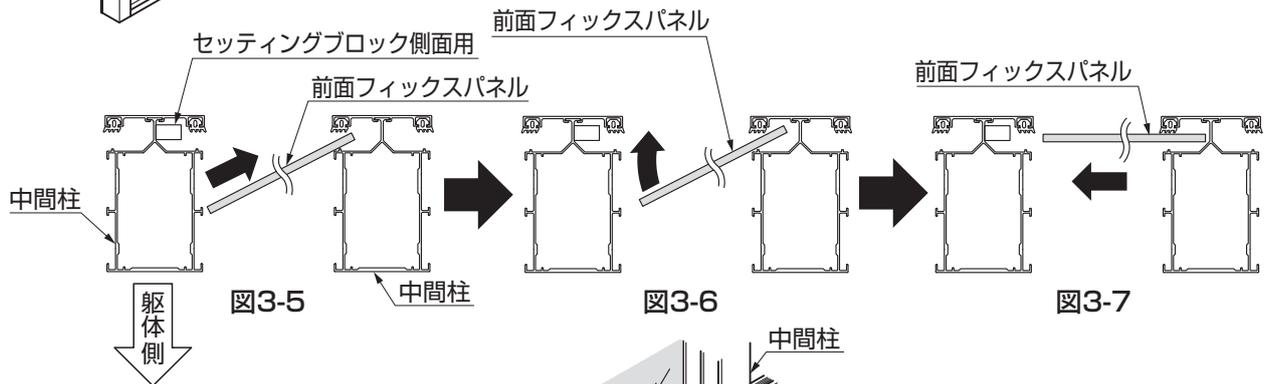


図3-5

図3-6

図3-7

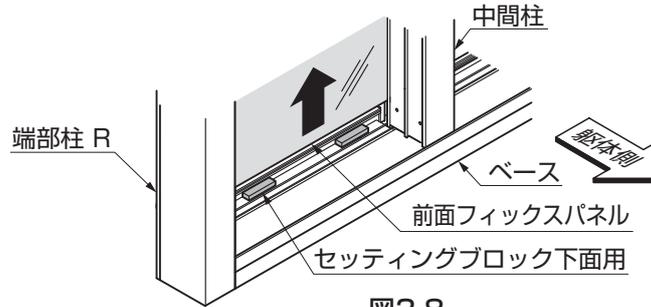


図3-8

①セッティングブロック側面用を、中間柱の片側に取付けてください。(図3-1参照)

ポイント

- セッティングブロックには、側面用と下面用の2種類があります。(図3-2、図3-3参照)
- セッティングブロック側面用は、中間柱間の片側に取付けてください。
- セッティングシートは、ガラスパネルを取付ける場合に端部柱に取付けます。(※1)

②前面フィックスパネルの片側を中間柱に差込んで、反対側を端部柱、中間柱に押し込むようにはめ込んでください。(図3-5、図3-6、図3-7参照)

③前面フィックスパネルを上方へ持上げて、セッティングブロック下面用をベースに取付けてください。(図3-8参照)

ポイント

- 前面フィックスパネルは、吸盤等で持上げてください。
- 前面フィックスパネル(ポリカクリア、ポリカクールマット)の固定後、養生シートを確実に外してください。

3-2 中棧ありの場合

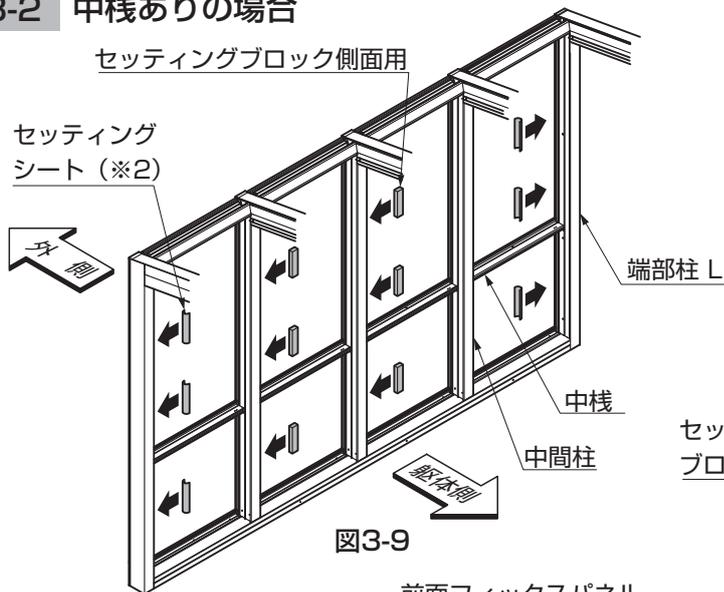


図3-9

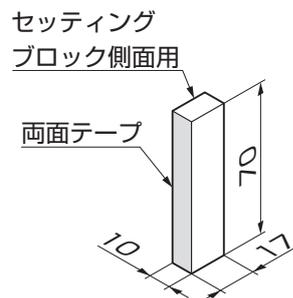


図3-10 側面用

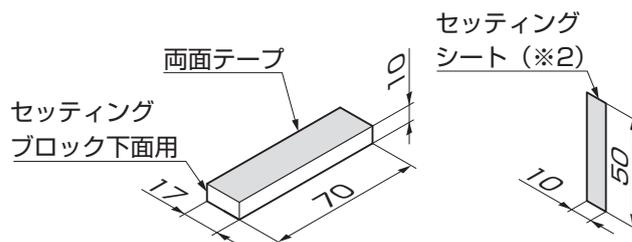


図3-11 下面用

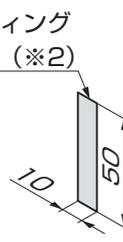


図3-12

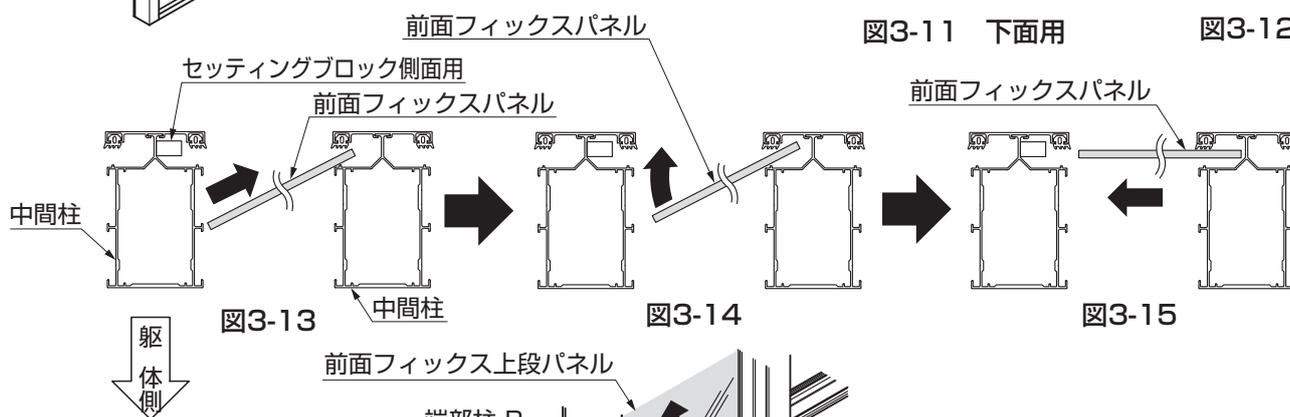


図3-13

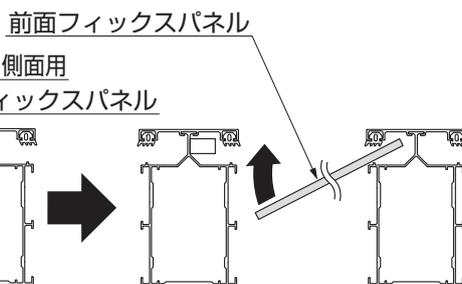


図3-14

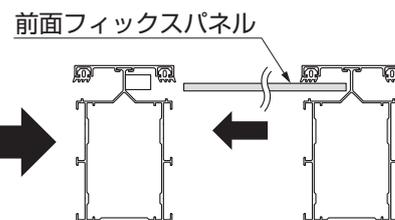


図3-15

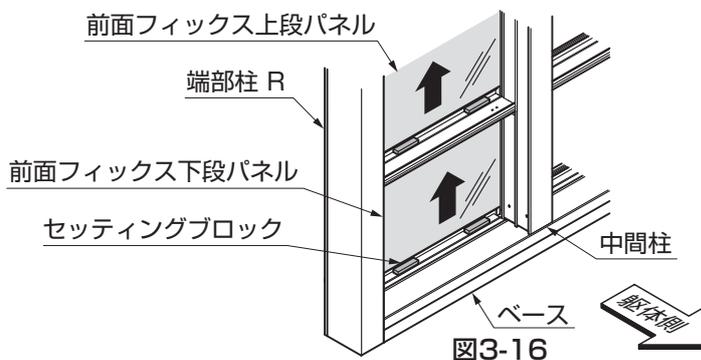


図3-16

① セッティングブロック側面用を、中間柱の片側に取付けてください。(図3-9参照)

ポイント

- セッティングブロックには、側面用と下面用の2種類があります。(図3-10、図3-11参照)
- セッティングブロック側面用は、中間柱間の片側に取付けてください。
- セッティングシートは、ガラスパネルを取付ける場合に端部柱に取付けます。(※2)

② 前面フィックスパネルの片側を中間柱に差込んで、反対側を端部柱、中間柱に押し込むようにはめ込んでください。(図3-13、図3-14、図3-15参照)

③ 前面フィックスパネルを上方へ持上げて、セッティングブロック下面用をベースに取付けてください。(図3-16参照)

ポイント

- 前面フィックスパネルは、下段パネルを先に取付けてください。
- 前面フィックスパネルは、吸盤等で持上げてください。
- 前面フィックスパネル(ポリカクリア、ポリカクールマット)の固定後、養生シートを確実に外してください。

4. パネル上枠の取付け

4-1 パネル上枠の取付け

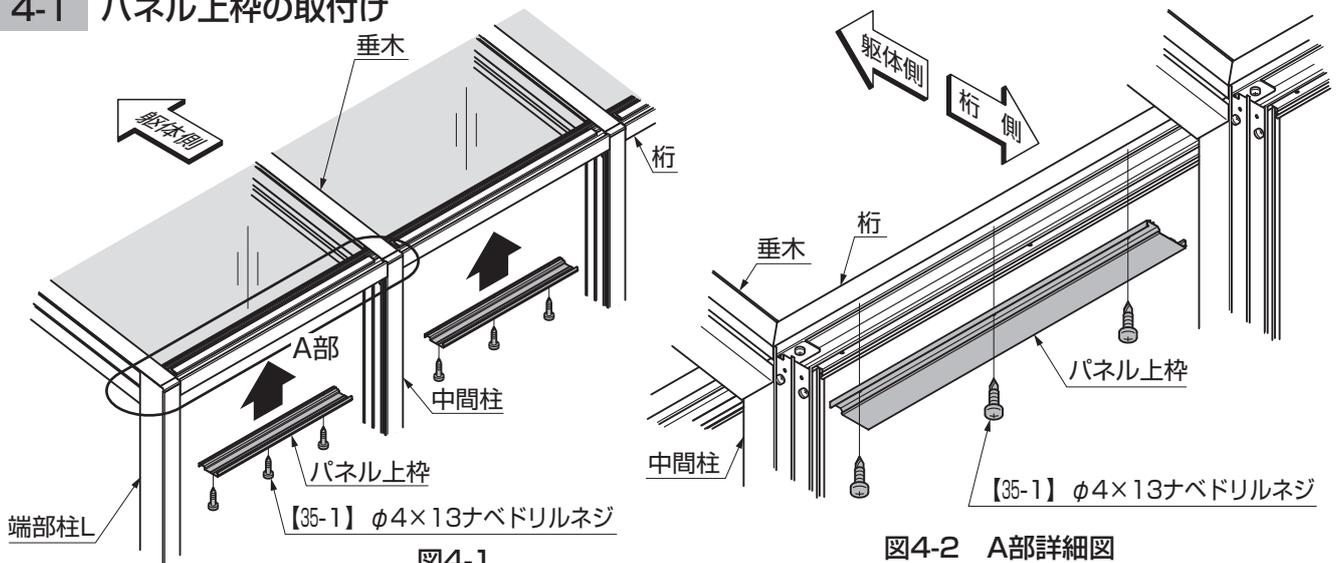


図4-1

図4-2 A部詳細図

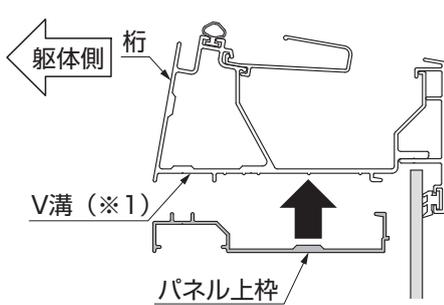


図4-3

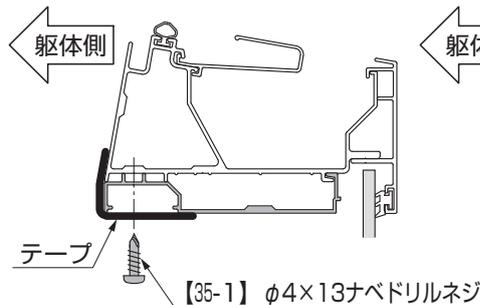


図4-4

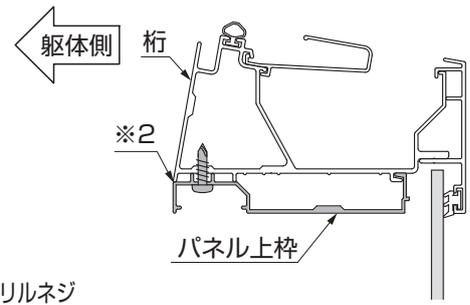


図4-5

① パネル上枠を桁のV溝(※1)に、【35-1】で取付けてください。

ポイント

- 【35-1】は、必ず3本ずつ取付けてください。後付けビートの取付けに支障が生じパネル強度が保たれない場合があります。
- パネル上枠を取付ける際は、テープ等で仮止めして取付けてください。(図4-4参照)
- パネル上枠と桁のコーナー目地部(※2)に段差がつかないように取付けてください。(図4-5参照)

4-2 パネル枠フタの取付け

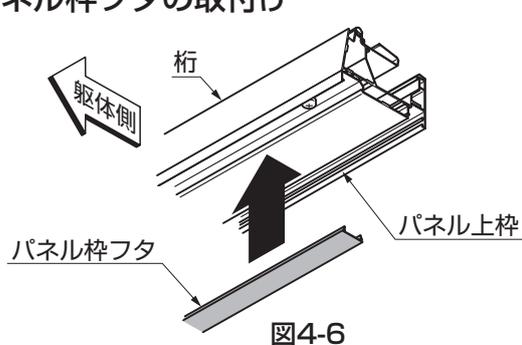


図4-6

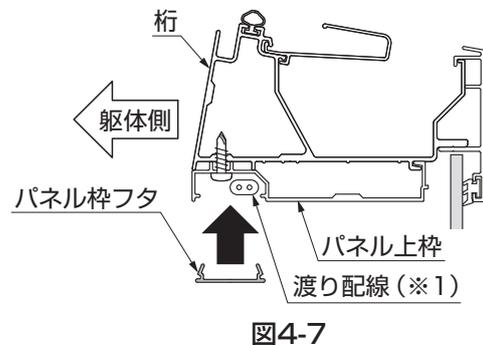


図4-7

① パネル枠フタを、パネル上枠にはめ込んでください。

ポイント

- LED照明 **オプション** を取付ける場合は、「5 本体の施工 2. 配線工事 **オプション**」を参照して渡り配線(※1)をとりまわしてください。

5. パネル下枠 2、ベース化粧材 内の取付け

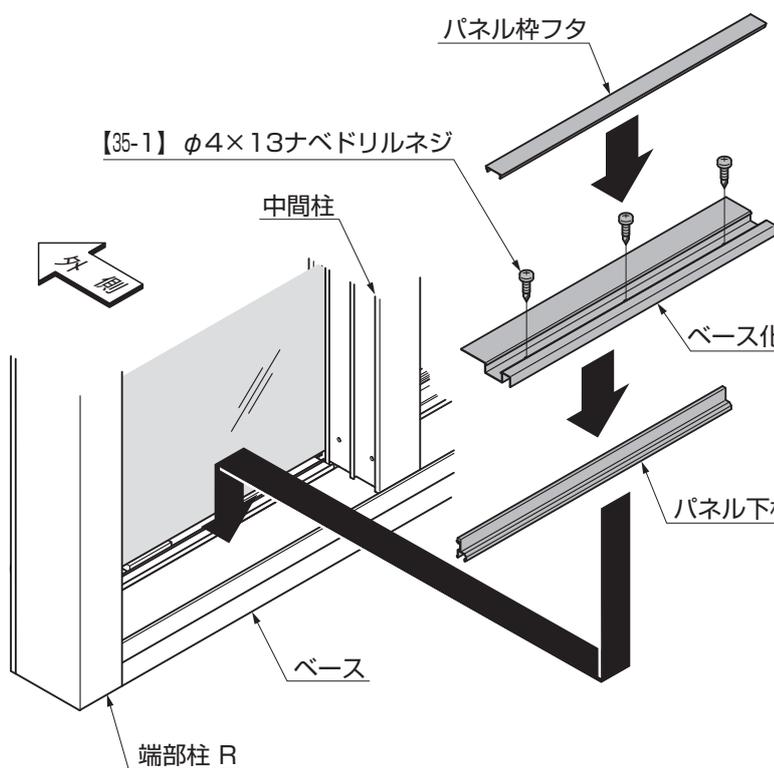


図5-1

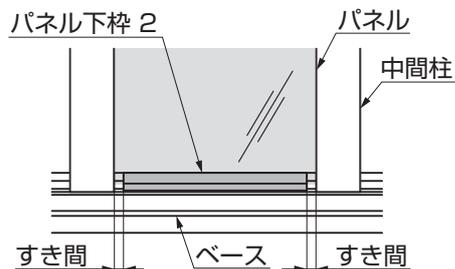


図5-2

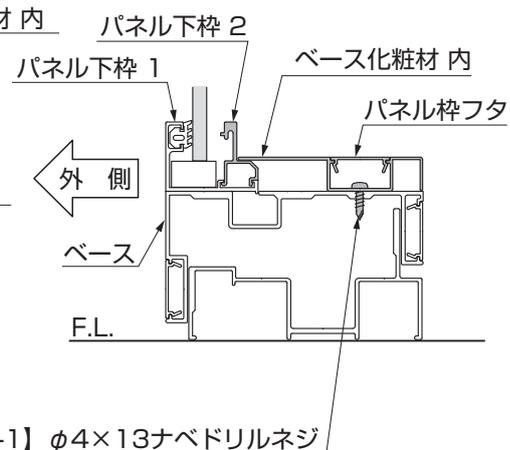


図5-3

①パネル下枠 2を、パネル下枠 1に、はめ込んでください。

ポイント

●パネル下枠 2の長さは、柱間の長さより数mm短くなっていますので、左右のすき間が均等になるように取付けてください。すき間がないと柱フタが取付かなくなります。(図5-2参照)

②ベース化粧材 内をベースに、【35-1】で取付けてください。

③パネル下枠 フタを、ベース化粧材 内に、はめ込んでください。

6. 中棧カバーの取付け ※中棧を取付けている場合の作業です。

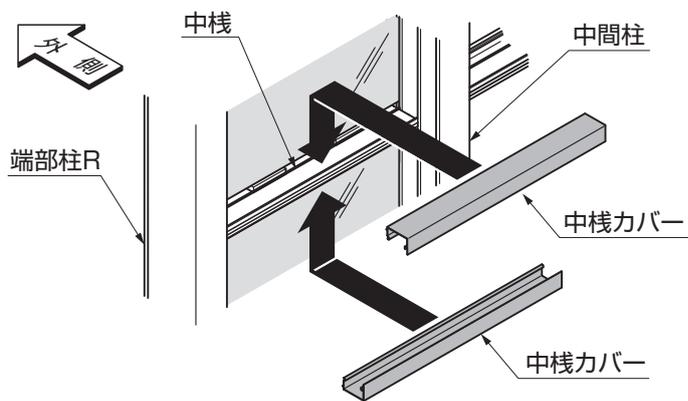


図6-1

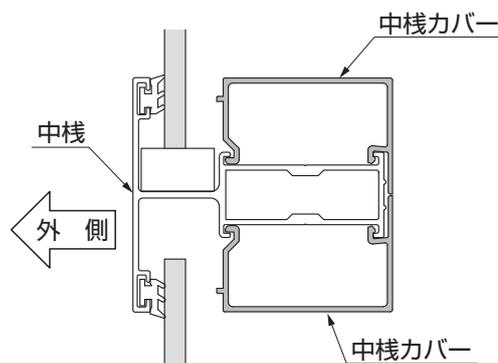


図6-2

①中棧カバーを中棧にはめ込んでください。

7. 後付けビート材の取付け

※前面上げ下げ窓 **オプション** を取付ける箇所は、行ないません。

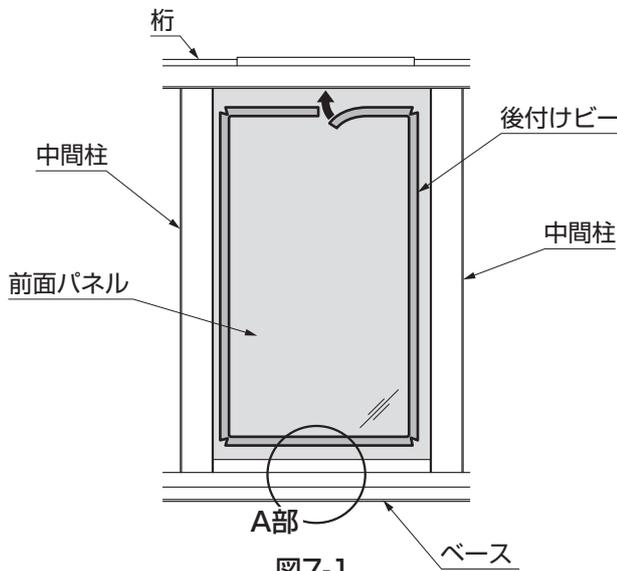


図7-1

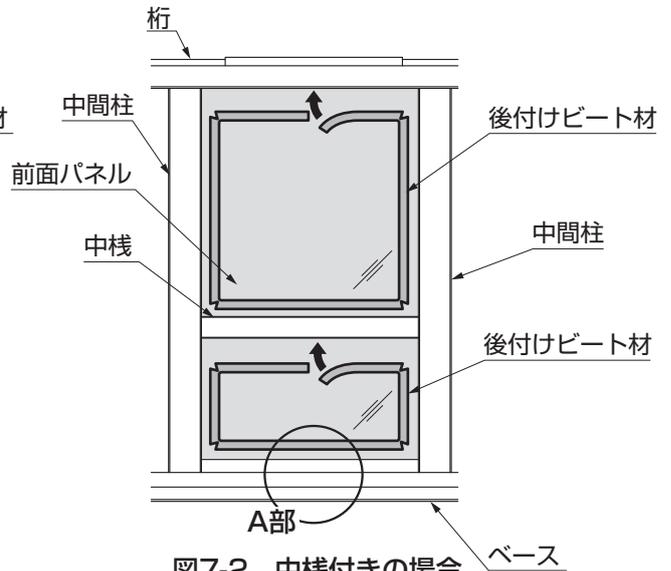


図7-2 中棧付きの場合

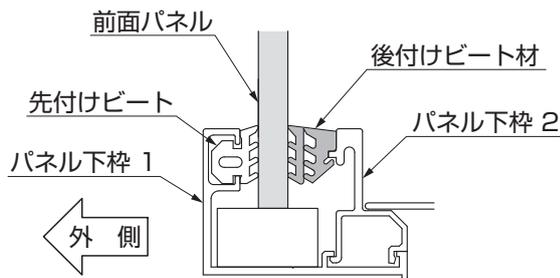


図7-3 A部詳細図

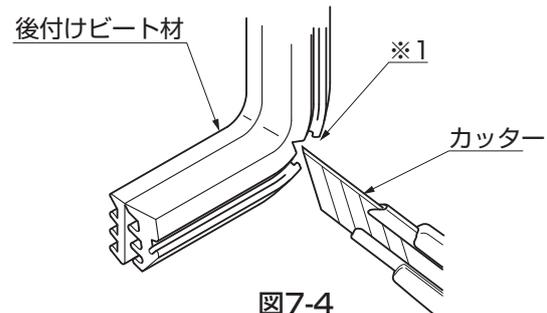


図7-4

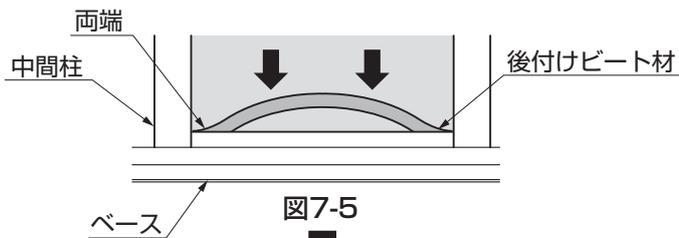


図7-5

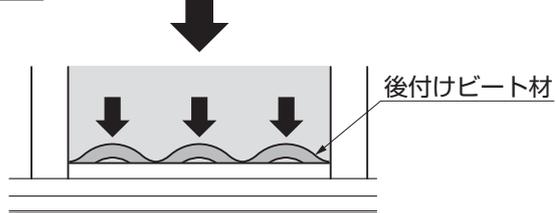


図7-6

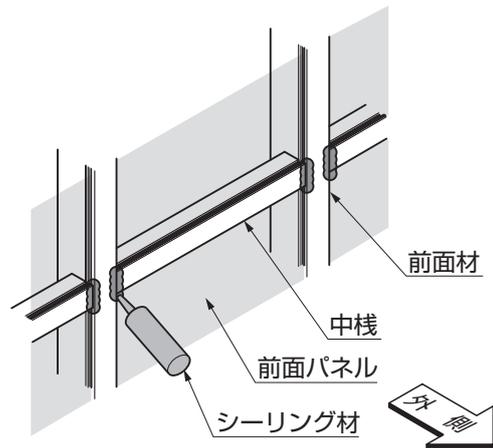


図7-7

- ①後付けビート材を押込んでください。
- ②中棧と柱の前面材の間に、シーリングをしてください。(図7-7参照)

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。(図7-7参照)
- 後付けビート材には、取付ける向きがあります。(図7-3参照)
- 後付けビート材を折曲げる箇所(※1)に、カッター等で切欠きを入れてください。(図7-4参照)
- 後付けビート材を取付ける際は、図7-5のように取付ける面の中心部分をたるませた状態で両端部分および中間の1~2箇所を先に押込み、図7-6のようにたるみ部分の中心から広げるように押込んでください。

8. 前面上げ下げ窓の取付け1

オプション

※前面上げ下げ窓を取付ける場合の作業です。

8-1 受け枠の取付け

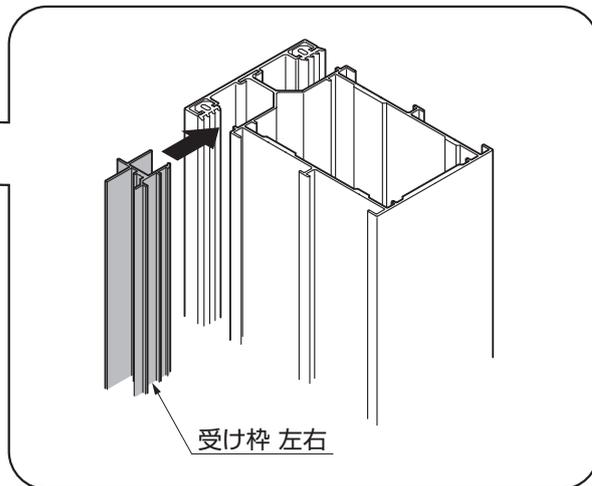
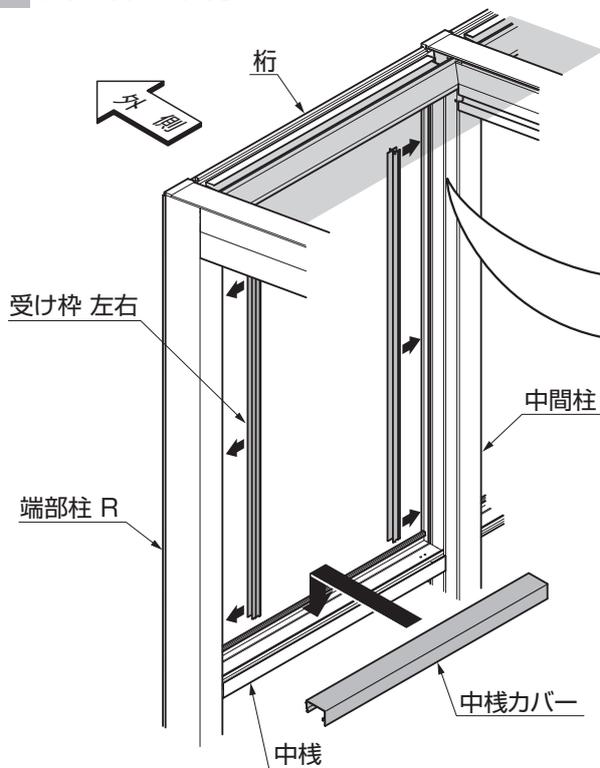


図8-1

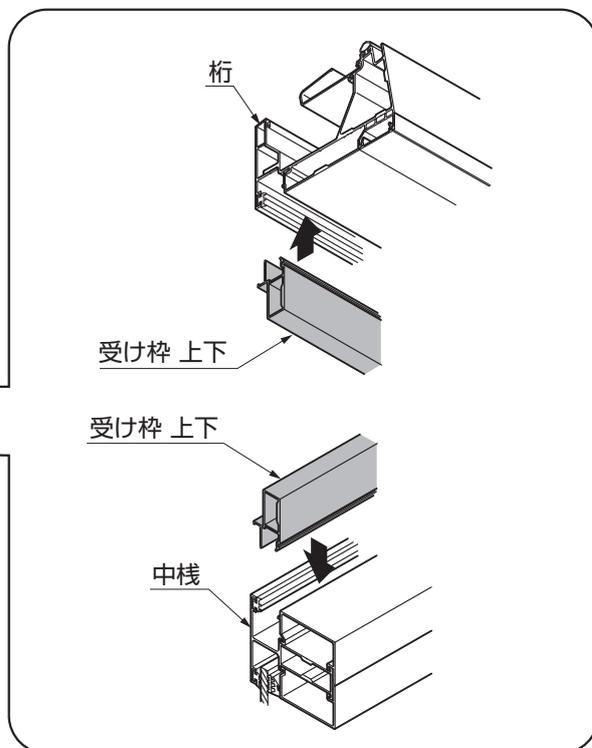
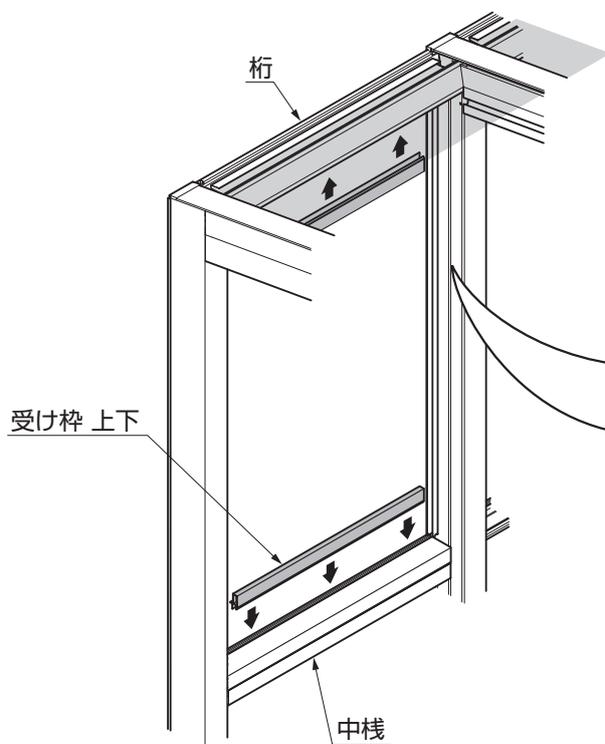


図8-2

- ①上段の中棧カバーを中棧に、はめ込んでください。(図8-1参照)
- ②受け枠 左右を柱に、はめ込んでください。(図8-1参照)
- ③受け枠 上下を桁、中棧にはめ込んでください。(図8-2参照)

9. 柱フタの取付け ※前面上げ下げ窓を **オプション** 取付ける場合も同様の作業です。

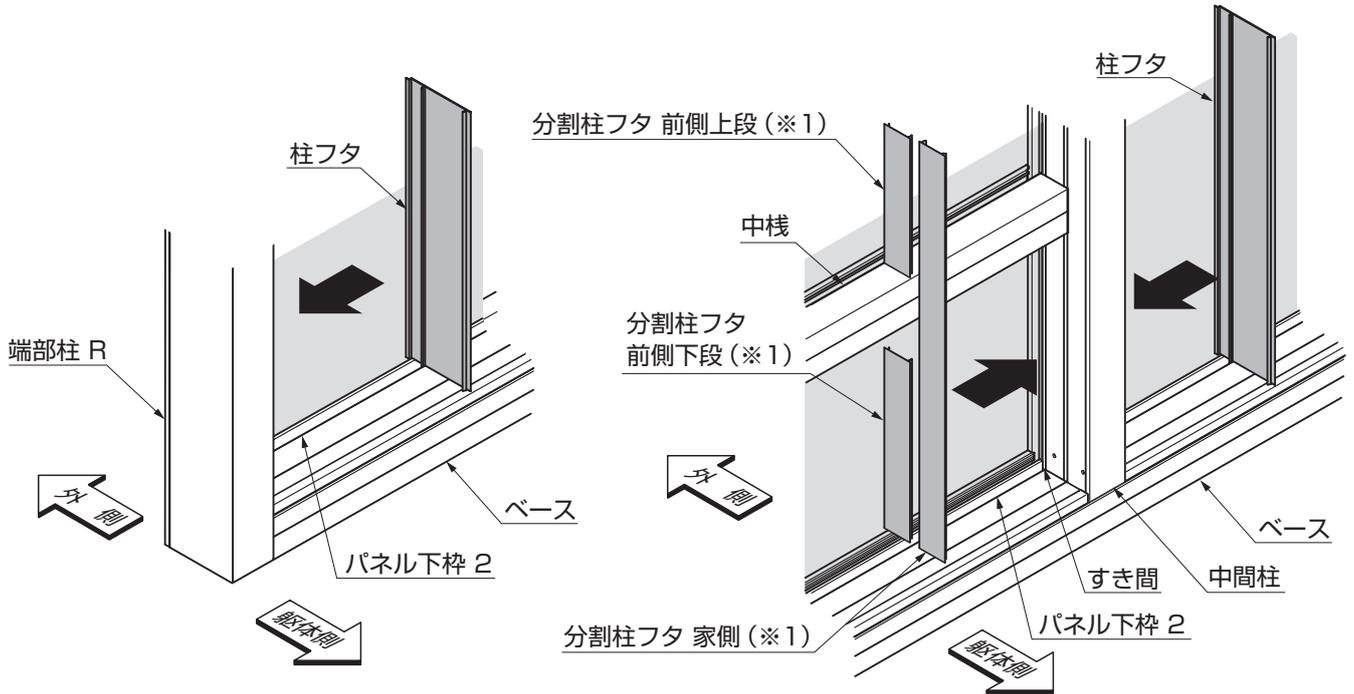


図9-1 端部柱の場合

図9-2 中間柱および中棧付きの場合

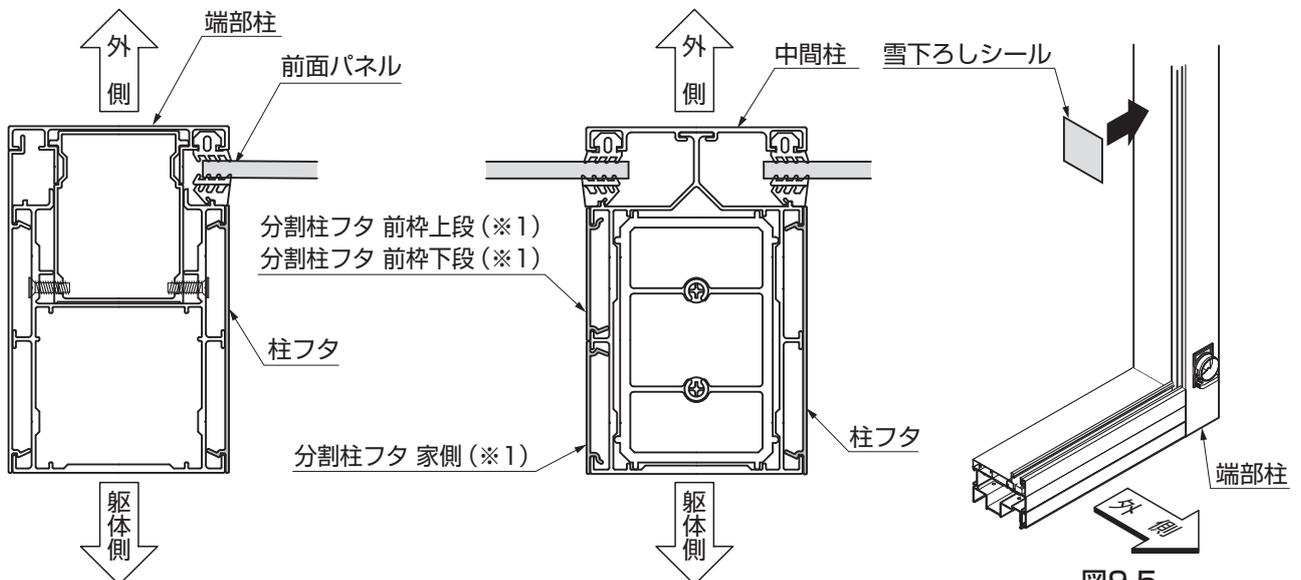


図9-3 端部柱の場合

図9-4 中間柱および中棧付きの場合

図9-5

- ①柱フタを柱の内側からはめ込んでください。
- ②端部柱の見やすい位置に雪下ろしシールを貼付けてください。(図9-5参照)

⚠ 注意

- 雪下ろしシールは、施主様に安全に使用していただくために必要です。

🔑 ポイント

- 柱フタを取付ける際は、パネル下枠 2を取付ける際にあけたすき間に挟み込むようにして取付けてください。
- 柱フタを取付ける際に、端部で化粧部をキズつけないようにしてください。
- ※1の柱フタは、中棧付の場合に取付けてください。

10. オープンテラス用の柱フタの取付け

※ガーデンルームプラスのオープンテラス側を施工する場合の作業です。

10-1 端部柱への取付け

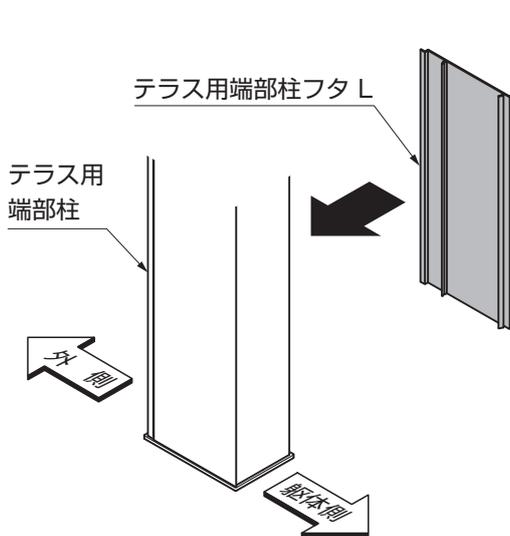


図10-1

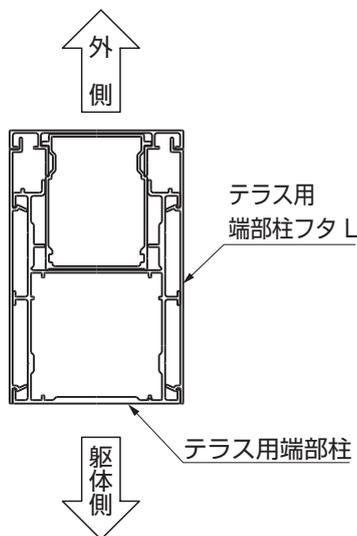


図10-2

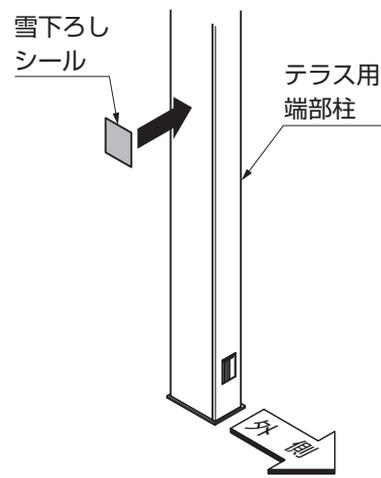


図10-3

- ①テラス用端部柱フタをテラス用端部柱の内側からはめ込んでください。
- ②テラス用端部柱の見やすい位置に雪下ろしシールを貼付けてください。(図10-3参照)

⚠ 注意

●雪下ろしシールは、施主様に安全に使用していただくために必要です。

10-2 中間柱への取付け ※柱固定ベースを使用した場合の作業です。

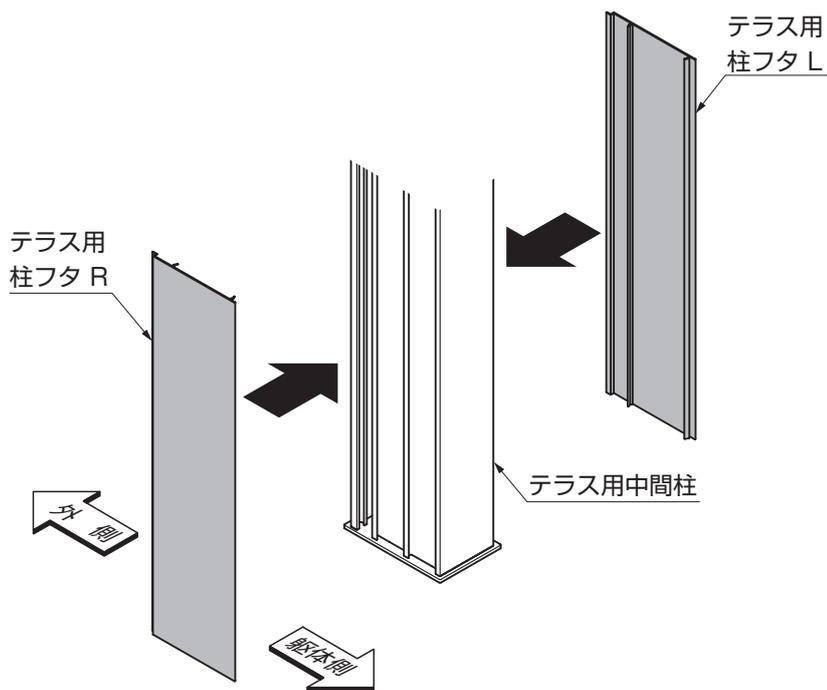


図10-4

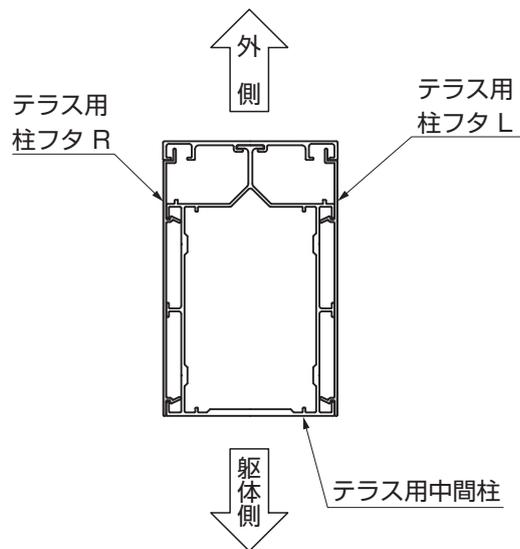


図10-5

- ①テラス用柱フタを、テラス用中間柱にはめ込んでください。

11. 前面上げ下げ窓の取付け2 **オプション** ※前面上げ下げ窓を取付ける場合の作業です。

11-1 前面上げ下げ窓の取付け

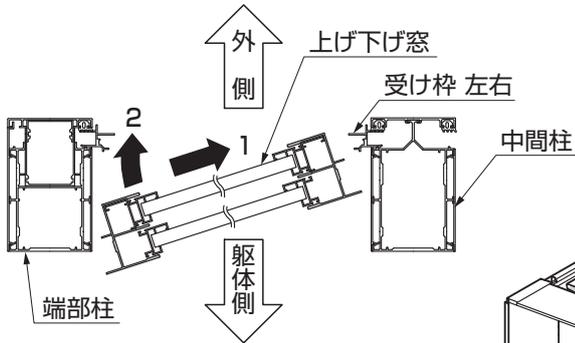


図11-1

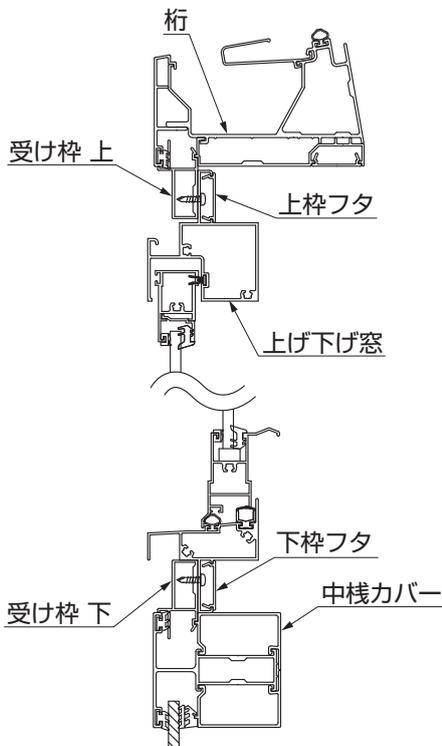


図11-2 縦断面

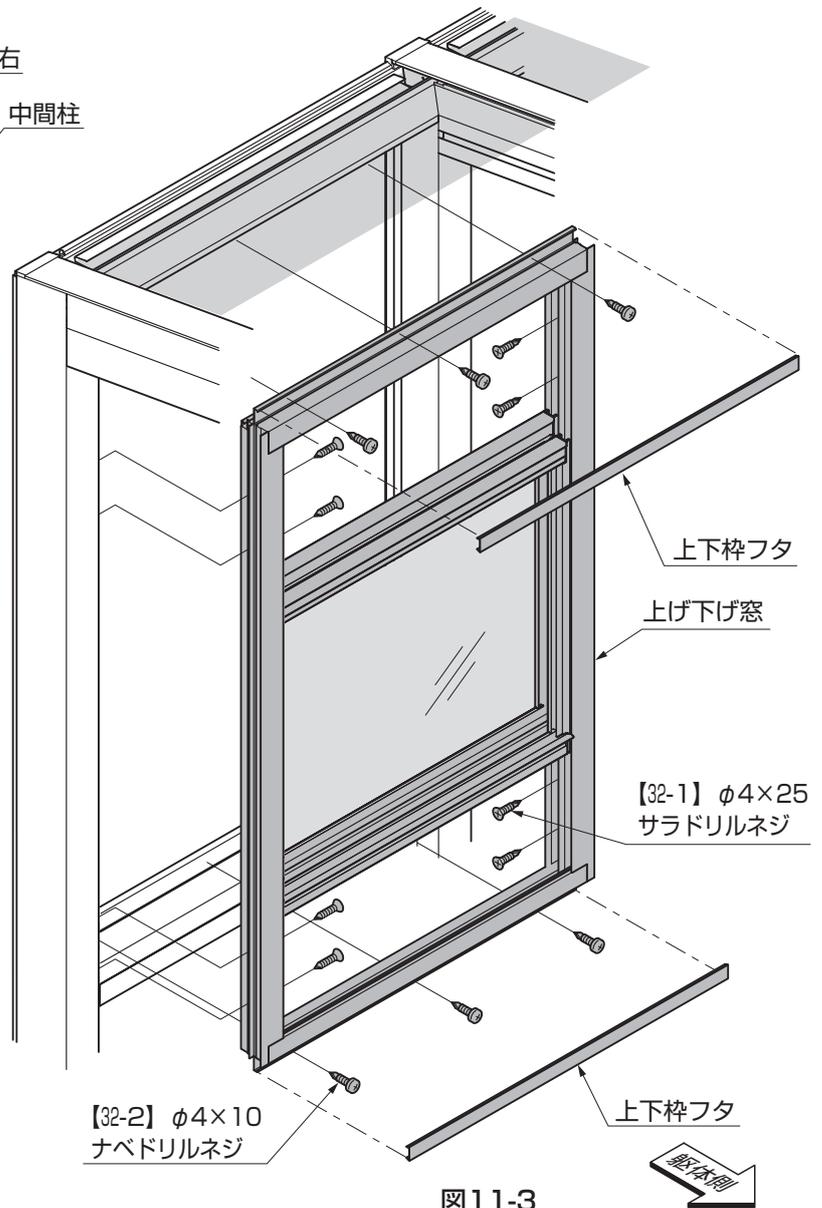


図11-3

- ① 上げ下げ窓を躯体側から斜にスライドしながらはめ込みます。(図11-1 参照)
- ② 上げ下げ窓を受け枠 左右に、【32-1】で取付けてください。(図11-2、図11-3 参照)

補足

- 左右の【32-1】はサラ頭が飛び出さないように取付けてください。窓の開閉時に引っ掛かる場合があります。
- 上げ下げ窓の取付けネジは左右、上下の順で取付けてください。受け枠がはずれるおそれがあります。

- ③ 上げ下げ窓を受け枠 上下に、【32-2】で取付けてください。(図11-2、図11-3 参照)
- ④ 上下枠フタを上げ下げ窓に、はめ込んでください。(図11-2、図11-3 参照)

ポイント

- 上げ下げ窓は、施工前の水平状態で窓の開閉を行わないでください。内部のワイヤーが外れ作動不良を起こす場合があります。

11-2 シーリングについて

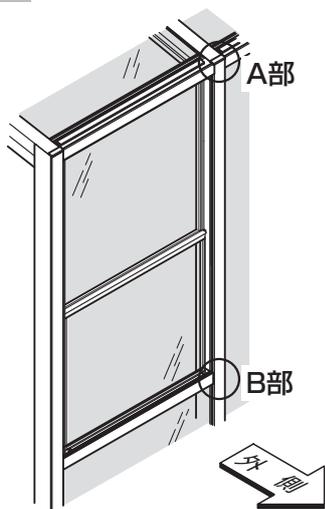


図11-4

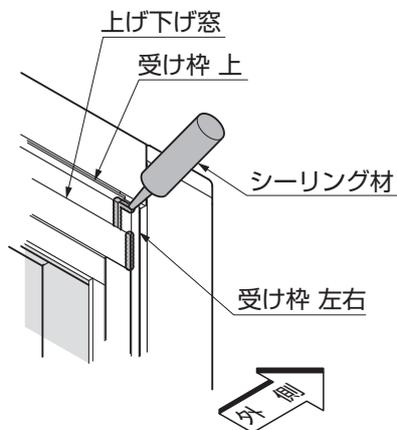


図11-5 A部詳細図

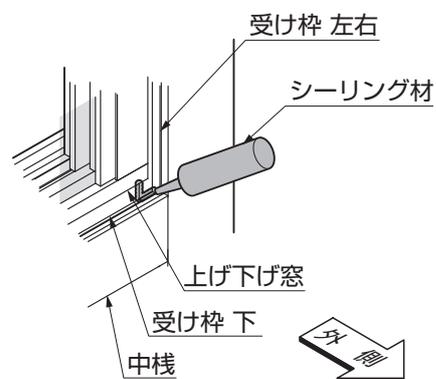


図11-6 B部詳細図

①受け枠の端をシーリングしてください。

ポイント

●指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

12. 網戸の取付け

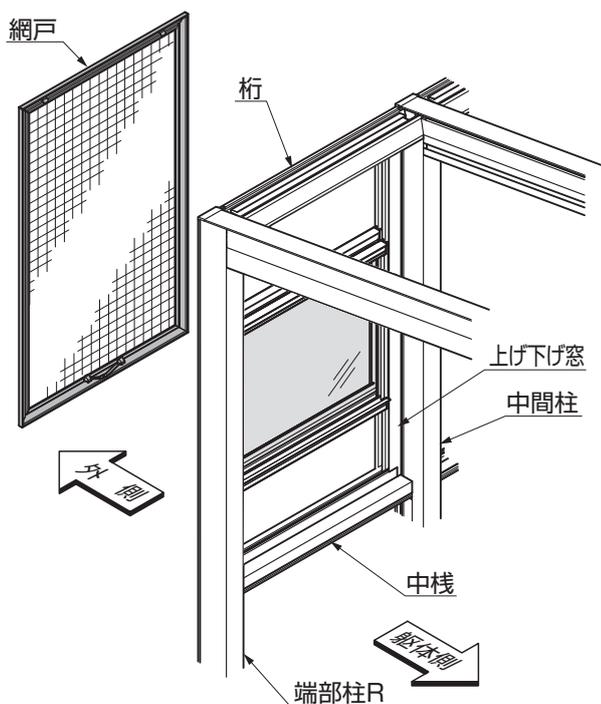


図12-1

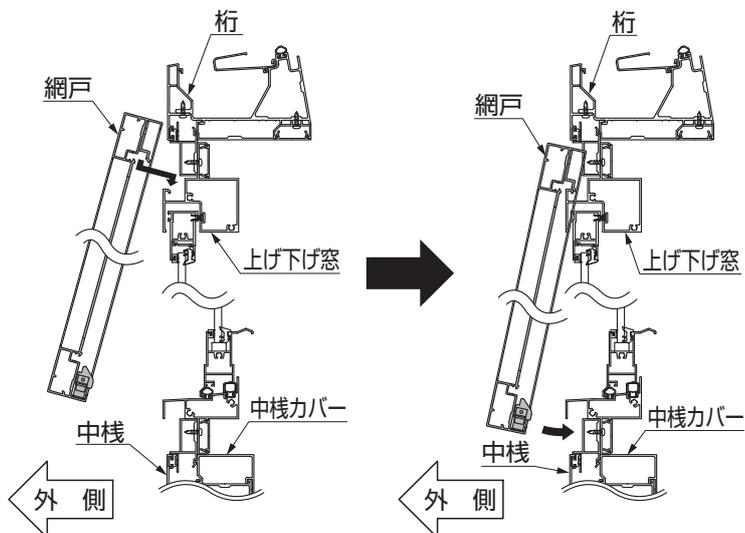


図12-2

①網戸を上げ下げ窓に、はめ込んでください。

13. 前面下段可動ルーバーの取付け オプション

13-1 パネル下枠 2、ベース化粧材 内の取付け

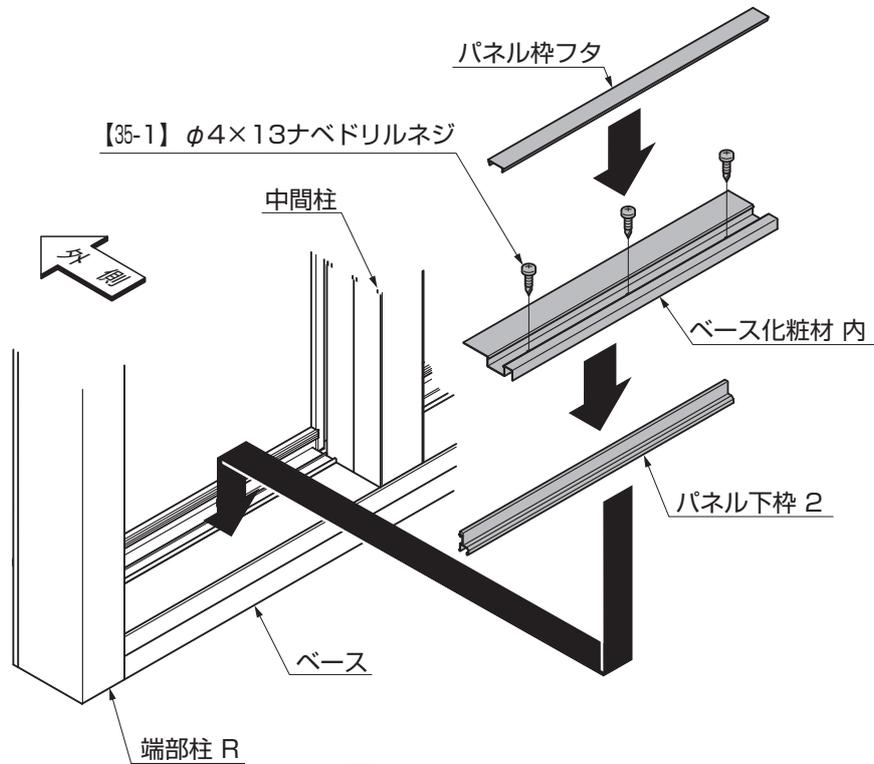


図13-1

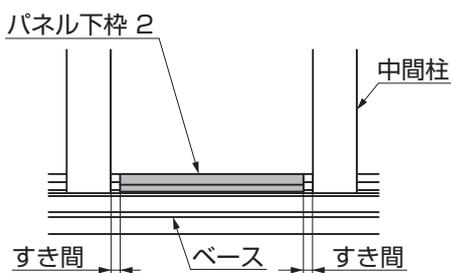


図13-2

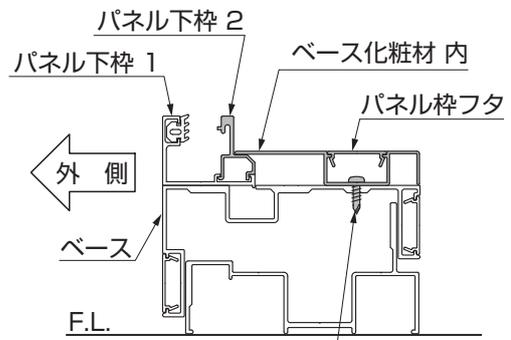


図13-3

①パネル下枠 2を、パネル下枠 1に、はめ込んでください。

🔑ポイント

●パネル下枠 2の長さは、柱間の長さより数mm短くなっていますので、左右のすき間が均等になるように取付けてください。(図13-2参照)

②ベース化粧材 内をベースに、【35-1】で取付けてください。

③パネル下枠 フタを、ベース化粧材 内に、はめ込んでください。

13-2 受け枠の取付け

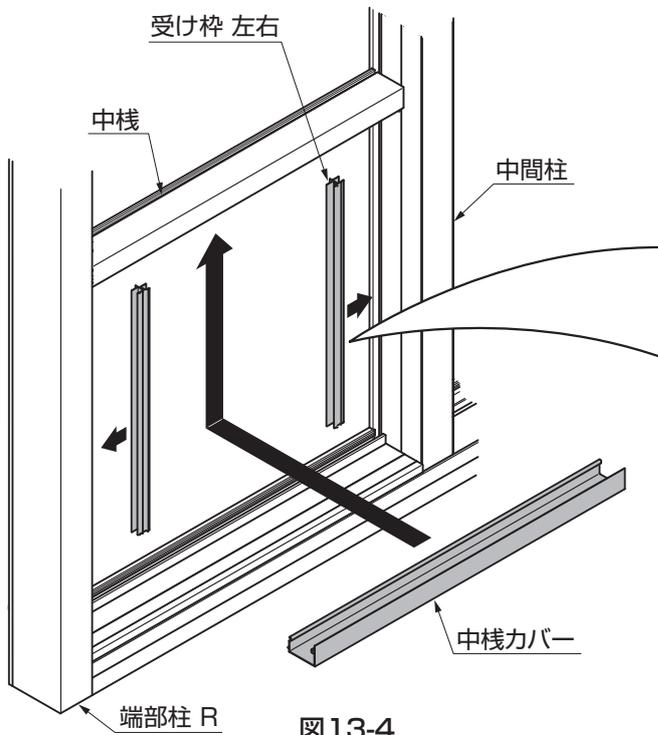


図13-4

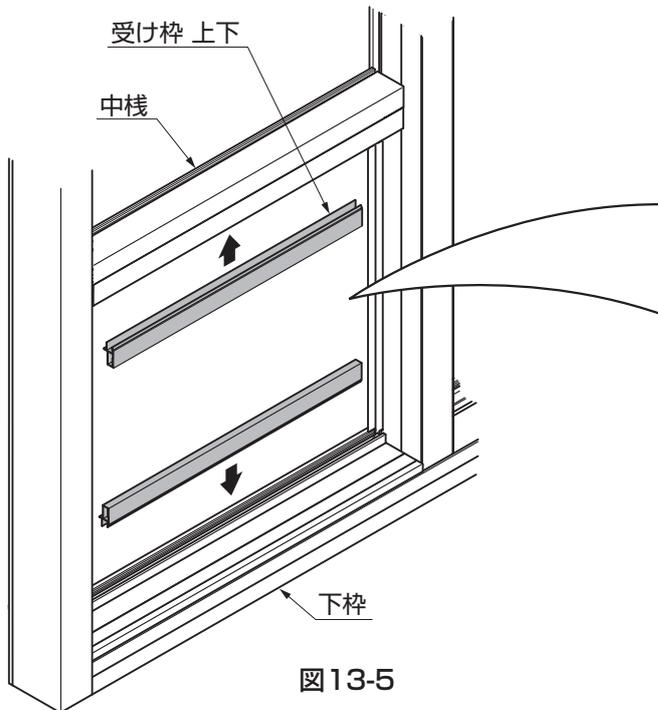


図13-5

- ① 下段の中棧カバーを中棧に、はめ込んでください。(図13-4参照)
- ② 受け枠 左右を柱に、はめ込んでください。(図13-4参照)
- ③ 受け枠 上下を中棧とパネル下枠にはめ込んでください。(図13-5参照)

13. (つづき)

13-3 前面パネル可動ルーバーの取付け

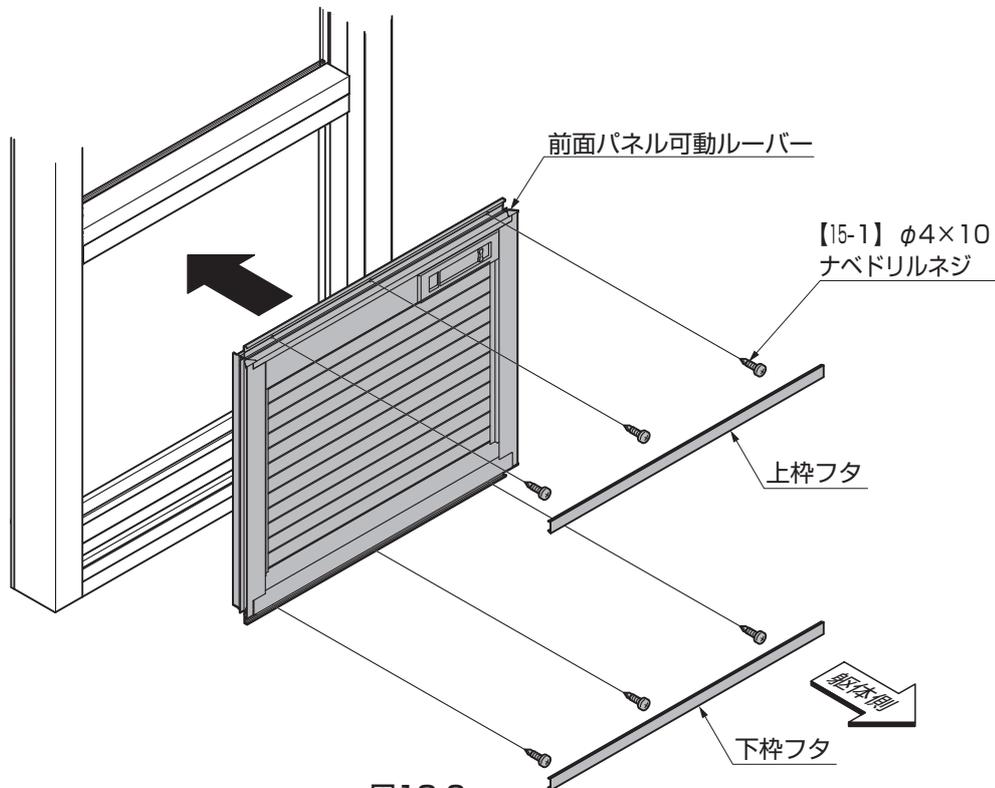


図13-6

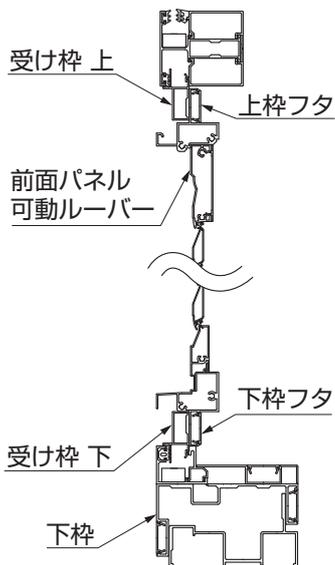


図13-7 縦断面

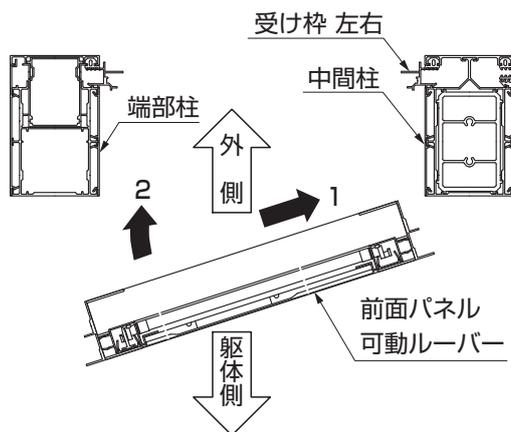


図13-8 横断面

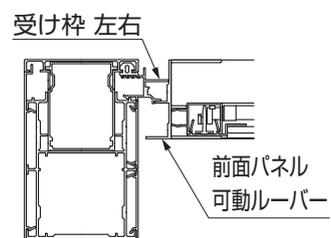


図13-9

- ①前面パネル可動ルーバーを躯体側から斜にスライドしながらはめ込みます。(図13-8参照)
- ②前面パネル可動ルーバーを受け枠上下に、【15-1】で取付けてください。(図13-6、図13-7参照)
- ③上下枠フタを前面パネル可動ルーバーに、はめ込んでください。(図13-6、図13-7参照)

13-4 シーリングについて

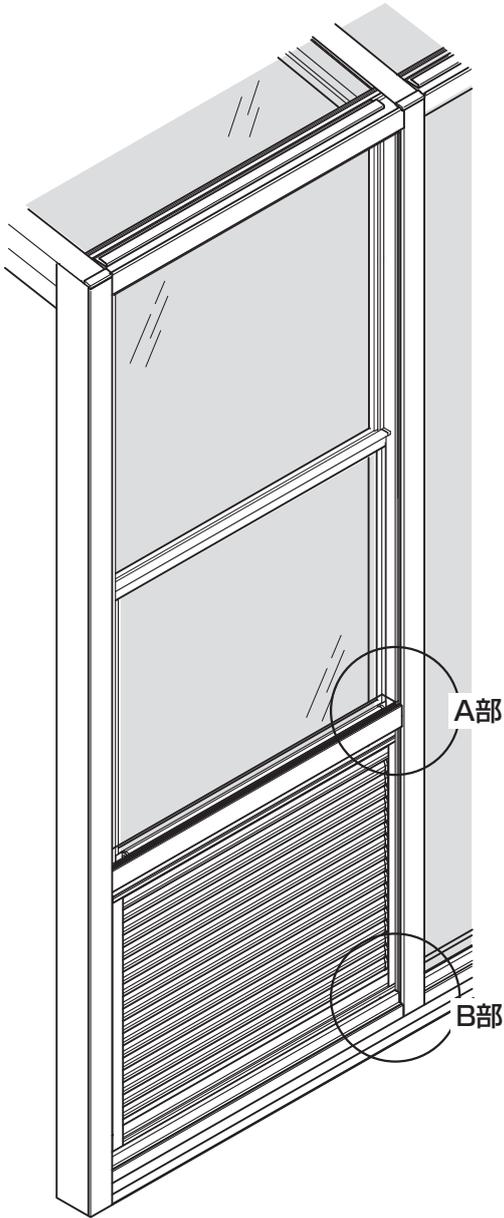


図13-10

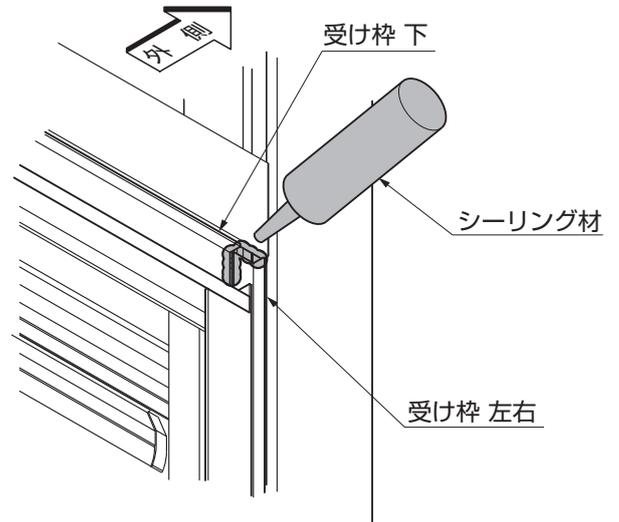


図13-11 A部詳細図

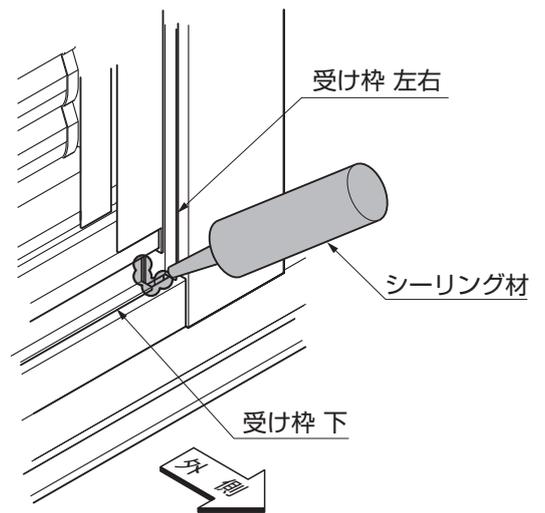


図13-12 B部詳細図

①受け枠にシーリングしてください。

ポイント

●指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

13. (つづき)

13-5 網戸の取付け

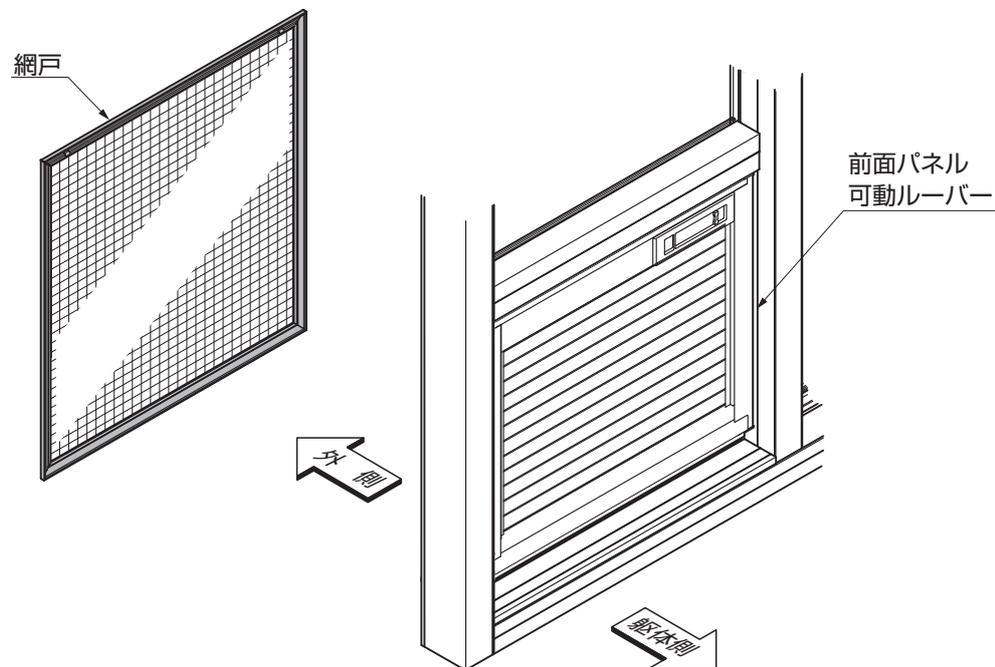


図13-13

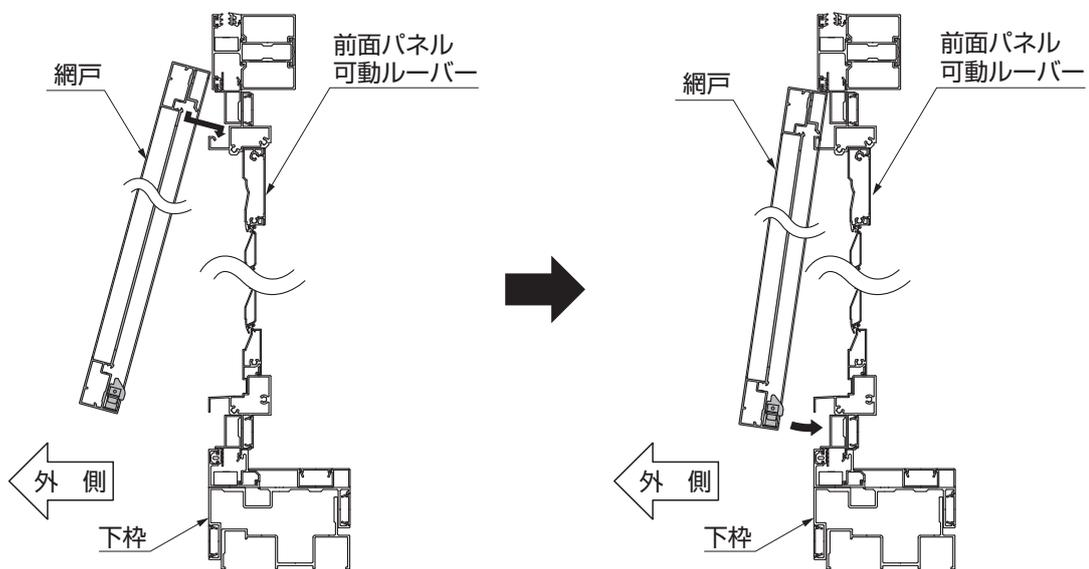


図13-14

図13-15

① 網戸を前面パネル可動ルーバーに、はめ込んでください。

6
前面パネルの
取付け

7 妻梁上部フィックスパネル・側面換気窓の取付け

※ガーデンルームタイプの場合とサイドスルータイプの場合で妻梁上部フィックスパネルを取付ける場合の作業です。

1. 取付け金具の取付け

1-1 ガーデンルームタイプの場合

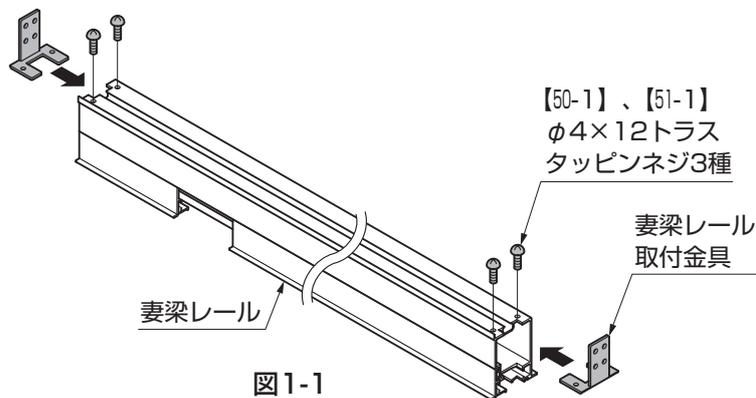


図1-1

- ①妻梁レール取付け金具を妻梁レールに【50-1】、【51-1】で取付けてください。

ポイント

- 妻梁レールの左右を変更する場合は、妻梁内側レールを左右入れ替えてください。

1-2 サイドスルータイプの場合

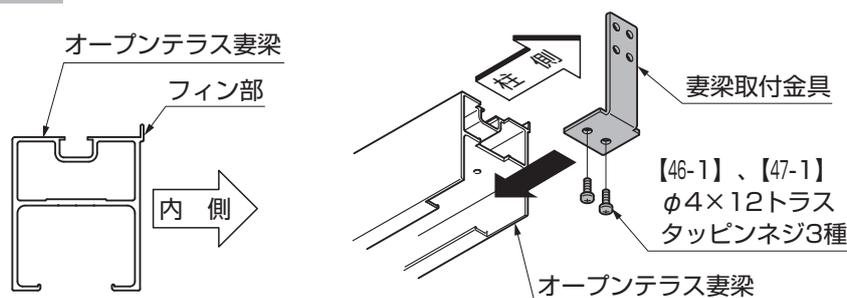


図1-2

図1-3

- ①妻梁取付け金具をオープンテラス妻梁に、【46-1】、【47-1】で取付けてください。(図1-3参照)

ポイント

- オープンテラス妻梁は、フィン部を内側に向けて取付けます。(図1-2参照)

2. 上部方立の取付け

2-1 ガーデンルームタイプの場合

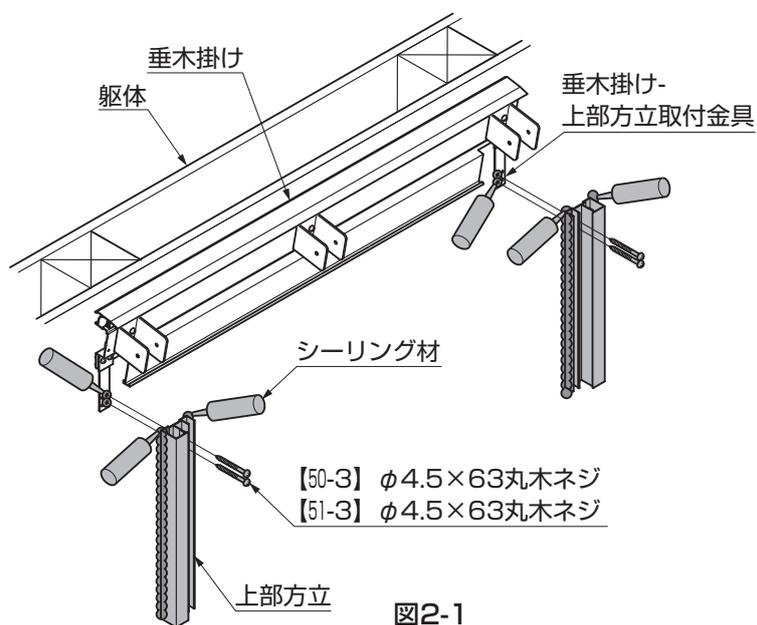


図2-1

- ①上部方立を垂木掛け-上部方立取付け金具と躯体と垂直に、【50-3】または【51-3】で取付けてください。

ポイント

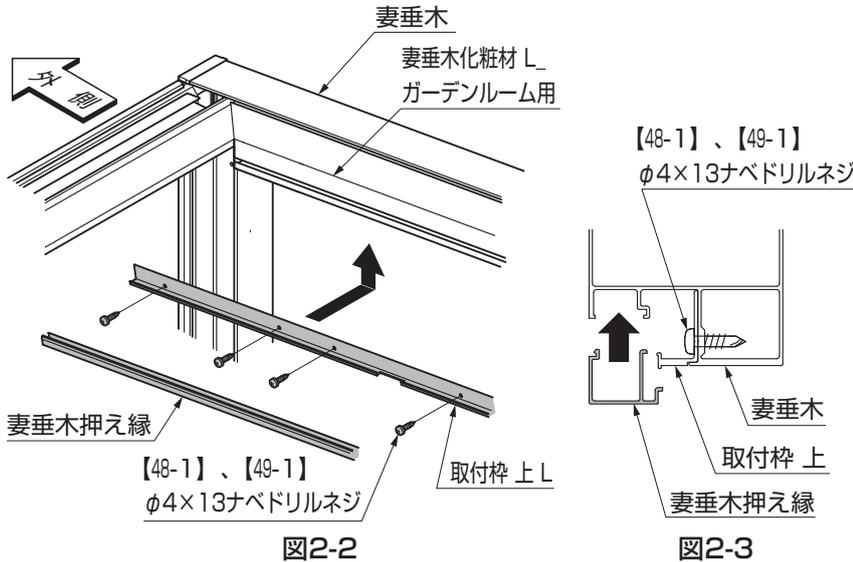
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

2. (つづき)

2-2 ガーデンルームタイプ 側面換気窓の場合 **オプション**

※ガーデンルームタイプで側面換気窓を選択した場合の作業です。

(1) 取付枠の取付け

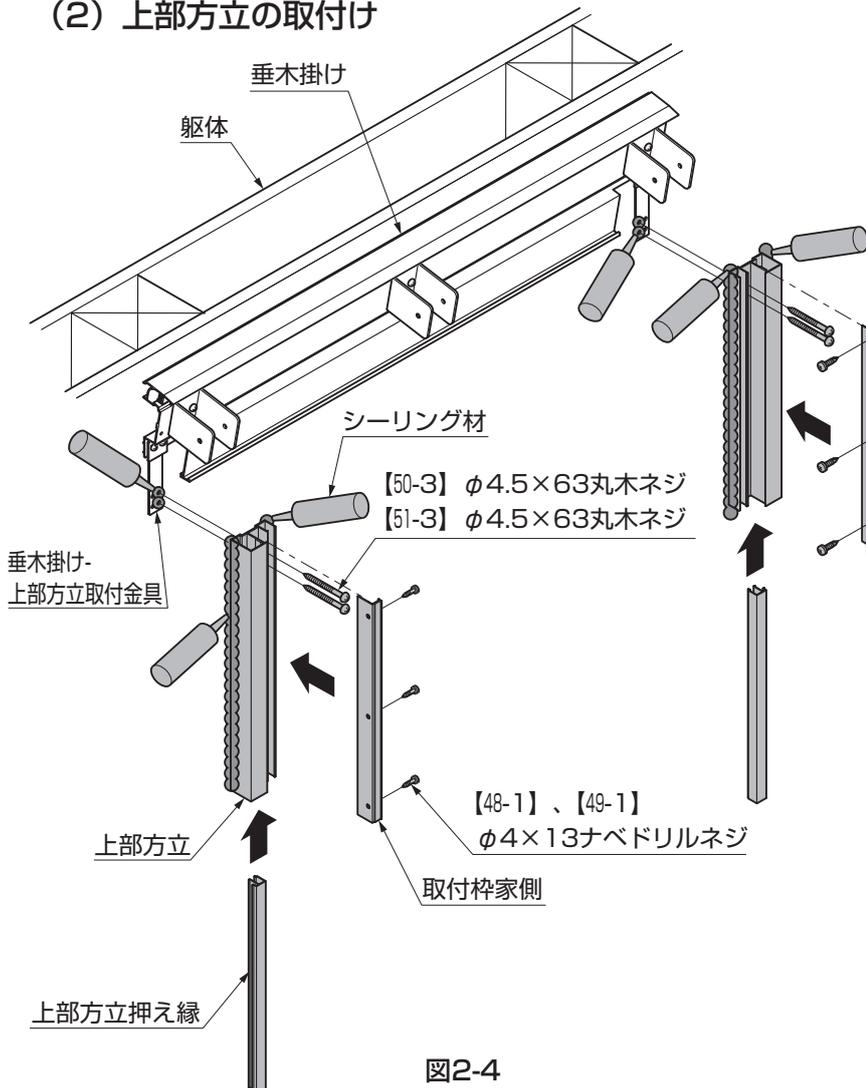


- ①取付枠 上を、妻垂木化粧材_ガーデンルーム用に【48-1】、【49-1】で取付けてください。

ポイント

- 取付枠 上は、柱面につきあててください。
- ②妻垂木押え縁を、妻垂木化粧材_ガーデンルーム用にはめ込んでください。

(2) 上部方立の取付け

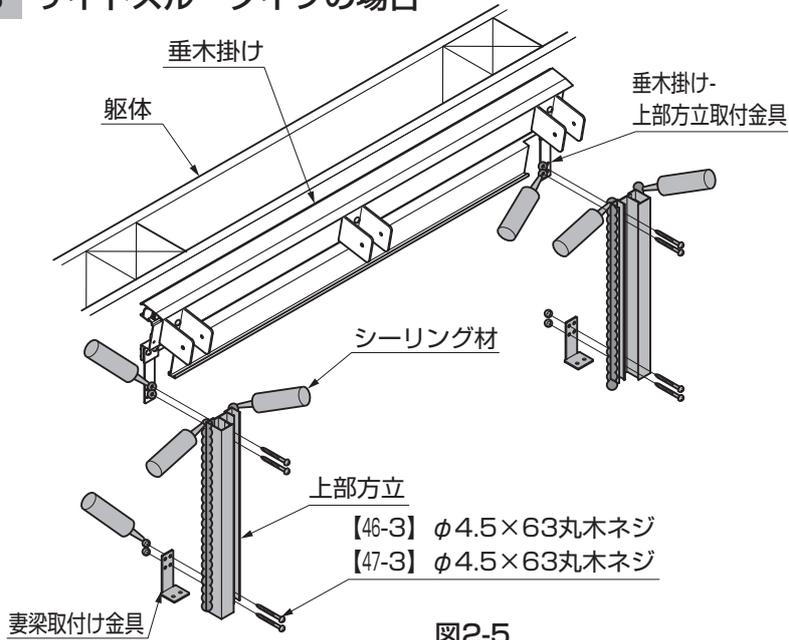


- ①上部方立を垂木掛け-上部方立取付金具と躯体と垂直に、【50-3】または【51-3】で取付けてください。
- ②取付枠 家側を上部方立に、【48-1】、【49-1】で取付けてください。
- ③上部方立押え縁を上部方立に、下側からスライドしてはめ込んでください。

ポイント

- 取付け枠 家側は上部方立の上側に合わせて取付けてください。
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

2-3 サイドスルータイプの場合



- ①上部方立を垂木掛け-上部方立取付金具、妻梁取付金具と躯体と垂直に、【46-3】または【47-3】で取付けてください。

ポイント

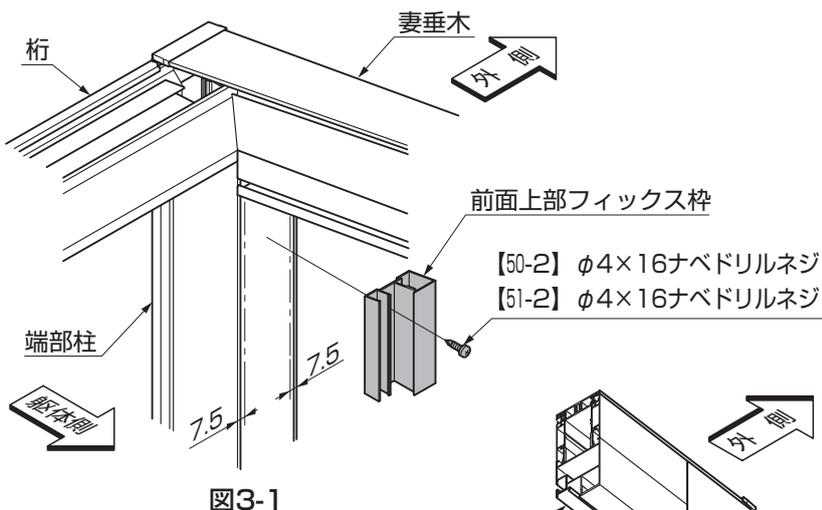
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

3. 妻梁上部フィックス枠の取付け

※ガーデンルームタイプの作業です。

※サイドスルータイプに妻梁上部フィックスパネルを取付ける場合は、「4. サイドスルータイプ妻梁の取付け」を参照してください。

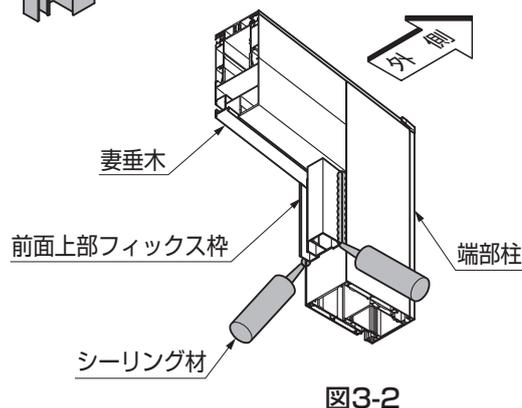
3-1 前面上部フィックス枠の取付け ※図は左妻側を示します。



- ①前面上部フィックス枠を端部柱に、【50-2】または【51-2】で取付けてください。(図3-1参照)
- ②前面上部フィックス枠と柱の接合部に、シーリングをしてください。

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。



4. 妻梁レールの取付け ※図は左妻側を示します。

4-1 ガーデンルームタイプの場合

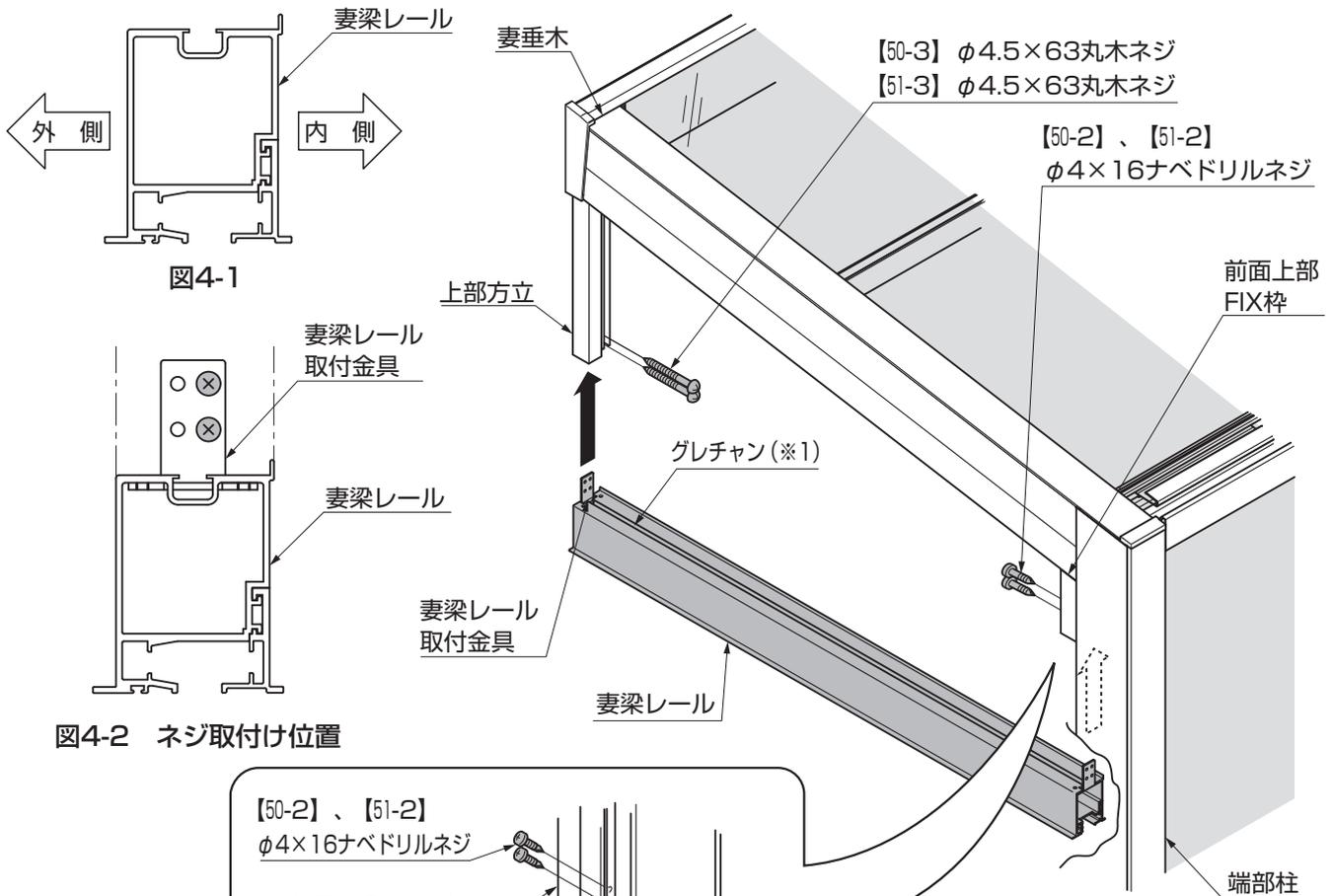


図4-1

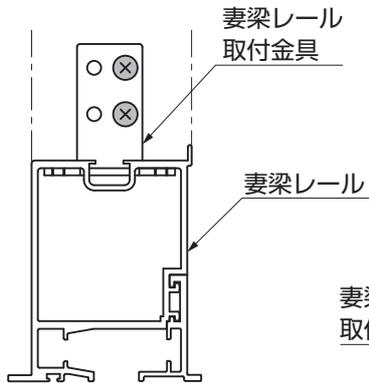


図4-2 ネジ取付け位置

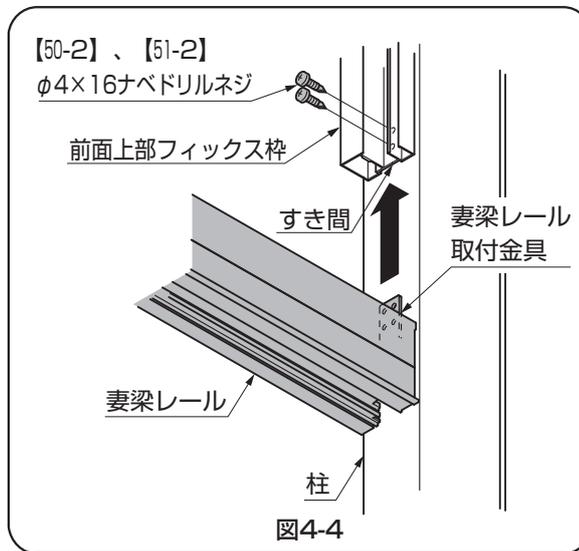


図4-4

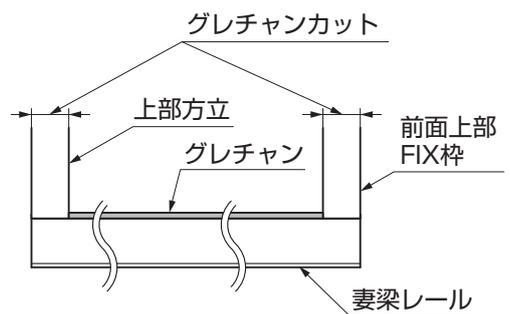


図4-5

ポイント

- 妻梁レールには向きがあります。リブが立っている方が内側です。(図4-1参照)
- 側面換気窓を取付ける場合は、グレチャン(※1)を使用しませんので取外してください。
- 妻梁レールに取付けるグレチャンが上部方立、前面上部FIX枠に干渉する場合は切断してください。(図4-5参照)

①妻梁レールを端部柱と前面上部フィックス枠、躯体と上部方立のそれぞれのすき間にスライドしてはめ込み、[50-2] または [51-2]、[50-3]、[51-3] で取付けてください。

ポイント

- 妻梁レールは、端部柱側につき当てるように取付けてください。

4-2 サイドスルータイプの場合

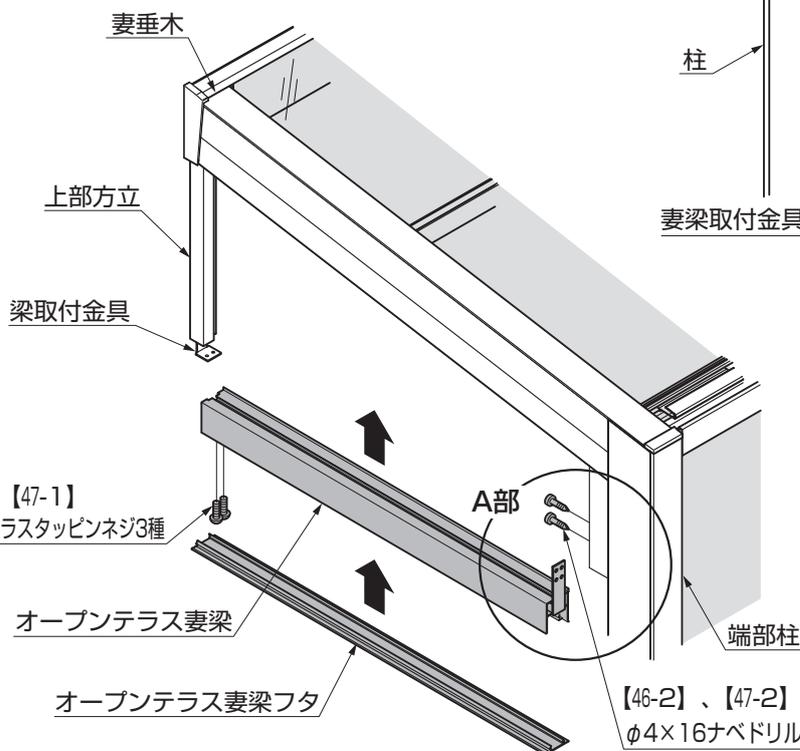


図4-6

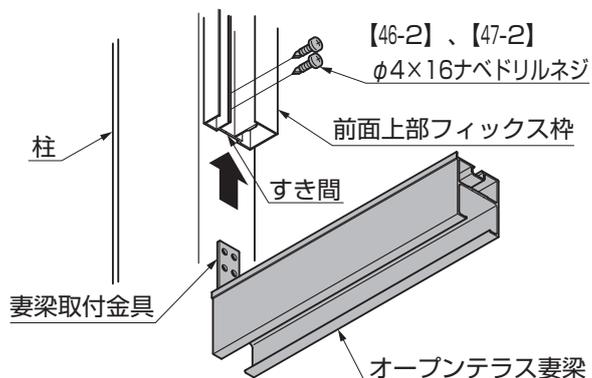


図4-7 A部詳細図

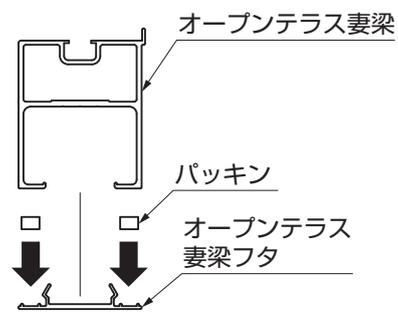


図4-8

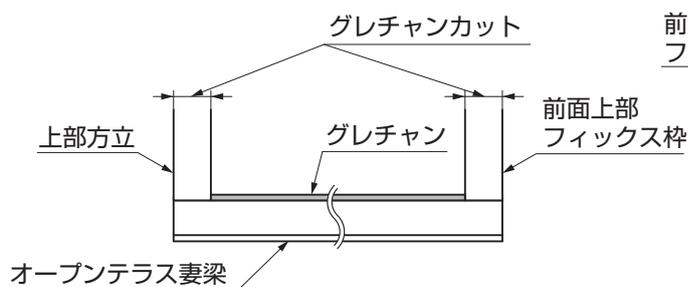


図4-9

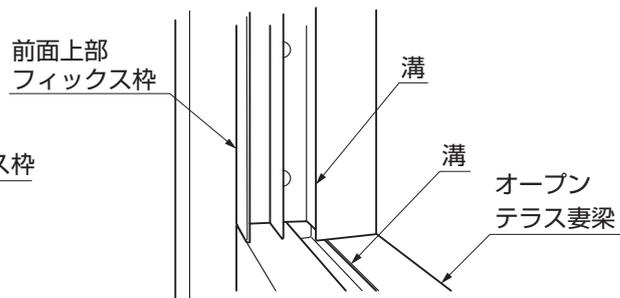


図4-10

ポイント

- オープンテラス妻梁に取付けるグレチャンが上部方立、前面上部フィックス枠に干渉する場合は、切断してください。(図4-9参照)

- ①オープンテラス妻梁を端部柱と前面上部フィックス枠のすき間にスライドしながら、はめ込み【46-2】、【47-2】で取付けてください。(図4-6、図4-7参照)
- ②オープンテラス妻梁を上部方立に取付いている梁取付金具に、【46-1】、【47-1】で取付けてください。(図4-6参照)
- ③パッキンをガタツキ防止の為、適量にカットしてオープンテラス妻梁に貼付けてください。(図4-8参照)
- ④オープンテラス妻梁フタをオープンテラス妻梁にはめ込んでください。

ポイント

- 妻梁取付金具を柱に取付ける場合は、【46-2】、【47-2】を内側の2箇所を取付けてください。(図4-7参照)
- オープンテラス妻梁は、端部柱側につき当てるように取付けてください。

5. 妻梁上部フィックスパネルの取付け

※フィックスパネル仕様の場合の作業です。
 ※図は左妻梁側を示します。

5-1 フィックスパネルの取付け

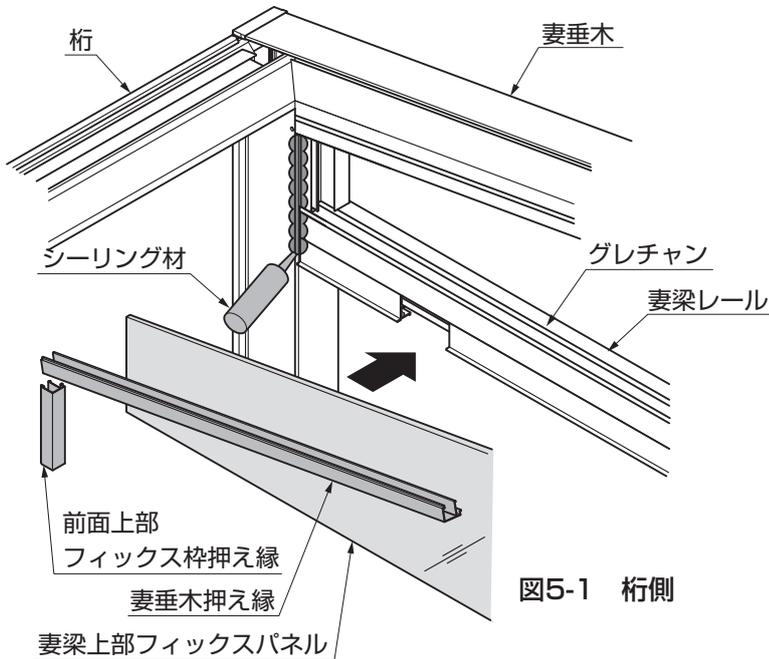


図5-1 桁側

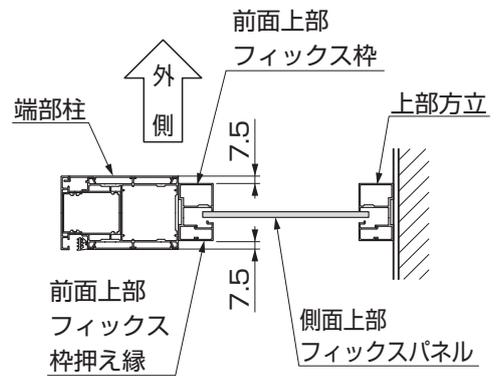


図5-3 横断面図

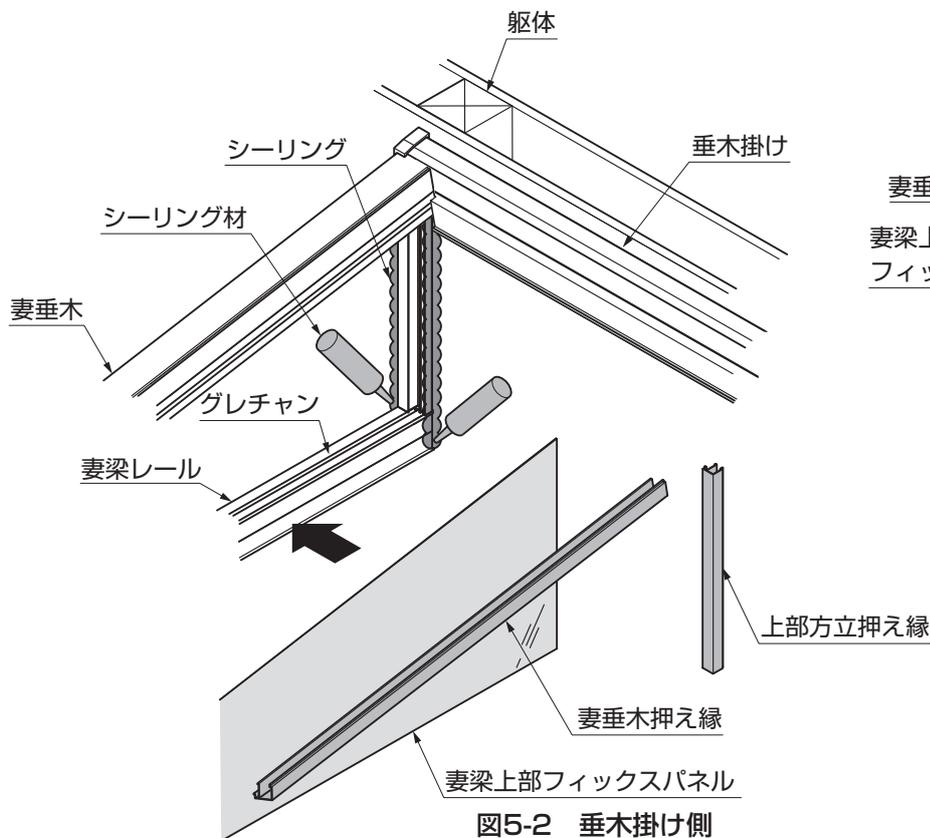


図5-2 垂木掛け側

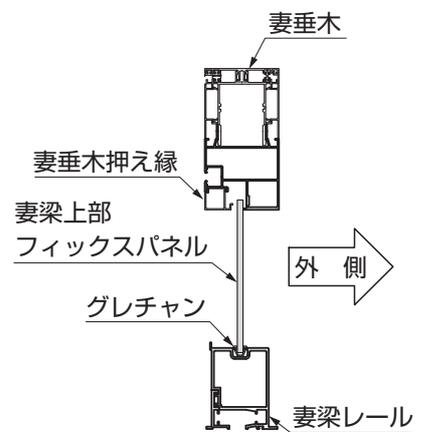


図5-4 縦断面図

- ①妻梁上部フィックスパネルを、妻梁レールのグレチャン部にはめ込んでください。
- ②前面上部フィックス枠押え縁・妻垂木押え縁・上部方立押え縁をはめ込んでください。

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

5-2 後付けビート材の取付け

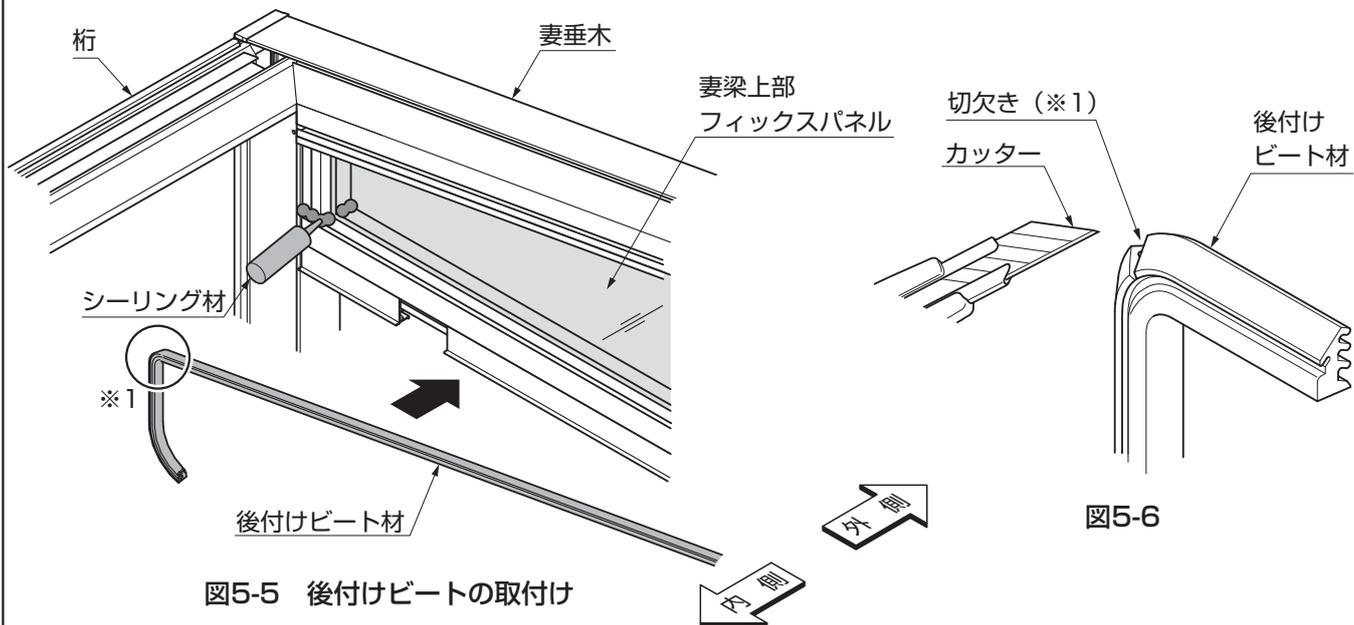


図5-5 後付けビートの取付け

図5-6

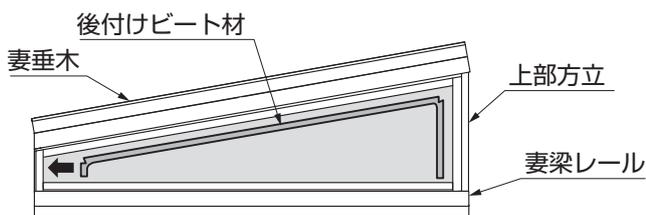


図5-7 側面図

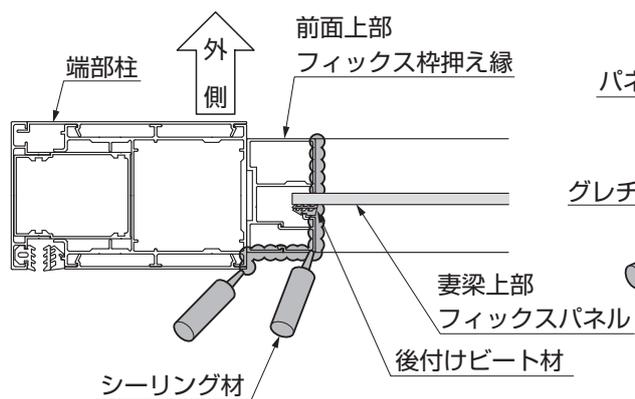


図5-8 横断面図

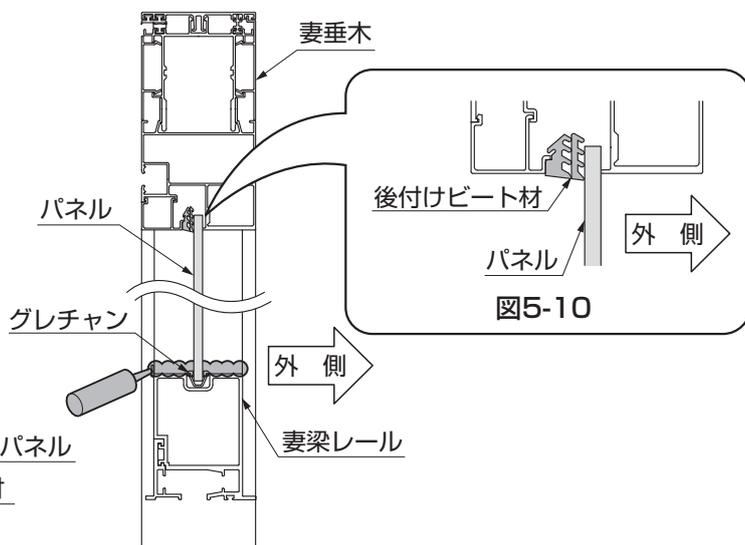


図5-9 縦断面図

図5-10

- ③後付けビート材をはめ込んでください。(図5-5、図5-7参照)
- ④図5-8、図5-9を参照して、シーリングをしてください。

ポイント

- 後付けビート材を折り曲げる箇所(※1)に、カッター等で切欠きを入れてください。(図5-6参照)
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

6. 側面換気窓の取付け オプション

※側面換気窓を選択した場合の作業です。
 ※図は左妻梁側を示します。

6-1 取付枠家側と押え縁の取付け

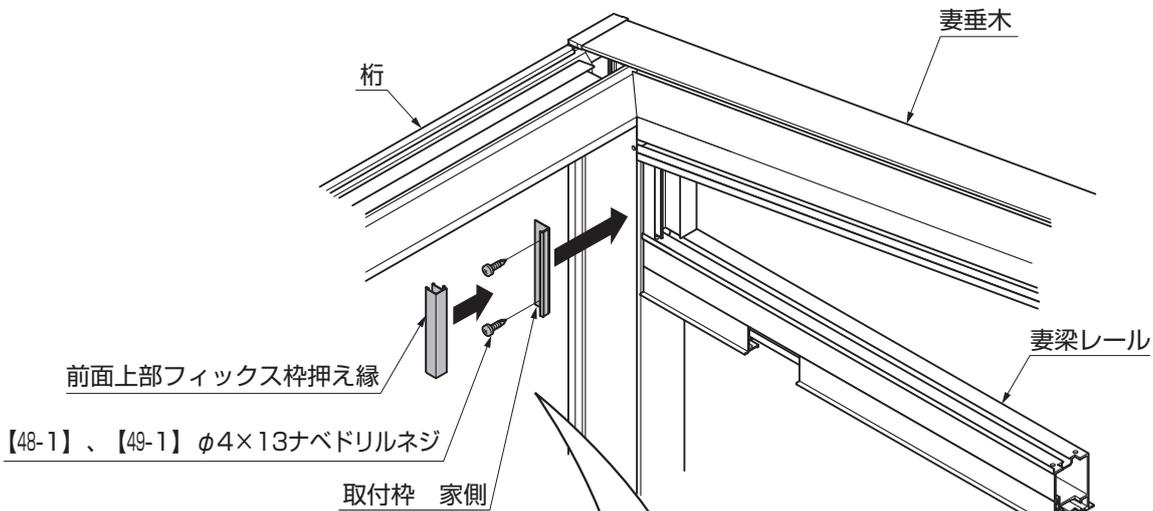


図6-1 桁側

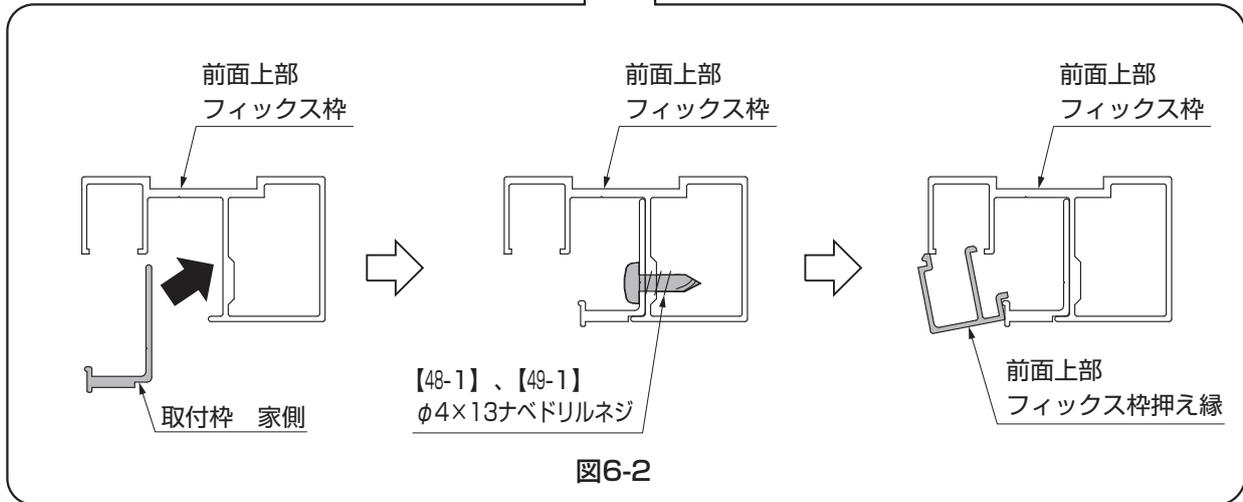


図6-2

- ①取付枠家側を上部方立と前面上部フィックス枠に【48-1】または【49-1】で取付けてください。
- ②上部方立押え縁を上部方立にはめ込んでください。
- ③前面上部フィックス枠押え縁を前面上部フィックス枠にはめ込んでください。

6-2 縦枠受け 前側の取付け

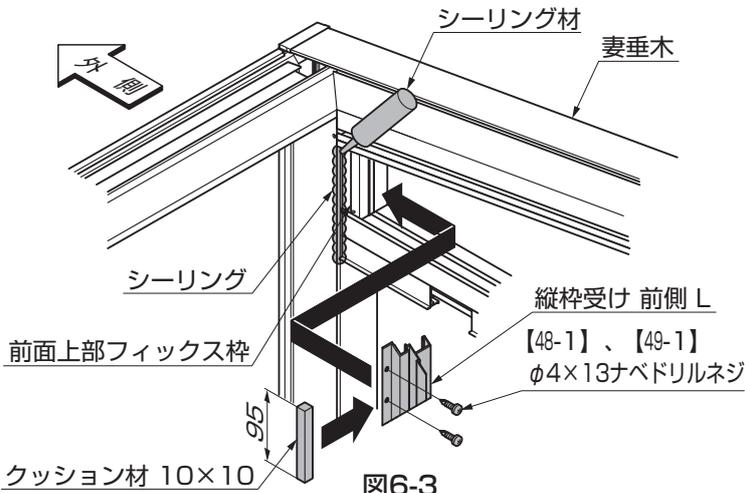


図6-3

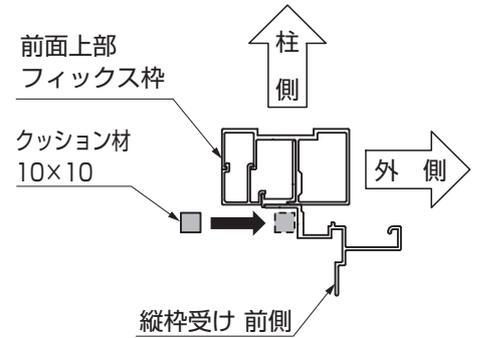


図6-4

- ① 縦枠受け 前側を、前面上部フィックス枠に【48-1】または【49-1】で取付けてください。
- ② クッション材 10×10を95mmに切断して、縦枠受け 前側に貼付けてください。

ポイント

- 記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。
- 切断したクッション材 10×10は、家側に取付ける場合に使用しますので捨てないでください。
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

6-3 取付枠上の取付け

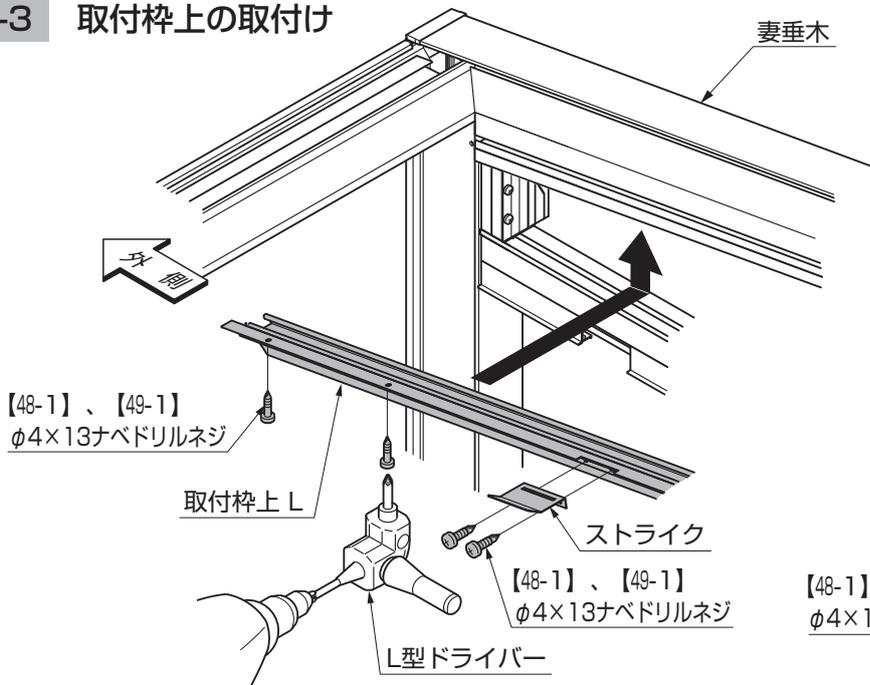


図6-5

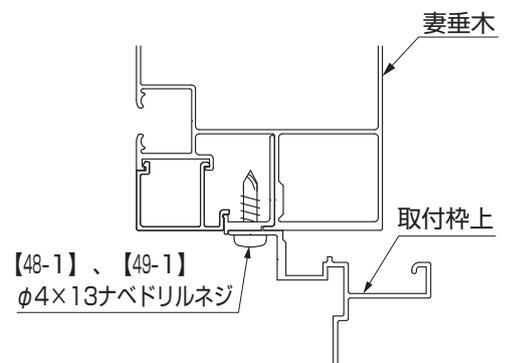


図6-6

- ① ストライクを取付枠上に、【48-1】または【49-1】で取付けてください。
- ② 取付枠上を、取付枠 家側 上に、【48-1】または【49-1】で取付けてください。

ポイント

- 取付枠上の取付けは、L型ドライバー等を使用してください。
- ストライクの取付けは、左右に数ミリ移動できます。

6. (つづき)

6-4 縦枠受け 家側の取付け

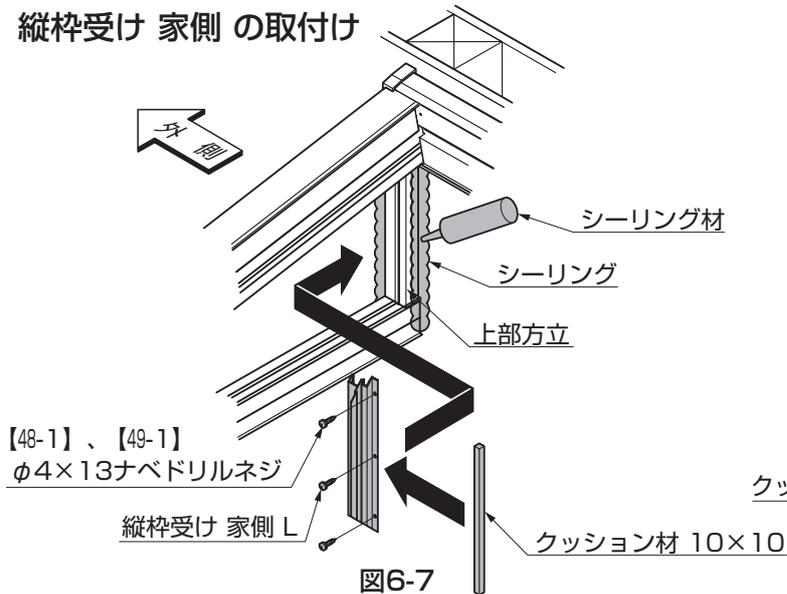


図6-7

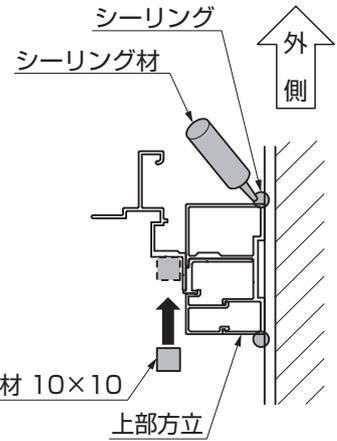


図6-8

- ①縦枠受け 家側を上部方立に、【48-1】または【49-1】で取付けてください。
- ②クッション材 10×10を、縦枠受け 家側の寸法に合わせて切断して、縦枠受け 家側に貼付けてください。

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。
- 「5. 妻梁上部フィックスパネルの取付け 5-1 フィックスパネルの取付け」でもシーリングしています。

6-5 側面換気窓の取付け

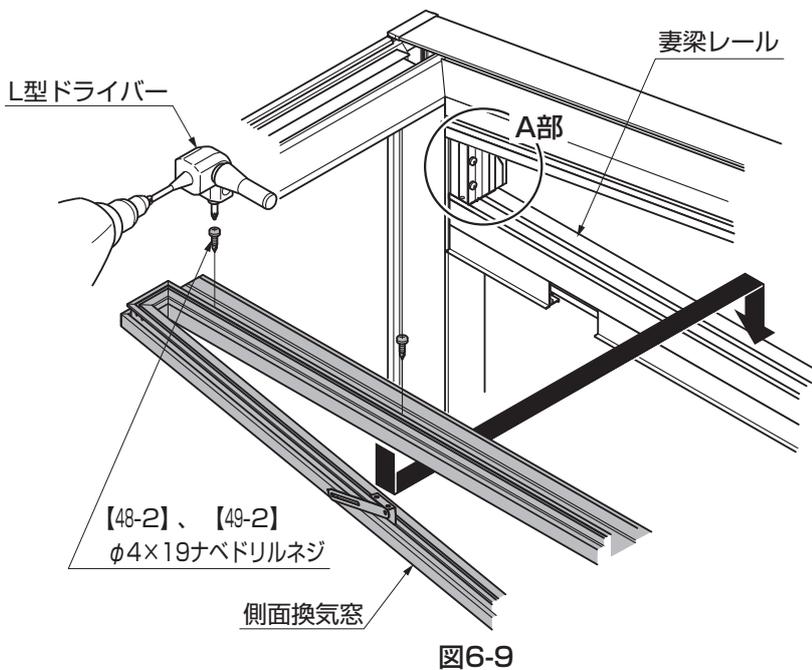


図6-9

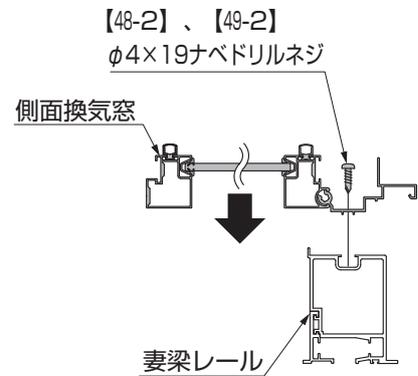


図6-10 A部詳細図

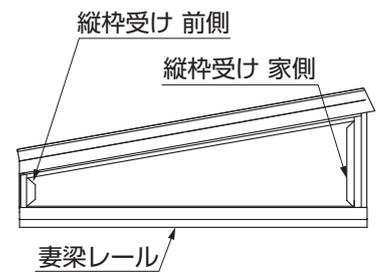


図6-11

- ①側面換気窓を妻梁レールに、【48-2】または【49-2】で取付けてください。

ポイント

- 側面換気窓の取付けは、L型ドライバー等を使用してください。
- 側面換気窓は、妻梁レールの溝にはめ込んでください。(図6-9、図6-10参照)

6-5 つづき

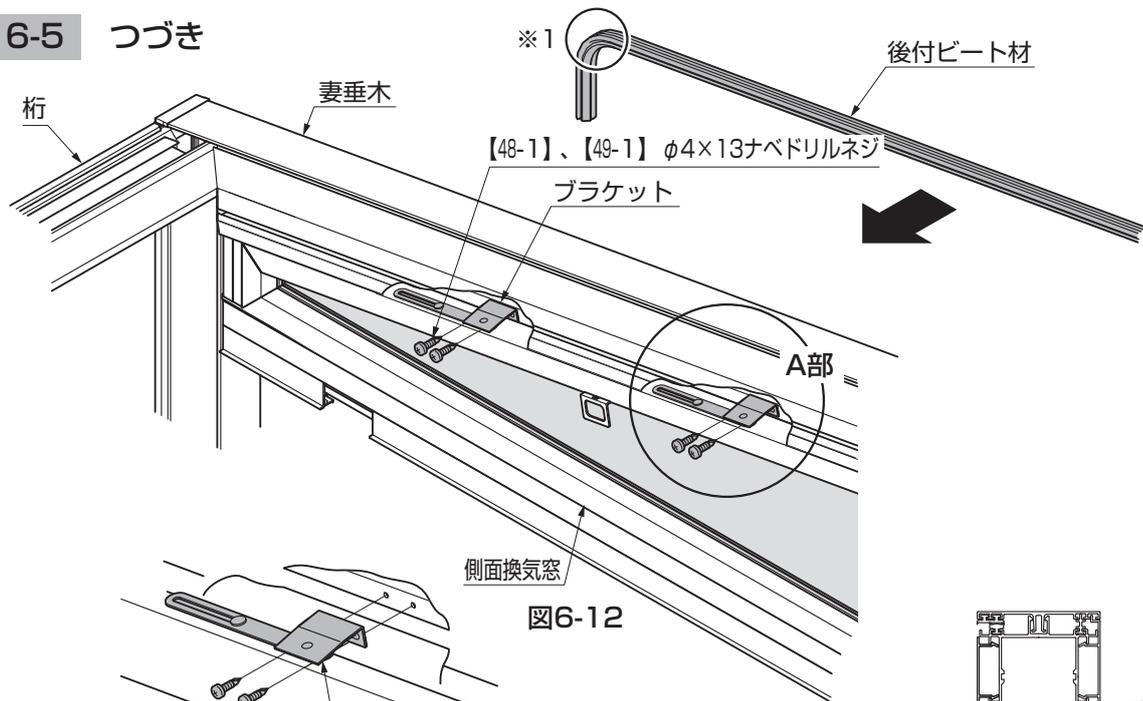


図6-12



図6-13 A部詳細図

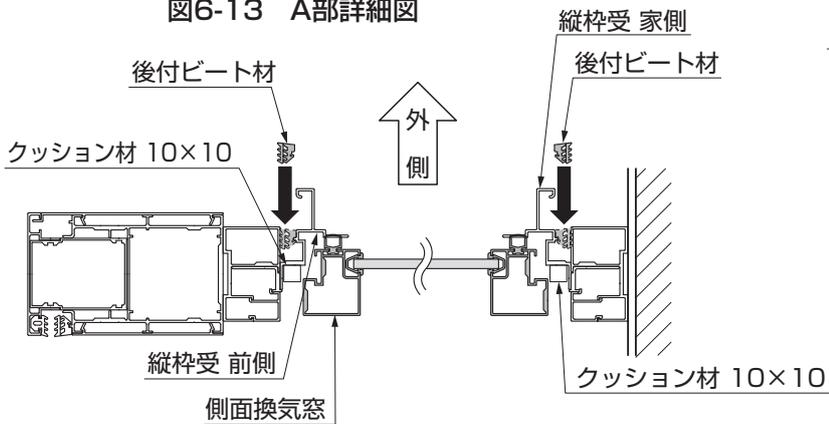


図6-14 横断面納まり図

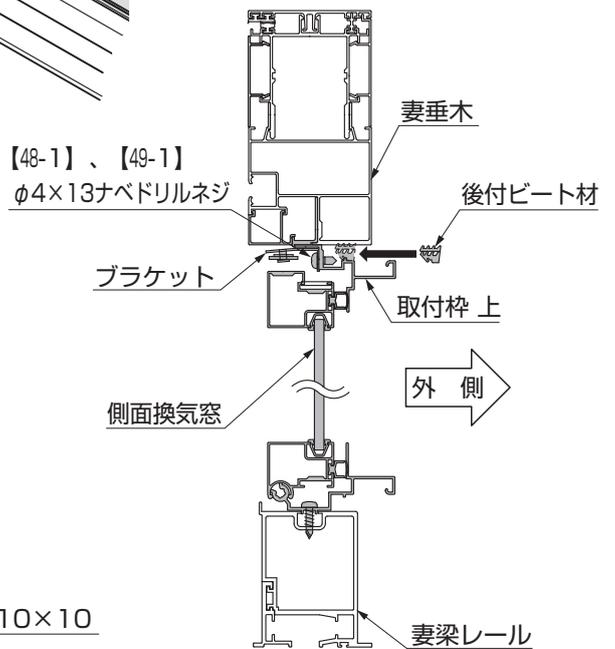


図6-15 縦断面納まり図

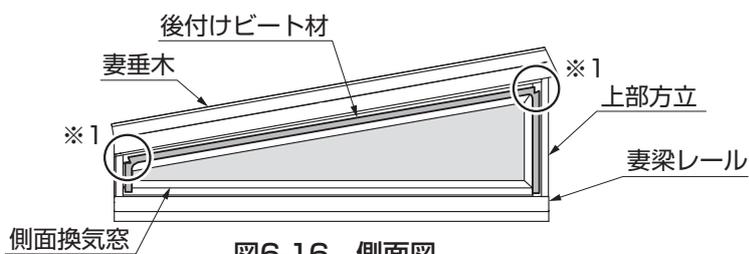


図6-16 側面図

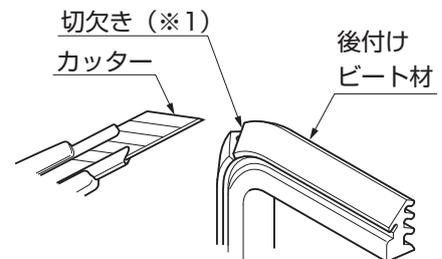


図6-17

- ③上部窓のブラケットを、取付枠上に、【48-1】または【49-1】で取付けてください。
- ④後付けビート材を、はめ込んでください。(図6-14、図6-15、図6-16参照)

ポイント

- 後付けビート材を折り曲げる箇所(※1)に、カッター等で切欠きを入れてください。(図6-17参照)

6. (つづき)

6-6 網戸の取付け

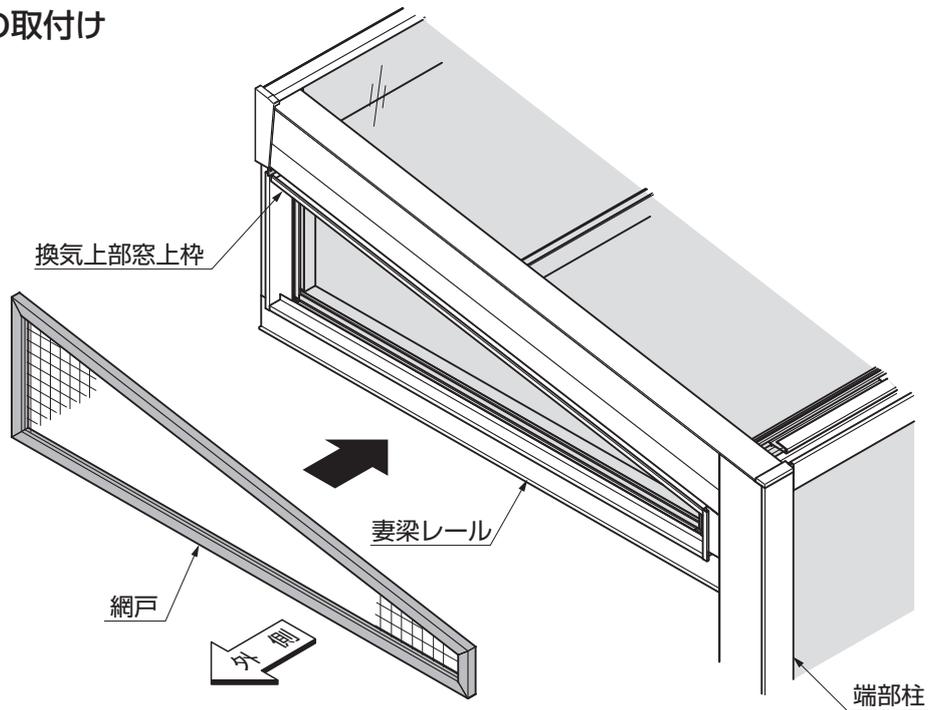


図6-18

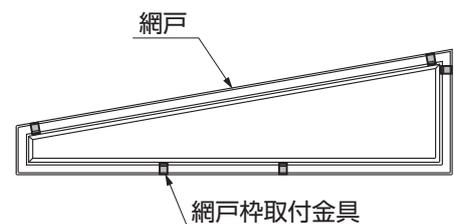


図6-21

表6-1 取付金具下段取付け個数

	4尺	6尺	8尺
個数	1	2	2

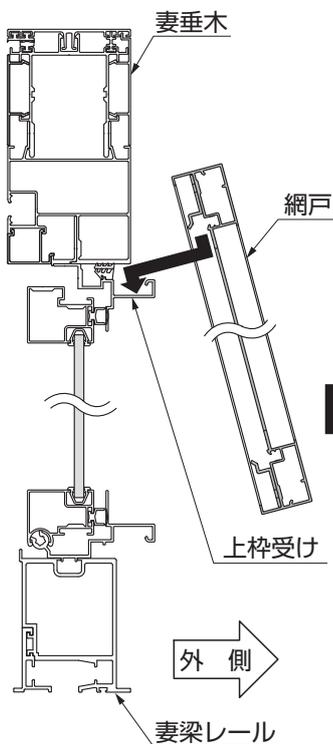


図6-19

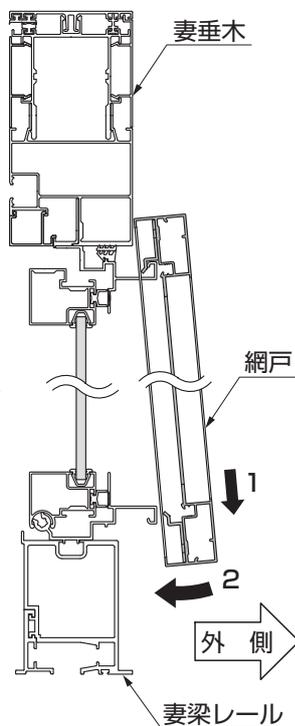


図6-20

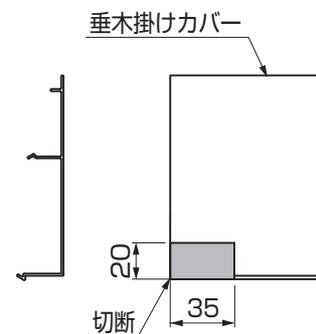


図6-22 ガーデンルームプラスタイプの場合

① 網戸を上枠受けに、引掛けて取付けてください。

ポイント

- 網戸は、網戸取付金具 家側上を先に引っかけ、網戸中央部を下に押下げて下側の金具を引っ掛けてください。
- ガーデンルームプラスのとき、垂木に側面換気窓を取付ける場合は、垂木掛けカバーに加工が必要です。(図6-22参照)

8 下レールの取付け

※図はガーデンルームタイプの場合の作業です。

1. ベース材と束柱の取付け

※ベース材仕様の場合の作業です。

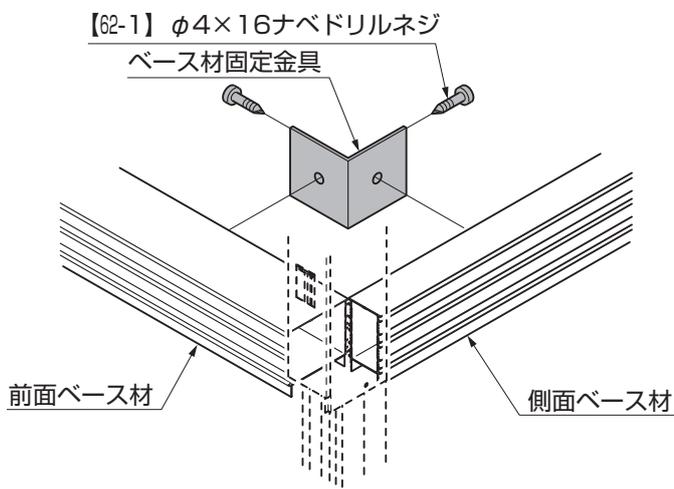


図1-1

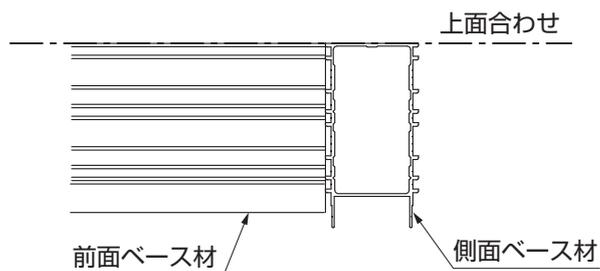


図1-2

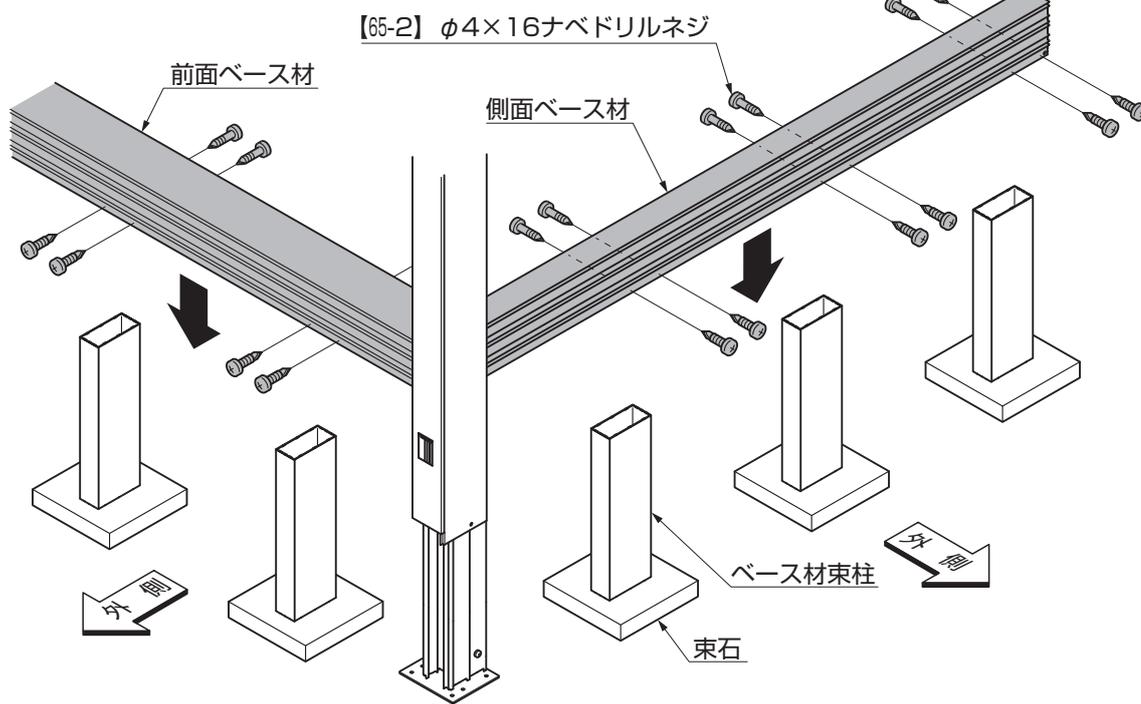


図1-3

①側面ベース材と正面ベース材をベース材固定金具と【62-1】で取付けてください。

ポイント

●側面ベース材と正面ベース材は上面合わせで取付けてください。

②ベース材束柱を側面ベース材、前面ベース材に【65-2】で取付けてください。

ポイント

●ベース材は束柱の上に仮置きしてください。

2. 方立の取付け

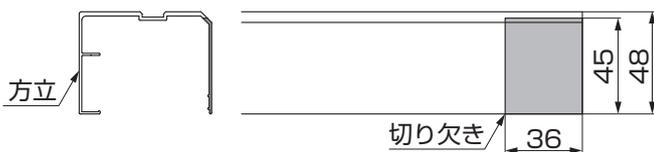
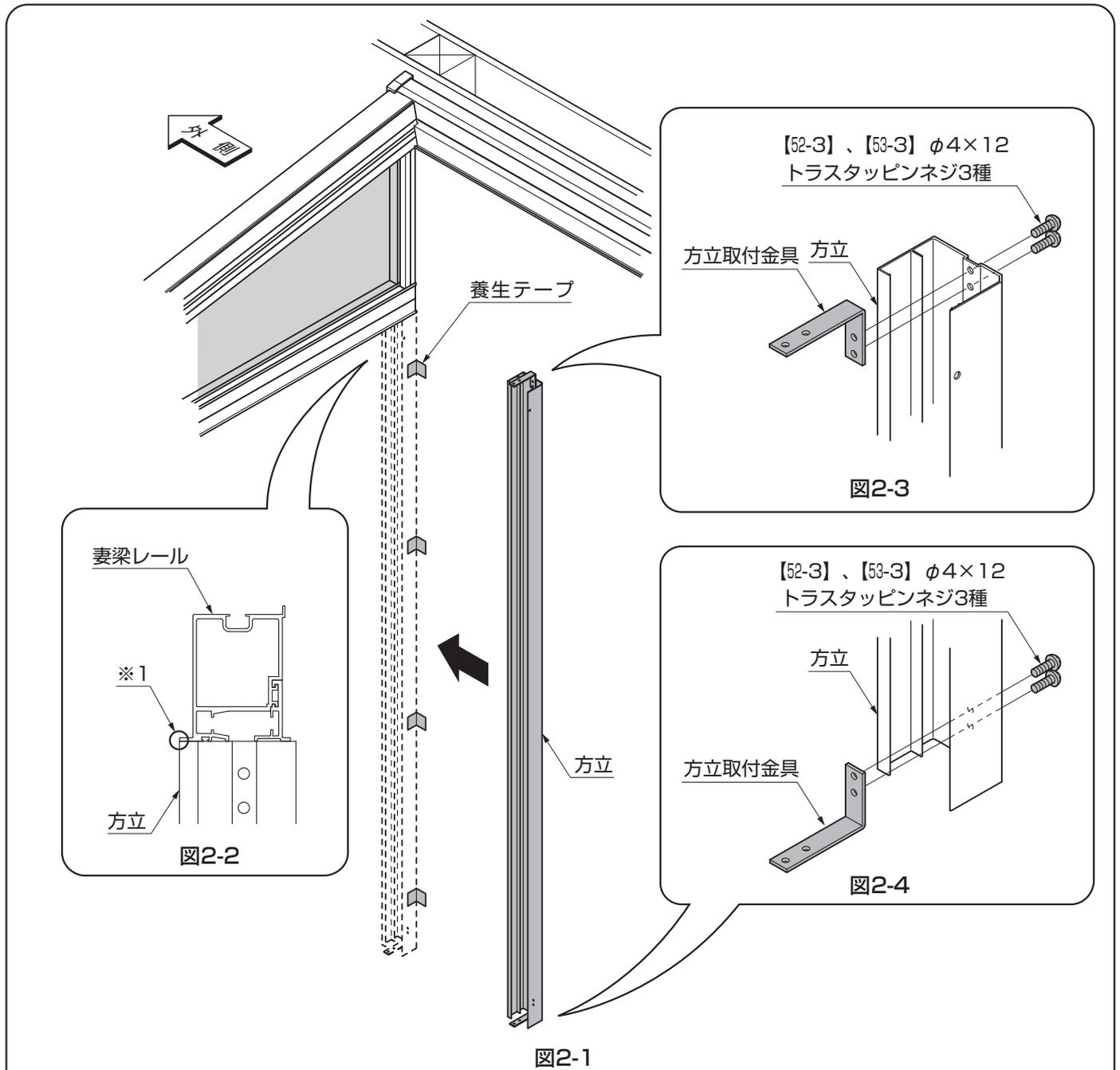


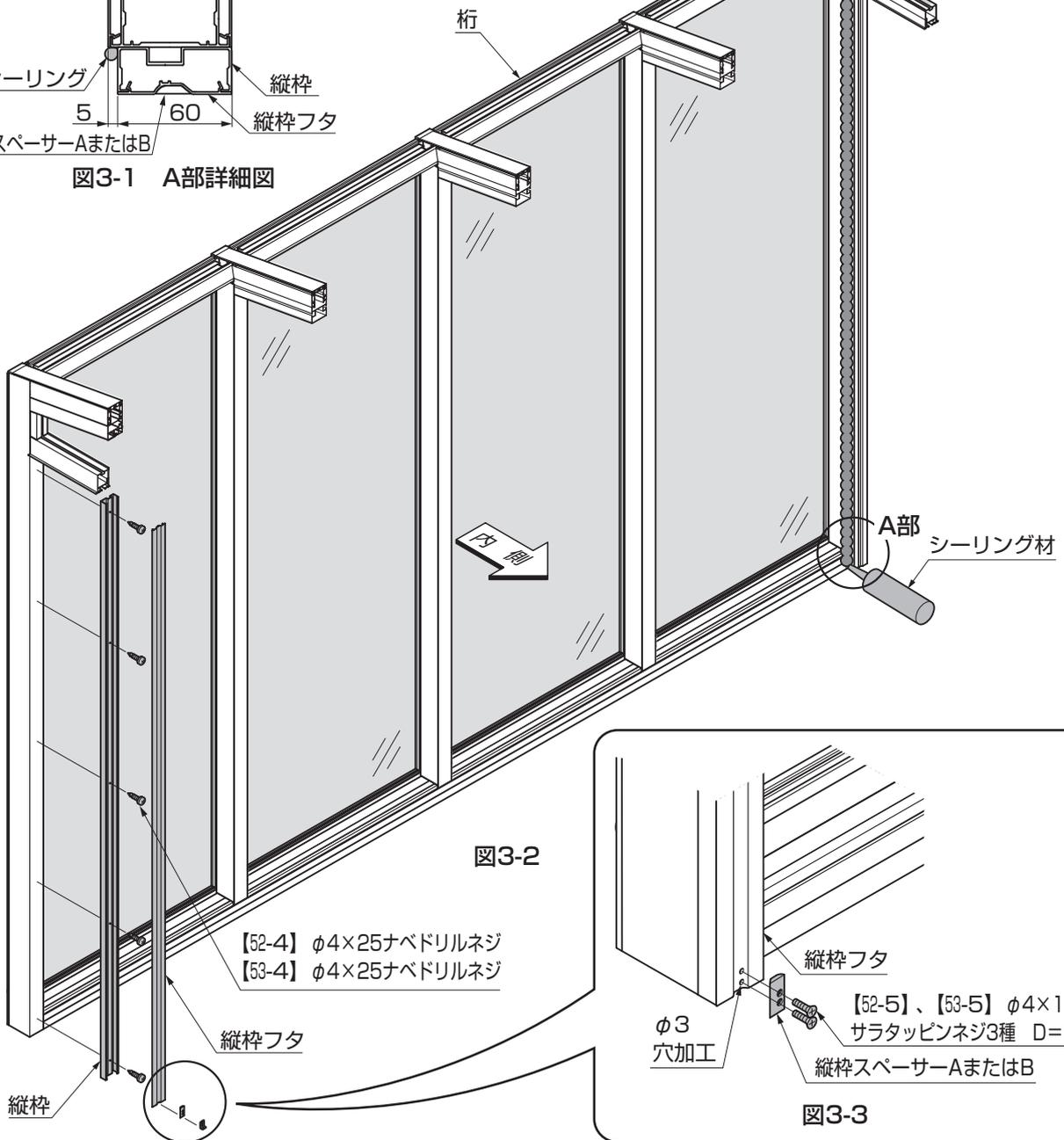
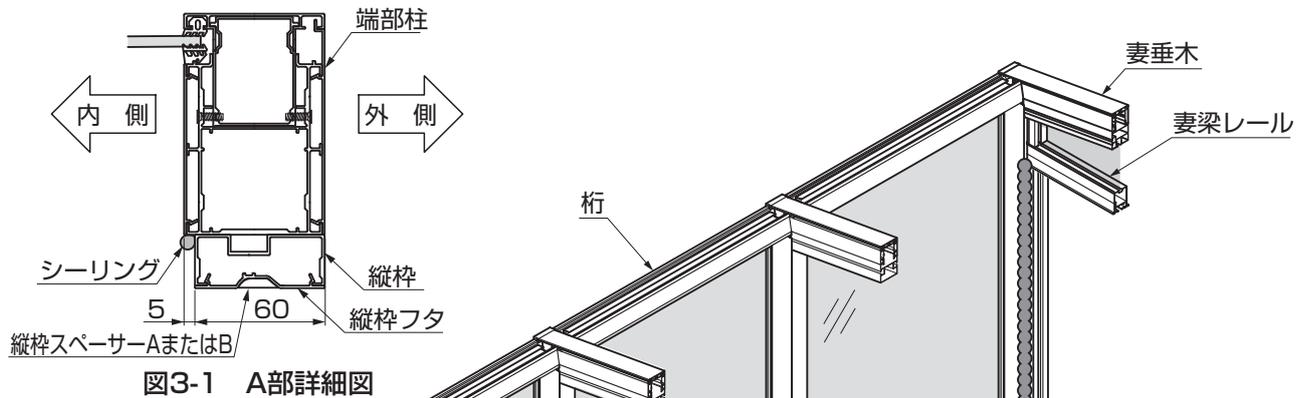
図2-5 土間施工時の方立の加工

- ①方立取付金具を方立に【52-3】、【53-3】で取付けてください。
- ②方立を躯体に養生テープ等で垂直になるように仮固定してください。

ポイント

- 方立と妻梁レールは外側の※1の箇所が合うように仮固定してください。
- 土間施工の場合は土間見切り材と干渉しないよう、方立を切り欠いてください。(図2-5参照)

3. 縦枠の取付け



- ① 縦枠を端部柱に、【52-4】または、【53-4】で取付けてください。
- ② 端部柱と縦枠の内側の接合部に、シーリングしてください。（図3-1参照）
- ③ 縦枠フタを縦枠にはめ込んでください。
- ④ 縦枠フタにφ3の穴をあけてください。
- ⑤ 加工した縦枠フタに縦枠スペーサーAまたはBを【52-5】、【53-5】で固定してください。

🔑ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。
- 縦枠スペーサーはAとBがあります。右左でAとBが入れ替わります。

4. 下レールの取付け

4-1 下レールの仮置き

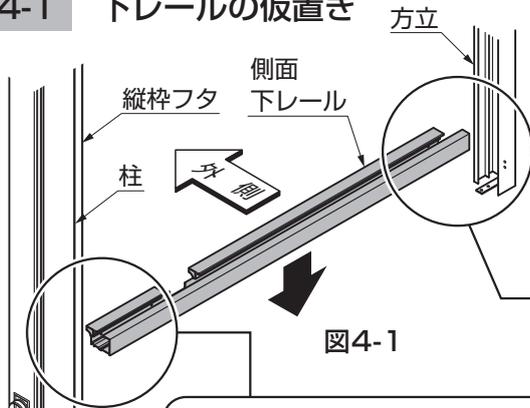


図4-1

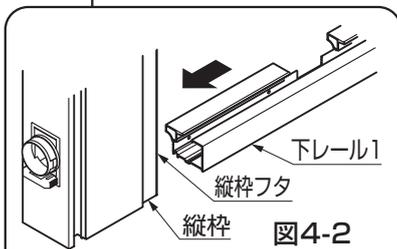


図4-2

補足

- 下レールは縦枠フタに突き当ててください。

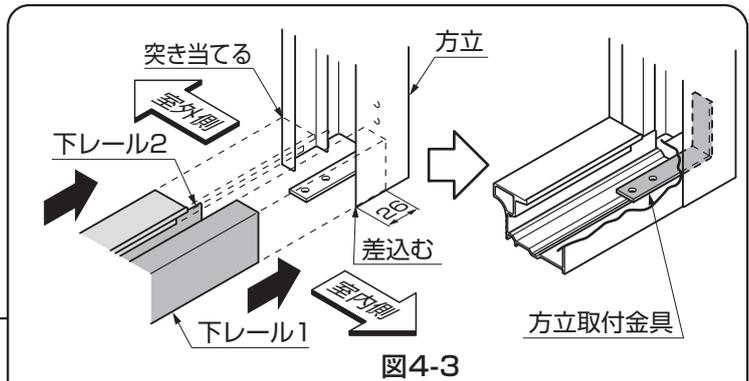


図4-3

補足

- 下レール1は方立に差込むように、下レール2は方立に突き当たるようにしてください。

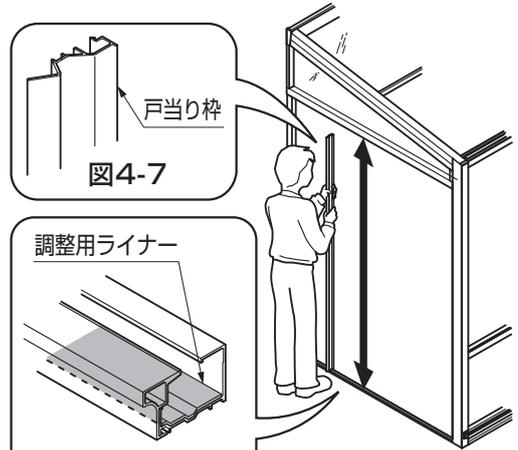


図4-6

図4-7

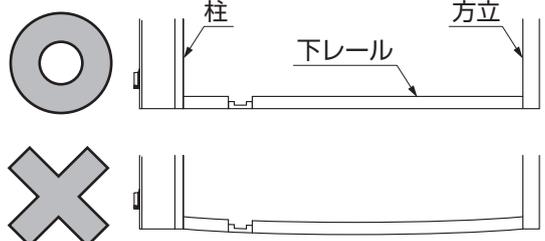


図4-8

図4-9

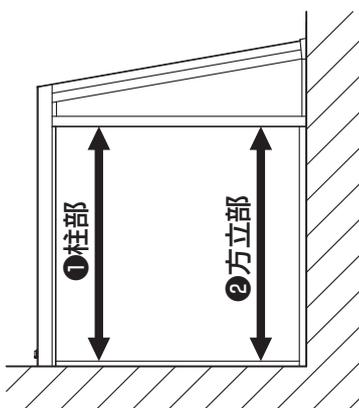
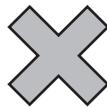


図4-4

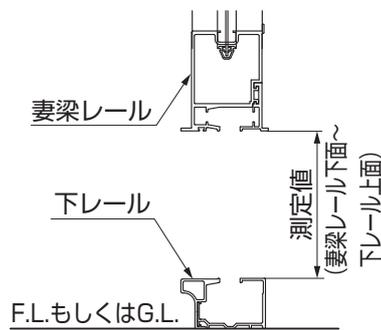


図4-5

表4-1

H	測定値
H20	1911~1914
H22	2111~2114
H24	2311~2314

①下レールを仮置きしてください。(図4-1参照)

②図4-4にしたがって①・②を計測し、各部の測定値が表4-1の範囲内であることを確認してください。

プラス側に外れている場合は、下レールの下に調整用ライナーやスペーサーを入れるなどして調整してください。

ポイント

- 床の状態に合わせて、下レールの下にスペーサーを入れるなどの調整をしてください。
- プラスの寸法分下レールの下に下レール調整用ライナー **オプション** やスペーサーを入れないとパネルのボトム材が十分に作動せず、十分な止水性能が得られないおそれがあります。(図4-8参照)

補足

- 方立セットに同梱の戸当り枠の長さは表4-1測定値の下限寸法となっています。戸当り枠を利用して上下レール間のみかな寸法を確認することができます。その際、上レールに取り付いている止水ビートを傷つけないようにしてください。

4-2 下レールの固定

(1) 固定前の準備

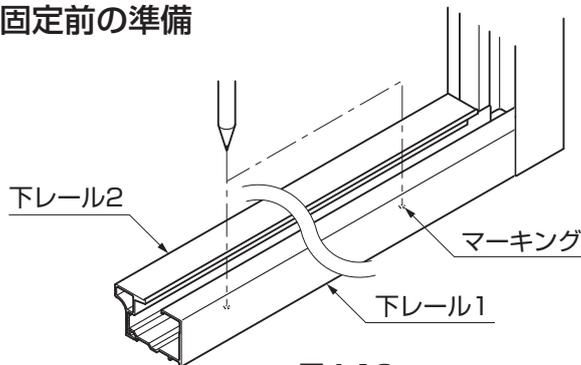


図4-10

①下レール1の加工穴をガイドにして、ネジ固定位置を床面にマーキングしてください。(図4-10参照)

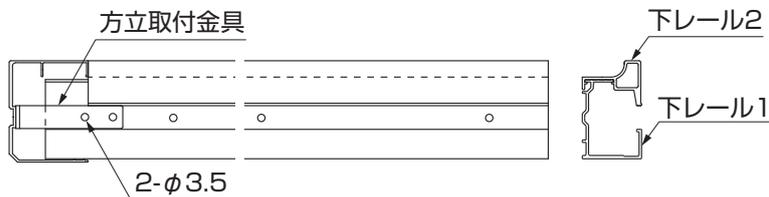


図4-11 ベース材仕様の場合の穴加工

ポイント

●ベース材仕様の場合、方立取付金具の下穴2ヶ所はφ3.5の穴加工をしてください。(図4-11参照)

(2) 下レールの固定 フラット仕様の場合

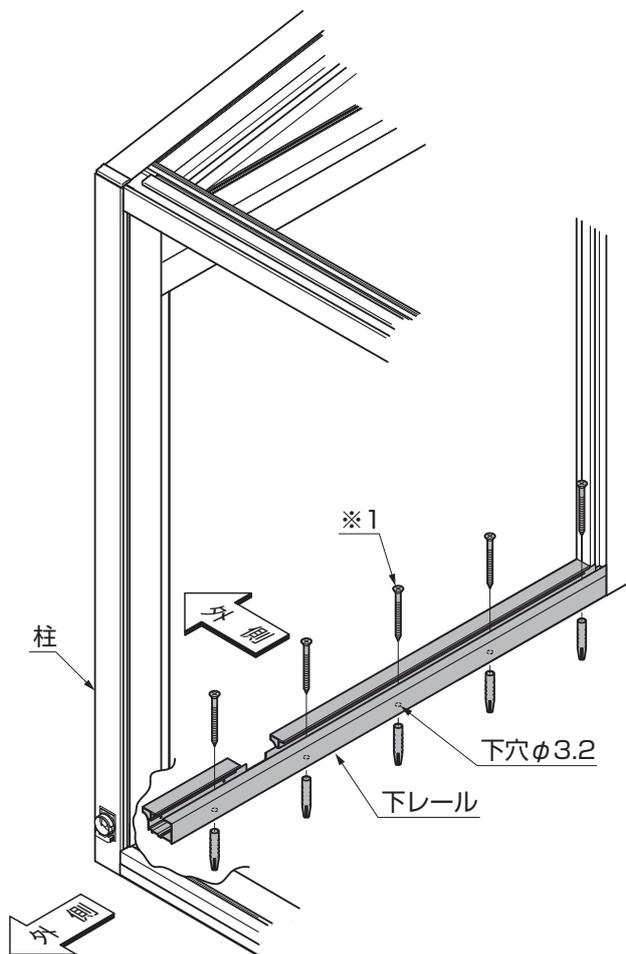


図4-12

表 4-2 下レール取付けネジ一覧

	取付けネジ	フィッシャープラグ
土間用	【50-6】、【51-6】 φ4.1×32 サラ木ネジ	【50-4】、【51-4】 フィッシャープラグS6
デッキ用	【50-5】、【51-5】 φ4.5×63 サラ木ネジ	不要

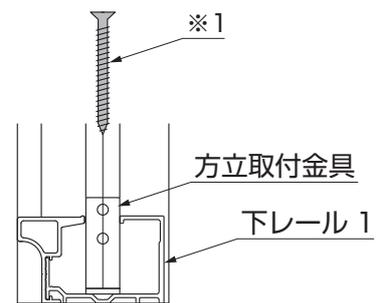


図4-13

①下レールを固定してください。

ポイント

●下レールを取付けるビス(※1)は表4-2を参照して取付けてください。

4. (つづき)

(3) 下レールの固定 内面立上げ仕様の場合

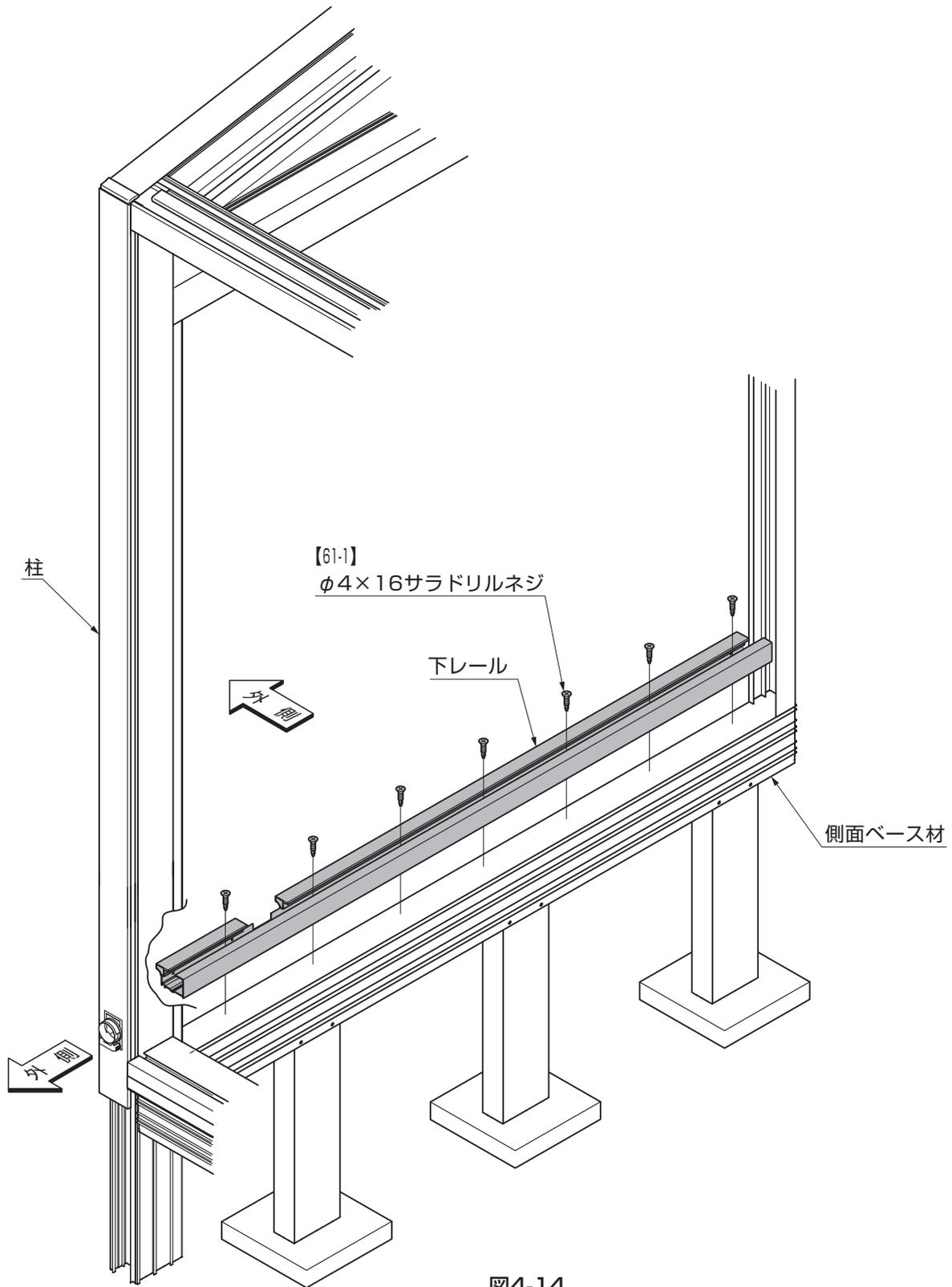


図4-14

①下レールを【61-1】で側面ベース材に取付けてください。

4-2 つづき

(4) 方立の固定

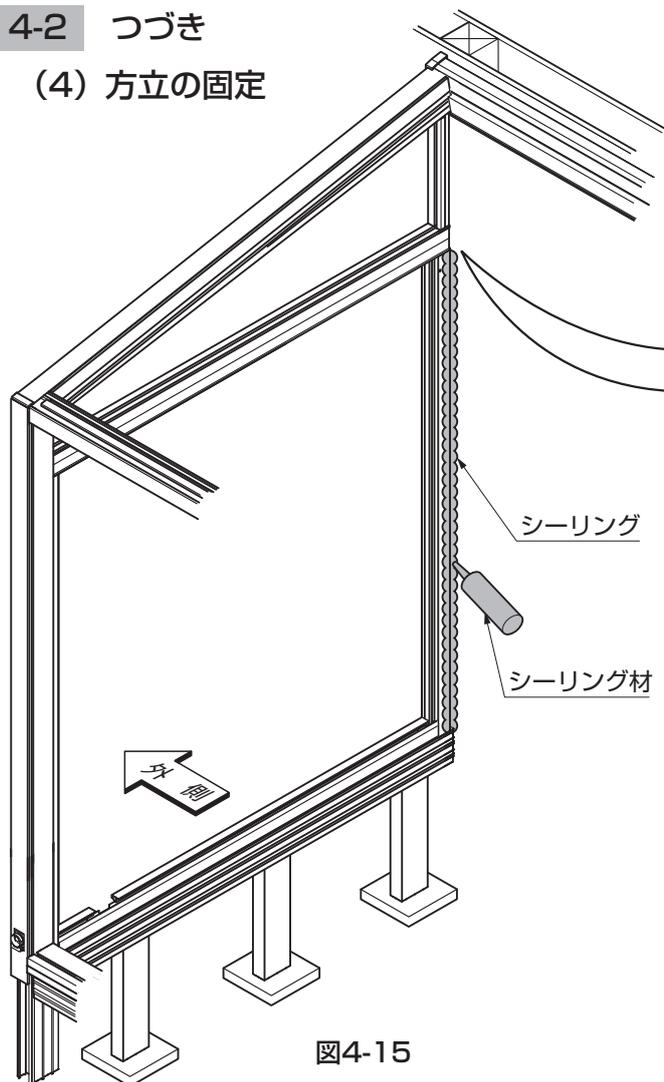


図4-15

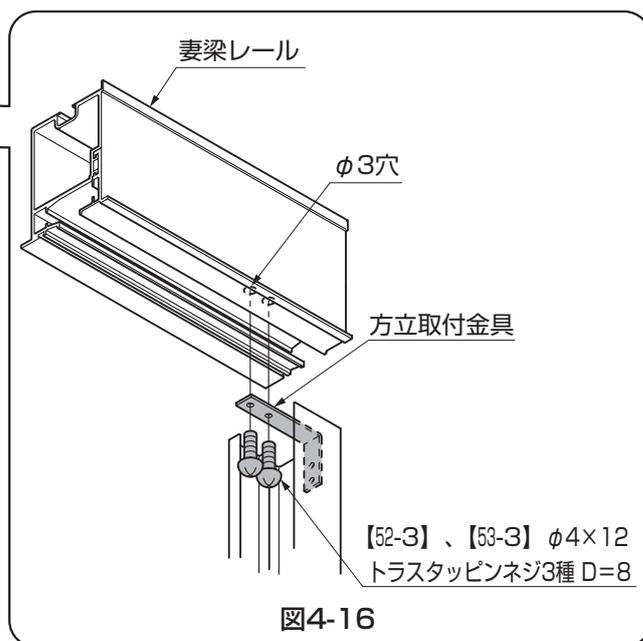


図4-16

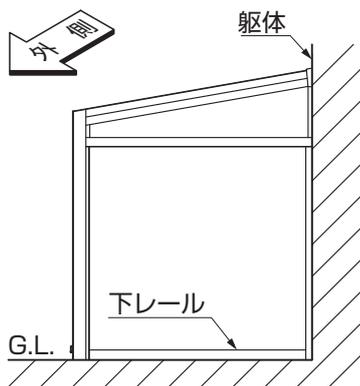


図4-17

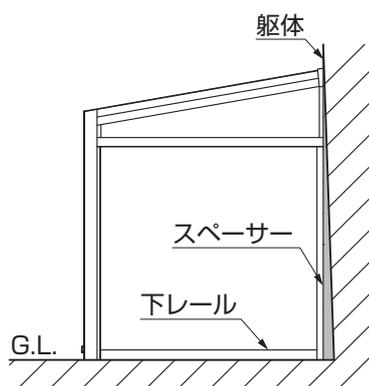


図4-18

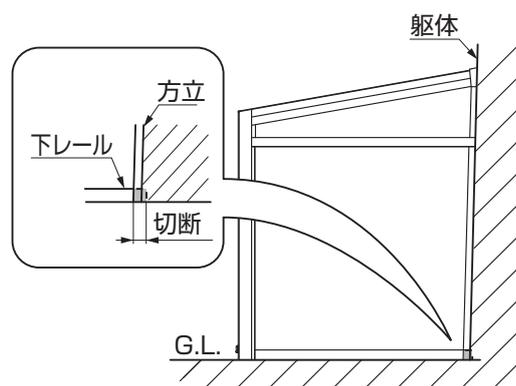


図4-19

- ①妻梁レールにφ3の穴をあけてください。
- ②方立を妻梁レールに【52-3】、【53-3】で取付けてください。
- ③方立をシーリングしてください。

ポイント

- 図4-19のように躯体の状態によっては、下レールを切断しないと位置が合わない場合があります。逆に図4-7のように方立と躯体の間にスペーサーを入れないと位置が合わない場合もあります。
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

4. (つづき)

4-3 土間見切り材の取付け ※ベース材仕様で土間用の場合の作業です。

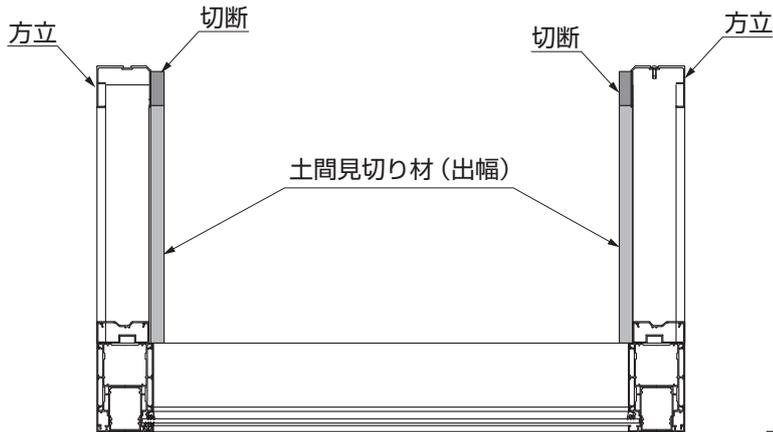


図4-20

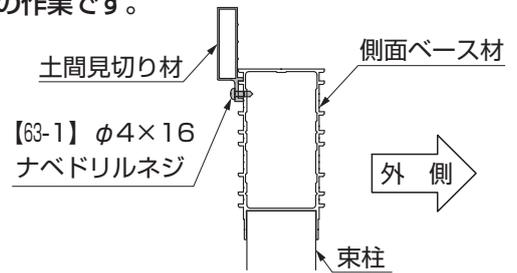


図4-21 土間見切り材の取付け

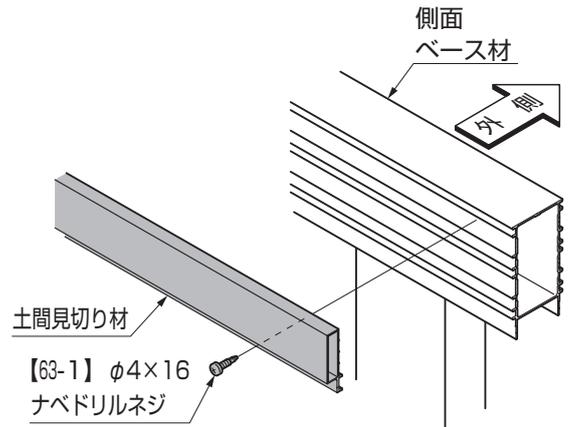


図4-22 土間見切り材の取付け

- ① 出幅方向のベース材内々寸法で土間見切り材を現場合わせで加工してください。
- ② 土間見切り材をベース材に【63-1】で取付けください。

4-4 ベース材束柱の固定

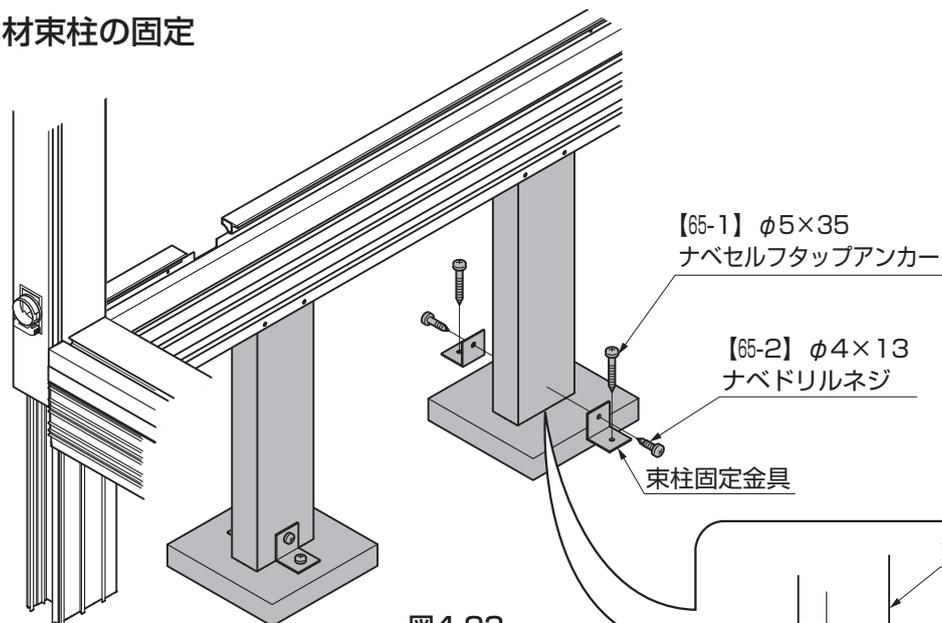


図4-23

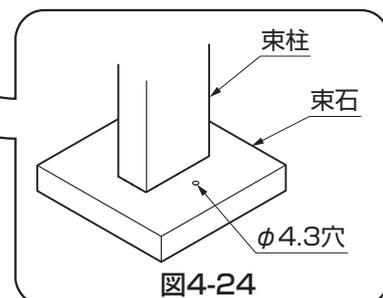


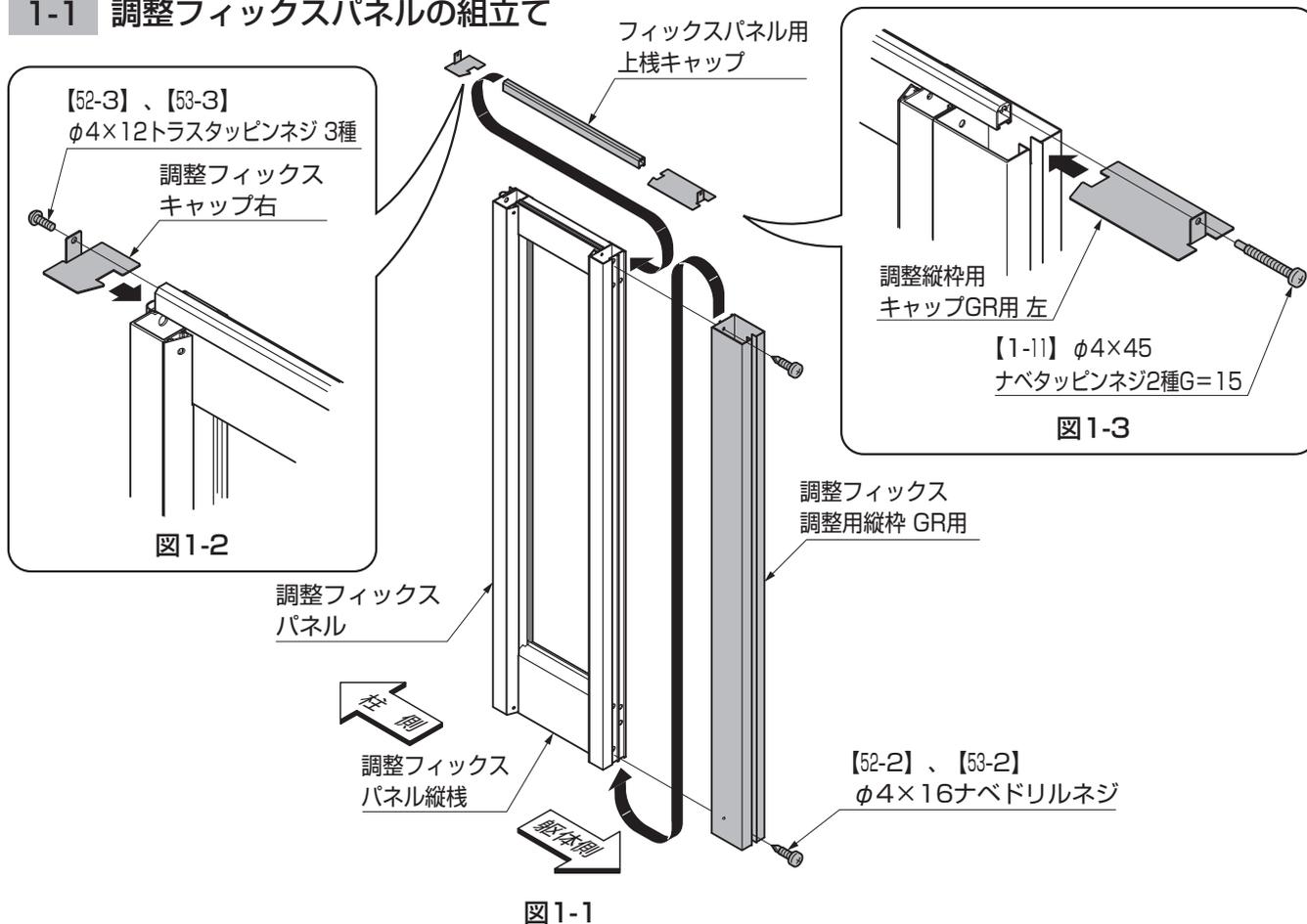
図4-24

- ① 束柱固定金具を取付ける束石にφ4.3の穴をあけてください。
- ② 束柱固定金具を束柱に【65-2】で取付けてください。
- ③ 束柱固定金具を束石に【65-1】で固定してください。

9 側面パネルの取付け

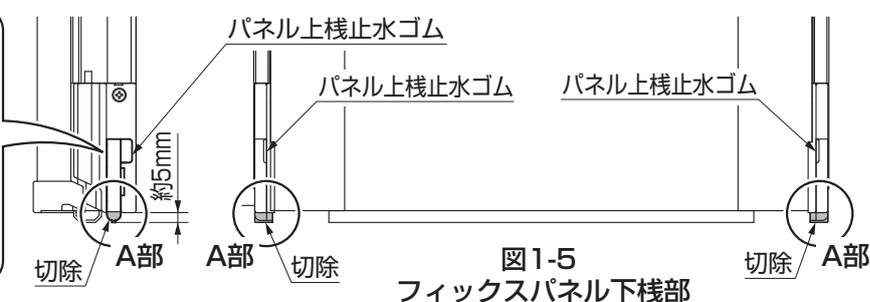
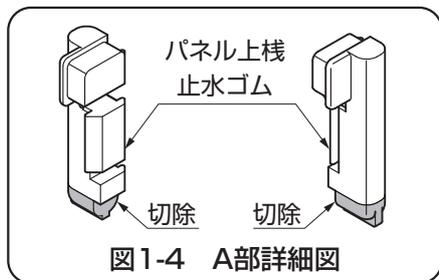
1. 側面パネルの取付け

1-1 調整フィックスパネルの組立て



- ①調整フィックス用調整縦枠を躯体側の縦枠にスライドして【52-2】または【53-2】で取付けてください。
- ②フィックスパネル用上枠キャップを上枠にスライドして組付けてください。
- ③調整縦枠用キャップGR用を躯体側のフィックス上部に【1-11】で取付けてください。(図1-3参照)
- ④調整フィックスキャップを柱側のフィックス上部に【52-3】、【53-3】で取付けてください。(図1-2参照)

1-2 パネル上枠止水ゴムの加工 ※フィックスパネルの場合のみの作業です。パネルを取付ける前に加工してください。



- ①パネル上枠止水ゴムを取外してください。
- ②A部を切除してください。(約5mm)

ポイント

- 記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。

1. (つづき)

1-3 調整フィックスパネル、フィックスパネルの建込み

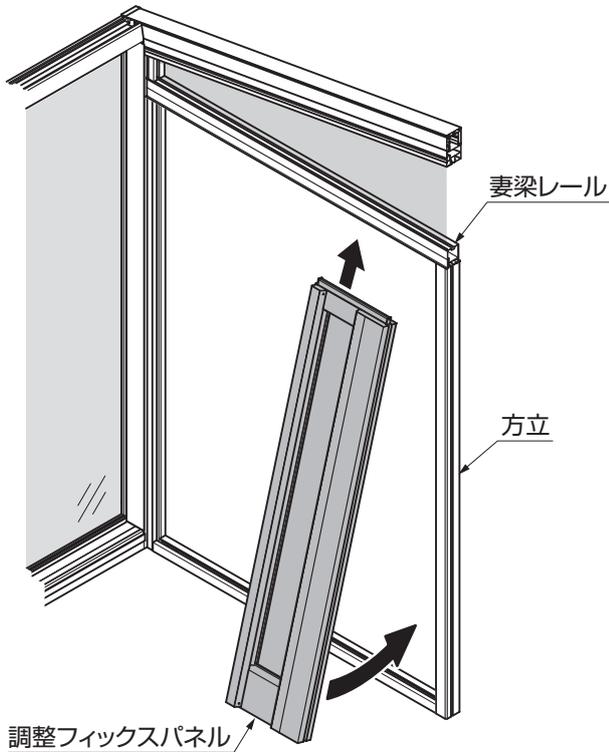


図1-6 調整フィックスパネルの場合

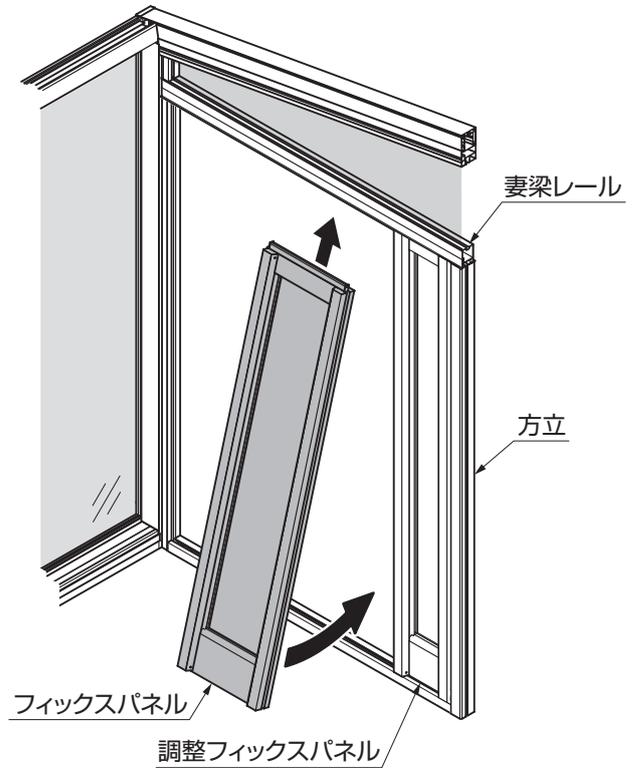


図1-7 フィックスパネルの場合

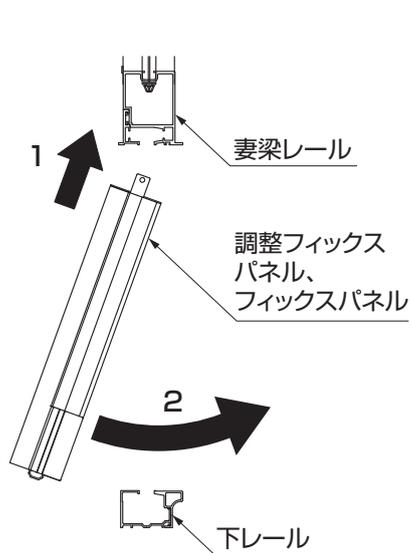


図1-8

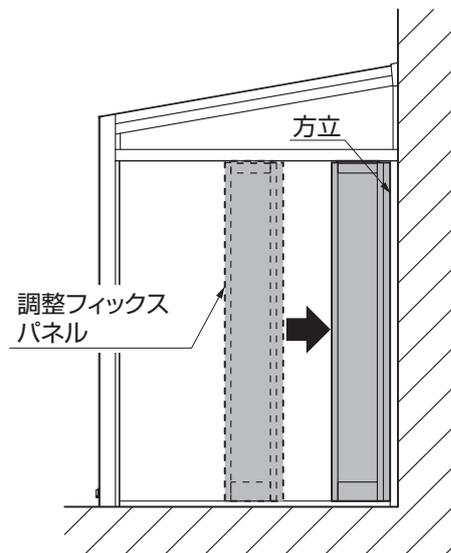


図1-9

- ①調整フィックスパネル、フィックスパネルを側面に建込んでください。
- ②調整フィックスパネルを方立に差込んでください。

ポイント

- 障子やふすまを建込む時と同様に「けんどん」で建込んでください。

1-4 戸当り枠の取付け

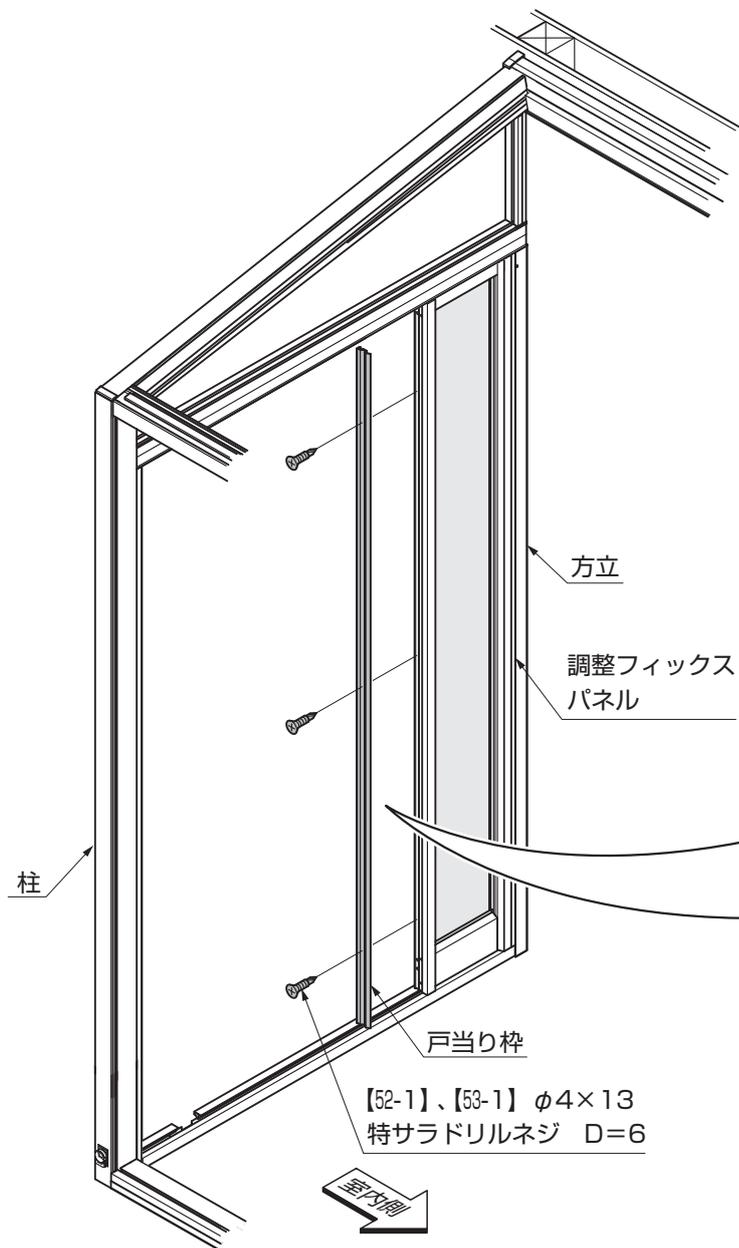


図1-10

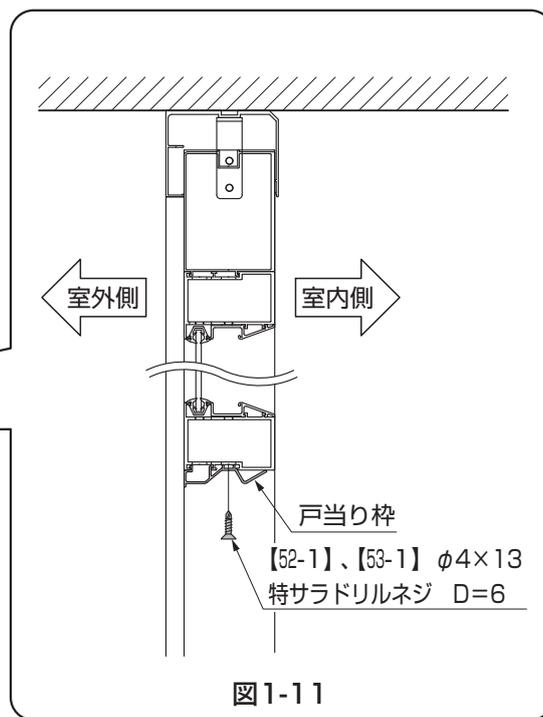


図1-11

①戸当り枠を調整フィックスパネルに【52-1】または【53-1】で取付けてください。

2. 側面折戸パネルの吊込み

2-1 折戸パネル吊込み準備

(1) 開き止めストッパーの取付け

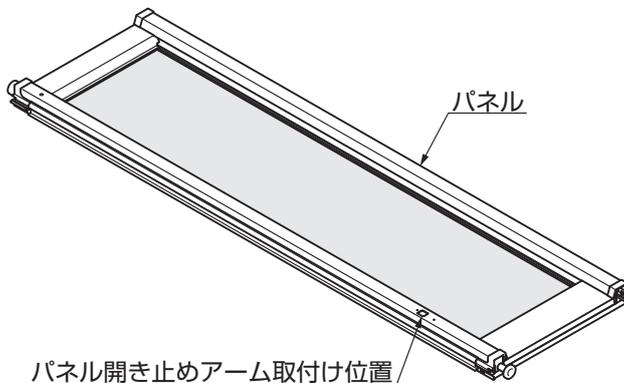


図2-1

パネル
開き止めアーム

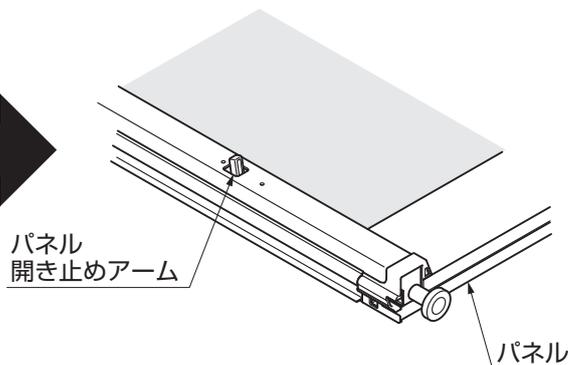
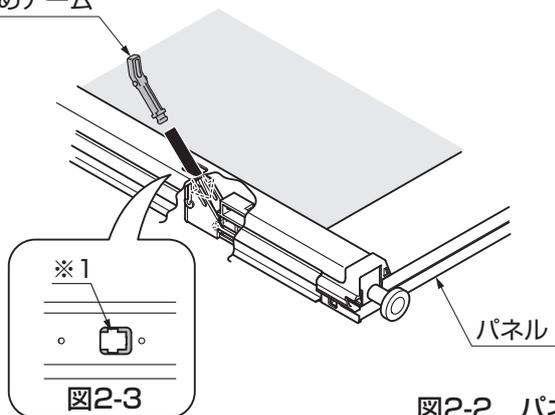


図2-2 パネル開き止めアームの取付け

パネル
開き止めアーム

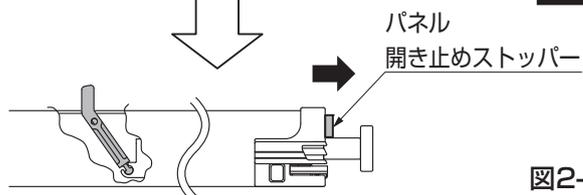
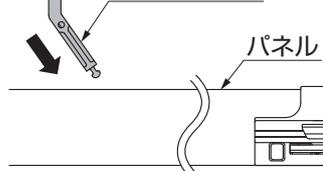


図2-4

① パネル開き止めアームをパネル室内側から差込み、「カチッ」とはまるまで押し込んでください。

ポイント

- パネル開き止めアームは、※1の溝にはまるように差込んでください。(図2-3参照)
- パネル開き止めアームを差込む際、パネル開き止めストッパーが動いてしまい、パネル開き止めアームが差込めない場合があります。その時は、パネル開き止めストッパーが下に動かないように手でおさえてパネル開き止めアームを差込んでください。(図2-4参照)
- パネル開き止めが正しく取付けられると、パネルから突き出た部分が水平となります。

2-1 つづき

(2) パネル開き止めの取付け

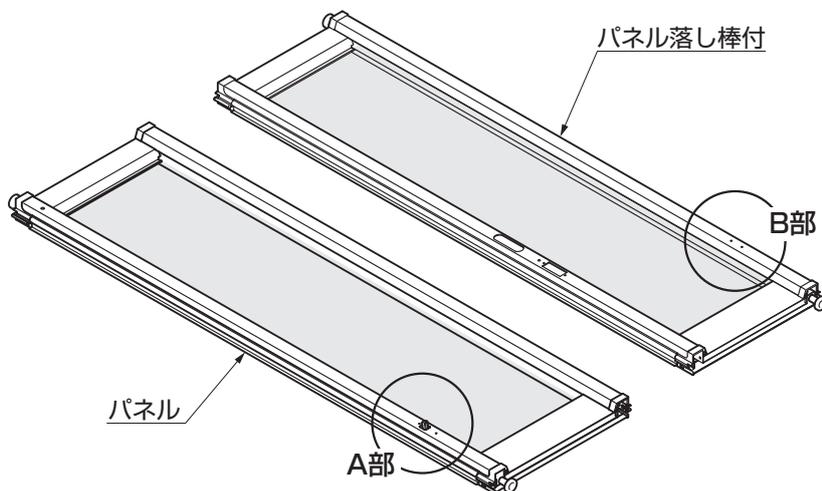


図2-5

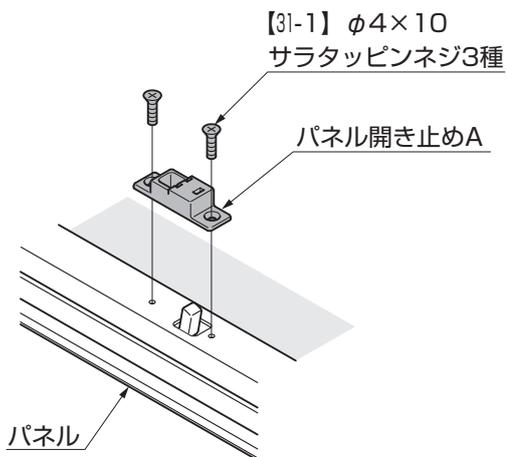


図2-6 A部詳細図
パネル開き止めAの取付け

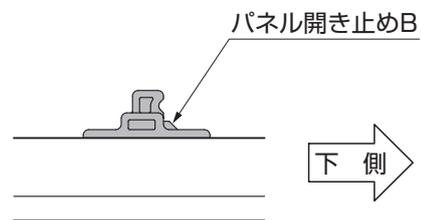
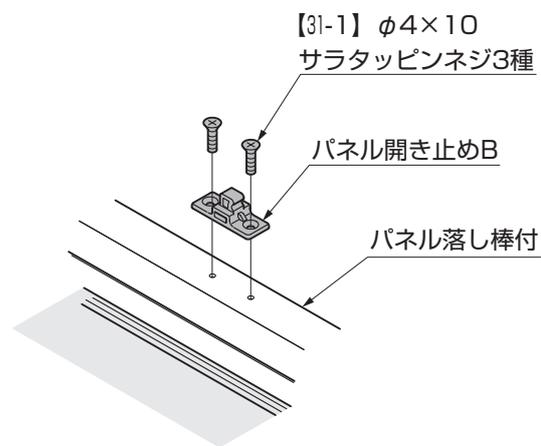


図2-7 B部詳細図
パネル開き止めBの取付け

- ①折戸にパネル開き止めAを【31-1】で取付けてください。
- ②折戸にパネル開き止めBを【31-1】で取付けてください。

ポイント

- パネル開き止めBには上下の向きがあります。(図2-7参照)

2. (つづき)

2-2 折戸パネルの吊込み

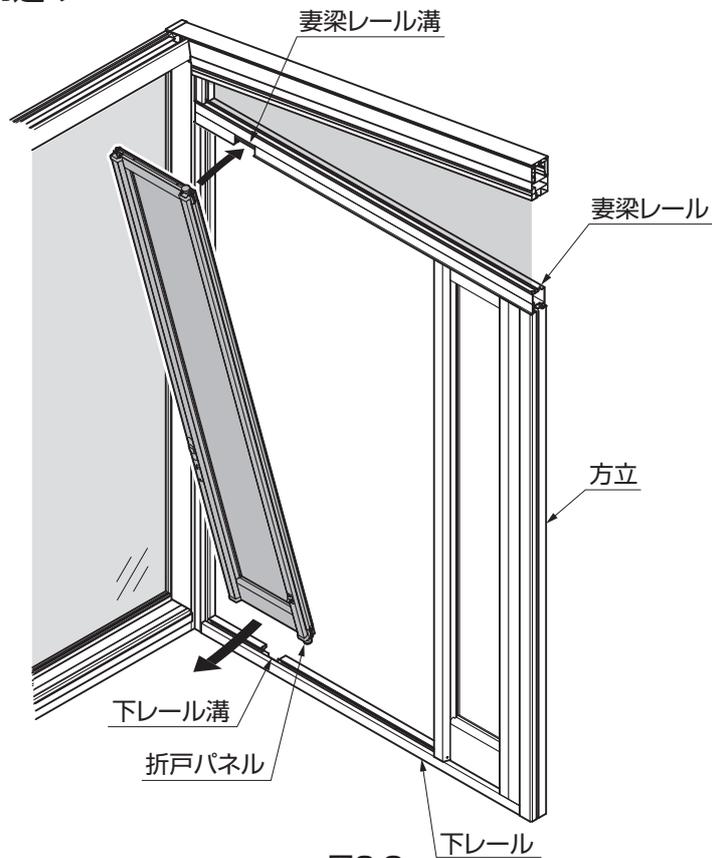


図2-8

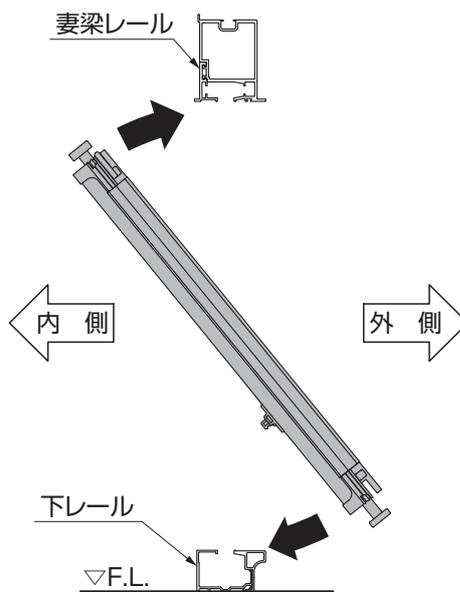


図2-9

①折戸パネルの上側を妻梁レールの内側の溝から、折戸パネルの下側を下レール外側の溝から、図2-9を参照して取付けてください。

注意

●外観右はパネル、パネル落し棒付の順に、外観左はパネル落し棒付、パネルの順に吊り込んでください。

2-3 レールピースの取付け

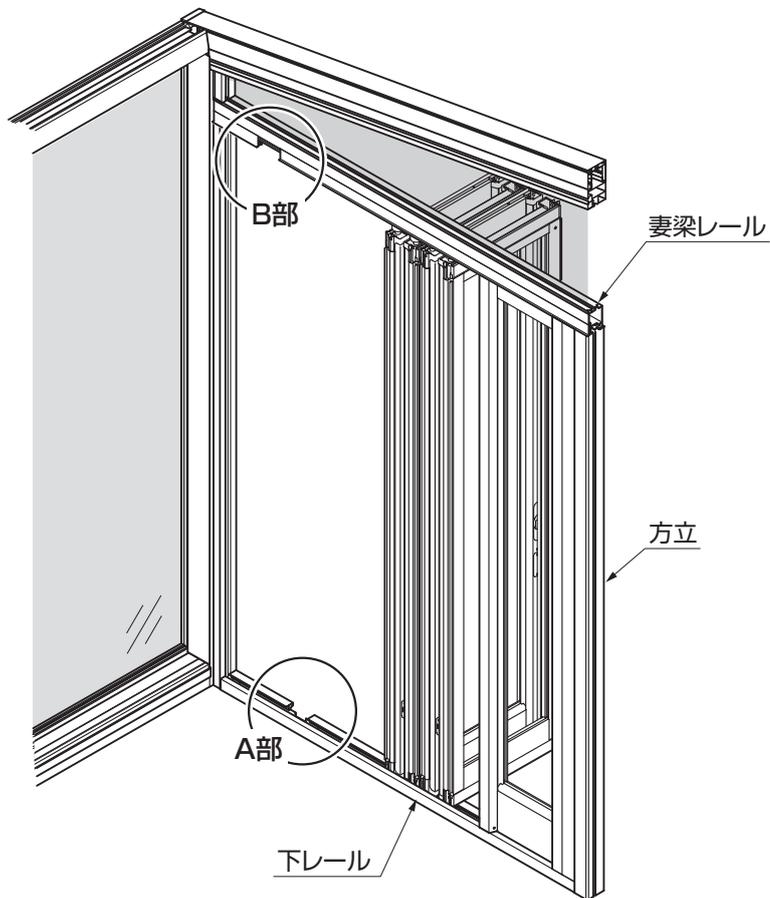


図2-10

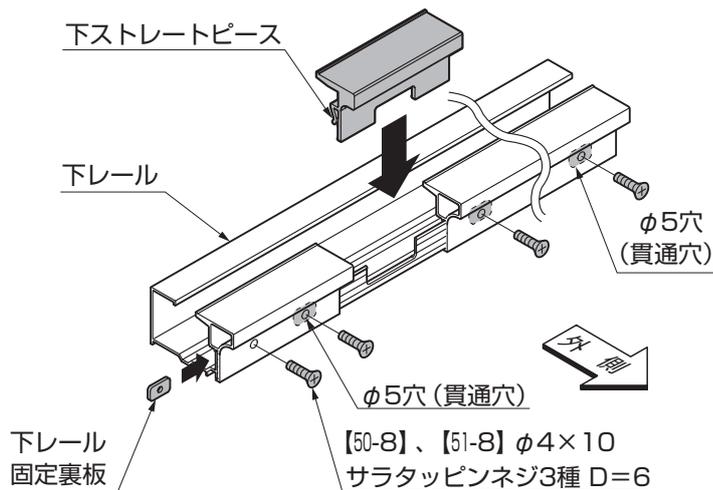


図2-11 A部詳細図

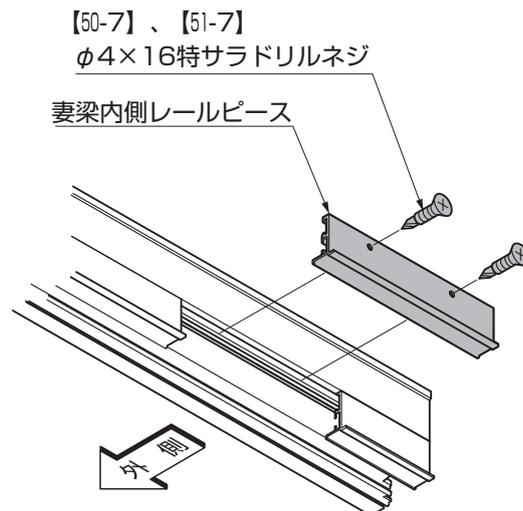


図2-12 B部詳細図

- ①下レールにφ5の穴(貫通穴)あけてください。
- ②下レール固定裏板を下レールにはめ込こみ【50-8】または【51-8】で取付けてください。
- ③下ストレートピースを、下レールにはめ込んでください。
- ④妻梁内側レールピースを妻梁レールに【50-7】または【51-7】で取付けてください。

2. (つづき)

2-4 ヒンジの取付け

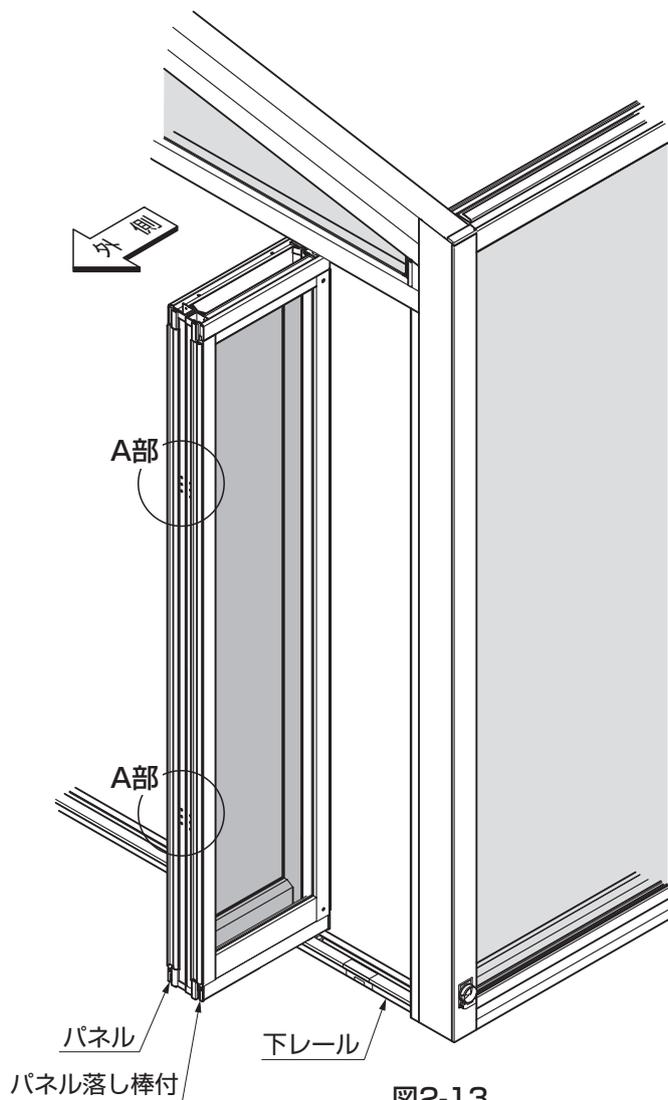


図2-13

- ① パネルとパネル落とし棒付を開き止めではめ合わせて、仮固定してください。
- ② パネルとパネル落とし棒付に【31-2】で取付けてください。

ポイント

- ヒンジは外観から見てバネ部(※1)が右側になるように取付けてください。

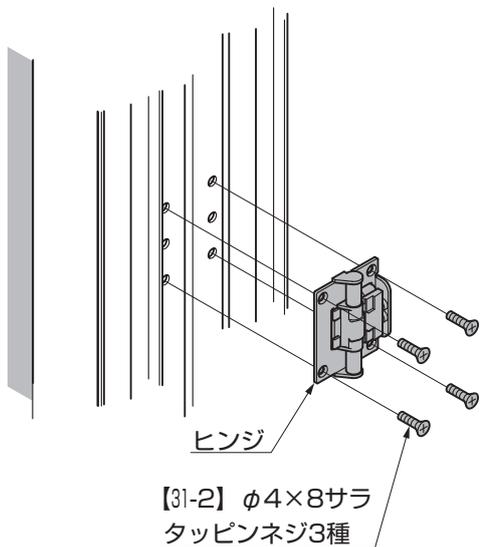


図2-14 A部詳細図

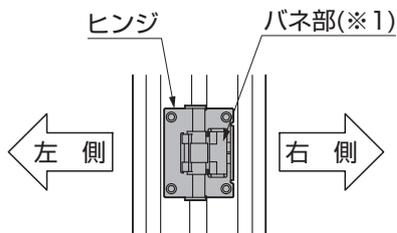


図2-15

2-5 パネル開き止めの調整について ※パネル開き止めのはめ合いがかたい場合

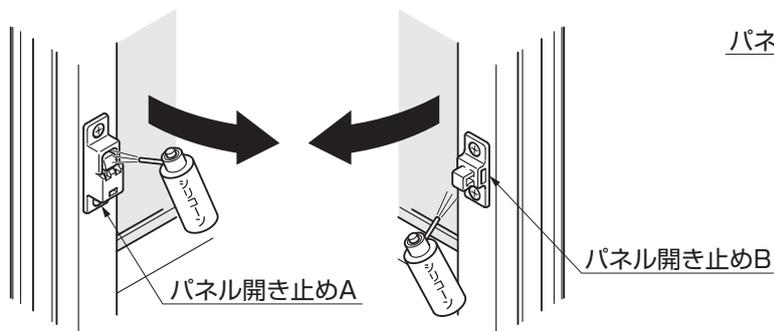


図2-16

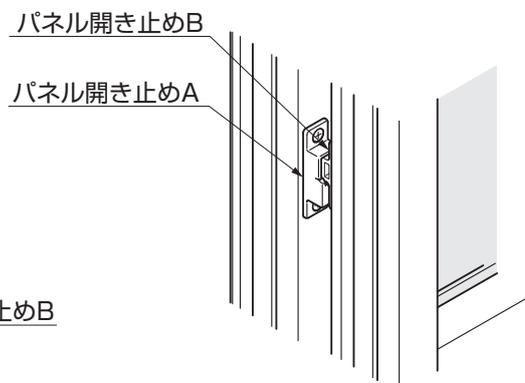


図2-17

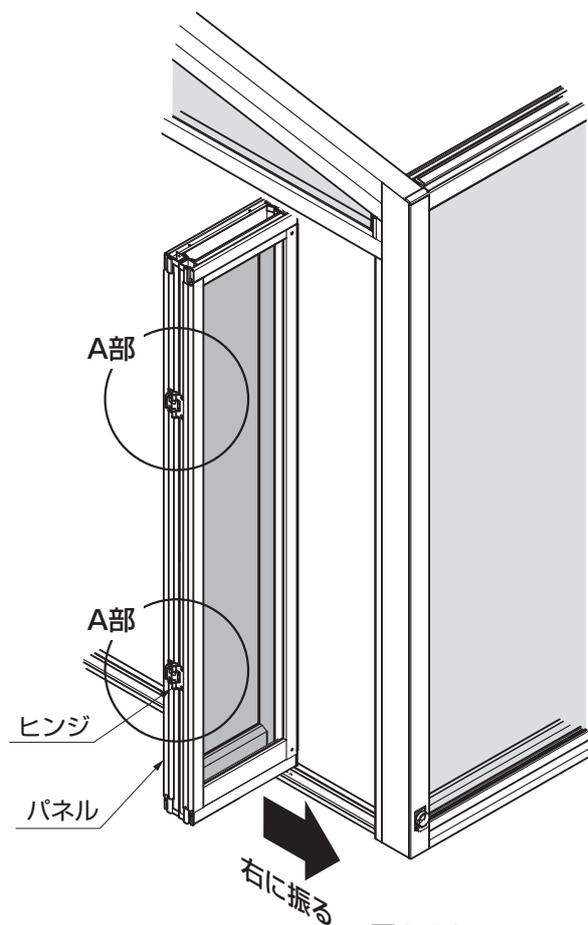


図2-18

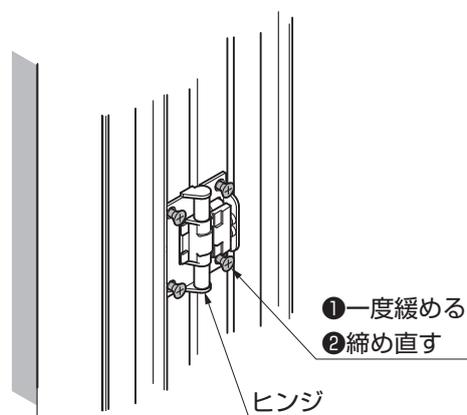


図2-19 A部詳細図

①同梱のシリコーンスプレーをパネル開き止めAと、パネル開き止めBに塗布してください。

ポイント

●パネル開き止めAはかん合内部、パネル開き止めBは下面を重点に塗布してください。

- ②パネルを折って、パネル開き止めA、Bをはめ合わせてください。
- ③そのままの状態ヒンジを固定しているネジを1山~2山程度緩めてください。
- ④パネル下部を外観右側に振った状態で緩めたねじを締め直してください。

3. パネル部品の取付け

9
側面パネルの
取付け

3-1 錠の取付け

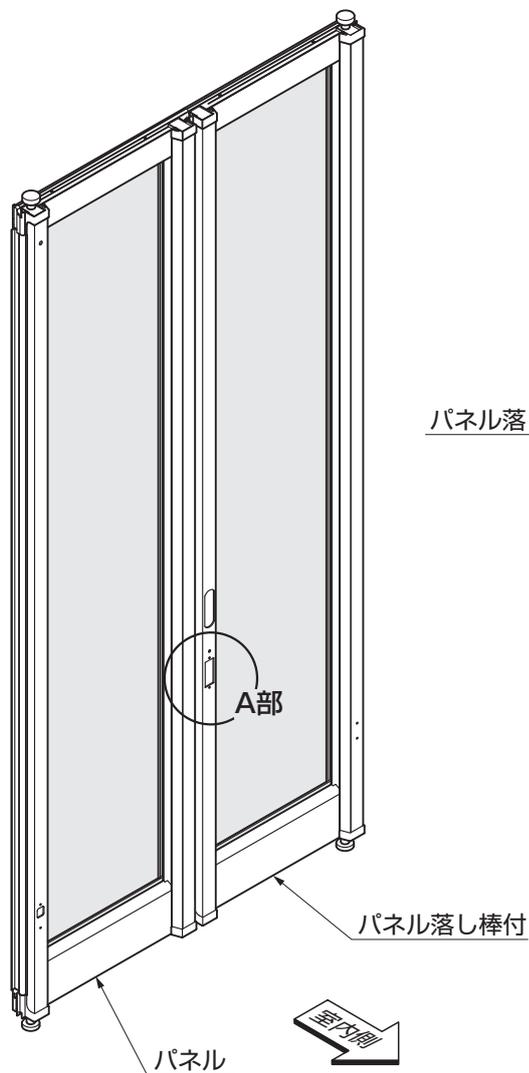


図3-1

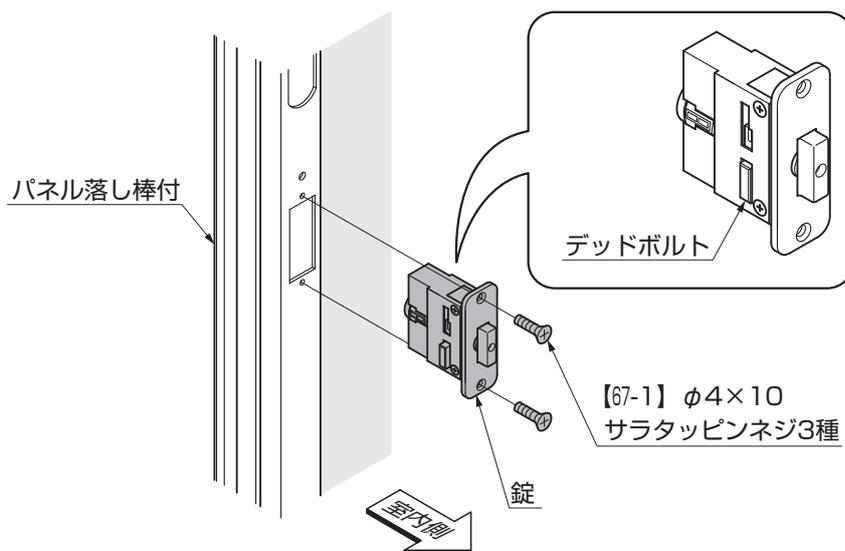


図3-2 A部詳細図
錠を取付ける場合

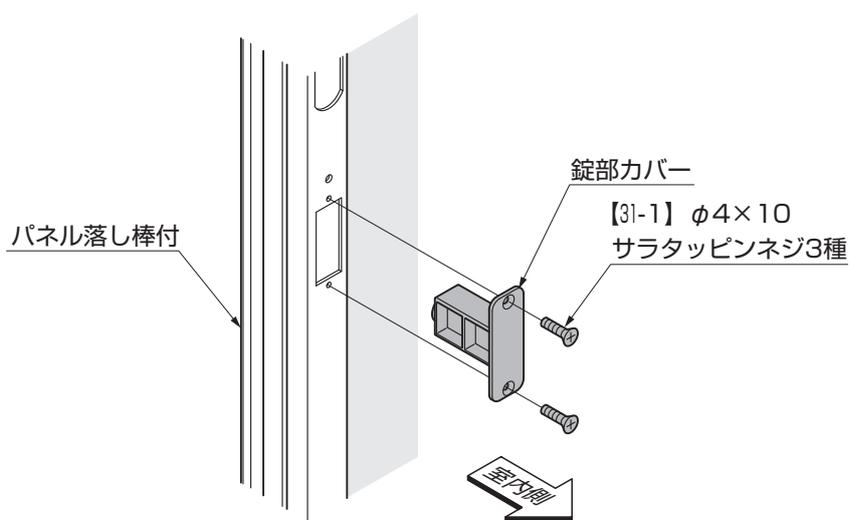


図3-3 A部詳細図
錠を取付けない場合

- ①錠を取付ける折戸を決め、室内側より【67-1】で錠を取付けてください。
- ②錠を取付けない折戸には、同じ場所に【31-1】で錠部カバーを取付けてください。

3-2 取っ手の取付け

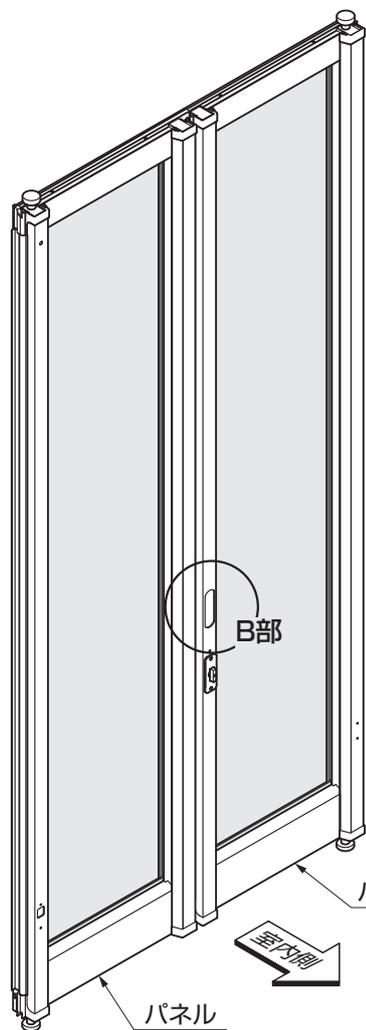


図3-4

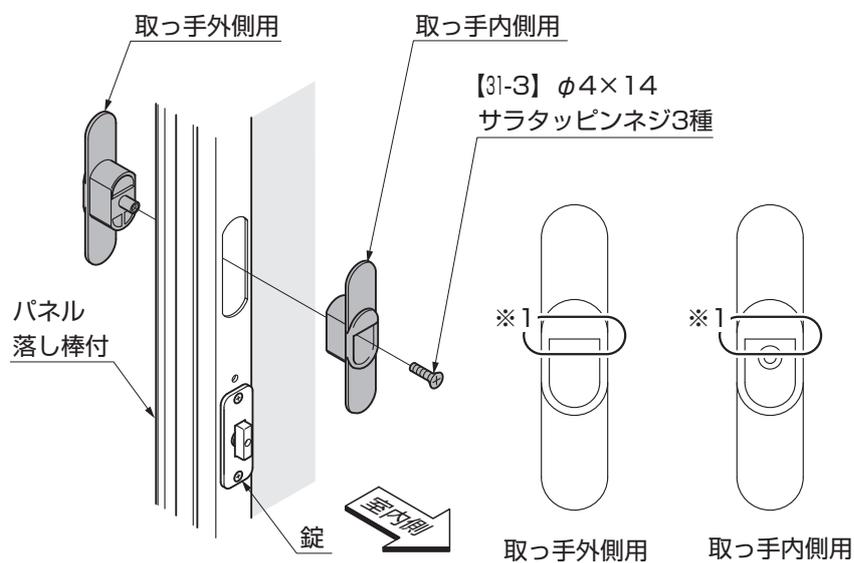


図3-5 B部詳細図
錠を取付けた場合

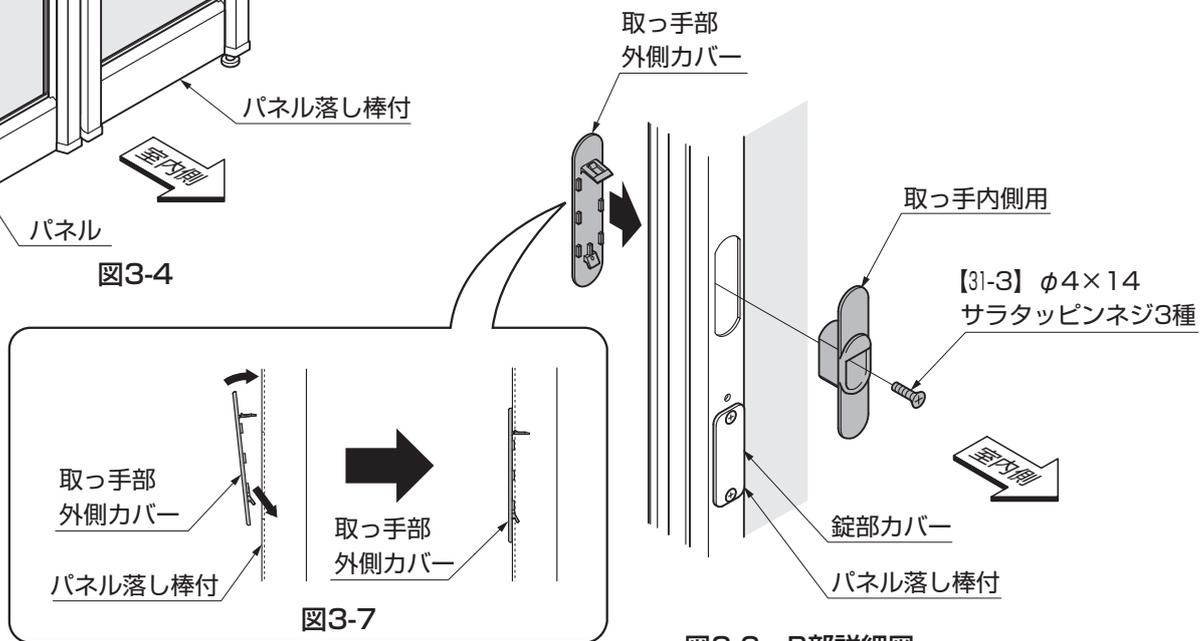


図3-6 B部詳細図
錠を取付けていない場合

①錠を取付けた折戸には、取っ手内側用と取っ手外側用を【31-3】で取付けてください。

ポイント

●取っ手内側用、取っ手外側用には向きがあります。※1部が上になるように取付けてください。

②錠を取付けない折戸には、【31-3】で取っ手内側用を取付け、室外側に取っ手外側カバーをはめ込んでください。

4. 調整フィックスパネルの固定

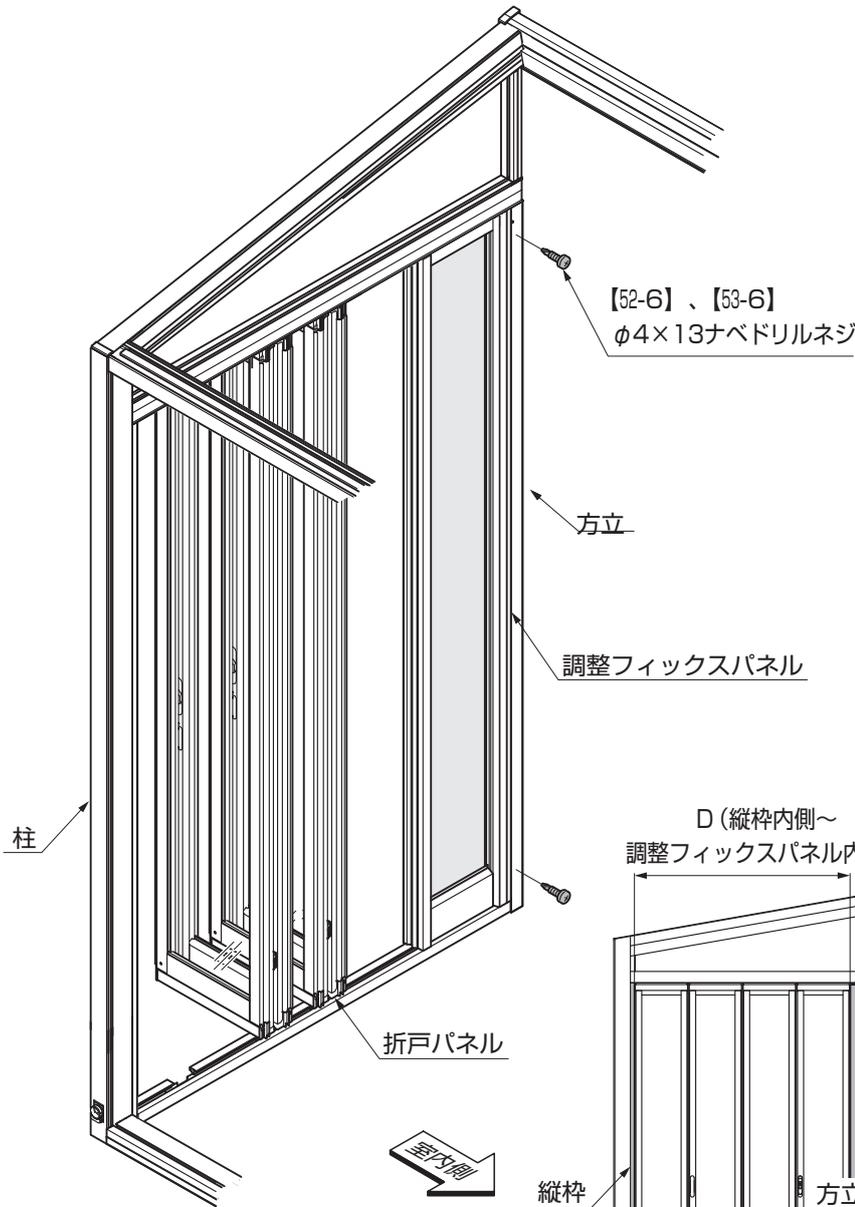


図4-1

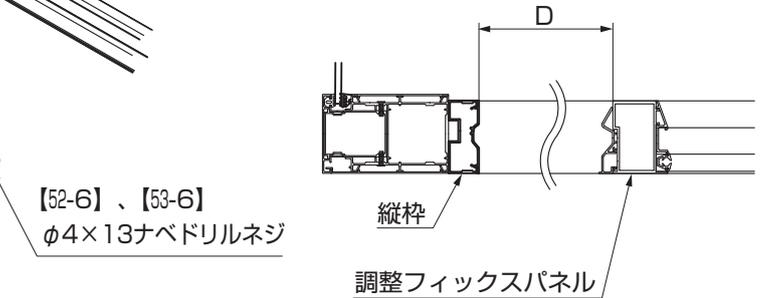


図4-2

表4-1

	D
4R	798~800
6R	1346~1348
8R	1826~1828

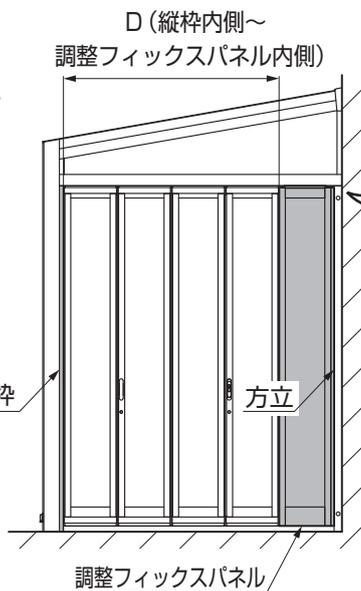


図4-3

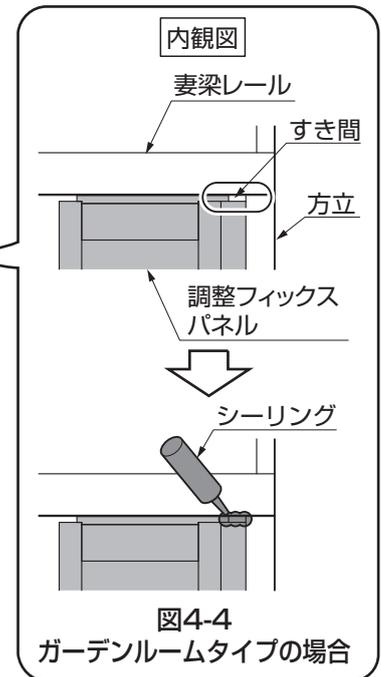


図4-4
ガーデンルームタイプの場合

- ①縦枠の内側～調整フィックスパネルの内側を表4-1の寸法Dになるように調整フィックスパネルの位置および寸法で調整してください。
- ②調整フィックスパネルと方立を【52-6】または【53-6】で固定してください。

ポイント

- 縦枠の内側～調整フィックスパネルの内側を表4-1の通りにしないと、ボトム材がうまく作動しなかったりパネルがうまく開閉しない場合があります。
- ガーデンルームタイプの場合は、妻梁レール、調整フィックスパネル、方立のすき間にシーリングをしてください。(図4-4参照)

5. パネル寸法の確認

5-1 パネル幅の調整

※図は折戸パネルを示します。
※フィックスパネルの場合も同様に作業を行なってください。

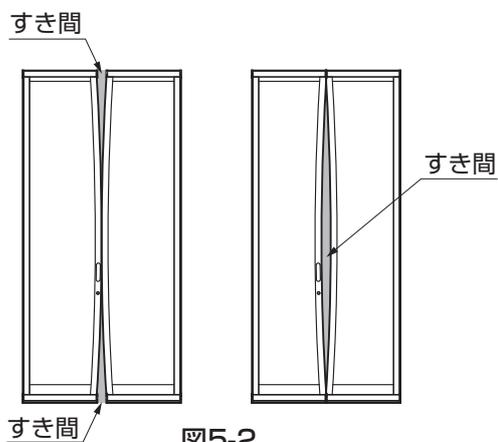
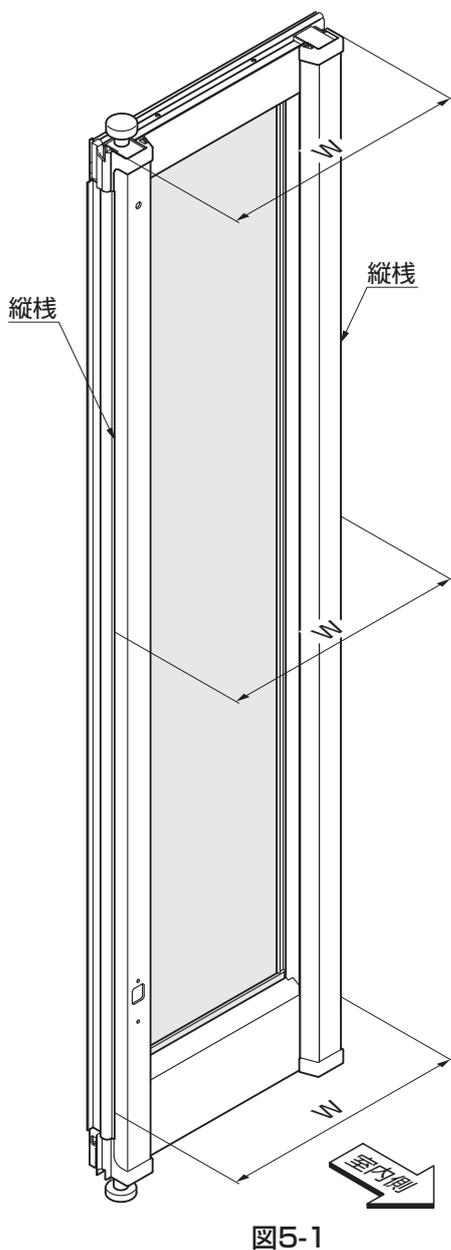


図5-2

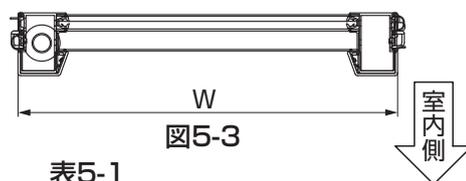


図5-3

表5-1

	W
パネル(1)	440
パネル(2)	381
パネル(3)	320

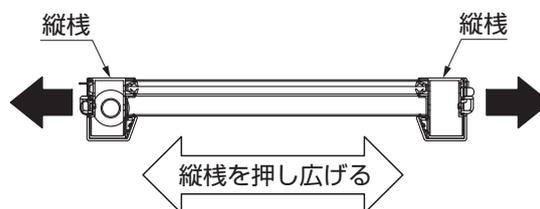


図5-4 パネルの幅が小さい場合

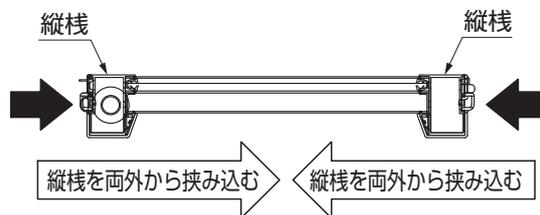


図5-5 パネルの幅が大きい場合

ポイント

●パネルがゆがんですき間があいている場合、幅の調整を行なってください。(図5-2参照)

- ①すべての作業が終了したら、パネル1枚毎に縦棧形材の外々寸法を室内側より集計してください。
- ②パネル上部、中間部、下部の3箇所を計測し、全て表5-1の寸法Wになっていることを確認してください。

ポイント

- パネルの幅が小さかった場合を縦棧を少し押し広げて、寸法を合わせてください。
- パネルの幅が大きかった場合はパネル縦棧を両外から挟み込んで、寸法を合わせてください。

6. 下レールのシーリング

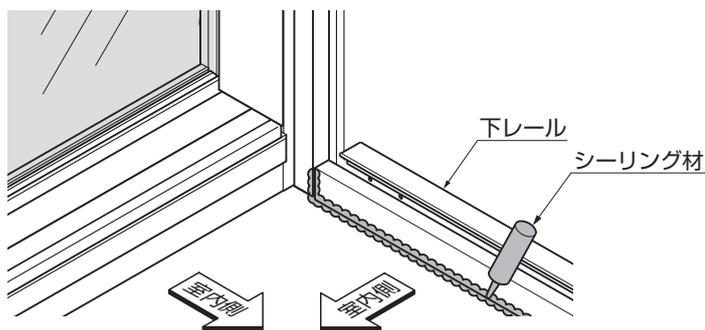


図6-1

①床の仕様により下レール内側へシーリング処理を行なってください。

ポイント

●指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

7. パネルをご使用される前に

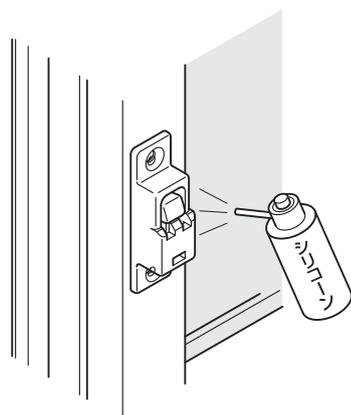


図7-1

①全ての作業が終了したら、パネルの開閉を確認してストッパーの納まりを確認してください。
開きが固い場合は同梱のシリコーンスプレーを塗布してください。

取説コード

E231

JZZ613738G
200703A_1039
201210G_1039